

令和 7 年 度

第 号

監 督 職 員	職 氏 名
監 督 員	
主 任 監 督 員	
総 括 監 督 員	

設 計 図 書

工事日数 日限り

工 事 名 市道山中・紐差線（大越工区）道路改良工事（橋梁下部工）

施工箇所 平 戸 市 山 中 町

平 戸 市 役 所 建 設 部 建 設 課

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)			
			(A1橋台) 当 初
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	摘 要
道路土工			
	1	式	
残土処理工			
	1	式	
土砂等運搬 土砂	770	m3	
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石まじり土)	110	m3	
整地	110	m3	
積込(ルーズ) 土砂	930	m3	
土砂等運搬 土砂	770	m3	
土砂等運搬 土砂	160	m3	
橋台工			
	1	式	
作業土工			
	1	式	
床掘り 土砂	50	m3	
床掘り 土砂	230	m3	
床掘り 土砂	380	m3	
床掘り 岩塊・玉石	110	m3	
埋戻し	580	m3	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	10	m3	
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	10	m3	
路体(築堤)盛土 4.0m以上	60	m3	
法面整形 盛土部	10	m2	
基面整正	50	m2	

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当 初

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	摘 要
張コンクリート 顔料3%配合 t=10cm	19	m2	
躯体工	1	式	
逆T式橋台 (A1橋台) 顔料3%配合	234	m3	
鉄筋工 D25	1.9	t	
鉄筋工 D22	2.5	t	
鉄筋工 D19	1.2	t	
鉄筋工 D16	3.7	t	
鉄筋工 D13	0.9	t	
橋台背面排水材 (A1橋台)	1	式	
踏掛版工	1	式	
踏掛版工	1	式	
踏掛版設置	13	m3	
砂	1	m3	
鉄筋工 D29	1	t	
鉄筋工 D25	0.5	t	
鉄筋工 D16	0.5	t	
鉄筋工 D13	0.1	t	
鉄筋工 D10	0.005	t	
石・ブロック積工	1	式	
作業土工	1	式	

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当 初

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	摘 要
床掘り 土砂	100	m3	
埋戻し	40	m3	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	60	m3	
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	20	m3	
路体(築堤)盛土 4.0m以上	20	m3	
法面整形 盛土部	30	m2	
人工張芝	30	m2	
基面整正	10	m2	
ブロック積工	1	式	
コンクリートブロック積工	82	m2	
胴込・裏込材(砕石)	28	m3	
天端コンクリート 顔料3%配合 W840 t100	16	m	
基礎コンクリート H350 B550	21	m	
現場打ガードレール基礎 顔料3%配合	3	m	
小口止工	1	式	
コンクリート打設 顔料3%配合	0.8	m3	
型枠	6	m2	
基礎砕石	0.2	m2	
排水構造物工	1	式	
排水工	1	式	



数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当 初

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	摘 要
U型側溝据付け 300B 300×300×600	11	m	
暗渠排水管 据付 φ 300	18	m	
U型側溝据付け 300B 縦排水	6	m	
U型側溝据付け 300B 小段排水	8	m	
集水ます工	1	式	
集水桝A 500×500×500	1	箇所	
集水桝B 500×500×800	1	箇所	
仮設工	1	式	
土留工	1	式	
仮設材(H形鋼[杭用])	11	t	
仮設材(H形鋼[杭用])	7	t	
仮設材(H形鋼[杭用])	0.9	t	
山留材質料	8	t	
切梁・腹起し設置・撤去	10	t	
横矢板設置・撤去	82	m2	
場所打杭(ダウンザホールハンマ) B工法 H形鋼杭(土砂埋戻し)	10	本	
場所打杭(ダウンザホールハンマ) B工法 H形鋼杭(土砂埋戻し)	2	本	
やぐら設置・撤去	12	回	
足場	120	空m3	
アンカー工	1	式	

数量總括表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当初

[illegible]

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)			
			(A2橋台) 当 初
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	基 準
道路土工			
	1	式	
残土処理工			
	1	式	
土砂等運搬 土砂	1,000	m3	
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石まじり土)	110	m3	
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石まじり土)	70	m3	
整地			
	1,200	m3	
積込(ルーズ) 土砂	1,100	m3	
土砂等運搬 土砂	1,000	m3	
土砂等運搬 土砂	80	m3	
橋台工			
	1	式	
作業土工			
	1	式	
床掘り 土砂	60	m3	
床掘り 土砂	160	m3	
床掘り 土砂	360	m3	
床掘り 岩塊・玉石	6	m3	
床掘り 岩塊・玉石	10	m3	
埋戻し	330	m3	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	60	m3	
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	20	m3	
路体(築堤)盛土 4.0m以上	80	m3	

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当 初

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	基 準
法面整形 盛土部	140	m2	
基面整正	40	m2	
仮設工	1	式	
大型土のう製作・設置	68	袋	
躯体工	1	式	
逆T式橋台（顔料3%配合）	293	m3	
鉄筋工 D29	6.0	t	
鉄筋工 D25	1.0	t	
鉄筋工 D22	2.7	t	
鉄筋工 D19	2.1	t	
鉄筋工 D16	3.2	t	
鉄筋工 D13	0.8	t	
橋台背面排水材 (A2橋台)	1	式	
深礎工	1	式	
深礎杭（前面側）	2	本	
深礎杭（背面側）	2	本	
踏掛版工	1	式	
踏掛版工	1	式	
踏掛版設置	12	m3	
砂	1	m3	

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)				当 初
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	基	準
鉄筋工 D29	1.1	t		
鉄筋工 D25	0.4	t		
鉄筋工 D16	0.5	t		
鉄筋工 D13	0.1	t		
鉄筋工 D10	0.005	t		
擁壁工	1	式		
作業土工	1	式		
床掘り 土砂	60	m3		
床掘り 土砂	140	m3		
床掘り 岩塊・玉石	2	m3		
床掘り 岩塊・玉石	2	m3		
床掘り 土砂	310	m3		
床掘り 岩塊・玉石	100	m3		
床掘り 岩塊・玉石	40	m3		
床掘り 土砂	10	m3		
床掘り 岩塊・玉石	10	m3		
埋戻し	510	m3		
路体(築堤)盛土 4.0m以上	10	m3		
コンクリート打設	9	m3		
基面整正	10	m2		

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当 初

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	基 準
擁壁工			
	1	式	
BT型ブロック据付 H1250/1439×2998	4	m2	
B型ブロック据付 H998×L2998	6	m2	
C型ブロック据付 H998×L2998	6	m2	
D型ブロック据付 H998×L2998	6	m2	
E型ブロック据付 H998×L2998	3	m2	
ブロック材料	1	式	
立壁工	1	式	
天端コンクリート 顔料3%配合	3	m	
フーチングコンクリート	3	m	
目地板 t=20mm	1	m2	
石・ブロック積工	1	式	
ブロック積工	1	式	
コンクリートブロック積工	33	m2	
裏込碎石	14	m3	
基礎コンクリート H=350 B=550	8	m	
天端コンクリート 顔料3%配合 t=10cm	7	m	
場所打ガードレール基礎 顔料3%配合	4	m	
仮設工	1	式	
土留工	1	式	

数 量 総 括 表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当 初

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	基 準
仮設材(H形鋼[杭用])	14	t	
仮設材(H形鋼[杭用])	6	t	
仮設材(H形鋼[杭用])	4	t	
山留材質料	13	t	
切梁・腹起し設置・撤去	11	t	
横矢板設置・撤去	130	m2	
場所打杭(ダウンザホールハンマ) B工法 H形鋼杭(土砂埋戻し)	5	本	
場所打杭(ダウンザホールハンマ) B工法 H形鋼杭(土砂埋戻し)	3	本	
場所打杭(ダウンザホールハンマ) B工法 H形鋼杭(土砂埋戻し)	7	本	
場所打杭(ダウンザホールハンマ) B工法 H形鋼杭(土砂埋戻し)	1	本	
やぐら設置・撤去	16	回	
足場	120	空m3	
アンカー工	1	式	
削孔 粘性土・砂質土 115mm	21	m	
削孔 軟岩 115mm	9	m	
削孔 硬岩 115mm	137	m	
アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着 f<400kN 簡易防食	2	本	
アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着 400≦f<1300kN 簡易防食	13	本	
グラウト注入	5	m3	
ボーリングマシン移設	3	回	

数量總括表

市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)

当初

[illegible]



# 令和7年度市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工) 特記仕様書

## 第1章 総 則

第1条 本特記仕様書は、令和7年度市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)に適用する。

第2条 本工事は、設計図書及び本特記仕様書によるほか、各項によるものとする。

1. 長崎県建設工事共通仕様書 長崎県土木部 (令和7年4月)
2. 長崎県建設工事施工管理基準 長崎県土木部 (令和7年4月)
3. 土木設計(測量、調査)業務等共通仕様書 長崎県土木部 (令和7年4月)
4. その他関連図書

## 第2章 施工条件明示

第3条 本工事の施工にあたっての施工条件を下記に明示するので、受注者は、施工計画書の作成時及び工事施工時においては、十分留意するものとする。

なお、明示した施工条件に重大な変更が生じた場合は、協議の上で契約変更の対象とする。

### 1. 工程関係

- ・ 部分的な工期の設定はない。
- ・ 週休2日モデル工事における現場閉所の実施

本工事は、週休2日モデル工事(受注者希望型)であり、通期の4週8休以上となる現場閉所を行うための費用を計上している。受注者は週休2日を実施するか選択できるものとし、実施の有無および実施する週休2日のパターンについて、施工計画書の提出前までに監督職員と工事打合せ簿により協議を行うものとする。

なお、実施する場合は、予定工程において設定された休日及び現場閉所を行うほか以下の1)から7)によるものとし、完成通知時において実施工程表等により実施状況を取りまとめ監督職員へ報告するものとするが、通期の4週8休以上が未達成の場合においても当面は減点評価を行わない。

工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場閉所の実施が不可能となる期間が生じる場合は、受発注者間で協議の上、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を別途定めるものとする。

- 1) 週休2日は工事着手日から工事完成日までの期間において、月単位または通期の4週8休(現場閉所率28.5%)以上となる休日を確保することとする。なお、月単位の4週8休を実施する場合において、暦上の土曜日・日曜日の閉所で現場閉所率28.5%に満たない月がある場合は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。
- 2) 予定工程において設定された休日は、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き監督職員との協議なしに現場事務所を営業することや、工事及び測量等の現場作業のみならず書類整理等の事務作業も実施することが出来ない。やむを得ず休日に作業(災害対応や緊急工事等)を実施する場合には、監督職員と協議を行うこととする。
- 3) 元請技術者(現場代理人、主任技術者、監理技術者)は現場閉所に合わせて、必ず休日とすること。
- 4) 受注者は、当初設定された工期が週休2日を実施するにあたって適当ではないと判断した場合は、「必要工期」を算出し施工計画書の提出前までに発注者と協議を行うこと。発注者が妥当と判断した場合は変更の対象とする。
- 5) 月単位の4週8休以上を選択し現場閉所が達成された場合は、月単位の4週8休以上となる補正係数により、変更契約を行うものとする。また、通期の4週8休となる現場閉所が達成されなかった場合並びに週休2日を選択しなかった場合は、補正を減じた変更契約を行うものとする。4週8休以上とは、現場閉所率28.5%(8日/28日)以上の場合とする。各週休パターンにおける補正係数については、下記のとおりとする。

【月単位の4週8休以上：補正係数】

- ・ 労務費：1.04
- ・ 共通仮設費：1.03
- ・ 機械経費（賃料）：1.02
- ・ 現場管理費：1.05

【通期の4週8休以上：補正係数】

- ・ 労務費：1.02
- ・ 共通仮設費：1.02
- ・ 機械経費（賃料）：1.02
- ・ 現場管理費：1.03

- 6) 対象期間中、工事現場にモデル工事であることを現場に看板等により掲示すること。

2. 用地関係

- ・ 工事区域の用地について特に制約等はない。
- ・ 受注者が施工上必要とする用地以外の借地は予定していない。

3. 工事支障物件関係

受注者は、工事支障物件関係の施工条件明示内容にかかわらず、工事着手前に電力、通信、ガス、水道設備等の埋設物、及び架空線等上空施設の有無について、各施設管理者（道路管理者等含む）に確認するものとする。地下埋設物等の調査は、別添「地下埋設物件の事故防止に関する特記仕様書」、架空線等上空施設の調査は、別添「架空線等上空施設への接触・切断事故防止に関する特記仕様書」による。また、工事施工箇所に地下埋設物件等が予想される場合には、当該物件の位置、深さ等を調査し監督職員に報告し、その対応について協議するものとする。

受注者は施工中、管理者不明の地下埋設物を発見した場合は、監督員に報告し、その処置については占用者全体の現地確認を求めるなど、管理者を明確にするものとする。

4. 公害関係

- ・ 工事に伴う公害防止対策（騒音・振動・粉塵・水質汚濁等）について、特段の考慮はしていない。
- ・ 事業損失に係わる事前調査等の実施は予定していない。

5. 安全対策関係

- ・ 交通安全対策としての交通誘導員について、以下の通り計上している。

対象作業内容	配置体制	開始時間 終了時間	配置員数	配置場所
残土の搬出時 (A1橋台)	作業時 (交代要員無)	—	1名／日	工事区間の 起点
コンクリート打設時 (A1橋台)	作業時 (交代要員無)	—	1名／日	工事区間の 起点
残土の搬出時 (A2橋台)	作業時 (交代要員無)	—	2名／日	工事区間の 起終点
コンクリート打設時 (A2橋台)	作業時 (交代要員無)	—	2名／日	工事区間の 起終点

- ・ 安全対策としての施工方法等の制約はない。
- ・ 工事区域は、機雷・爆弾等の危険区域ではない。

6. 資機材等の搬入関係

- ・ 資機材等の搬入経路や搬入時間帯等に特段の制約は無い。

7. 仮設備関係

- ・ 仮設備に関して特段の指定事項はない。

## 8. 現場環境改善関係

- ・ 工事現場の環境改善について、特段の考慮はしていない。
- ・ 本工事は現場環境改善費を計上しており、施工に際し受注者は、下表の内容のうち原則として「計上費目（現場環境改善のうち仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）」ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を実施するものとする。ただし、地域の状況・工事内容により実施費目数及び実施内容数を変更する場合は、監督職員と協議するものとする。  
なお、受注者は現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間について、工事着手前に監督職員へ提出するものとする。また、工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。

計上費目	実施する内容（土木工事諸経费率計上分）
現場環境改善 （仮設備関係）	①用水・電力等の供給設備、②緑化・花壇、③ライトアップ施設、 ④見学路及び椅子の設置、⑤昇降施設の充実、⑥環境負荷の低減
現場環境改善 （営繕関係）	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）、 ②労働宿舍の快適化、③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）、 ④現場休憩所の快適化、⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 （安全関係）	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）、 ②盗難防止対策（警報機等）
地域連携	①完成予想図、②工法説明図、③工事工程表、 ④デザイン工事看板（各工事PR看板含む）、 ⑤見学会等の開催（イベント等の実施含む）、 ⑥見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営、 ⑦パンフレット・工法説明ビデオ、 ⑧地域対策費（地域行事等の経費を含む）、⑨社会貢献

## 9. 残土・産業廃棄物関係

- ・ 搬入や搬出等については下記のとおりとする。

### （1）建設発生土の利用（搬入）

本工事において、現場外からの搬入は想定していない。

### （2）建設発生土の搬出

本工事により発生する建設発生土は、現場流用とし仮置きを予定している。

また、建設発生土（残土）は、下記の場所に搬出するものとする。

- 1) 受入先 : 大池土砂置場
- 2) 受入場所 : 長崎県平戸市田平町大久保免字大池
- 3) 運搬距離 : 15.6km
- 4) 受入時間帯 : 確認し、調整すること。（毎月21日、22日は搬出入不可）

### （3）コンクリート塊・アスファルト塊の処理

本工事において、発生は想定していない。

本工事により発生するコンクリート塊やアスファルト塊は、「公表用積算基準（長崎県土木部）」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地から選定するものとし、事前に監督職員の承諾を得て搬出するものとする。

なお、発注者は「公表用積算基準（長崎県土木部）」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地で最も安価（積算時の処分費と運搬費の総価）となる再資源化処理施設を想定しているが、当該再資源化処理施設の受入が不可能な場合または受注者が再資源化処理施設一覧より選定した処分場が発注者が想定した処理施設より安価となる場合は、協議の上、契約変更の対象とする。

### （4）木くず・・・産業廃棄物に該当する分

本工事により発生する木くず（伐採殻、除根殻）の搬出は、「公表用積算基準（長崎県土木部）」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地から選定するものとし、事前に監督職員の承諾を得るものとする。

なお、発注者は「公表用積算基準（長崎県土木部）」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地で最も安価（積算時の処分費と運搬費の総価）となる再資源化処理施設を想定しているが、当該再資源化処理施設の受入が不可能な場合または受注者が再資源化処理施設一覧より選定した処分場が発注者が想定している処理地より安価となる場合は、協議の上、契約変更の対象とする。

なお、受注者は、搬出した数量を証明できる資料を監督職員へ提出するものとし、設計数量については協議の上で設計変更の対象とする。

## 10. その他

- ・ 現場発生品の発生及びその再使用は想定していないが、再使用可能な製品があれば、監督職員と協議し、指示を仰ぐものとする。

## 第3章 そ の 他

### 第4条 交通誘導警備員のひっ迫対応措置（試行）

#### 1. 交通誘導警備における緩和措置

受注者は、当該工事において交通誘導警備が必要な場合は、「長崎県建設工事共通仕様書（1-1-57現道工事における交通処理対策19）」に基づき実施されるものであるが、当該工事において交通誘導警備員（以下「警備員」、警備業法第2条第4項に規定）が、必要人数確保できない場合（ひっ迫）に、緩和措置（「自家警備」の導入）の対象とすることができる。

なお、緩和措置の適用については、警備業協会加盟会社より出される警備員の必要人数を確保できない等のひっ迫状況の証明書及び以下の緩和措置実施条件に基づいた交通誘導警備配置計画をもって、監督職員と協議を行い承諾された場合とする。

#### 2. 交通誘導警備における緩和措置の実施条件

##### (1) 「自家警備」の実施

- ・ 受注者が「自家警備」を行う「自警員」については、全て受注者の社員であり、かつ過去3年以内に長崎県交通誘導警備員対策協議会が承認した団体が実施する安全講習会を受講しているものであること。

##### (2) 対象路線

- ・ 長崎県公安委員会が道路における危険防止が必要と認める路線（以下、認定路線）以外の路線（以下、認定外路線）であること。

※認定路線：R34, R35, R57, R202, R204, R205, R206, R207, R251, R499

##### (3) 警備体系及び交通量の影響

次のいずれかに該当すること

- ・ 車線規制、バイパス工事出入口等の「基本的に連携が伴わない警備（非連携警備）」であること
- ・ 片側交互通行規制等の「連携が伴う警備（連携警備）」で、交通量が規制に与える影響度合い（交通量の影響：Q ※<sup>1</sup>）が1未満であること。

※1 「交通量の影響」については、以下の算出式により確認を行う。

#### ◆片側交互通行規制における交通量の影響算定式

$$Q = \frac{T(L+60)}{30,000}$$

- ・ Q：交通量影響率
- ・ T：ピーク時間交通量(台/h)
- ・ L：規制区間延長(m)

Q ≥ 1：交通量の影響が大 → 自警員の配置の可能性はない

Q < 1：交通量の影響が小 → 自警員の配置の可能性はある

#### 《留意点》

- ・ 算定式により自警員の配置の可能性があると判断された場合は、その結果を受け配置の決定を行うのではなく、必ず現地調査を行い受発注者協議の上、配置の決定を行う。

(参考) 緩和措置による「自警員」による可能警備パターン

	連携警備		非連携警備
	交通量の影響:大	交通量の影響:小	
認定路線	警備員のみ (1名/パーティーは検定合格警備員)		警備員のみ (1名/パーティーは検定合格警備員)
認定外路線	警備員のみ		警備員のみ
		自警員のみ	自警員のみ

## 第5条 労働環境改善の取り組み（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、受発注者間の相互において労働環境の改善に関する取り組みを行い、労働環境の改善に努め、取組内容については、受発注者間にて調整のうえ実施に努めるものとする。

なお、実施にあたっては、取組内容を施工計画書に記載することとするが、共通仕様書等により施工計画書の提出を求めている工事については、工事打合せ簿により別途、取組内容の報告を行うものとする。

## 第6条 現場環境改善（快適トイレの試行設置）

### 1. 内容

受注者は、施工現場付近に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用できる項目であり、必須ではない。

#### 【快適トイレに求める標準仕様】

- （１） 洋式便器
- （２） 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- （３） 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）  
（必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をとること）
- （４） 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）  
（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
- （５） 照明設備（電源がなくても良いもの）
- （６） 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重 5 kg 以上）

#### 【快適トイレとして活用するために備える付属品】

- （７） 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８） 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
- （９） サニタリーボックス（女性専用トイレに必ず設置）
- （１０） 鏡と手洗い器
- （１１） 便座除菌シート等の衛生用品

#### 【推奨する仕様、付属品】

- （１２） 室内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）
- （１３） 擬音装置（機能を含む）
- （１４） 着替え台（フィッティングボード等）
- （１５） 臭気対策機能の多重化
- （１６） 窓など室内温度の調整が可能な設備
- （１７） 小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）

### 2. 設置に要する費用

設置に要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たすことを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、支出実態のわかる資料により監督職員と協議の上、従来品相当額を差し引いた後、上限51,000 円/基・月を設計変更の対象とする。（「快適トイレとして活用するために備える付属品」の費用は、現場環境改善費（率）に含む。）

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）までとする。

また、運搬・設置・撤去費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算方法」を適用する工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所です計上できるものとする。

### 3. その他

原則、試行対象工事に適用するが、仕様を満たすトイレが手配できない場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

なお、快適トイレの仕様（「快適トイレに求める機能（標準仕様）」及び「快適トイレとして活用するために備える付属品」）の一部の手配が出来ない場合においては、リース会社2社以上からの手配できない旨の証明書を添付し監督職員と協議を行い、仕様の一部を満たすトイレについても導入を可能とする。

#### 第7条 設計変更等

設計変更等については、契約書第18条から第26条及び長崎県建設工事共通仕様書共通編1-1-18から1-1-20に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「設計変更ガイドライン 令和2年6月」（長崎県土木部）及び「工事一時中止に係るガイドライン 令和3年10月」（長崎県土木部）によることとする。

#### 第8条 重点的な監督業務

本工事は、重点的な監督業務の実施を予定していない。

本工事において、低入札調査基準価格を下回って落札した場合は、重点的な監督業務を実施するものとする。

本工事は、重点的な監督業務を実施するものとする。

#### 第9条 三者会議

本工事では、『工事実施段階における「三者会議」の実施要領〔長崎県〕』に基づいた三者会議の実施を予定していないが、三者会議の実施が必要と判断する受注者は、発注者と協議するものとする。

#### 第10条 熱中症対策に資する現場管理費の補正について

1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行対象工事であり、熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合は、受注者は施工計画書に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。
2. 計測方法は、施工現場から最寄りの気象庁が公表している観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。  
ただし、これにより難しい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温測定方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いるものとし、計測に要する費用は受注者の負担とする。
3. 真夏日率の算定式における工期は、工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
4. 施工計画書に基づき提出された計測結果をもとに対象期間内の真夏日率に補正係数を乗じて熱中症補正値を算出し、現場管理費率に加算するものとする。  
なお、真夏日とは日最高気温が30度以上の日をいい、WBGTを用いる場合は、WBGTが25度以上となる日を真夏日と見なす。

真夏日率 = 工期期間中の真夏日 ÷ 工期

熱中症補正値（％）＝ 真夏日率 × 補正係数※ （※補正係数1.2）

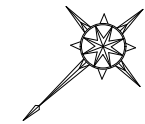
現場管理費

＝対象純工事費×（（現場管理費率×施工地域を考慮した補正係数）＋ 熱中症補正値）

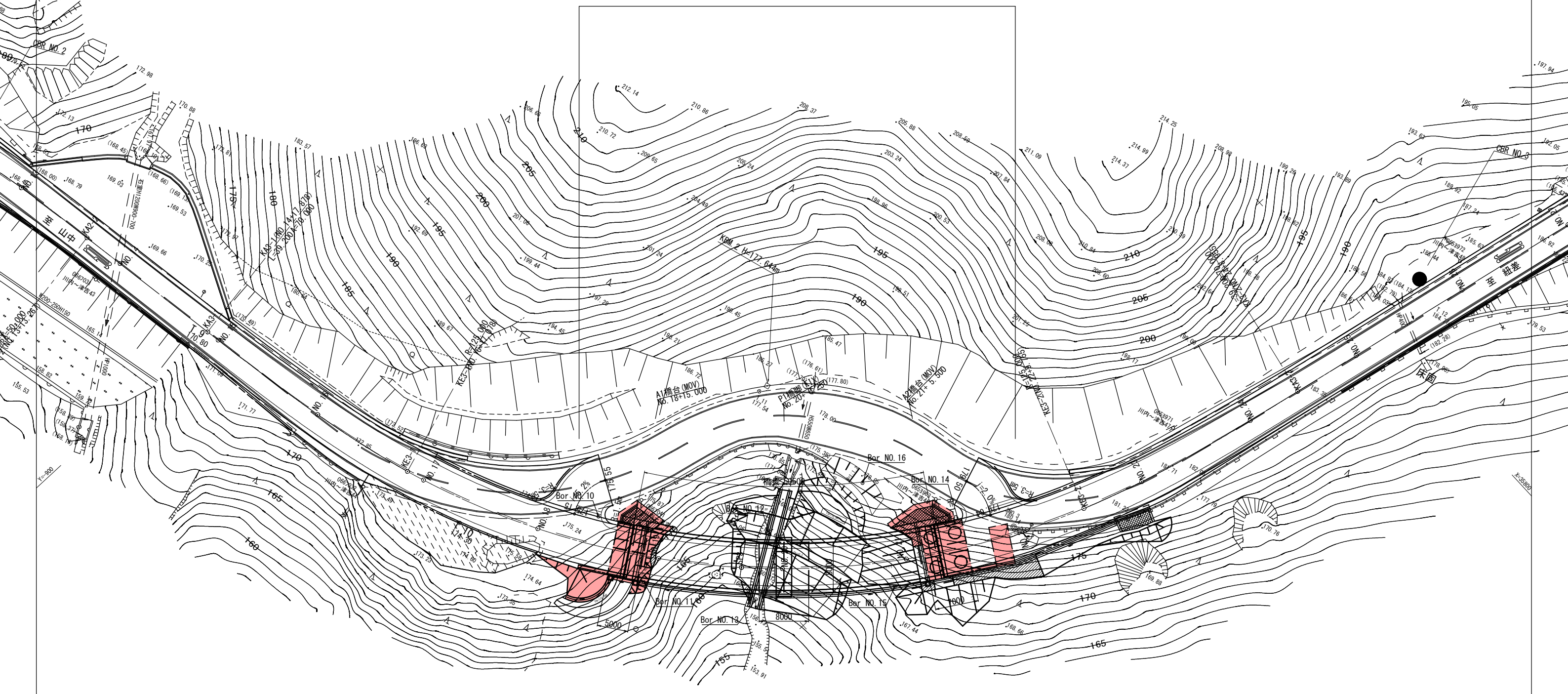
ただし、「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においても、最高2％とする。



計画平面図 S=1:300



橋梁下部工  
A1橋台 (H=11.0m V=234m³) N=1.0基 仮設工(土留柵工)N=1.0式  
A2橋台 (H= 9.0m V=293m³) N=1.0基 深礎工 N=4本 仮設工(土留柵工)N=1.0式

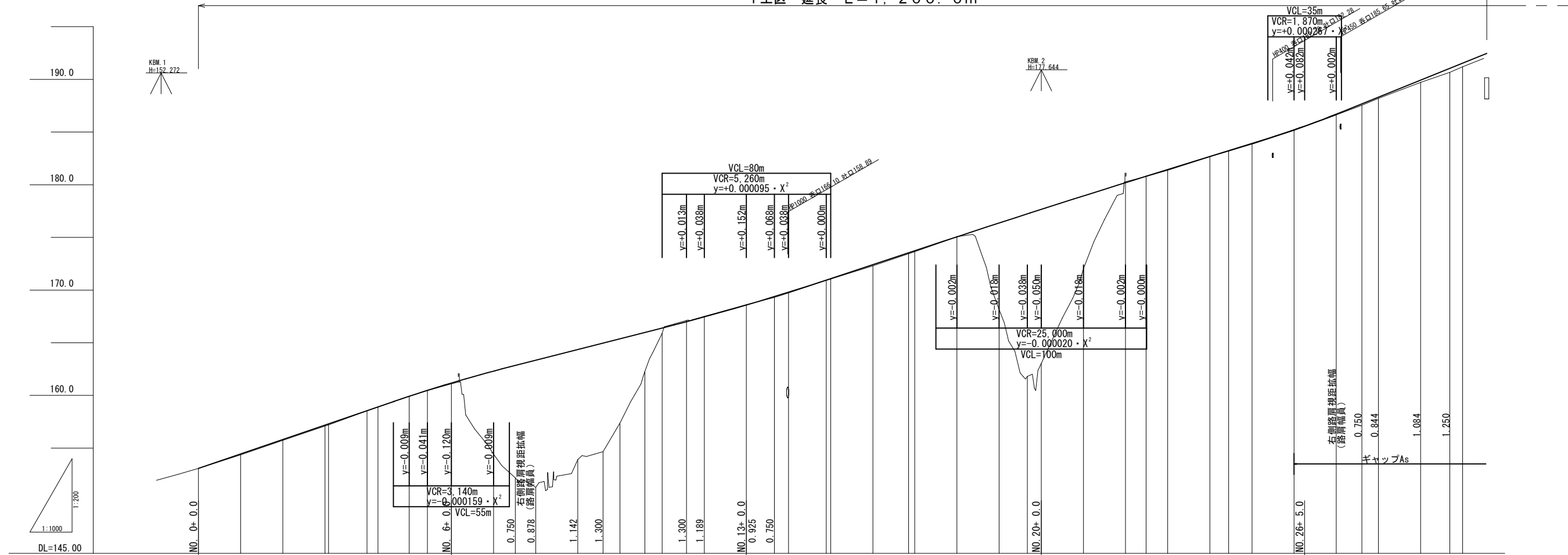


年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・組差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	計 画 平 面 図
縮 尺	S = 1 : 300
図面番号	64 葉の内 1 号
平戸市建設部建設課	

縦断図(1)

1工区 延長 L=1,200.0m

V=1:200  
H=1:1,000



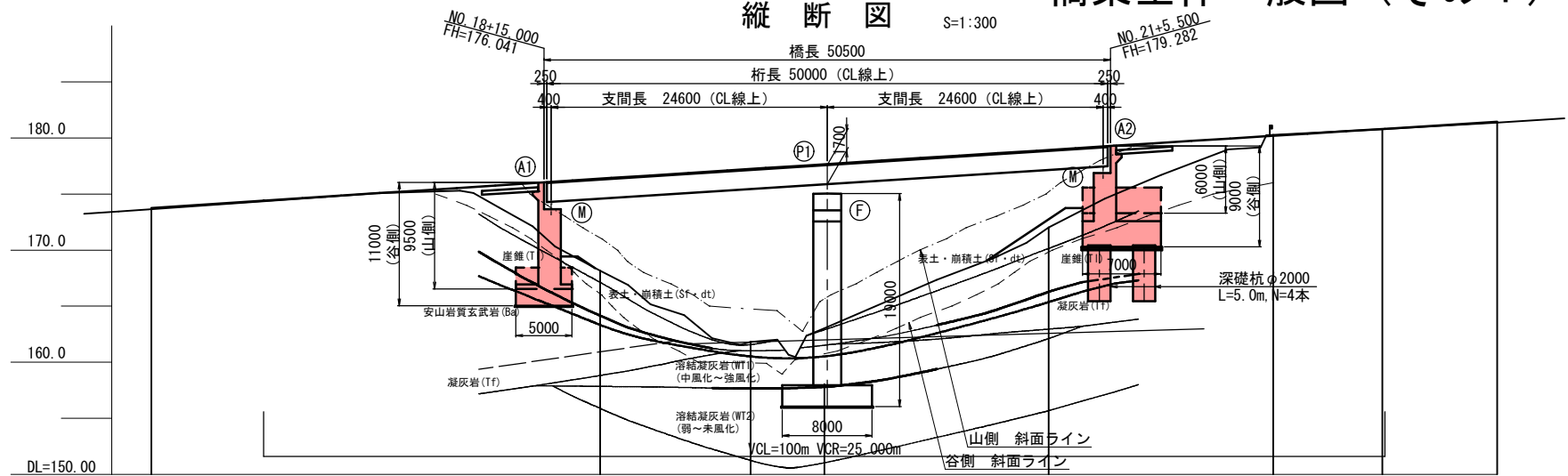
勾配	<div><div><div>153.080</div><div><div>i= 6.850%</div><div>L=120.000m</div></div></div><div><div>161.300</div><div><div>i= 5.100%</div><div>L=140.000m</div></div></div><div><div>168.440</div><div><div>i= 6.620%</div><div>L=140.000m</div></div></div><div><div>177.708</div><div><div>i= 6.220%</div><div>L=125.000m</div></div></div><div><div>185.483</div><div><div>i= 8.090%</div><div>L=210.000m</div></div></div></div>																													
盛土高	<div><div>0.08</div><div>0.08</div><div>0.10</div><div>0.09</div><div>0.01</div><div>0.01</div><div>0.01</div><div>0.01</div><div>0.07</div><div>7.89</div><div>10.68</div><div>12.07</div><div>10.45</div><div>10.31</div><div>8.00</div><div>3.69</div><div>0.50</div><div>0.08</div><div>0.07</div><div>0.02</div><div>0.04</div><div>0.11</div><div>0.09</div><div>0.09</div><div>8.21</div><div>15.42</div><div>14.62</div><div>6.90</div><div>0.02</div><div>0.07</div><div>0.03</div><div>0.05</div><div>0.07</div><div>0.05</div><div>0.08</div><div>0.13</div><div>0.12</div><div>0.22</div><div>0.38</div><div>0.36</div></div>																													
切土高																														
計画高	<div><div>153.08</div><div>153.080</div><div>154.37</div><div>154.450</div><div>155.74</div><div>155.820</div><div>157.09</div><div>157.190</div><div>157.21</div><div>157.304</div><div>158.55</div><div>158.560</div><div>158.91</div><div>158.913</div><div>159.92</div><div>159.921</div><div>160.47</div><div>160.481</div><div>161.11</div><div>161.180</div><div>162.31</div><div>162.311</div><div>162.846</div><div>163.340</div><div>163.91</div><div>164.360</div><div>164.66</div><div>164.971</div><div>165.38</div><div>165.380</div><div>165.981</div><div>166.400</div><div>167.12</div><div>167.005</div><div>167.458</div><div>168.592</div><div>169.386</div><div>169.802</div><div>170.93</div><div>170.948</div><div>171.05</div><div>171.088</div><div>172.39</div><div>172.412</div><div>173.65</div><div>173.543</div><div>173.65</div><div>173.736</div><div>175.07</div><div>175.058</div><div>176.16</div><div>176.366</div><div>177.234</div><div>177.658</div><div>178.934</div><div>180.27</div><div>180.194</div><div>180.78</div><div>180.803</div><div>181.37</div><div>181.440</div><div>182.65</div><div>182.684</div><div>183.19</div><div>183.241</div><div>183.86</div><div>183.928</div><div>185.16</div><div>185.214</div><div>186.62</div><div>186.699</div><div>187.55</div><div>187.683</div><div>188.20</div><div>188.315</div><div>189.71</div><div>189.933</div><div>190.67</div><div>191.053</div><div>191.19</div><div>191.551</div></div>																													
地盤高																														
追加距離																														
単距離	<div><div>0.000</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>1.667</div><div>18.333</div><div>5.156</div><div>14.844</div><div>8.646</div><div>11.354</div><div>20.000</div><div>10.312</div><div>9.688</div><div>20.000</div><div>11.979</div><div>8.021</div><div>11.790</div><div>8.210</div><div>11.601</div><div>8.399</div><div>20.000</div><div>13.267</div><div>6.733</div><div>17.878</div><div>2.122</div><div>20.000</div><div>17.078</div><div>2.922</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>13.417</div><div>6.593</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>9.755</div><div>10.245</div><div>20.000</div><div>8.955</div><div>11.045</div><div>20.000</div><div>8.955</div><div>20.000</div><div>12.188</div><div>7.812</div><div>20.000</div><div>13.855</div><div>6.145</div></div>																													
測点	<div><div>NO.0</div><div>NO.1</div><div>KA1-1</div><div>NO.2</div><div>NO.3</div><div>KE1-1</div><div>NO.4</div><div>SP1</div><div>NO.5</div><div>KE1-2</div><div>NO.6</div><div>NO.7</div><div>KA1-2</div><div>KA2-1</div><div>NO.8</div><div>NO.9</div><div>KE2-1</div><div>NO.10</div><div>SP2</div><div>NO.11</div><div>KE2-2</div><div>NO.12</div><div>NO.13</div><div>KA2-2</div><div>NO.14</div><div>KA3-1</div><div>NO.15</div><div>NO.16</div><div>KE3-1</div><div>NO.17</div><div>NO.18</div><div>NO.19</div><div>SP3</div><div>NO.20</div><div>NO.21</div><div>NO.22</div><div>KE3-2</div><div>NO.23</div><div>NO.24</div><div>KA3-2</div><div>NO.25</div><div>NO.26</div><div>NO.27</div><div>KA4-1</div><div>NO.28</div><div>NO.29</div><div>KE4-1</div><div>NO.30</div></div>																													
曲線	<div><div><div>IP1</div><div>IA=84-39-01</div><div>R=60</div><div>CL=130.312</div><div>A1=50</div><div>TL1=76.487</div><div>LC1=46.979</div><div>TL2=76.487</div></div><div><div>IP2</div><div>IA=77-37-28</div><div>R=60</div><div>CL=122.955</div><div>A2=50</div><div>TL1=69.978</div><div>LC1=39.622</div><div>TL2=69.978</div></div><div><div>IP3</div><div>IA=69-36-54</div><div>R=125</div><div>CL=191.077</div><div>A1=70</div><div>TL1=106.841</div><div>TL2=106.841</div><div>LC1=112.677</div><div>A2=70</div></div><div><div>IP4</div><div>IA=50</div><div>R=60</div><div>CL=64.077</div><div>A1=50</div><div>TL1=64.077</div></div></div>																													
片勾配	<div><div><div><div>—</div><div>左</div></div><div><div>-</div><div>右</div></div></div><div><div><div>-1.200%</div><div>-1.500%</div><div>+2.000%</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/170</div><div>1/1</div></div></div></div>																													

※ 1車線当たり拡幅量

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	縦断図(1)
縮 尺	V=1:200, H=1:1,000
図面番号	64 葉の内 2 号
平戸市建設部建設課	



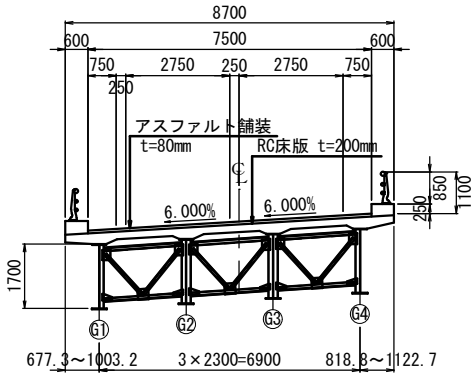
橋梁全体一般図（その１）



地質凡例

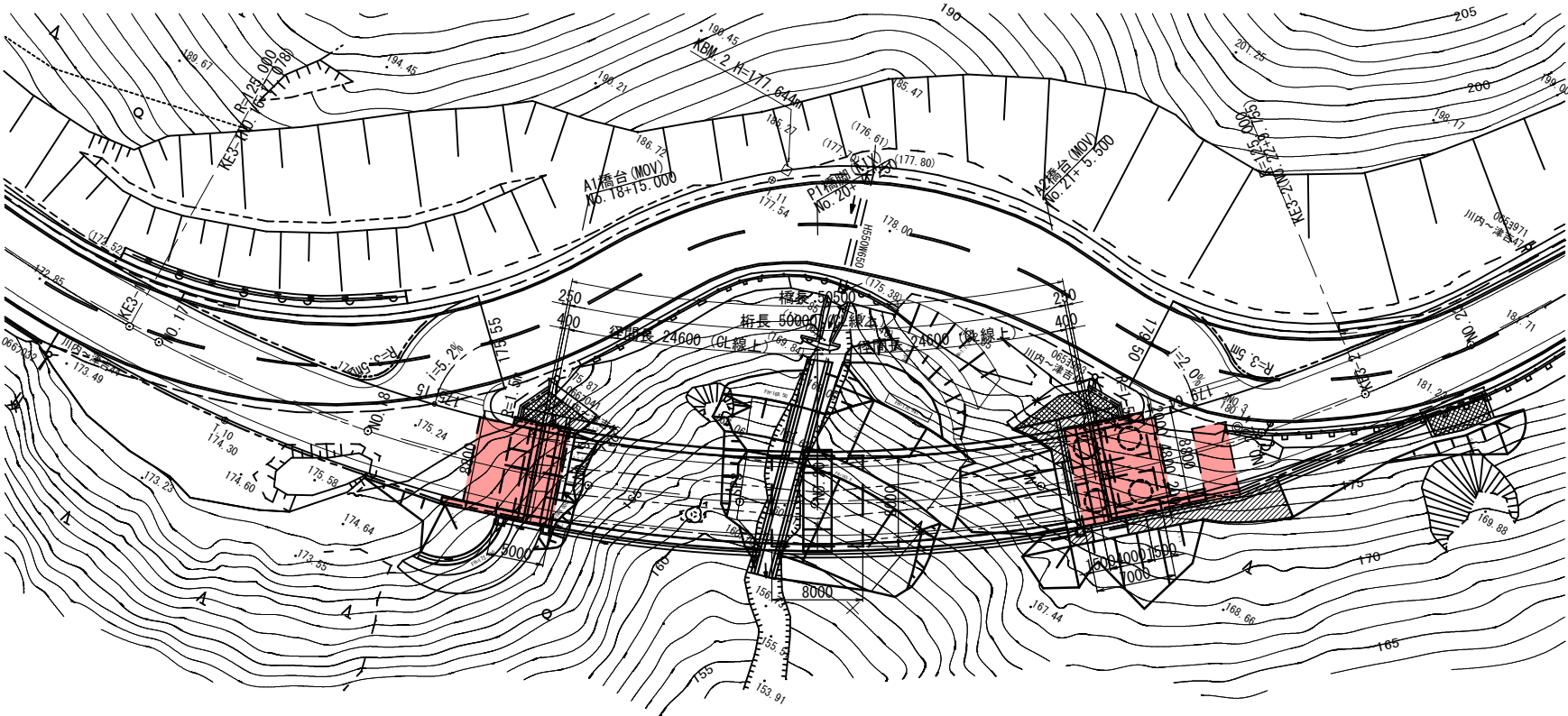
地質	記号
表土・崩積土	Sf・dt
崖錐（風化凝灰岩）	Tl
安山岩質玄武岩	Ba
凝灰岩	Tf
溶結凝灰岩（中風化～強風化）	WT1
溶結凝灰岩（弱風化～未風化）	WT2

上部工標準断面図 S=1:100



勾配	$i = 6.620\%$ $L = 140.000m$									
計画高	173.736			176.041		177.234	177.658	177.674	178.934	179.282
地盤高	173.65			175.07		161.81	163.04	172.03	180.27	180.78
追加距離	340.000		360.000	375.000		393.417	400.000	400.250	420.000	440.000
単距離	2.922		20.000	15.000		13.417	6.583	0.250	19.750	5.500
測点	NO. 17		NO. 18	+15.00		SP3	NO. 20	+0.250	NO. 21	+5.50
曲線	IP3 1A-69-36-54 R=125 CL=191.077 TL1=106.841 TL2=106.841									
片勾配	$\pm 6.000\%$									
拡幅	0.250									

平面図 S=1:300



山中橋（仮称） 設計条件

路線名	市道山中・紐差線
道路規格	第3種 第4級
設計速度	V=40km/h
橋の重要度区分	A種の橋
活荷重	B活荷重
橋長	50.500m（道路中心線上）
桁長	50.000m（道路中心線上）
支間長	24.600m+24.600m（道路中心線上）
有効幅員	0.75（路肩）+3.00×2（車道）+0.75（路肩）=7.50m
斜角	90° 0' 00"（CL上）
平面曲線	R=125.0m
縦断勾配	i=6.620% ← ~6.220% ←
横断勾配	i=6.000% ←
設計水平震度	kh=0.14（橋軸方向、橋軸直角方向）
形式	上部工 鋼2径間連続非合成I桁橋 下部工 A1・A2：逆T式橋台、P1：壁式橋脚 基礎工 A1・P1：直接基礎、A2：深礎基礎φ2000
支持層	A1：Ba層、P1：WT2層、A2：Tf層
適用示方書	道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ（平成29年11月）

年度	令和7年度
工事名	市道山中・紐差線（大越工区）道路改良工事（橋梁下部工）
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	橋梁全体一般図（その1）
縮尺	S = 1 : 300
図面番号	64 葉の内 3 号
平戸市建設部建設課	

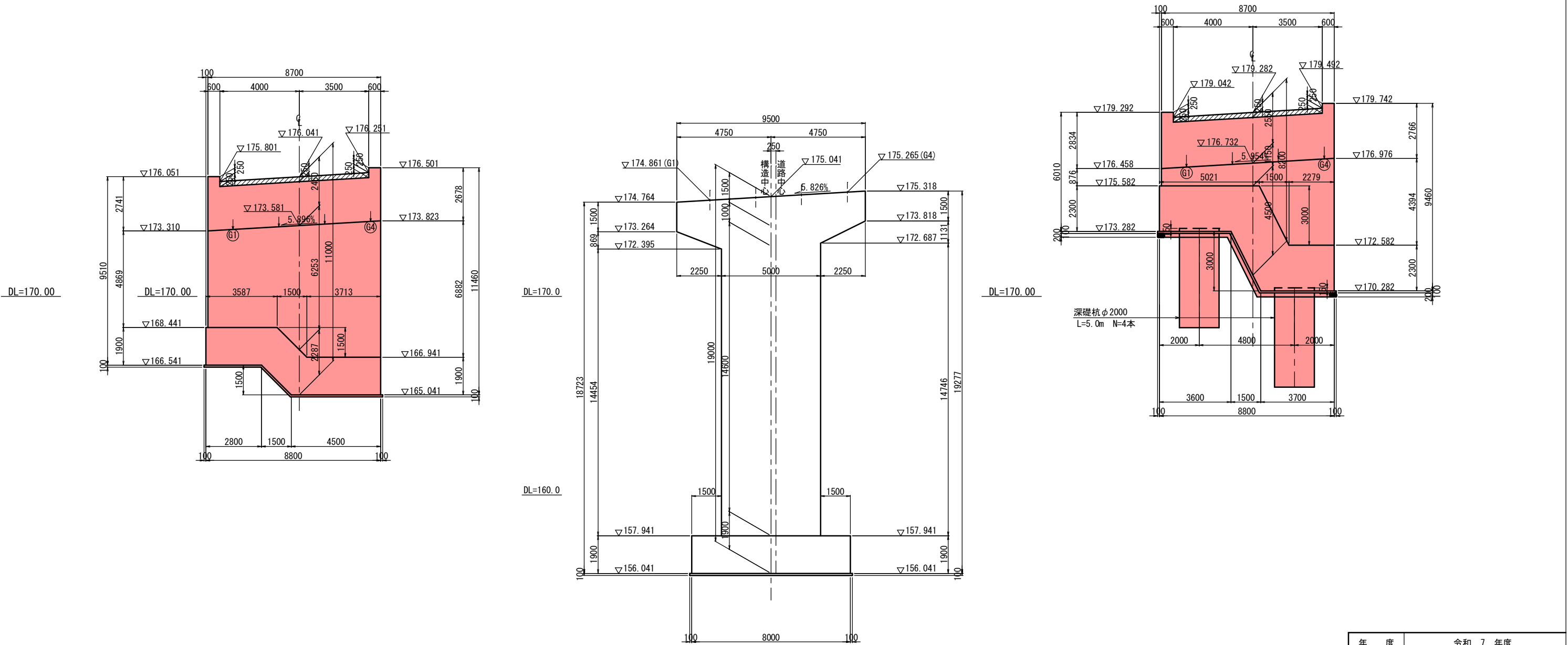
橋梁全体一般図（その2）

下部工断面図 S=1:100


A1橋台

P1橋脚

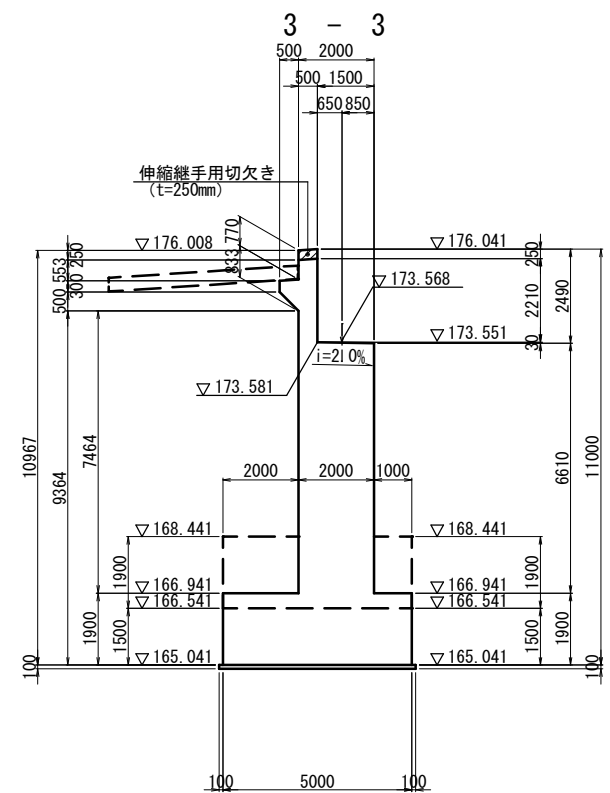
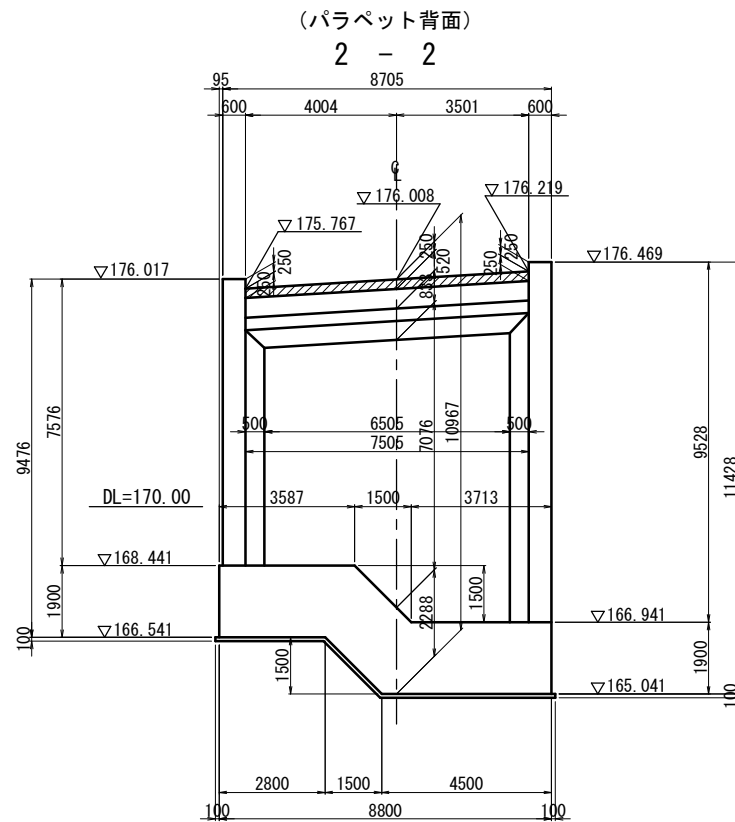
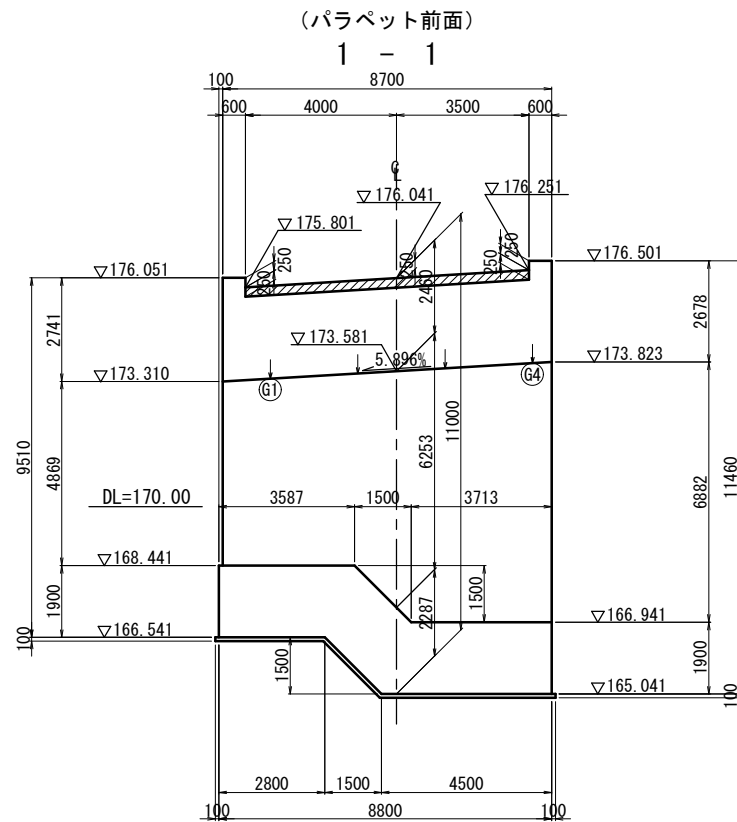
A2橋台



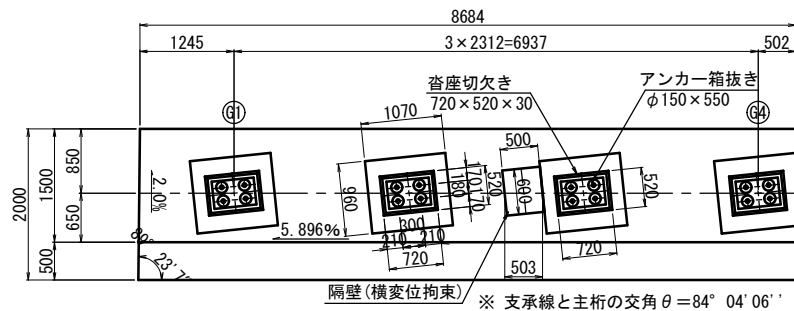
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	橋梁全体一般図(その2)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 4 号
平戸市建設部建設課	

 は、上部工施工を示す。

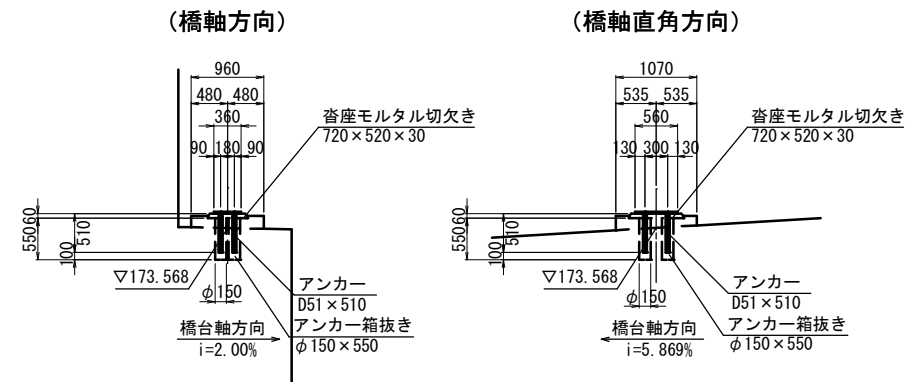
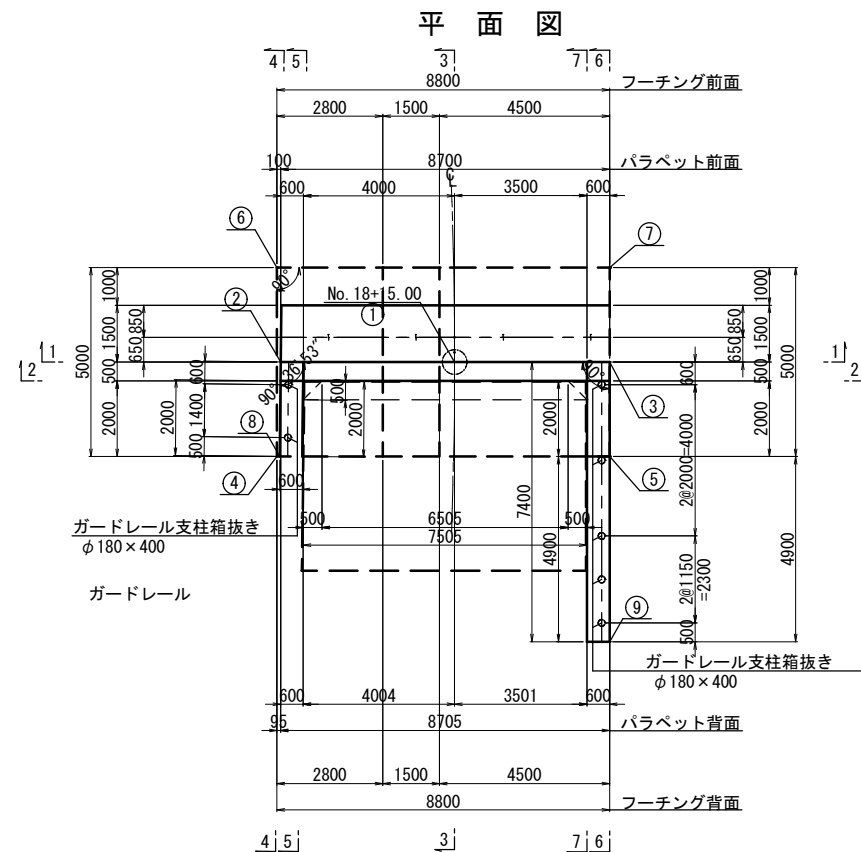
A 1 橋台構造一般図 (その 1) S=1:100



橋 座 詳 細 図 S=1:50

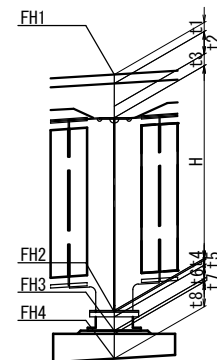


橋座箱抜き・切欠き詳細図 S=1:50



## 下部工構造高表

		A1橋台 (S1支承销)			
		G1	G2	G3	G4
路面計画高	FH1	175.884	176.022	176.160	176.542
鋪装厚	t1	0.080	0.080	0.080	-
地覆厚	t1'	-	-	-	0.324
床版厚	t2	0.200	0.200	0.200	0.200
ハンチ高	t3	0.110	0.110	0.110	0.110
桁高 (上FLG上～WEB下)	H	1.700	1.700	1.700	1.700
下FLG厚	t4	0.020	0.013	0.014	0.025
桁下面高	FH2	173.774	173.919	174.056	174.183
SOLE. PL厚	t5	0.044	0.044	0.044	0.043
支承厚	t6	0.179	0.179	0.179	0.179
支承下面高	FH3	173.551	173.696	173.833	173.961
沓座モルタル厚	t7	0.030	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	t8	0.150	0.159	0.159	0.151
下部工天端高	FH4	173.371	173.507	173.644	173.780
沓座横断勾配			5.896%		



## 使用材料

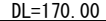
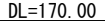
鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋材質	SD345

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯峨線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台構造一般図(その 1)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 5 号
平戸市建設部建設課	

下部工座標 (A1橋台)

No.	X 座標	Y 座標
①	35912.7245	-972.2697
②	35908.9839	-969.5924
③	35916.0585	-974.6560
④	35910.3576	-967.5013
⑤	35917.5136	-972.6231
⑥	35907.4475	-971.5671
⑦	35914.6035	-976.6889
⑧	35910.4171	-967.5438
⑨	35920.3655	-968.6385

A 1 橋台構造一般図 (その2) S=1:100



車両用防護柵詳細図 S=1:20



横変位拘束構造詳細図 S=1:50

※横変位拘束構造は鉄筋の組立は下部工施工時  
コンクリートの打設は上部工施工時に行う。

側面図



正面图



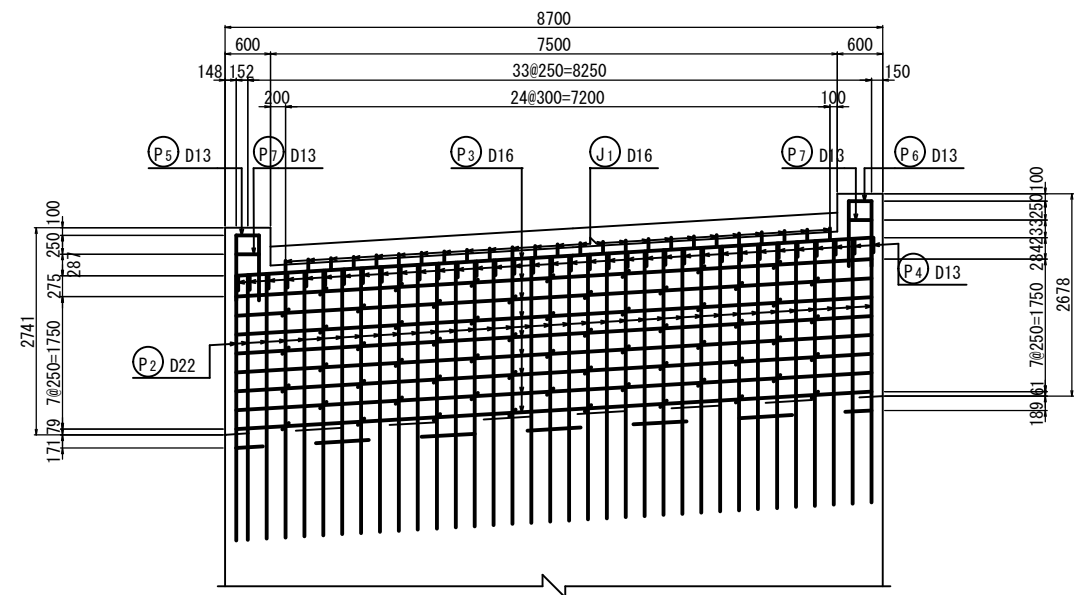
## 使用材料

鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋材質	SD345

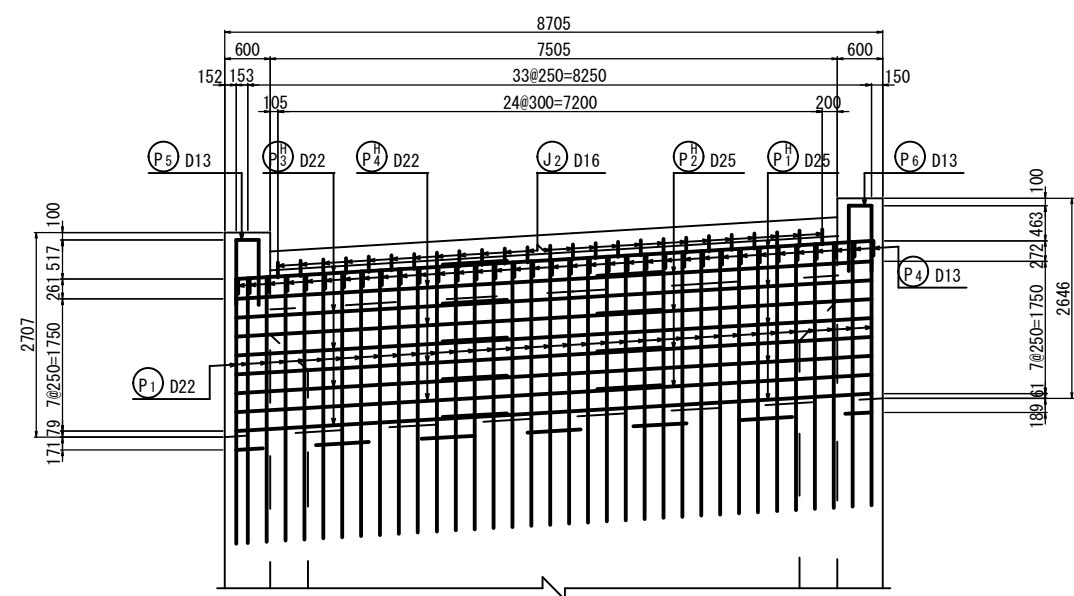
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・稲差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台構造一般図 (その 2)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 6 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図（その 1） S=1:50

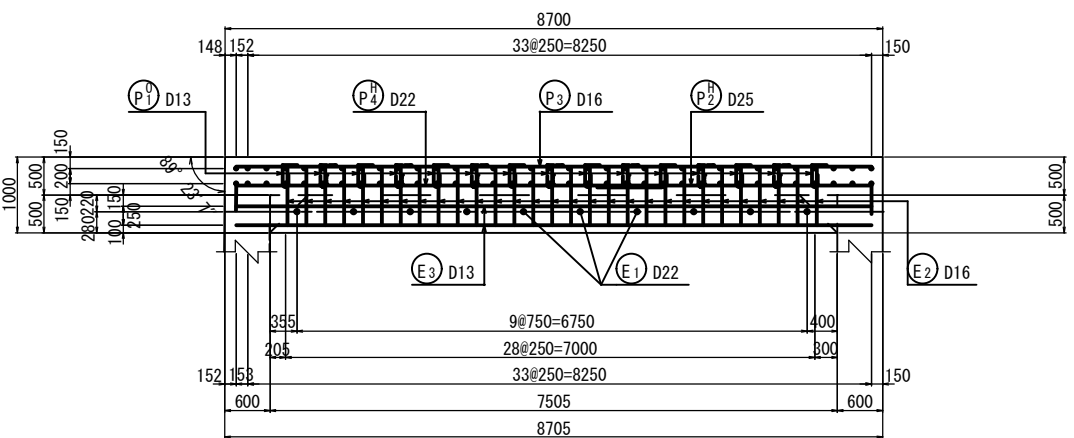
胸壁正面図(1-1)



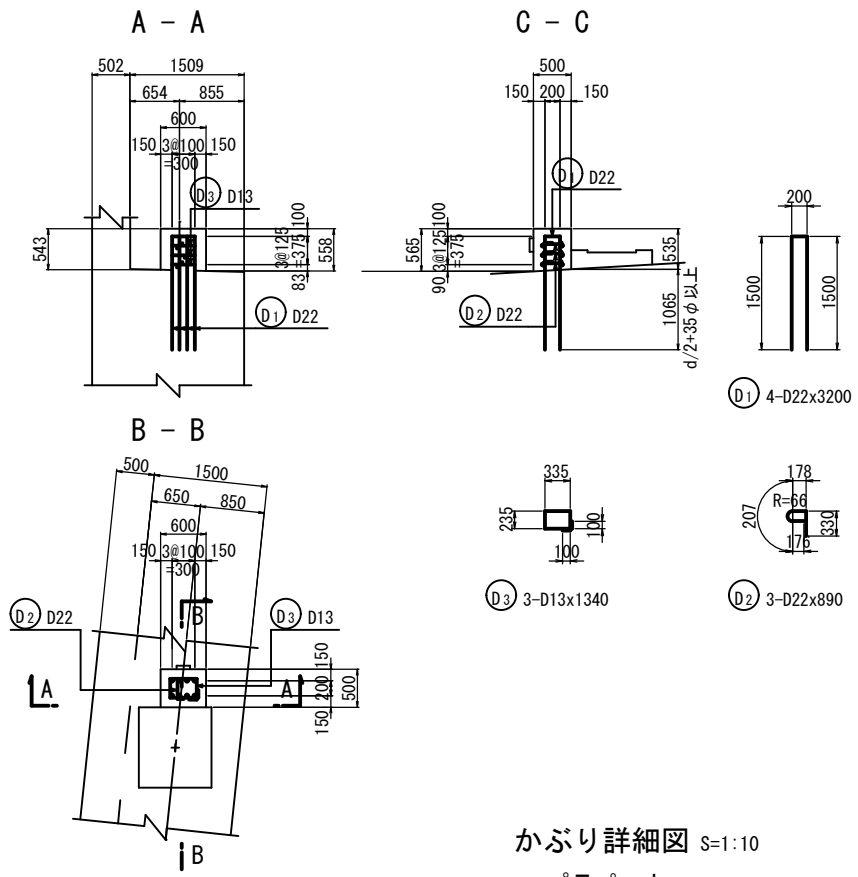
胸壁背面図(2-2)



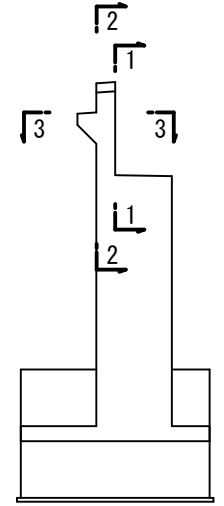
胸壁断面図(3-3)



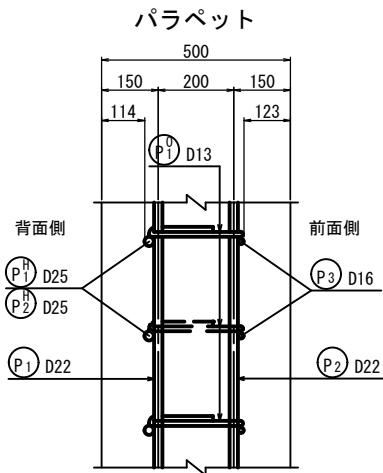
横変位拘束壁配筋図



位置図

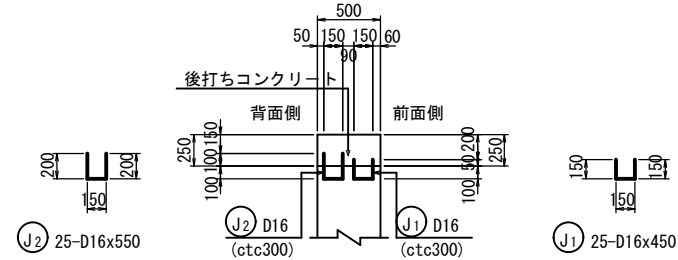


かぶり詳細図 S=1:10



※ せん断補強鉄筋は、半円形フックを背面側に配置する。  
※ せん断補強鉄筋は、主鉄筋にフックをかけるものとする。

伸縮装置アンカー筋埋込図 S=1:30

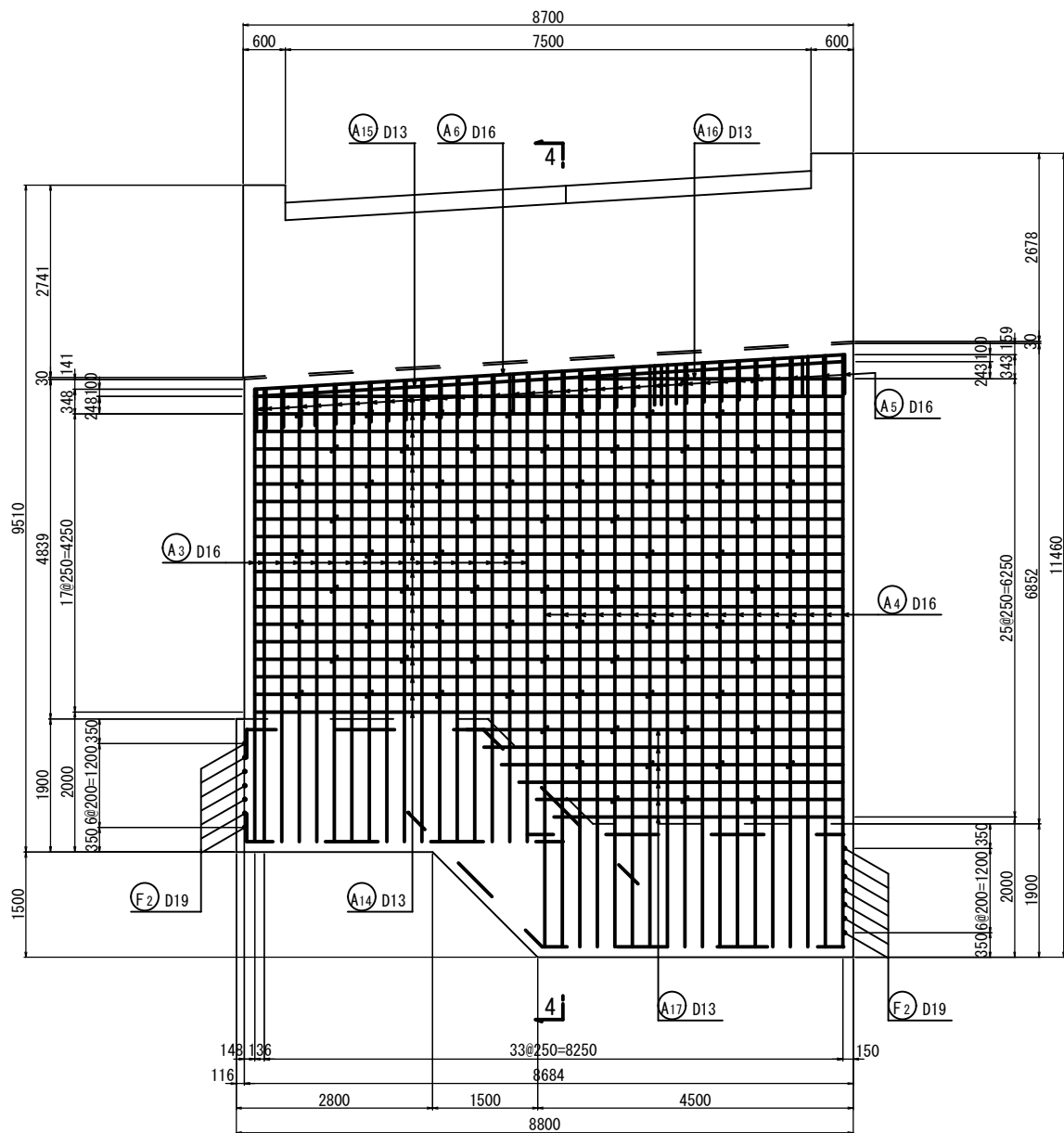


※ 伸縮装置詳細図を参照の事。

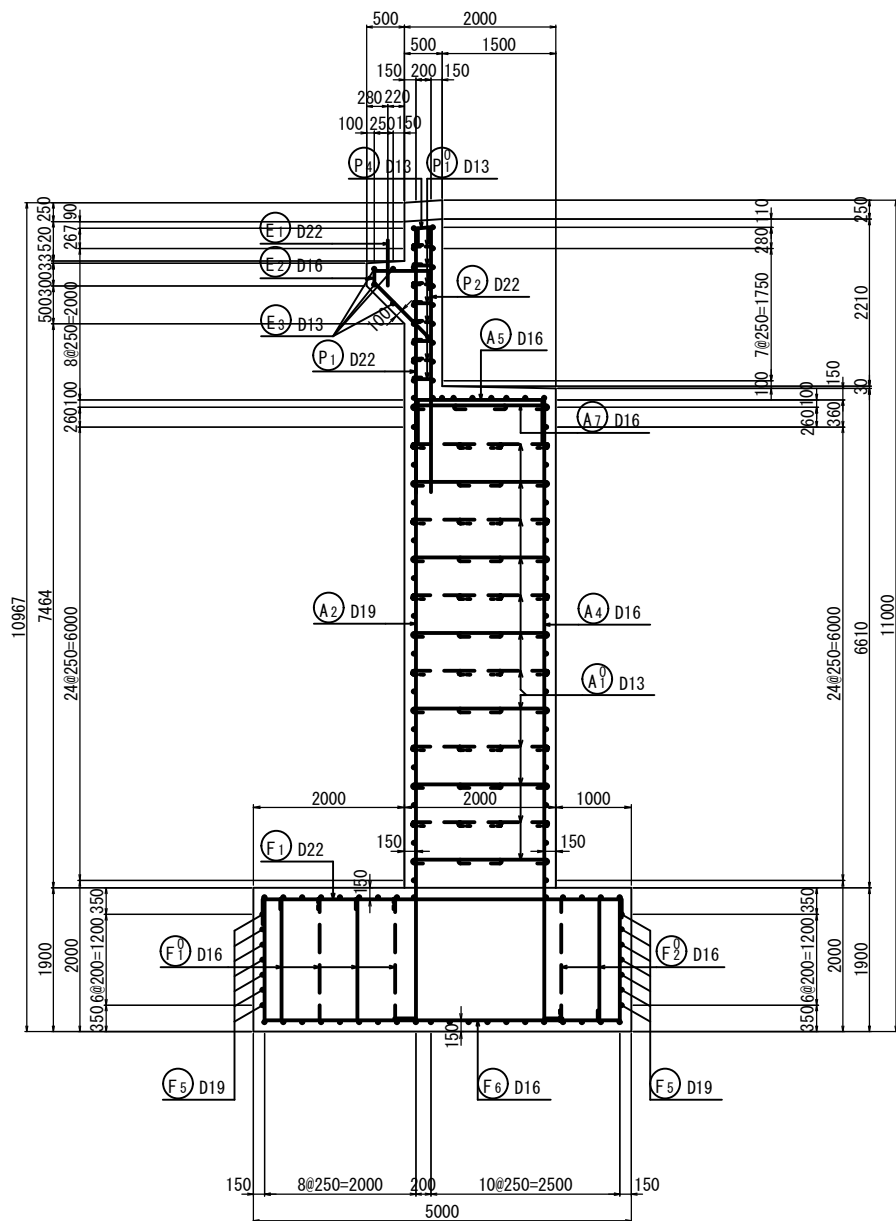
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 1)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 7 号

A 1 橋台配筋図（その 2） S=1:50

たて壁正面図(1-1)

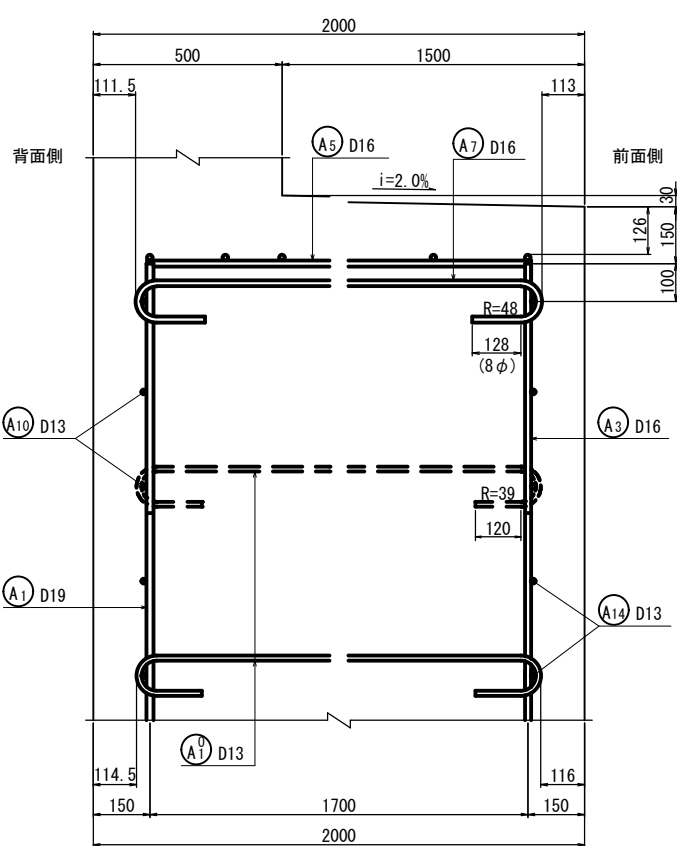


断面図(4-4)



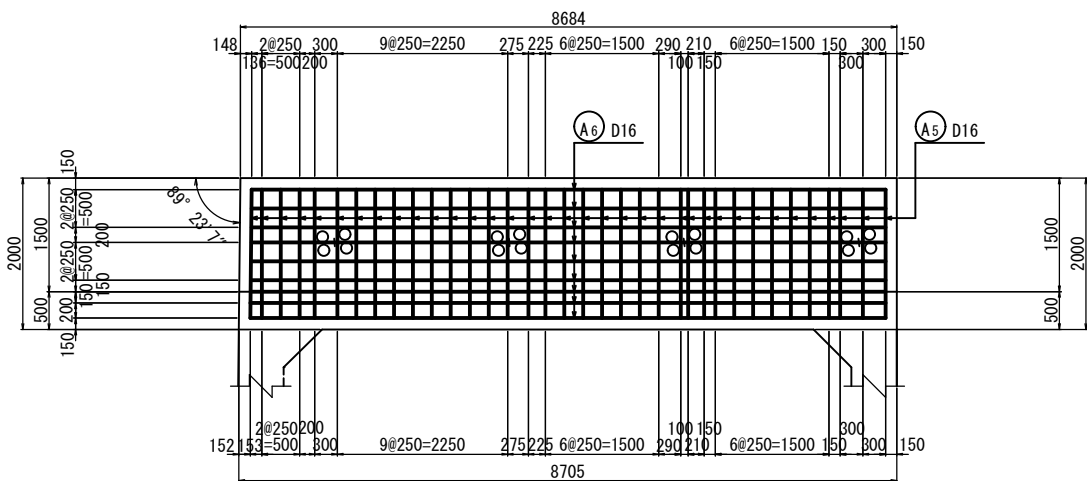
かぶり詳細図 S=1:10

豎壁部

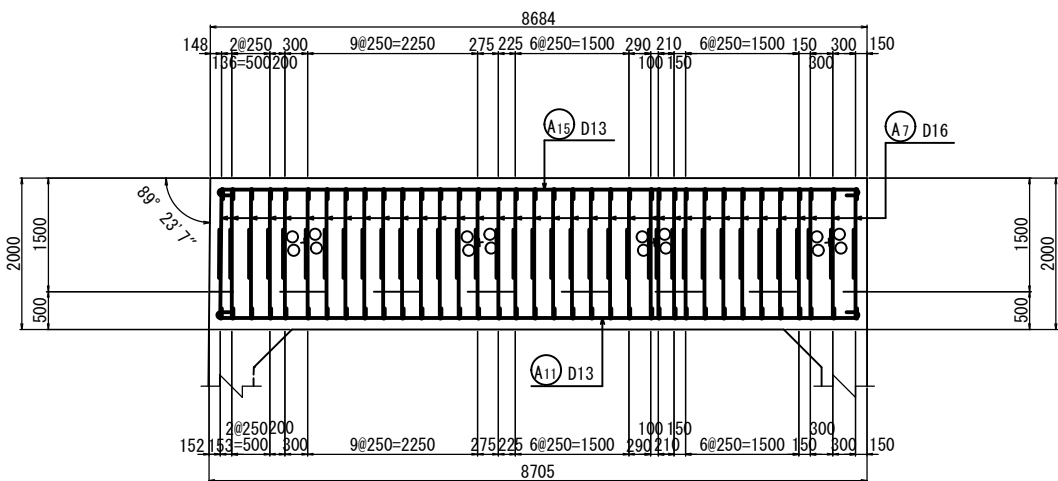


※ 中間帯鉄筋は、半円形フックを豎壁配筋筋にフックを掛けるものとする。

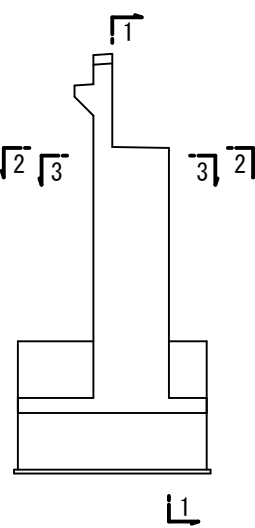
橋座面平面図(2-2)



水平補強筋平面図(3-3)



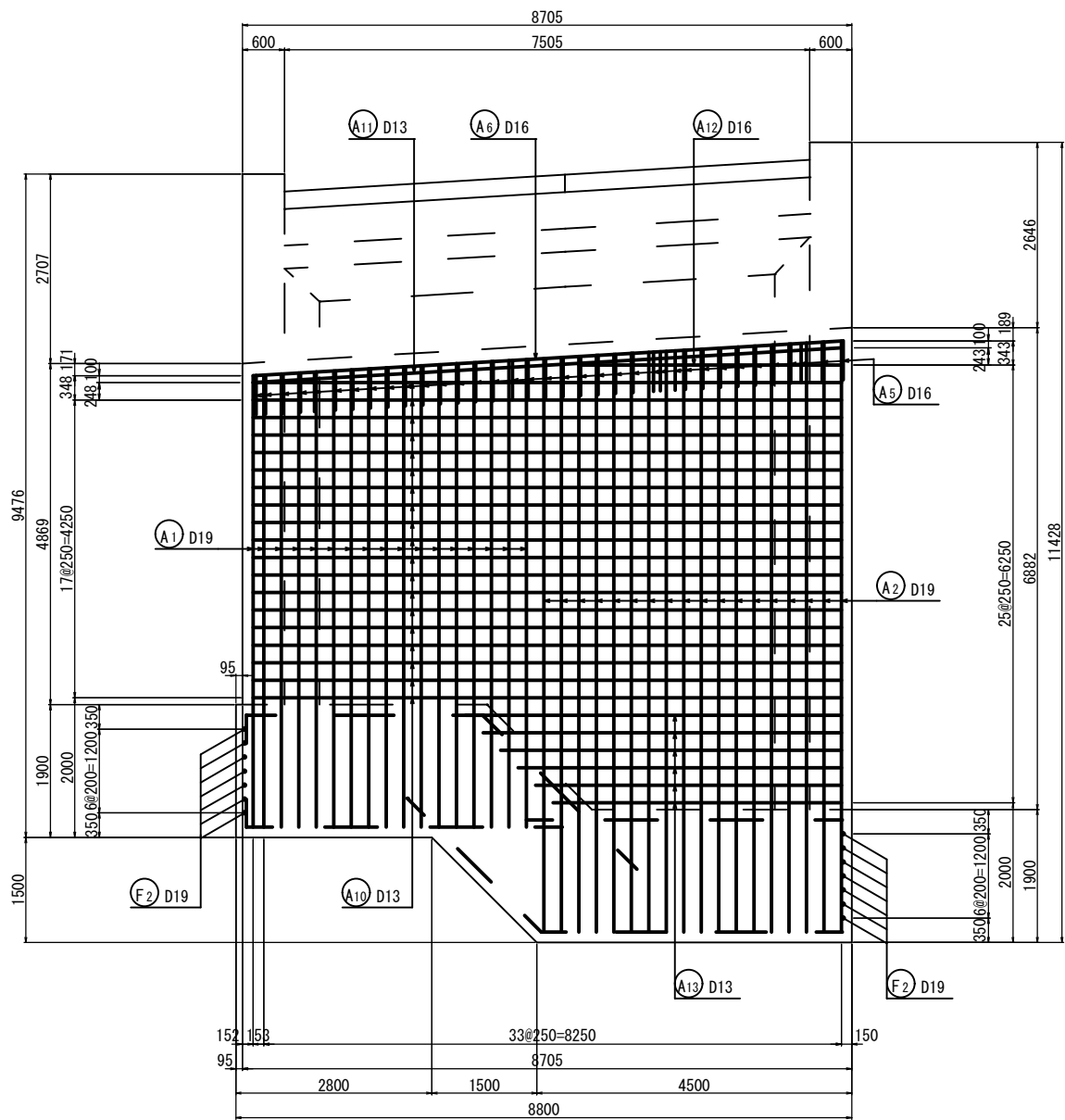
位置図



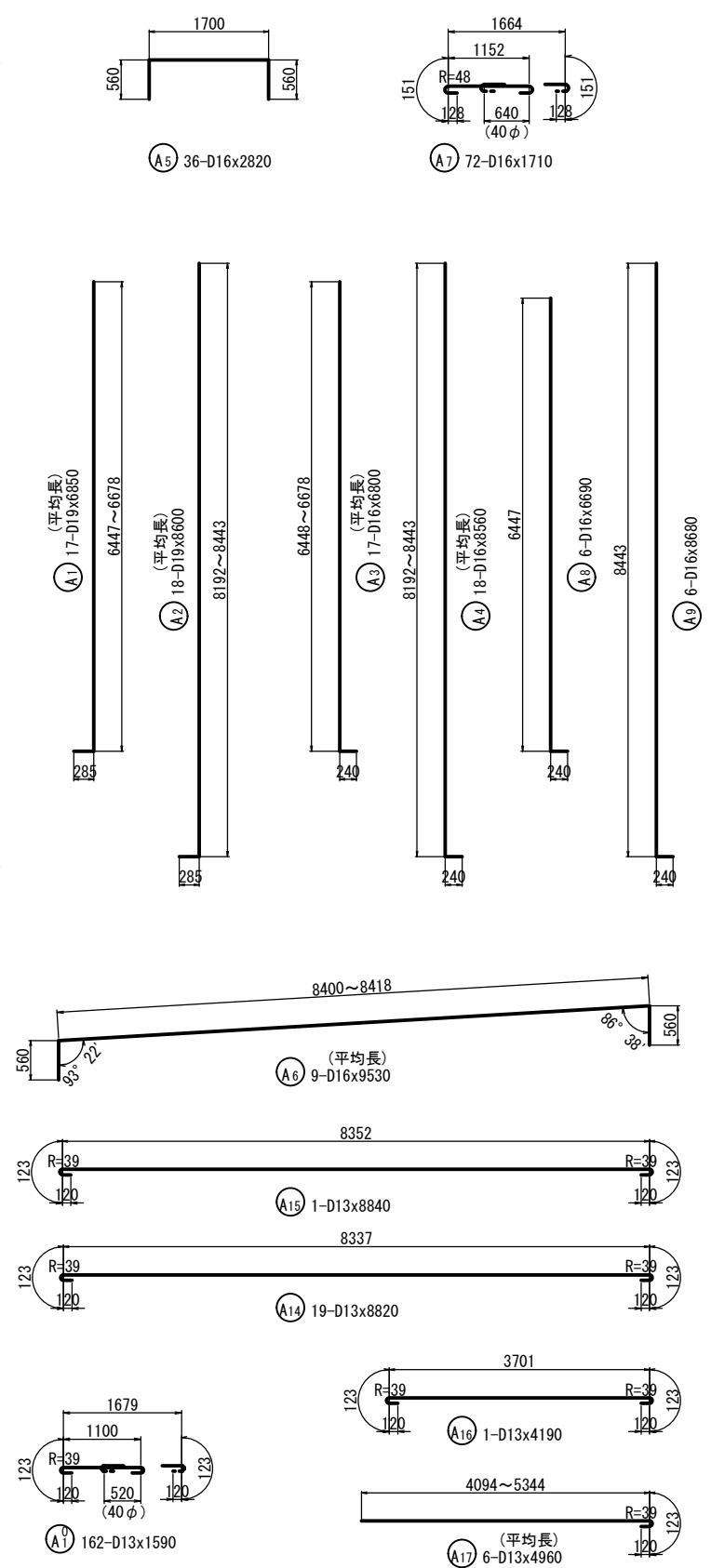
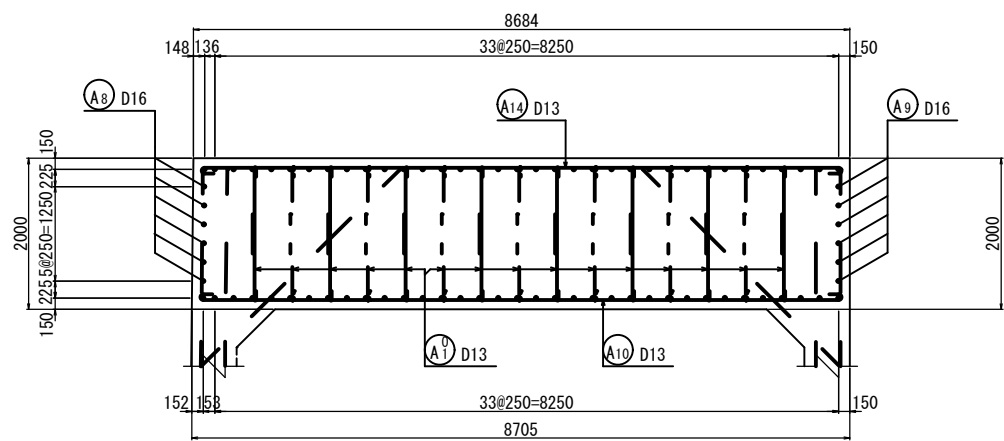
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図(その 2)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 8 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図（その 3） S=1:50

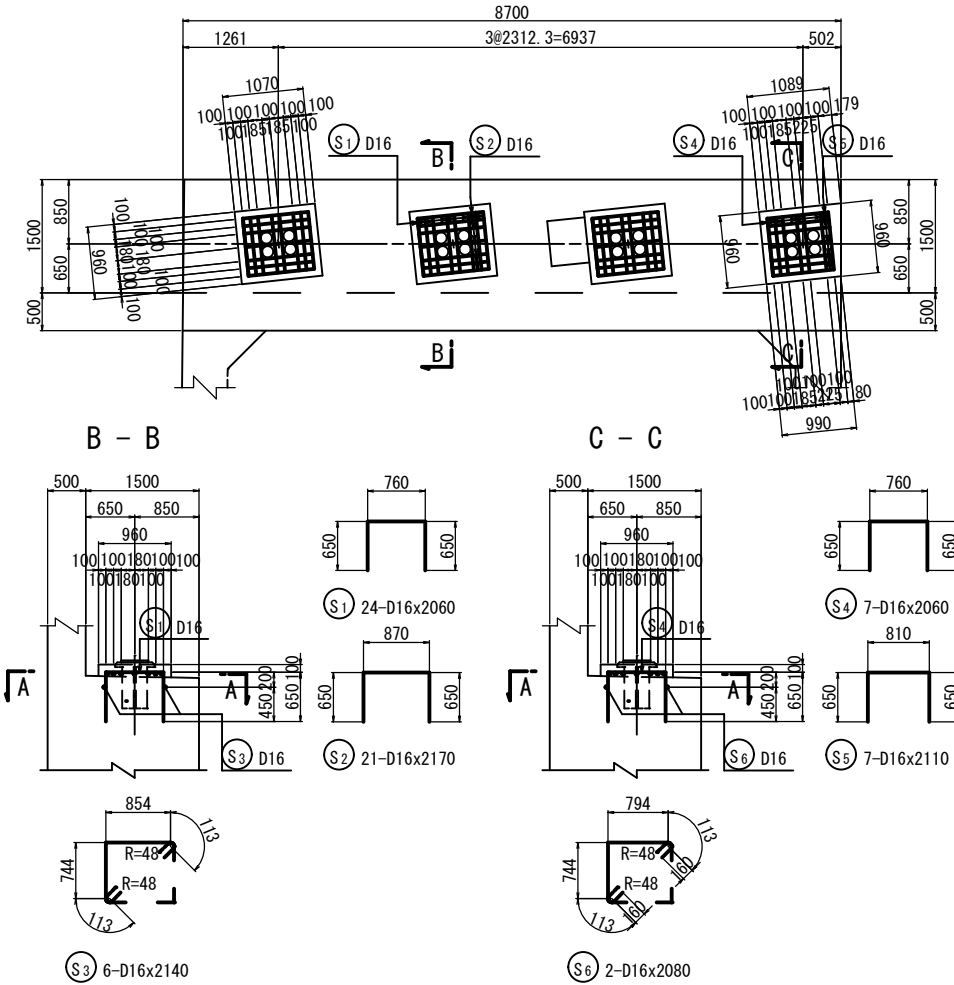
たて壁背面図(1-1)



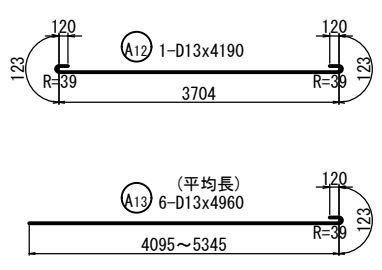
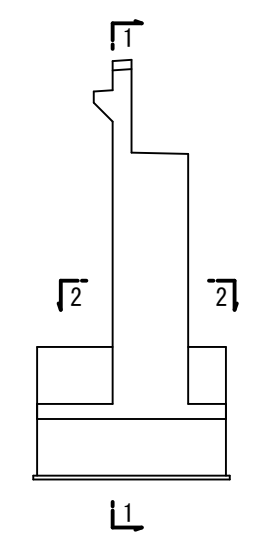
たて壁断面図(2-2)



沓座配筋図  
A - A



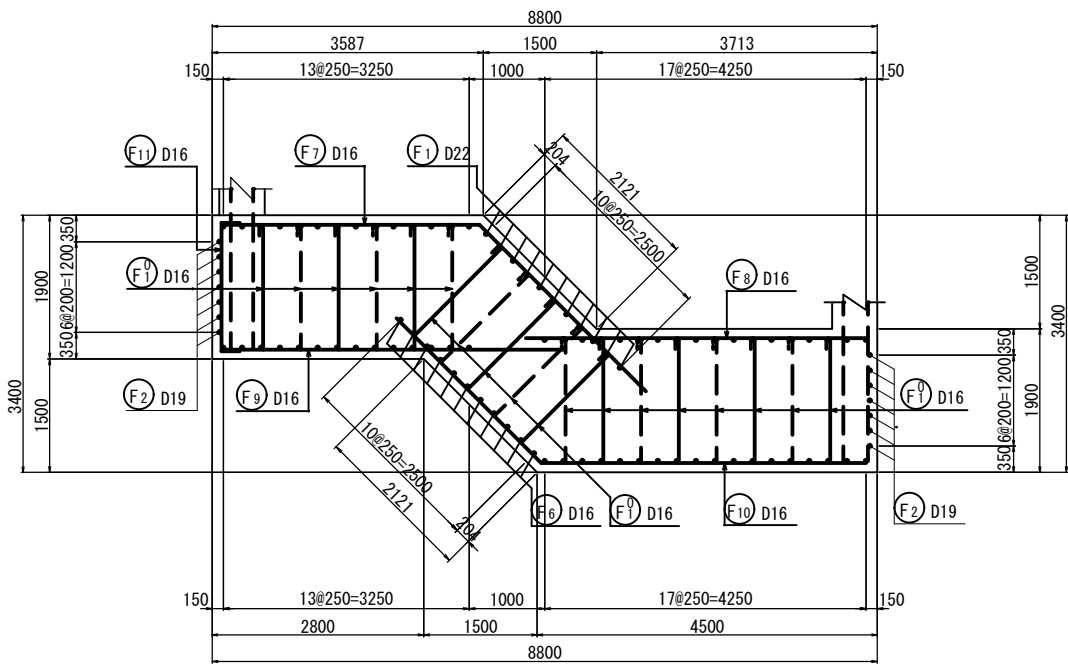
位置図



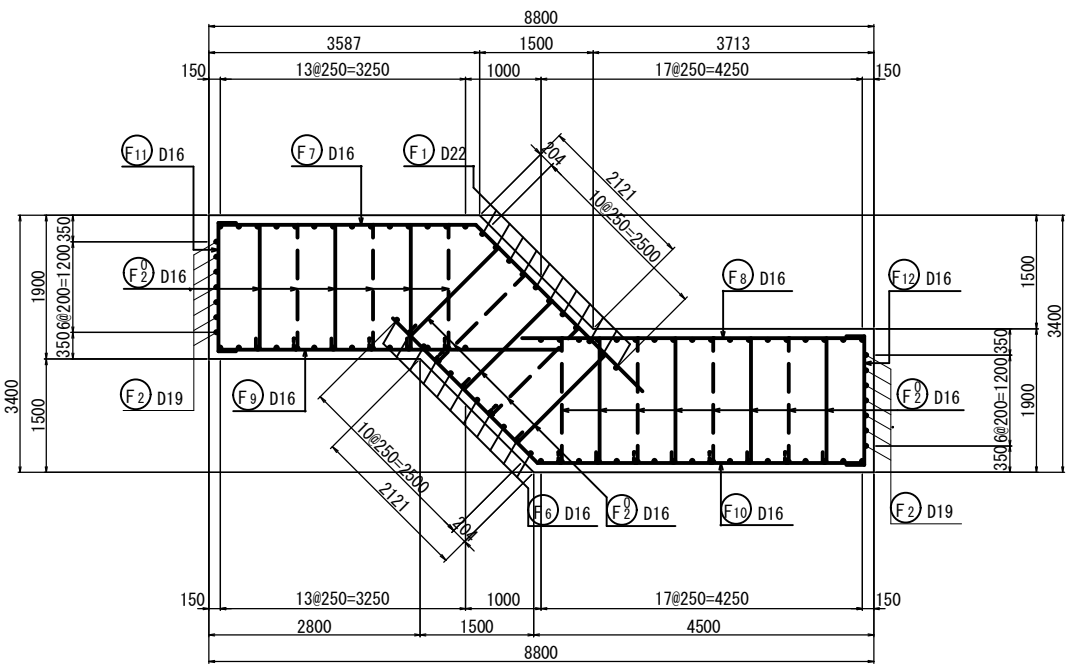
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 3)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 9 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図（その 4） S=1:50

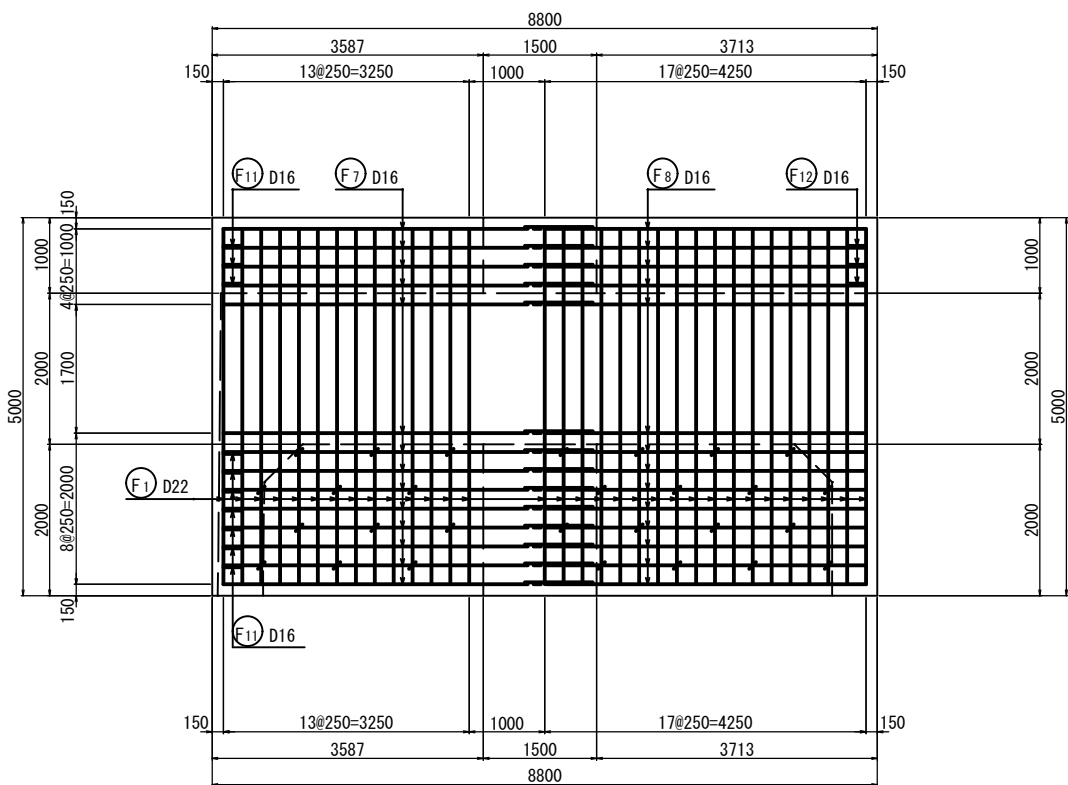
底版後趾断面図(1-1)



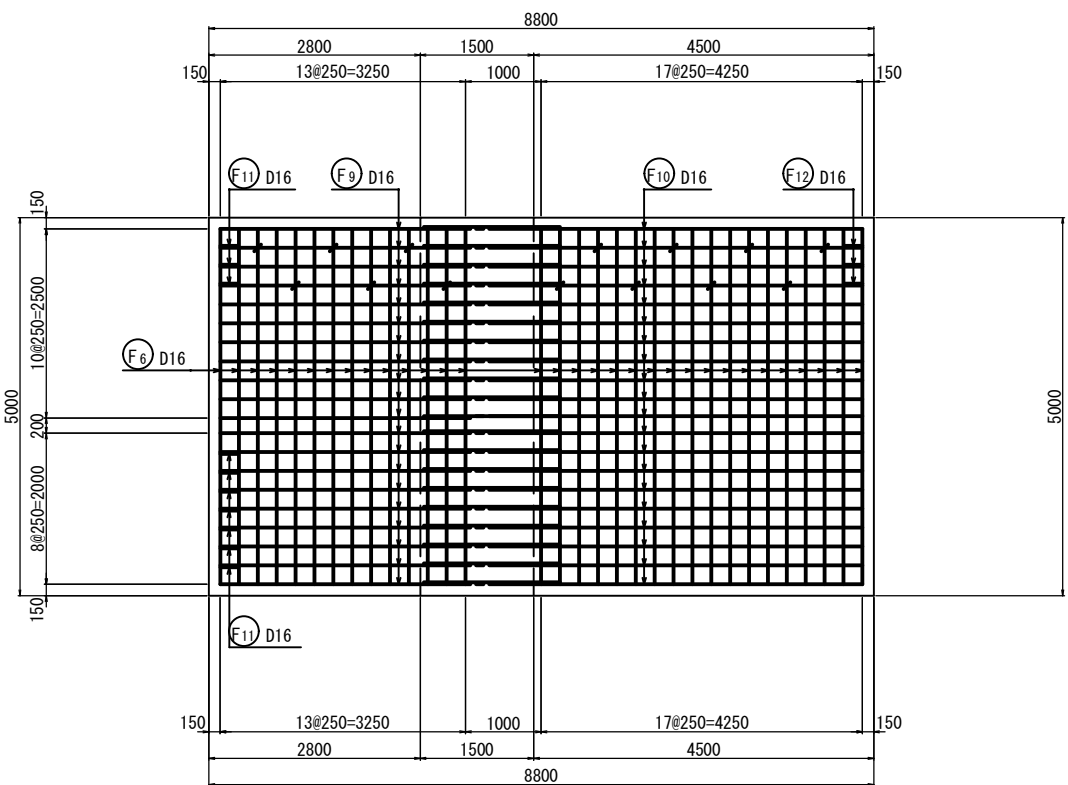
底版前趾断面図(2-2)



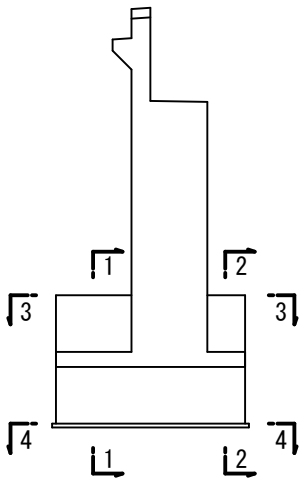
底版上面図(3-3)



底版下面図(4-4)



位置図

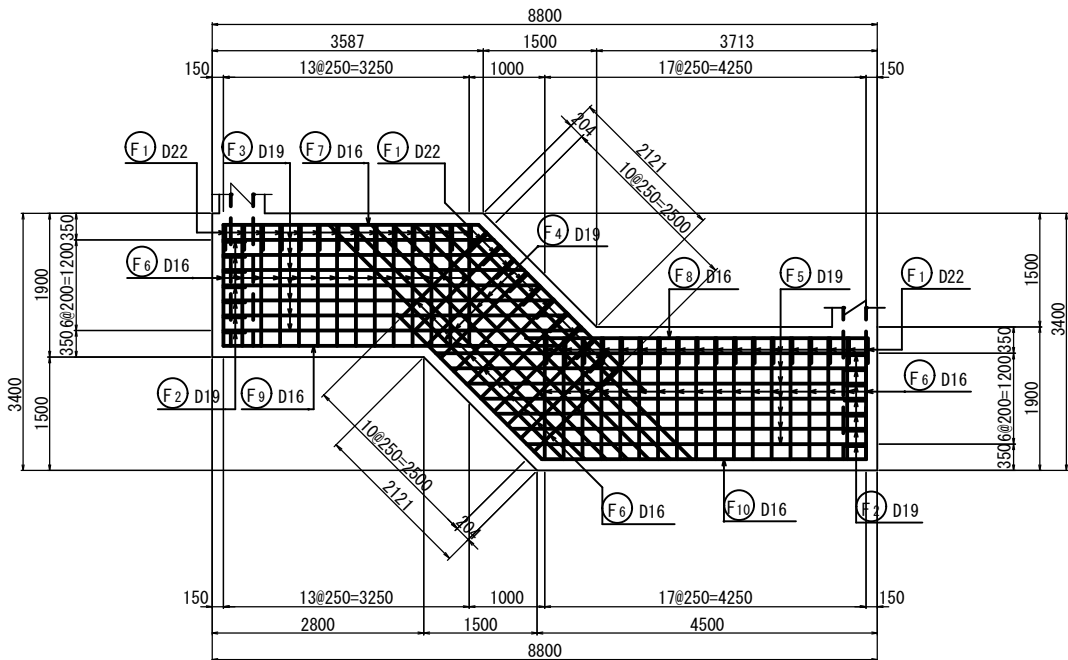


年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 4)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 10 号
平戸市建設部建設課	

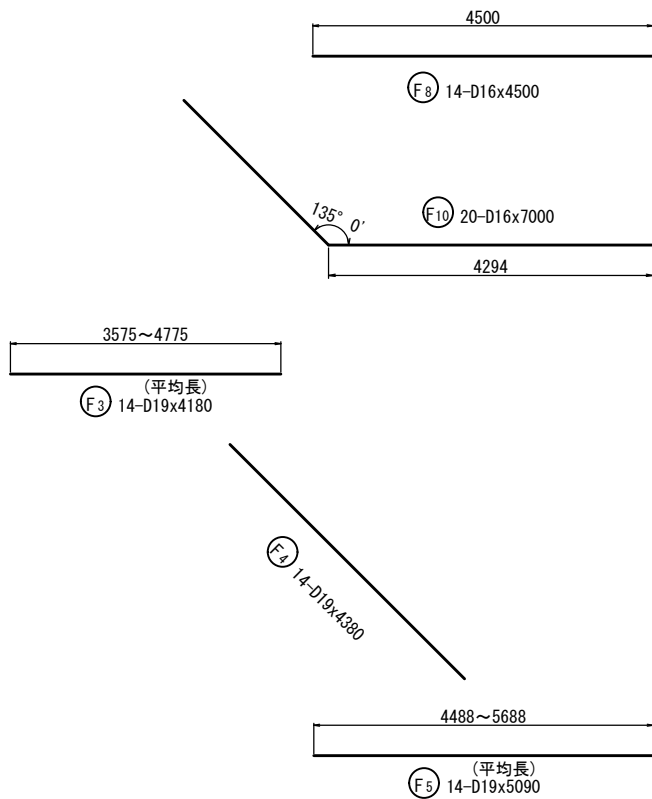
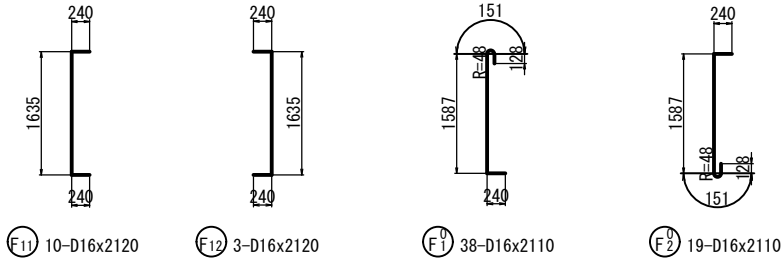
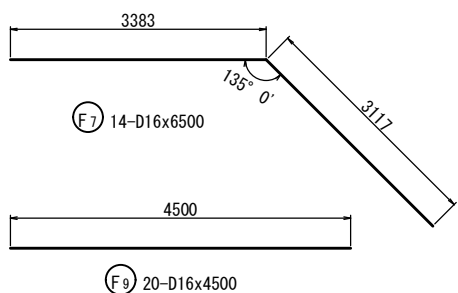
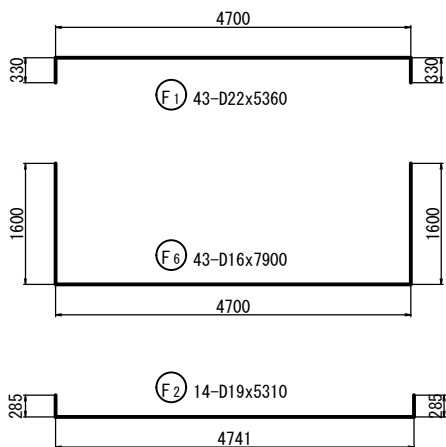
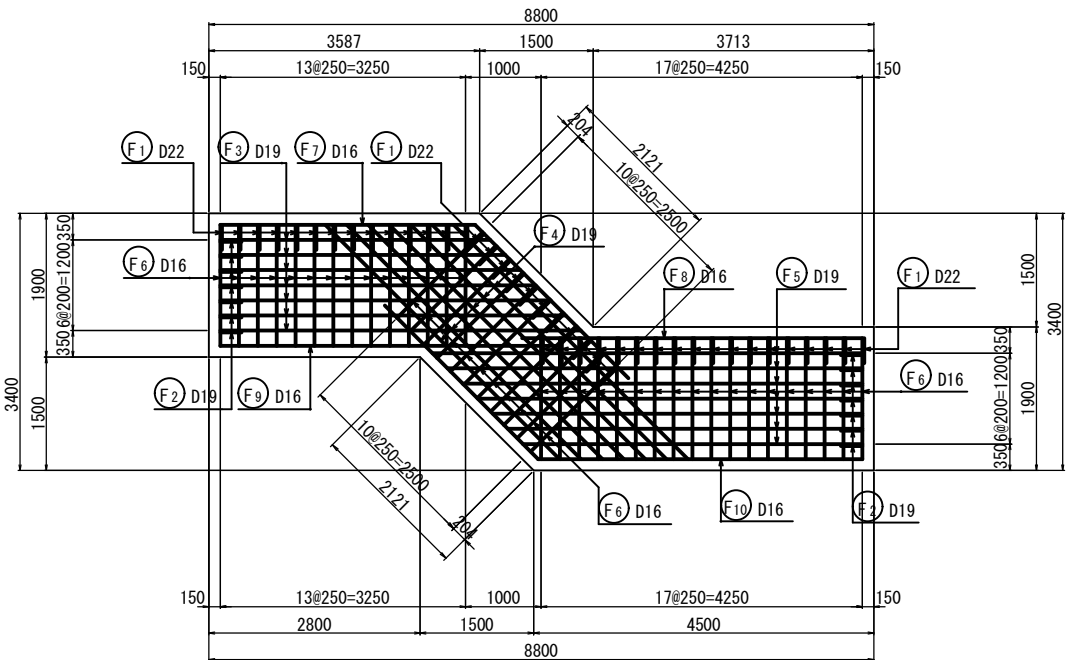


A 1 橋台配筋図（その 5） S=1:50

底版後趾側面図(1-1)

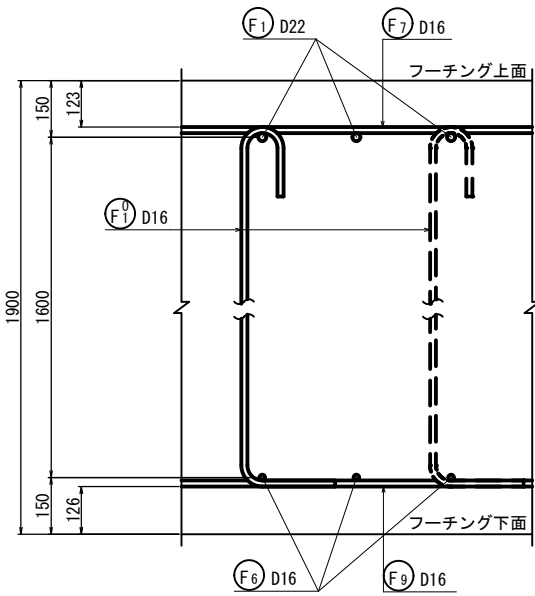


底版前趾側面図(2-2)

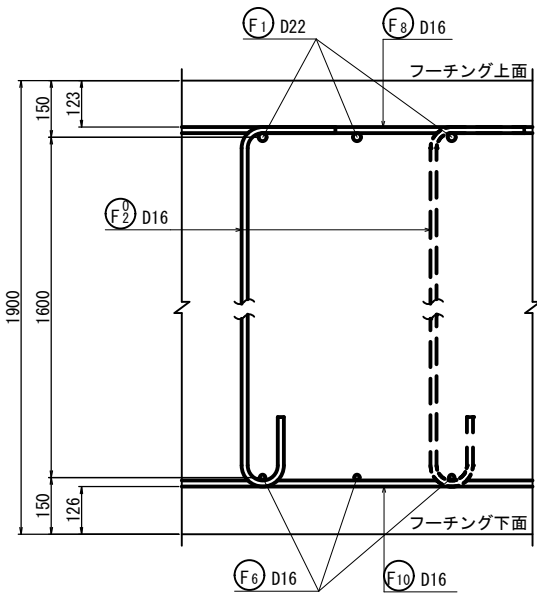


かぶり詳細図 S=1:10  
橋軸直角方向

後フーチング



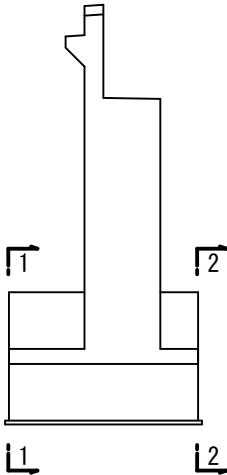
前フーチング



※ セン断補強筋 (F13) は、上面側主鉄筋に半円形フックをかけること。

※ セン断補強筋 (F14) は、下面側主鉄筋に半円形フックをかけること。

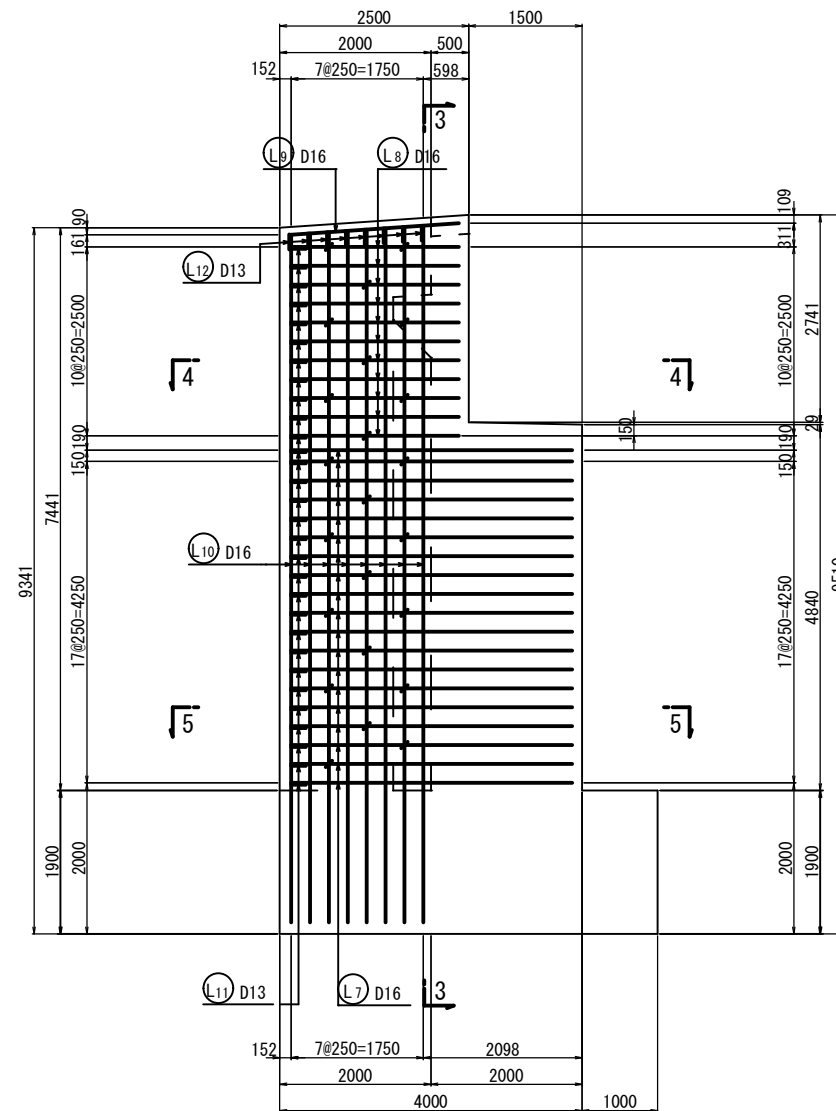
位置図



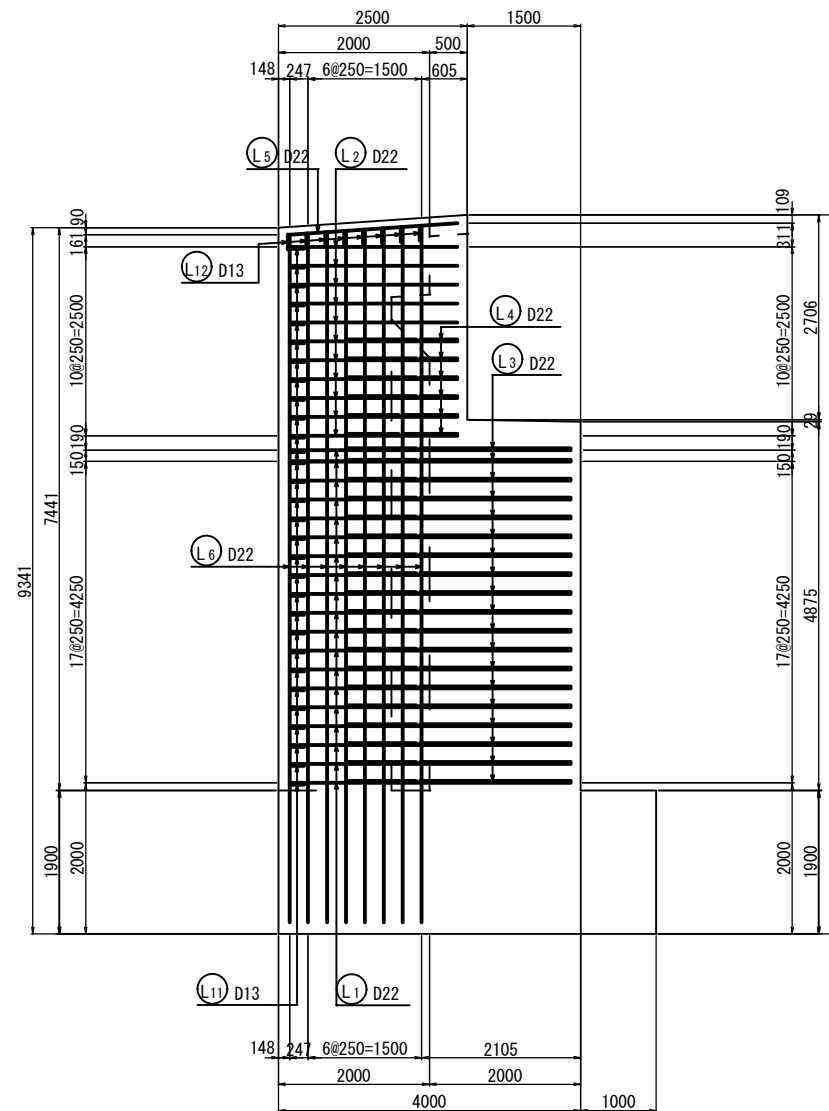
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 5)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 11 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図 (その6) S=1:50

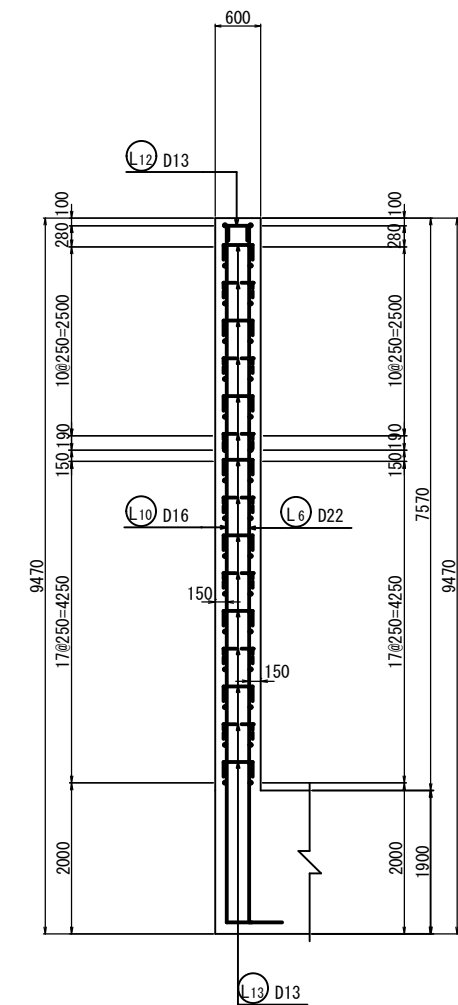
ウイング外面図(1-1)



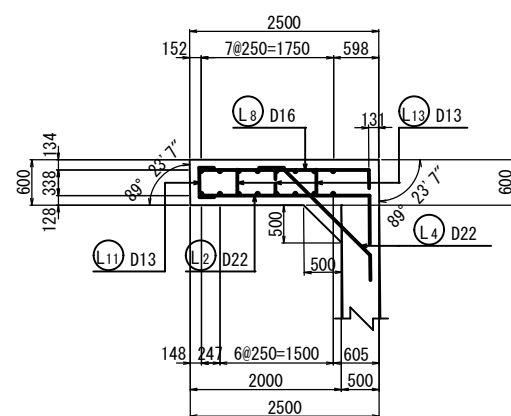
ウイング内面図(2-2)



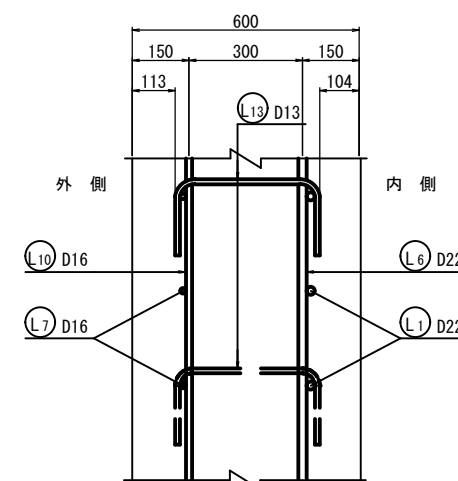
断面図(3-3)



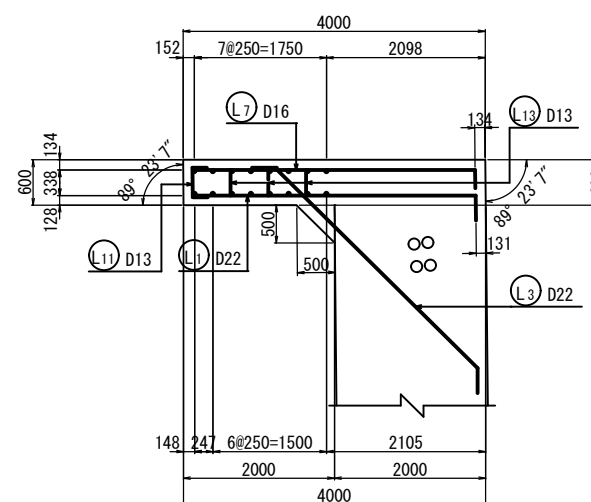
断面图(4-4)



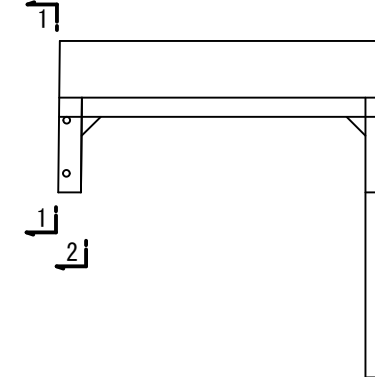
かぶり詳細図 S=1:10  
左側翼壁



断面図(5-5)



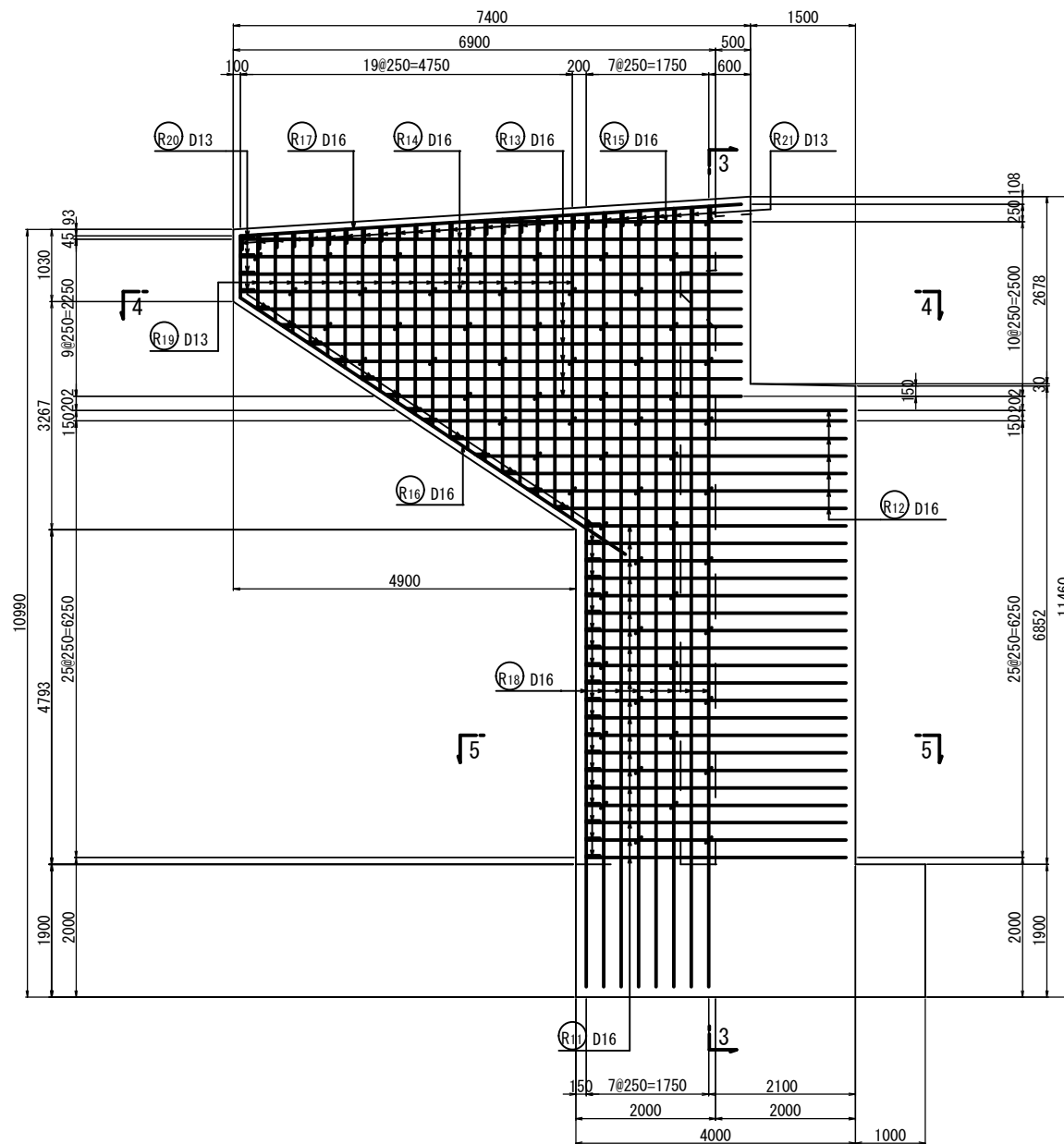
## 2. 位置図



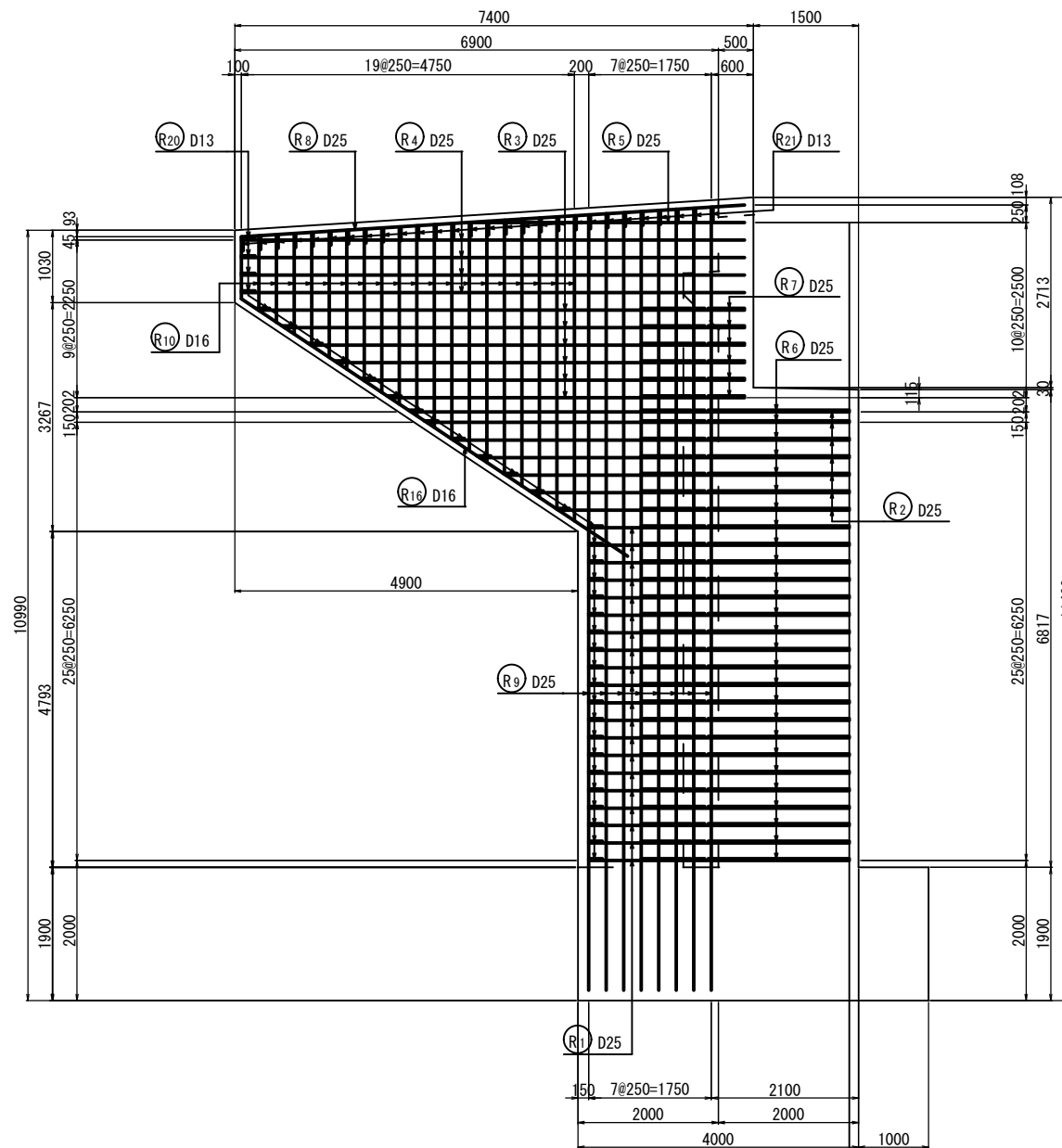
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その6)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 12 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図 (その7) S=1:50

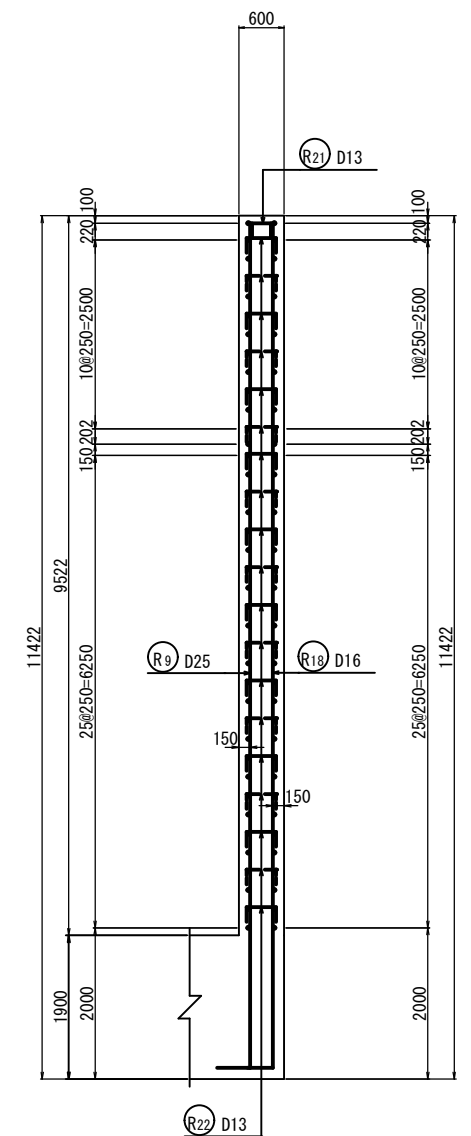
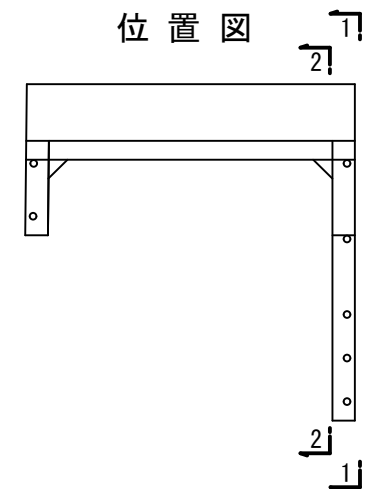
ウイング外面図(1-1)



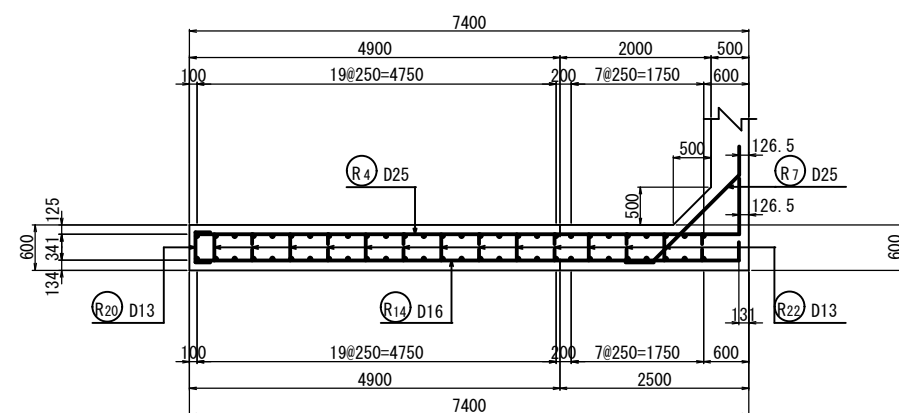
ウイング内面図(2-2)



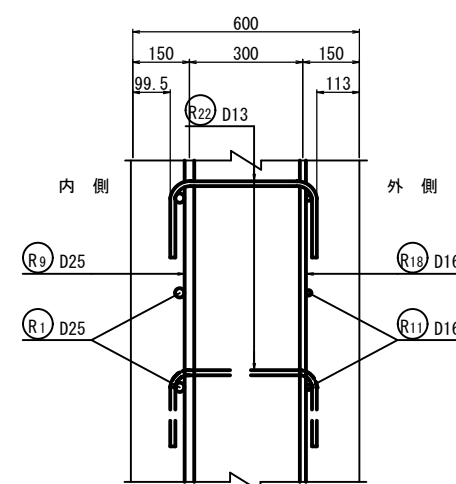
断面図(3-3)

位置図 

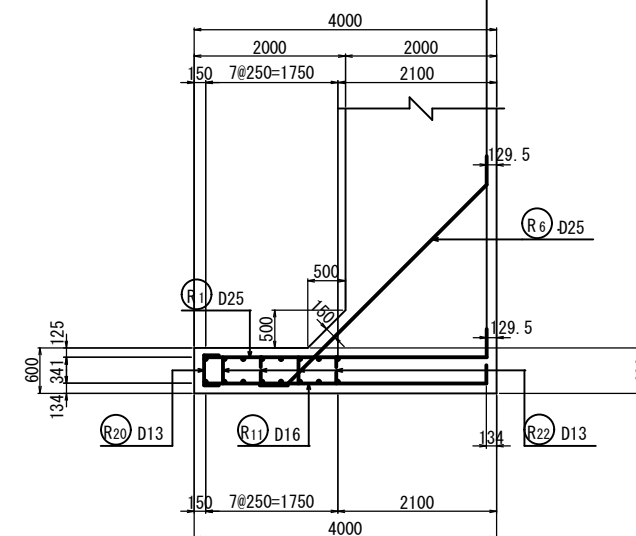
断面图(4-4)



かぶり詳細図 S=1:10  
右側翼壁

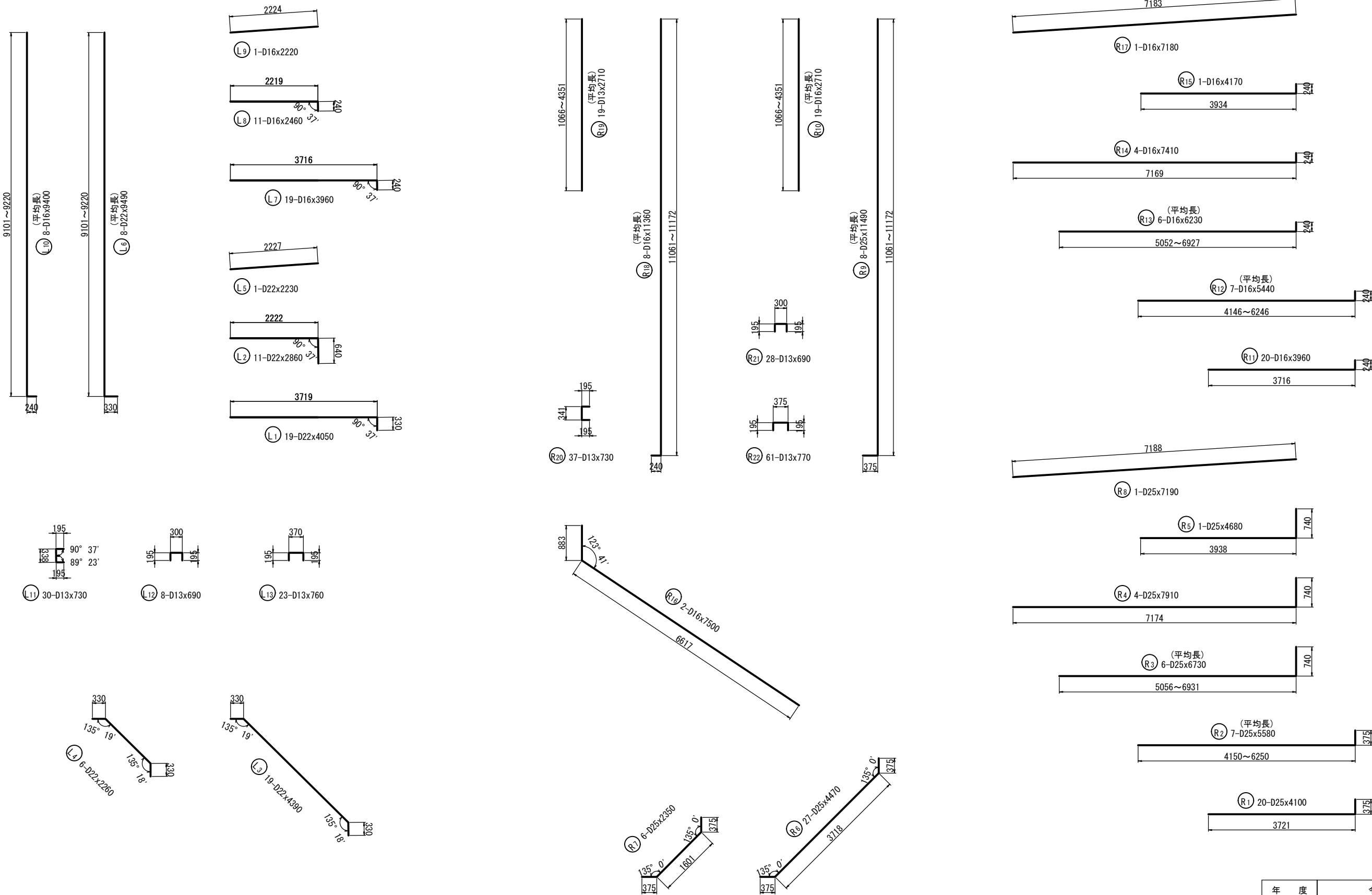


断面図(5-5)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 7)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 13 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図（その 8） S=1:50



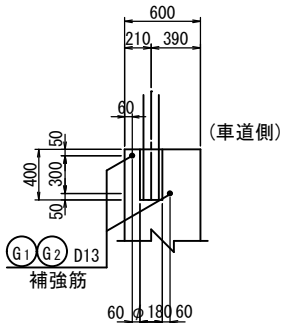
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 8)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 14 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台配筋図 (その9)

防護柵ポスト孔補強筋(参考図) S=1:30

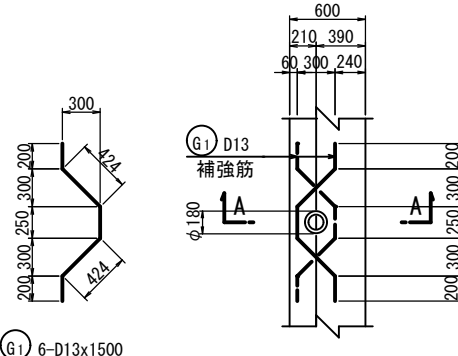
(車道部)

A - A



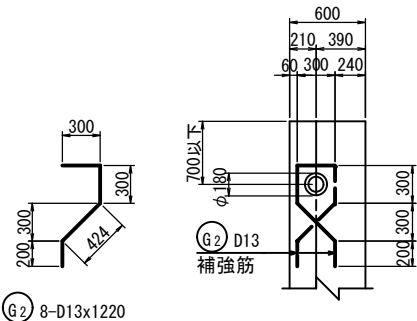
## 標準部

(3箇所)



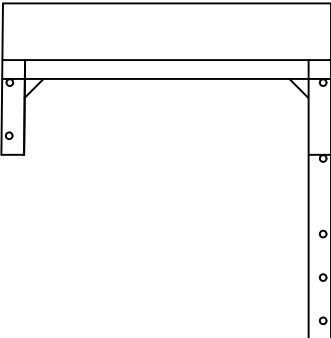
## 端 部

(4箇所)



※ ポスト孔補強筋の端部、標準部箇所数は、構造図参照。

## 位置図



## 鉄筋表

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
A 13	D13	4960	6	0.995	4.94	30	↔ 平均長
14	〃	8820	19	〃	8.78	167	↔
15	〃	8840	1	〃	8.80	9	↔
16	〃	4190	1	〃	4.17	4	↔
17	〃	4960	6	〃	4.94	30	↔ 平均長
						2078	kg
A <sup>0</sup>	D13	1590	162	0.995	1.58	256	↔
						256	kg
S 1	D16	2060	24	1.56	3.21	77	┌┐
2	〃	2170	21	〃	3.39	71	┌┐
3	〃	2140	6	〃	3.34	20	┌┐
4	〃	2060	7	〃	3.21	22	┌┐
5	〃	2110	7	〃	3.29	23	┌┐
6	〃	2080	2	〃	3.24	6	┌┐
						219	kg
F 1	D22	5360	43	3.04	16.29	700	┌┐
2	D19	5310	14	2.25	11.95	167	┌┐
3	〃	4180	14	〃	9.41	132	┌┐ 平均長
4	〃	4380	14	〃	9.86	138	┌┐
5	〃	5090	14	〃	11.45	160	┌┐ 平均長
6	D16	7900	43	1.56	12.32	530	┌┐
7	〃	6500	14	〃	10.14	142	┌┐
8	〃	4500	14	〃	7.02	98	┌┐
9	〃	4500	20	〃	7.02	140	┌┐
10	〃	7000	20	〃	10.92	218	┌┐
11	〃	2120	10	〃	3.31	33	┌┐
12	〃	2120	3	〃	3.31	10	┌┐
						2468	kg
F <sup>0</sup>	D16	2110	38	1.56	3.29	125	┌┐
2	〃	2110	19	〃	3.29	63	┌┐
						188	kg
L 1	D22	4050	19	3.04	12.31	234	┌┐
2	〃	2860	11	〃	8.69	96	┌┐
3	〃	4390	19	〃	13.35	254	┌┐
4	〃	2260	6	〃	6.87	41	┌┐
5	〃	2230	1	〃	6.78	7	┌┐
6	〃	9490	8	〃	28.85	231	┌┐ 平均長
7	D16	3960	19	1.56	6.18	117	┌┐
8	〃	2460	11	〃	3.84	42	┌┐
9	〃	2220	1	〃	3.46	3	┌┐

種 別	径 (mm)	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
L 10	D16	9400	8	1.56	14.66	117	平均長
11	D13	730	30	0.995	0.73	22	[
12	"	690	8	"	0.69	6	┐
13	"	760	23	"	0.76	17	┘
						1187	kg
R 1	D25	4100	20	3.98	16.32	326	└─
2	"	5580	7	"	22.21	155	└─ 平均長
3	"	6730	6	"	26.79	161	└─ 平均長
4	"	7910	4	"	31.48	126	└─
5	"	4680	1	"	18.63	19	└─
6	"	4470	27	"	17.79	480	/
7	"	2350	6	"	9.35	56	/
8	"	7190	1	"	28.62	29	—
9	"	11490	8	"	45.73	366	J 平均長
10	D16	2710	19	1.56	4.23	80	I 平均長
11	"	3960	20	"	6.18	124	└─
12	"	5440	7	"	8.49	59	└─ 平均長
13	"	6230	6	"	9.72	58	└─ 平均長
14	"	7410	4	"	11.56	46	└─
15	"	4170	1	"	6.51	7	└─
16	"	7500	2	"	11.70	23	\
17	"	7180	1	"	11.20	11	—
18	"	11360	8	"	17.72	142	J 平均長
19	D13	2710	19	0.995	2.70	51	I 平均長
20	"	730	37	"	0.73	27	[
21	"	690	28	"	0.69	19	┐
22	"	770	61	"	0.77	47	┘
						2412	kg
G 1	D13	1500	6	0.995	1.49	9	〰
2	"	1220	8	"	1.21	10	〰
						19	kg
D25	1901	kg					
D22	2506	kg					
D19	1207	kg					
D16	3713	kg					
D13	990	kg					
合 計	10317	kg					

注) コンクリートの設計強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$   
鉄筋の材質は全てSD345である。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台配筋図 (その 9)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 15 号

平戸市建設部建設課

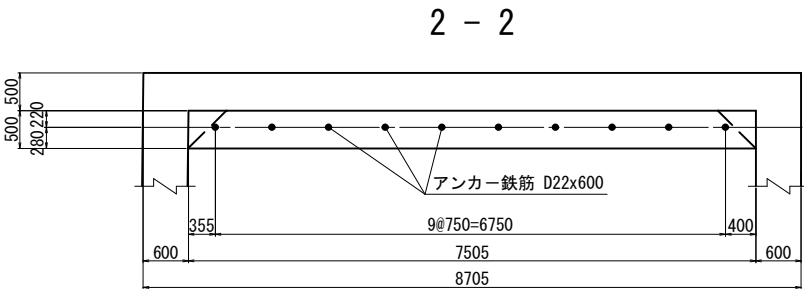
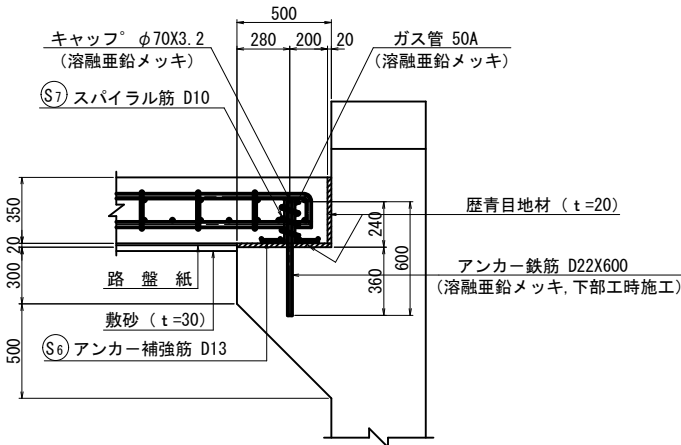
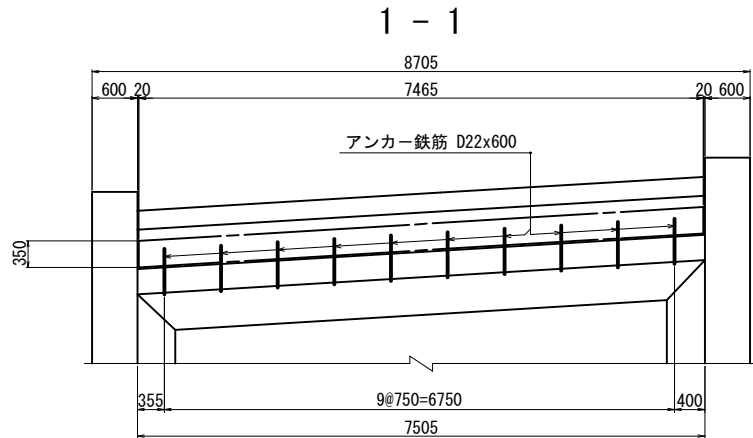
A 1 橋台踏掛版配筋図 S=1:50

受台詳細図 S=1:20

鉄筋表

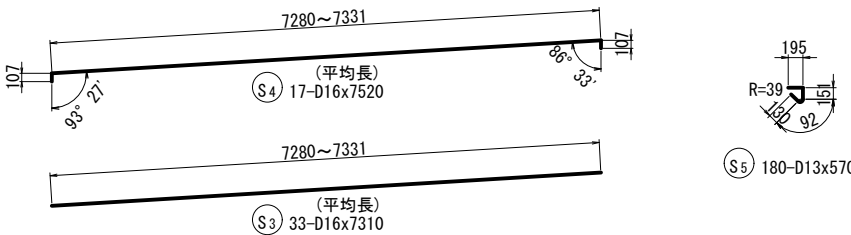
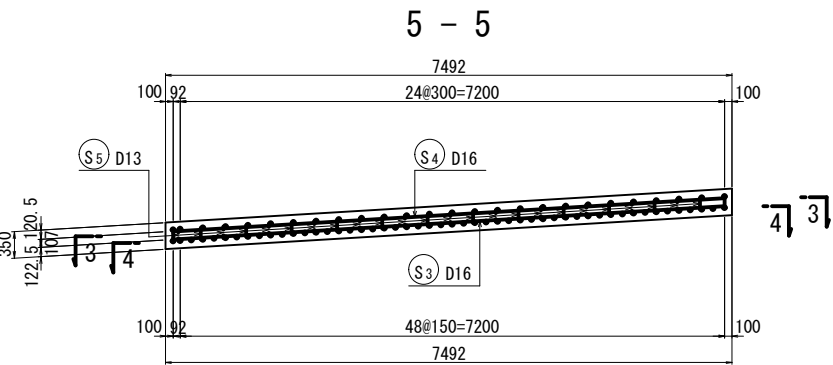
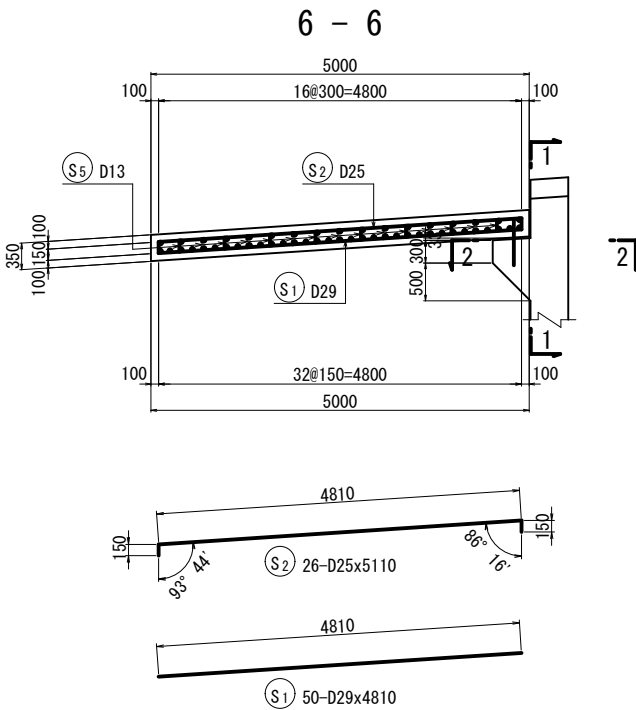
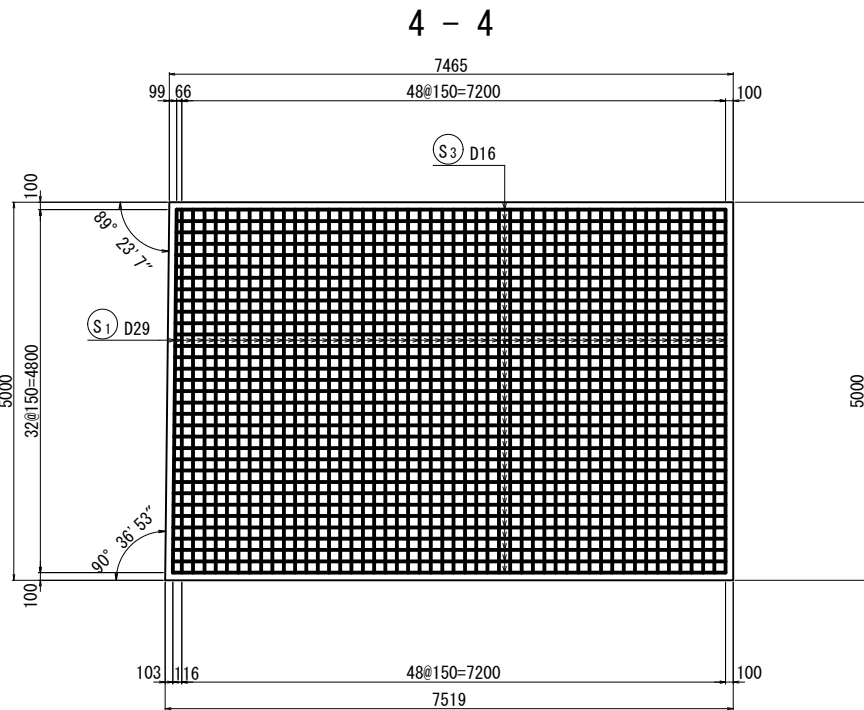
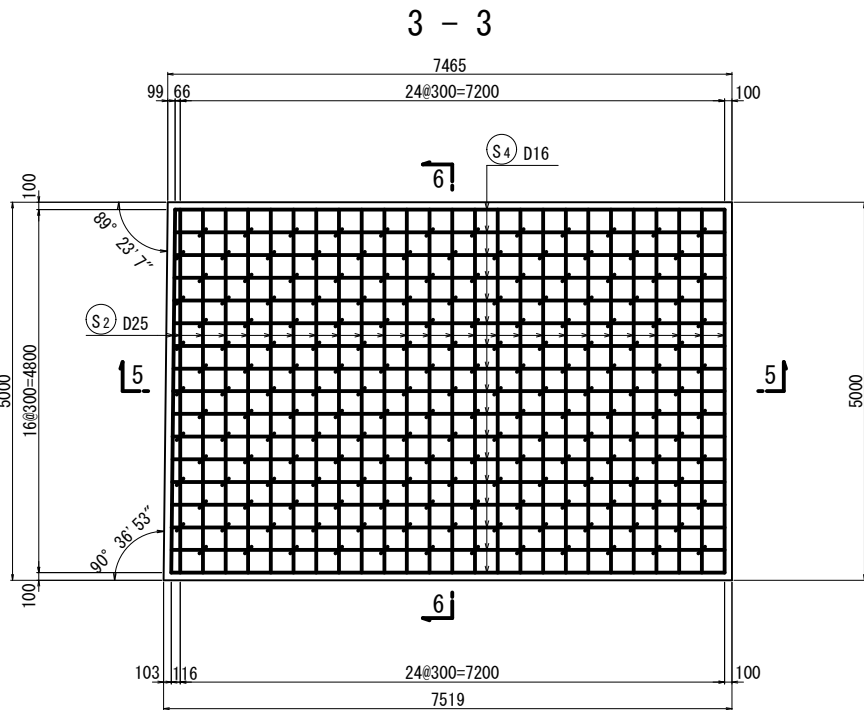
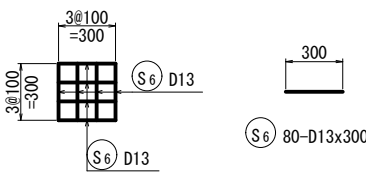
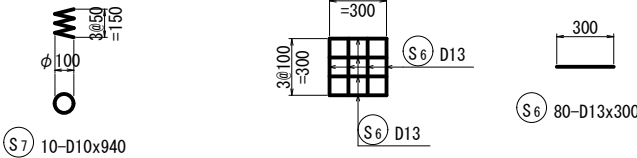
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D29	4810	50	5.04	24.24	1212	—
2	D25	5110	26	3.98	20.34	529	—
3	D16	7310	33	1.56	11.40	376	— (平均長)
4	〃	7520	17	〃	11.73	199	— (平均長)
5	D13	570	180	0.995	0.57	103	↓
6	〃	300	80	〃	0.30	24	—
7	D10	940	10	0.56	0.53	5	≡
2448 kg							
D29 1212 kg							
D25 529 kg							
D16 575 kg							
D13 127 kg							
D10 5 kg							
合計 2448 kg							
キャップ φ70 x 3.2 10 〃 0.10 1 SS400 (溶融亜鉛メッキ)							
ガス管 50A 230 10 5.31 1.22 12 SGP (溶融亜鉛メッキ)							
13 kg							
溶融亜鉛メッキの付着量:HDZ 55							

注) コンクリートの設計強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$   
鉄筋の材質は全てSD345である。

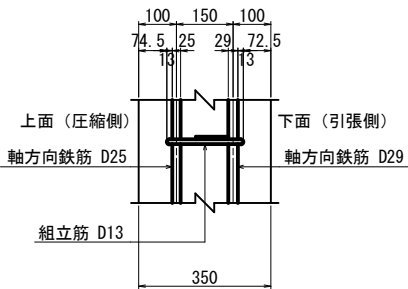


スパイラル筋 S=1:20

アンカー補強筋 S=1:20



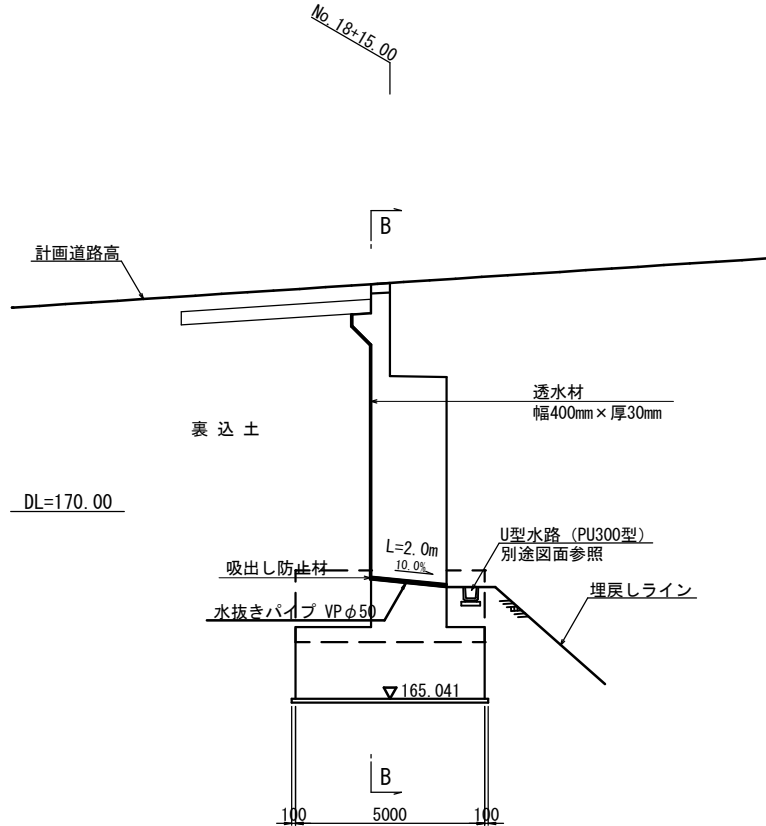
かぶり詳細図 S=1:10



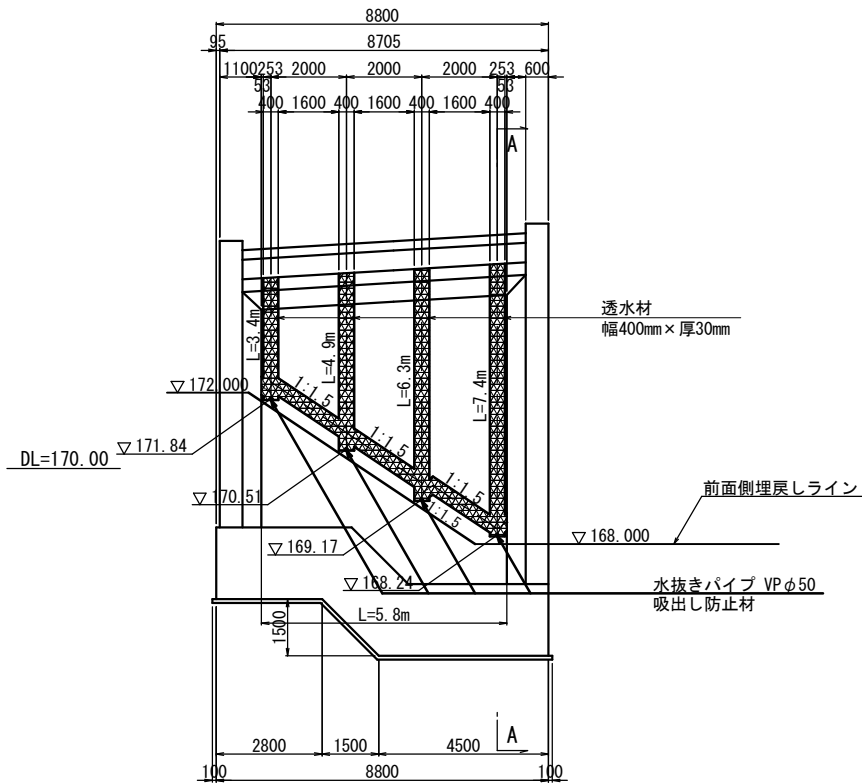
年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台踏掛版配筋図
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 16 号
平戸市建設部建設課	

A 1 橋台裏込め詳細図 S=1:100

側面図  
A - A



背面図  
B - B



参考) 裏込材の材料仕様

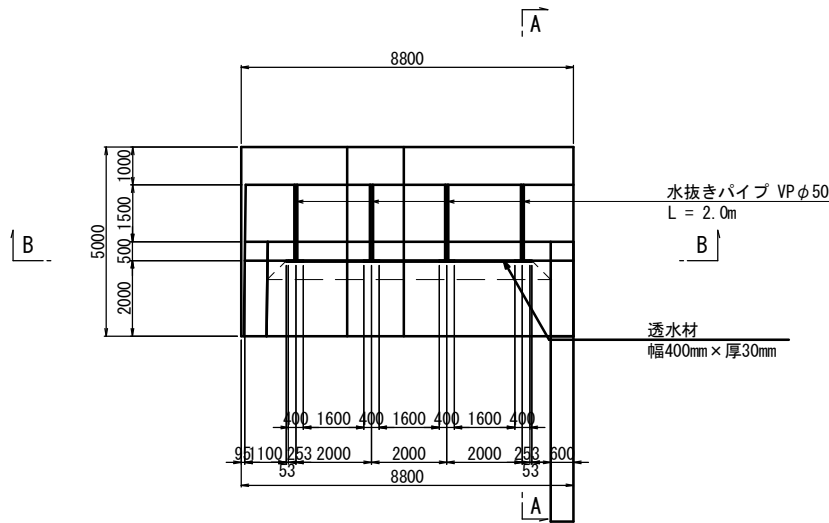
項 目	範 囲
最大粒径	100mm
4750 $\mu$ mふるいの通過百分率	25~100%
75 $\mu$ mふるいの通過百分率	0~25%
塑性指数I <sub>p</sub> (425 $\mu$ mふるいの通過分について)	10以下

参考) 裏込材の締固め管理値

項 目	範 囲
締固め度D <sub>c</sub> ※1, 2	D <sub>c</sub> >平均92%, 最小90%
仕上り厚	200mm以下

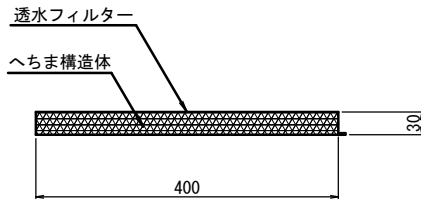
※1: 土砂区分が砂質土の場合に適用。  
締固め度は、施工管理高ごとに測定し、その平均値及び最小値で照査する。  
測定点数は、施工面積に応じて設定する。  
※2: 突固め方法がC, D, E法の場合の管理基準値を示す。

平面図



※ 水抜きパイプは橋台鉄筋に干渉しないように配置すること。

透水材 (t=30mm b=400mm) S=1:5



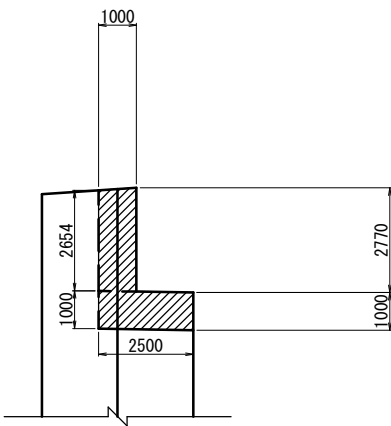
材料表

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
透 水 材	幅400mm×厚30mm	3. 4+4. 9+6. 3+7. 4+5. 8	m	27. 8
水抜きパイプ	VP φ50	2. 0*4	m	8. 0
吸出し防止材	30cm×30cm×3cm		箇所	4

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台裏込め詳細図
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 17 号
平戸市建設部建設課	

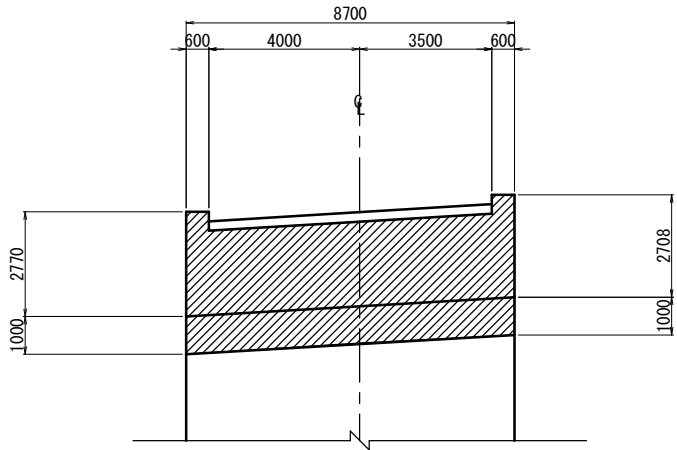
橋台コンクリート塗装工詳細図 S=1:100

左側側面図

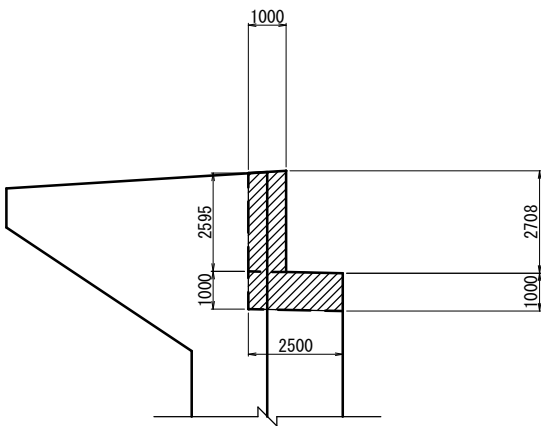


DL=170.00

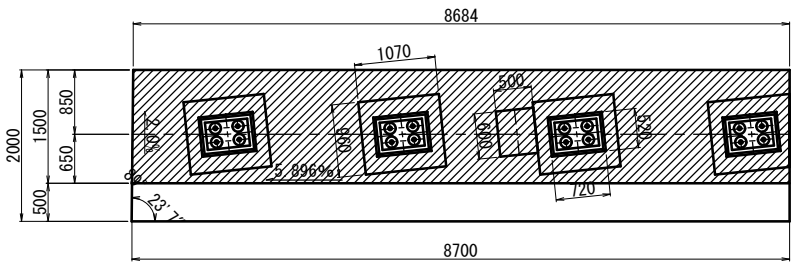
A1橋台  
正面図



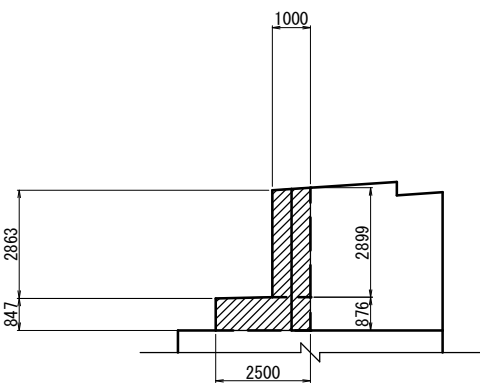
右側側面図



平面図 S=1:50

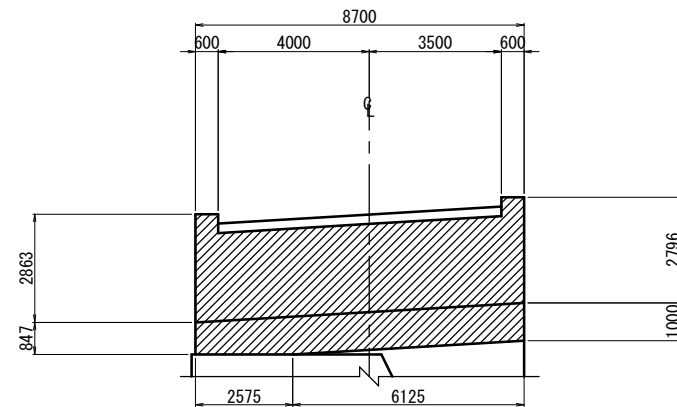


左側側面図

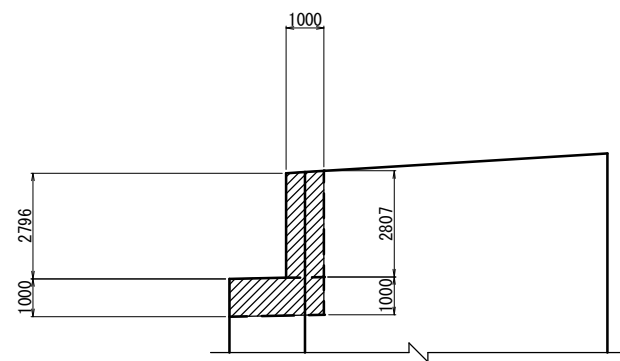


DL=175.00

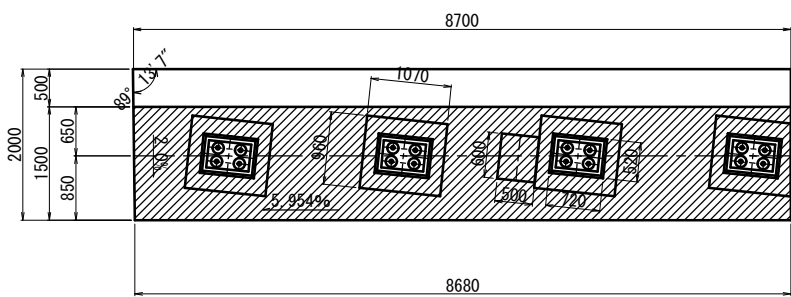
A2橋台  
正面図



右側側面図



平面図 S=1:50



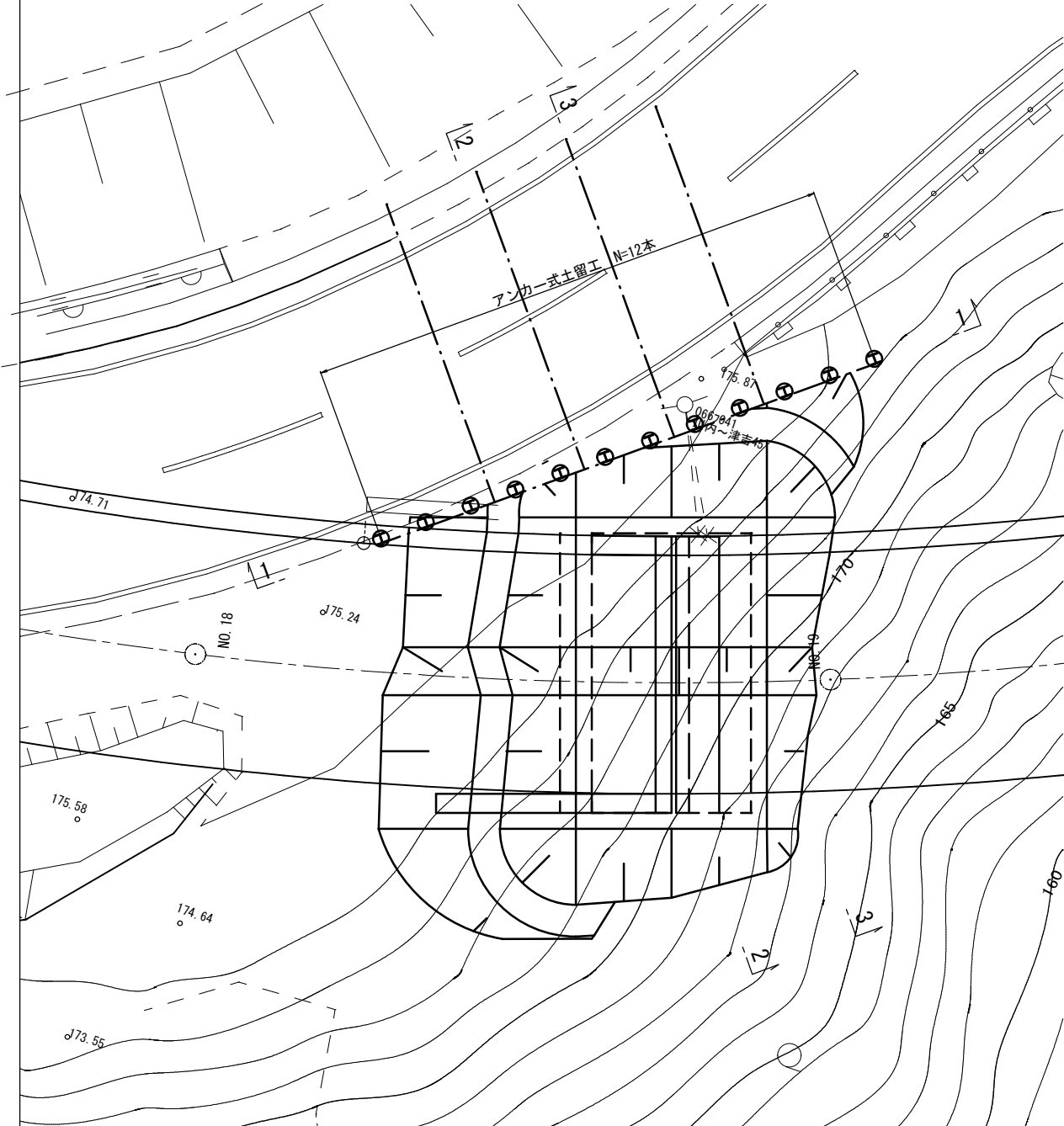
※ 塗装はCC-B系とする。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	橋台コンクリート塗装工詳細図
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 18 号
平戸市建設部建設課	



A 1 橋台仮設土留工計画図（その 1） S=1:100

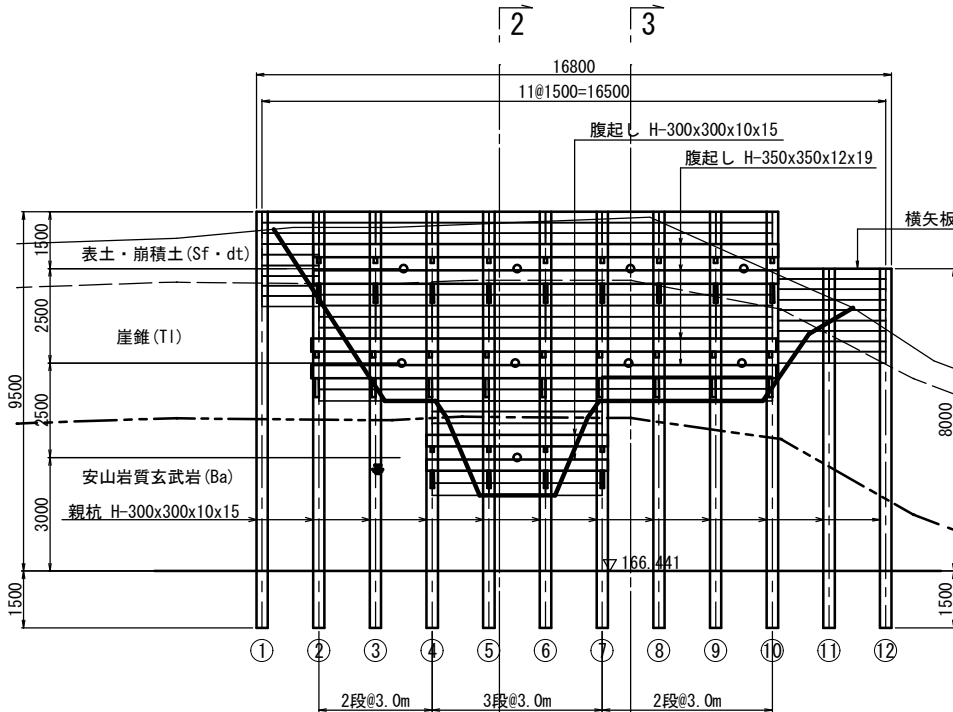
平 面 図



土質定数一覧表

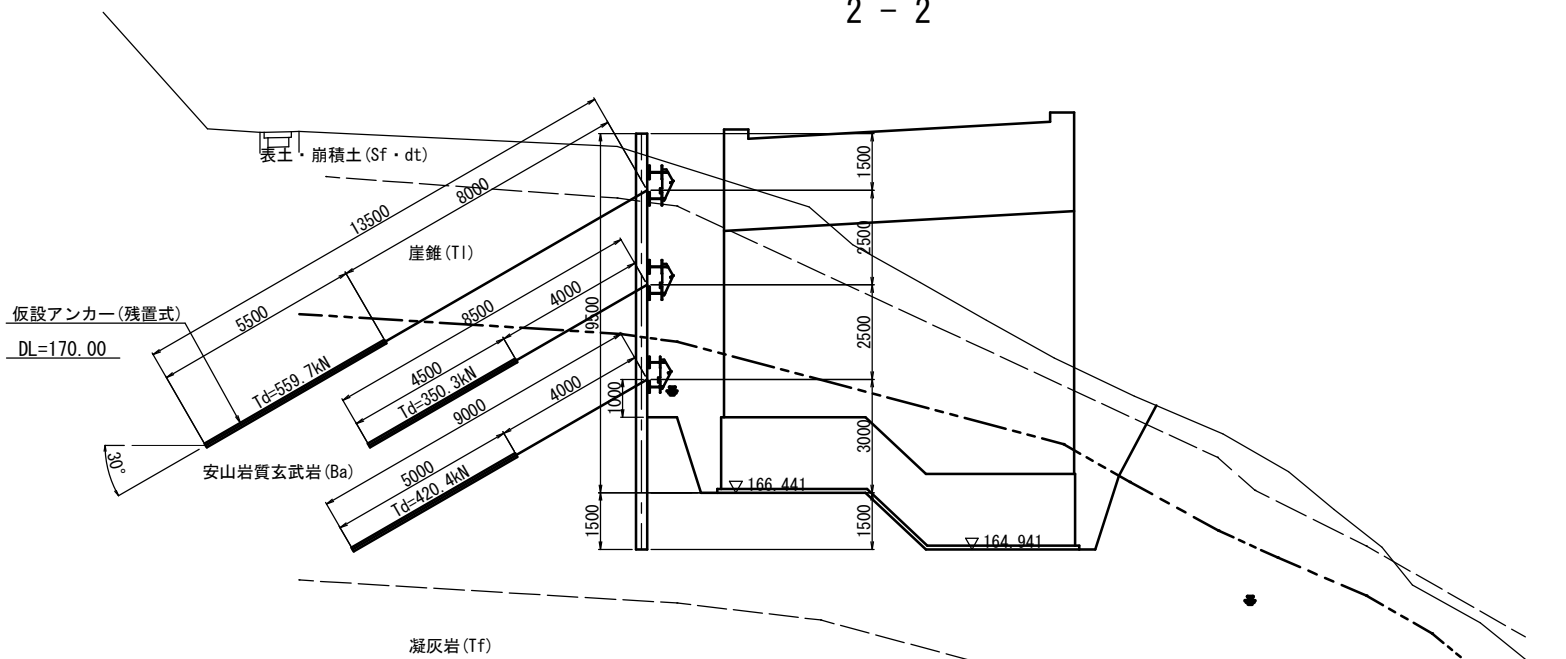
地層・土質名称		記号	設計 N 値	単位重量 (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 (kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦力 (°)	変形係数 (kN/m <sup>2</sup> )
表土・崩積土	粘性土	Sf・dt	4	17	15	0	2,800
崖錐(風化凝灰岩)	礫混り砂	T1	14	19	0	35	1,000
安山岩質玄武岩	硬岩	Ba	200	22	148	37	102,000
凝灰岩	軟岩	Tf	95	19	255	21	61,000
溶結凝灰岩 (強風化?中風化)	礫混り粘性土	Wt1	14	18	25	20	16,000
溶結凝灰岩 (中風化?未風化)	軟岩	Wt2	113	20	284	21	69,000

1 - 1



※ 地層線は柱状図を結んだ線とする

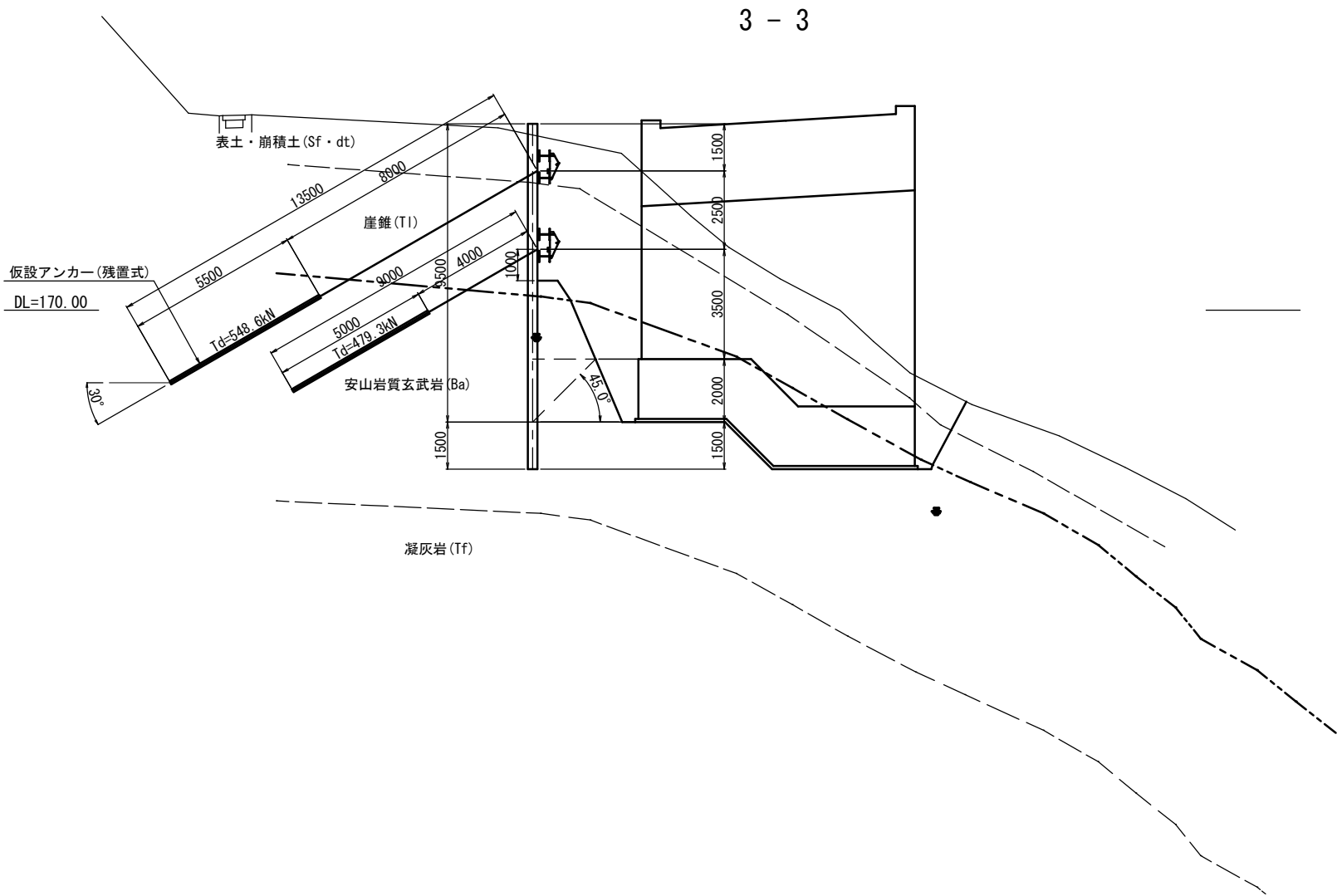
2 - 2



※ Tdは設計アンカー力を示す。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台仮設土留工計画図（その 1）
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 19 号
平戸市建設部建設課	

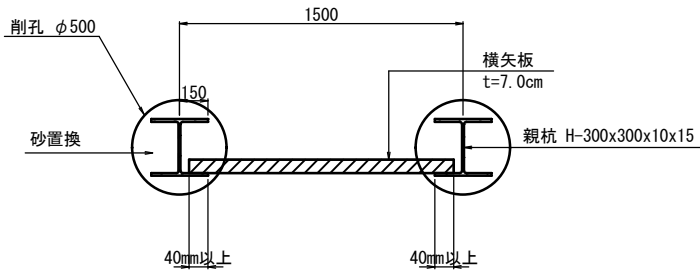
A 1 橋台仮設土留工計画図（その2） S=1:100



材 料 表

名 称	番 号	規 格	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
親 杭	①	H-300×300×10×15	11.000	1	93.0	1023.0	1023	リース材
	②	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	③	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	④	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑤	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑥	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑦	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑧	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑨	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑩	"	11.000	1	93.0	1023.0	1023	"
	⑪	"	9.500	1	93.0	883.5	883.5	"
	⑫	"	9.500	1	93.0	883.5	883.5	"
							11997 kg	
腹起し	1段目	H-350×350×12×19	12.300	2	150.0	1845.0	3690	リース材
	2段目	"	12.300	2	150.0	1845.0	3690	"
	3段目	H-300×300×10×15	4.800	2	100.0	480.0	960	"
							8340 kg	
親 杭質量							11997 kg	
支保工合計							8340 kg	
副部材 (A)					8340 × 0.22 =	1835 kg		
副部材 (B)					8340 × 0.04 =	334 kg		
合 計							22506 kg	
横矢板 (t=7.0cm)							82.50 (m <sup>2</sup> )	
削孔 φ500							121.60 (m)	
砂充填							22.42 (m <sup>3</sup> )	

親杭部詳細図 S=1:20



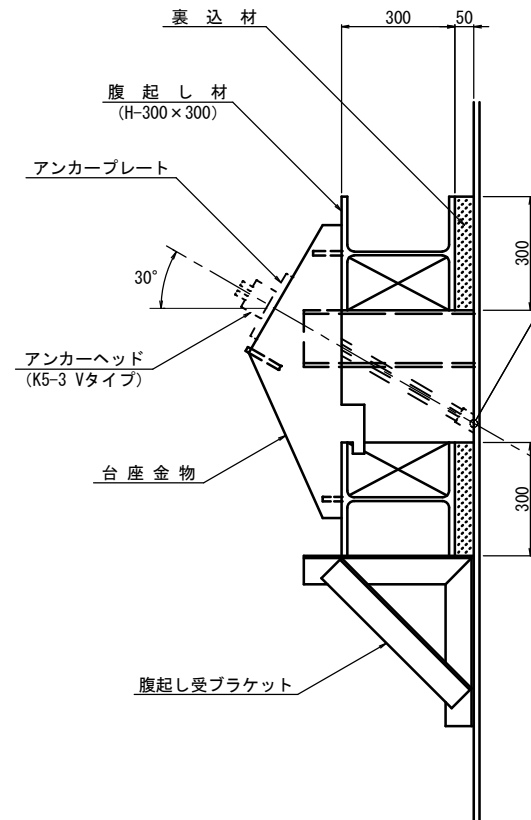
※ Tdは設計アンカー力を示す。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台仮設土留工計画図（その2）
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 20 号
平戸市建設部建設課	

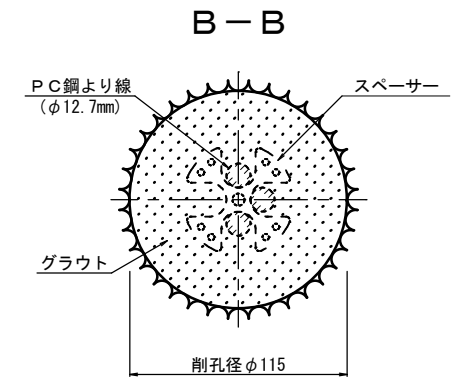
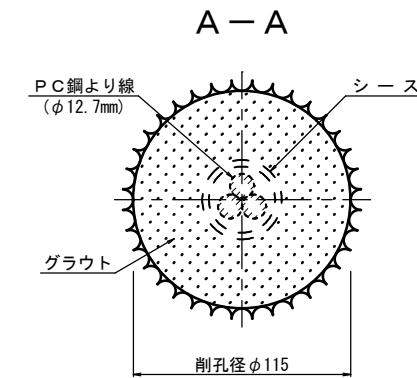


# A1橋台残置式アンカー詳細図（その2） S=1:10

2段目（K5-3 打設角30° 腹起し材：H-300×300）

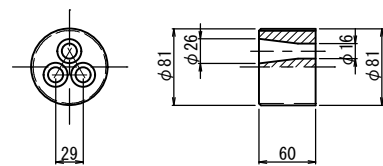


断面図 S=1:2

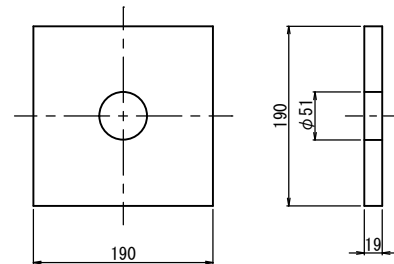


安全率(倍)	1.5
定着時緊張力(kN)	設計アンカー力の80%程度

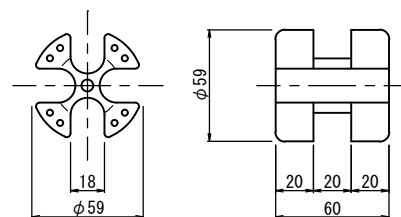
アンカーヘッド S=1:4  
(K5-3 Vタイプ)



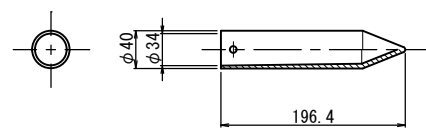
アンカープレート S=1:4



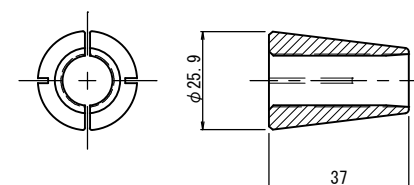
スペーサー S=1:2



パイロットキャップ S=1:4



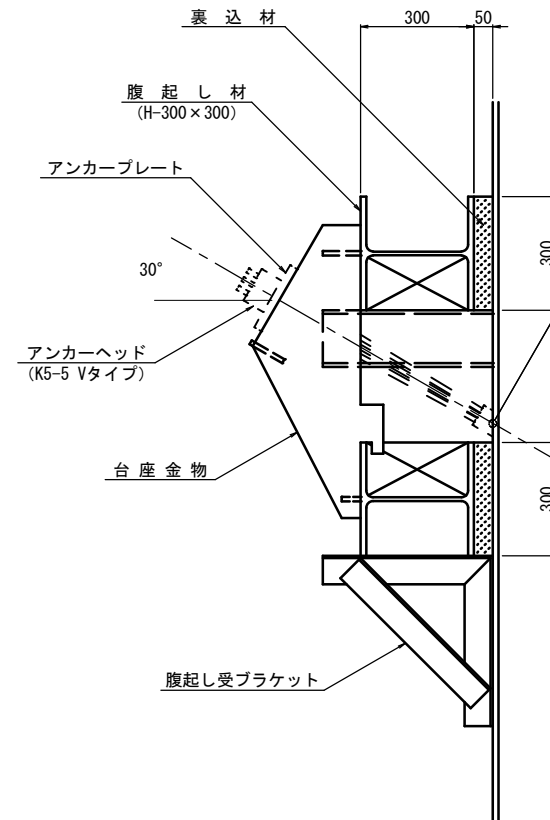
クサビ S=1:1  
(12.7mm用)



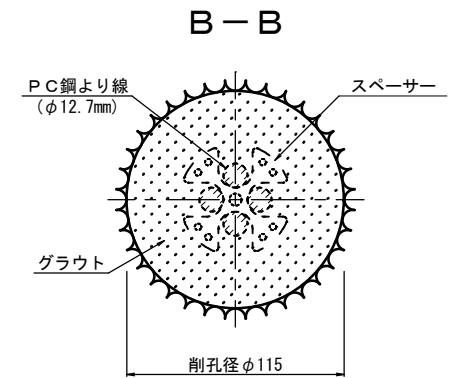
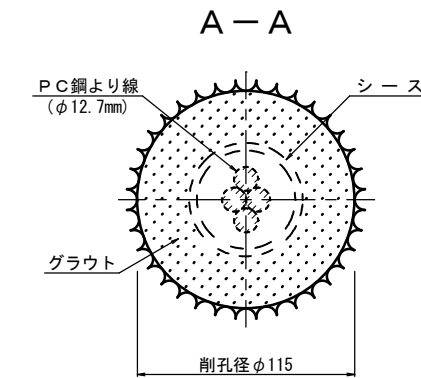
年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A1橋台残置式アンカー詳細図(その2)
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 22 号
平戸市建設部建設課	

# A1橋台残置式アンカー詳細図（その3） S=1:10

3段目（K5-4 打設角30° 腹起し材：H-300×300）

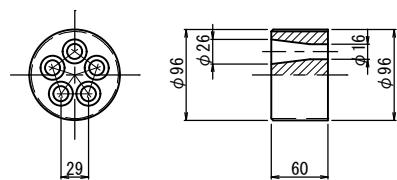


断面図 S=1:2

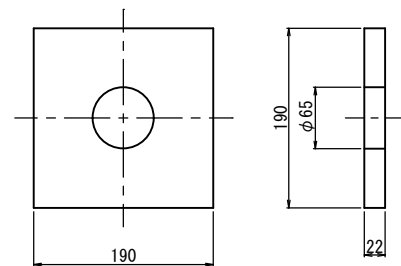


安全率(倍)	1.5
定着時緊張力(kN)	設計アンカー力の80%程度

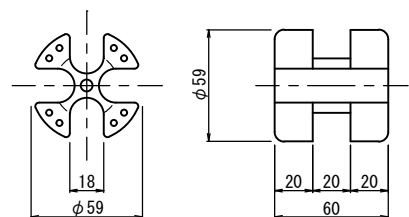
アンカーヘッド S=1:4  
(K5-5 Vタイプ)



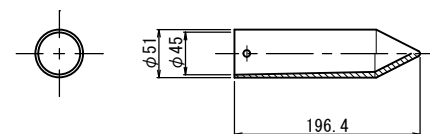
アンカープレート S=1:4



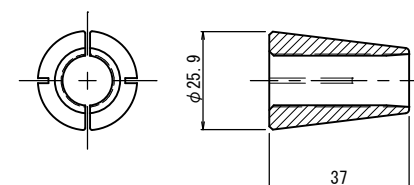
スぺーサー S=1:2



パイロットキャップ S=1:4



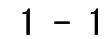
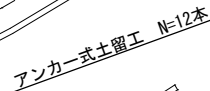
クサビ S=1:1  
(12.7mm用)



年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A1橋台残置式アンカー詳細図(その3)
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 23 号
平戸市建設部建設課	

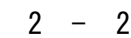
S=1:100

平面图



(側面部)  
(橋台部)

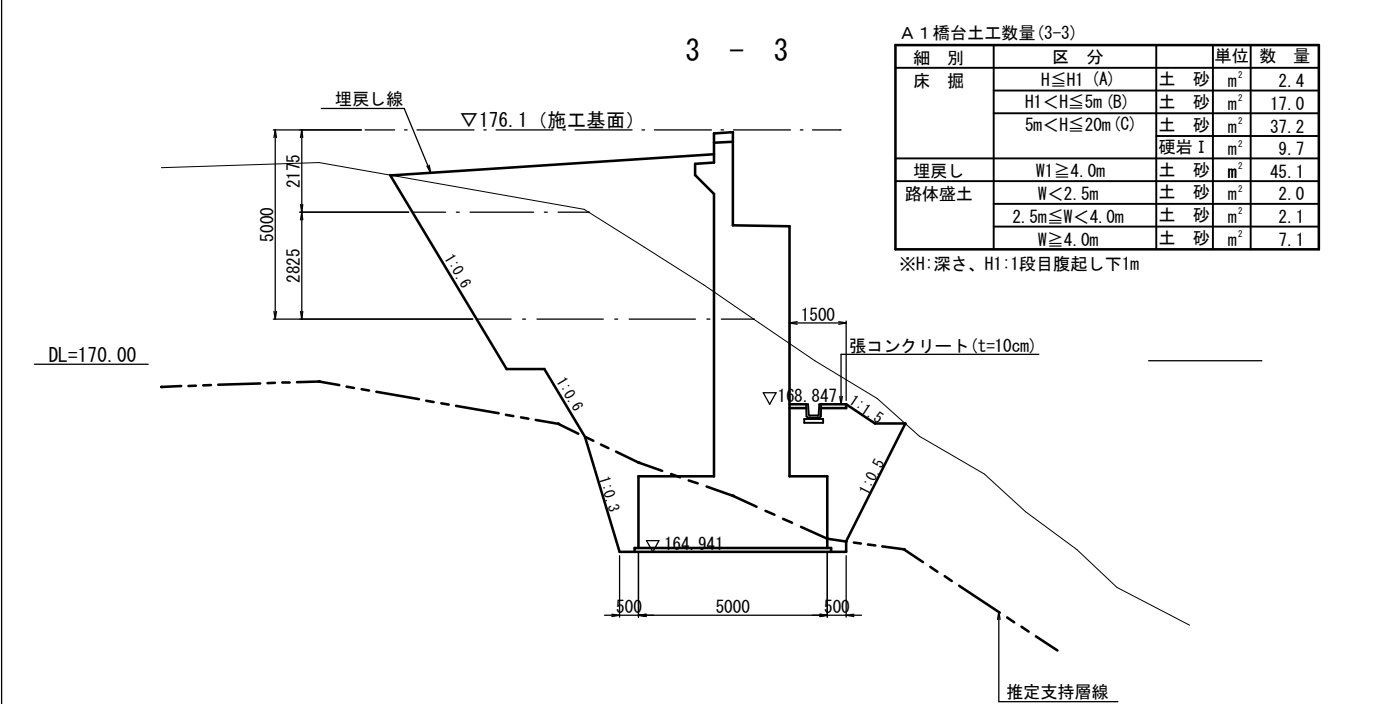
※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m



※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

地層・土質名称 $\delta f \cdot dt$ TIBaTfML-1平戸市建設部建設課

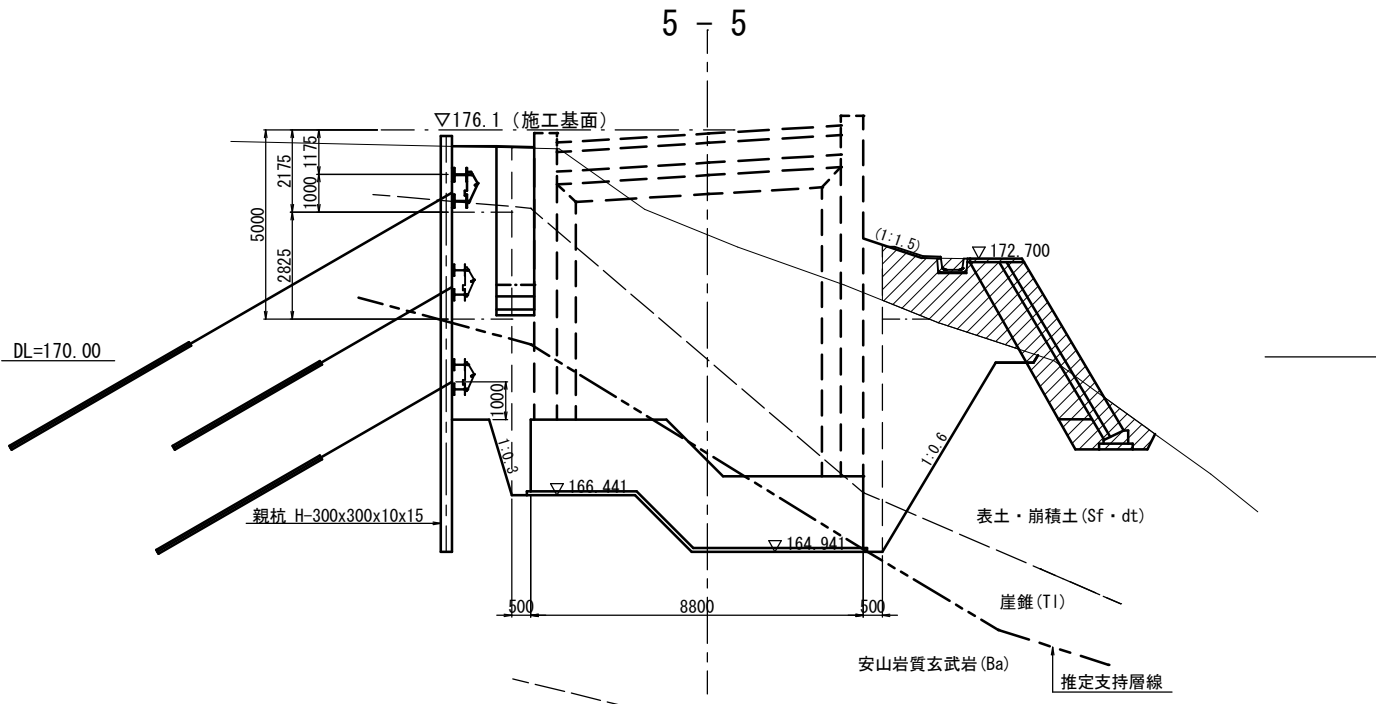
A 1 橋台土工図（その2） S=1:100



A 1 橋台土工数量 (3-3)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	2.4
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	17.0
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	37.2
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	9.7
埋戻し	W1 $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	45.1
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.0
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.1
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	7.1

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m



A 1 橋台土工数量 (5-5:左側)

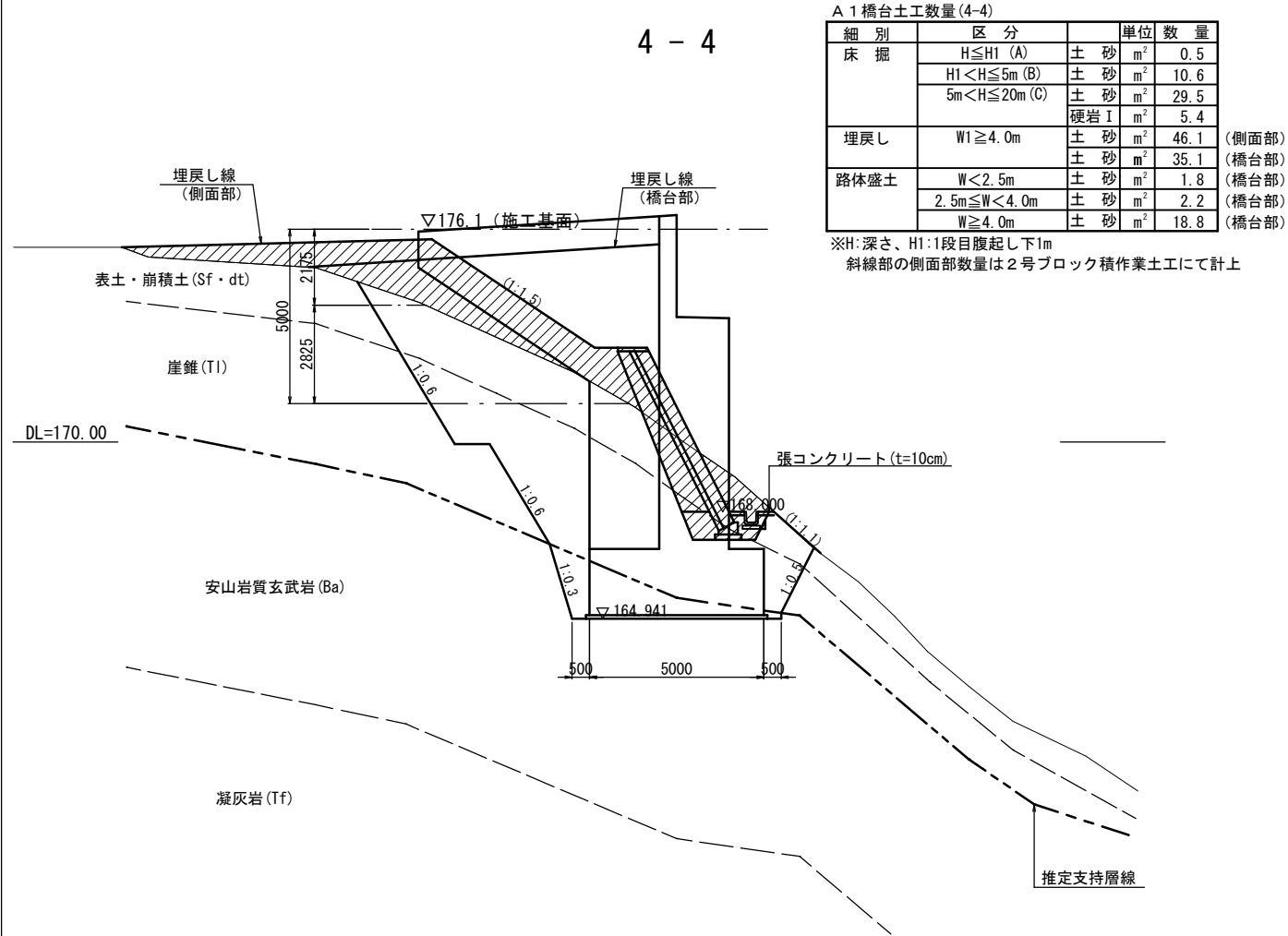
細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	2.7
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	4.5
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	0.5
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	4.3
埋戻し	W1 $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	10.2
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

A 1 橋台土工数量 (5-5:右側)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	0.3
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	10.8
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-
埋戻し	W1 $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	11.1
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

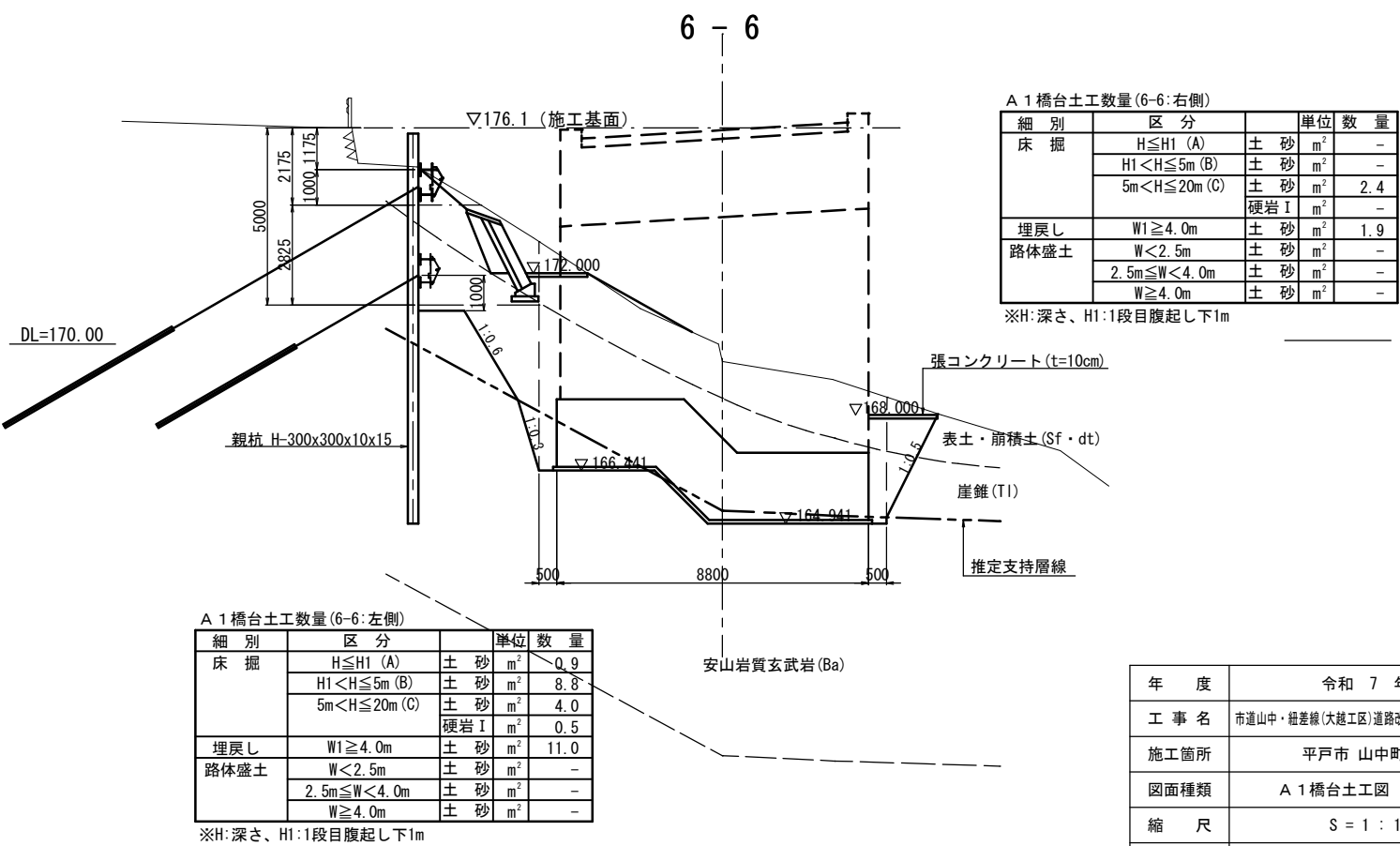
※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m  
斜線部の数量は2号ブロック積作業土工にて計上



A 1 橋台土工数量 (4-4)

細 別	区 分		単位	数 量	
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	0.5	
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	10.6	
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	29.5	
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	5.4	
埋戻し	W1 $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	46.1	(側面部)
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	35.1	(橋台部)
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	1.8	(橋台部)
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.2	(橋台部)

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m  
斜線部の側面部数量は2号ブロック積作業土工にて計上



A 1 橋台土工数量 (6-6:左側)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	0.9
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	8.8
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	4.0
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	0.5
埋戻し	W1 $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	11.0
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

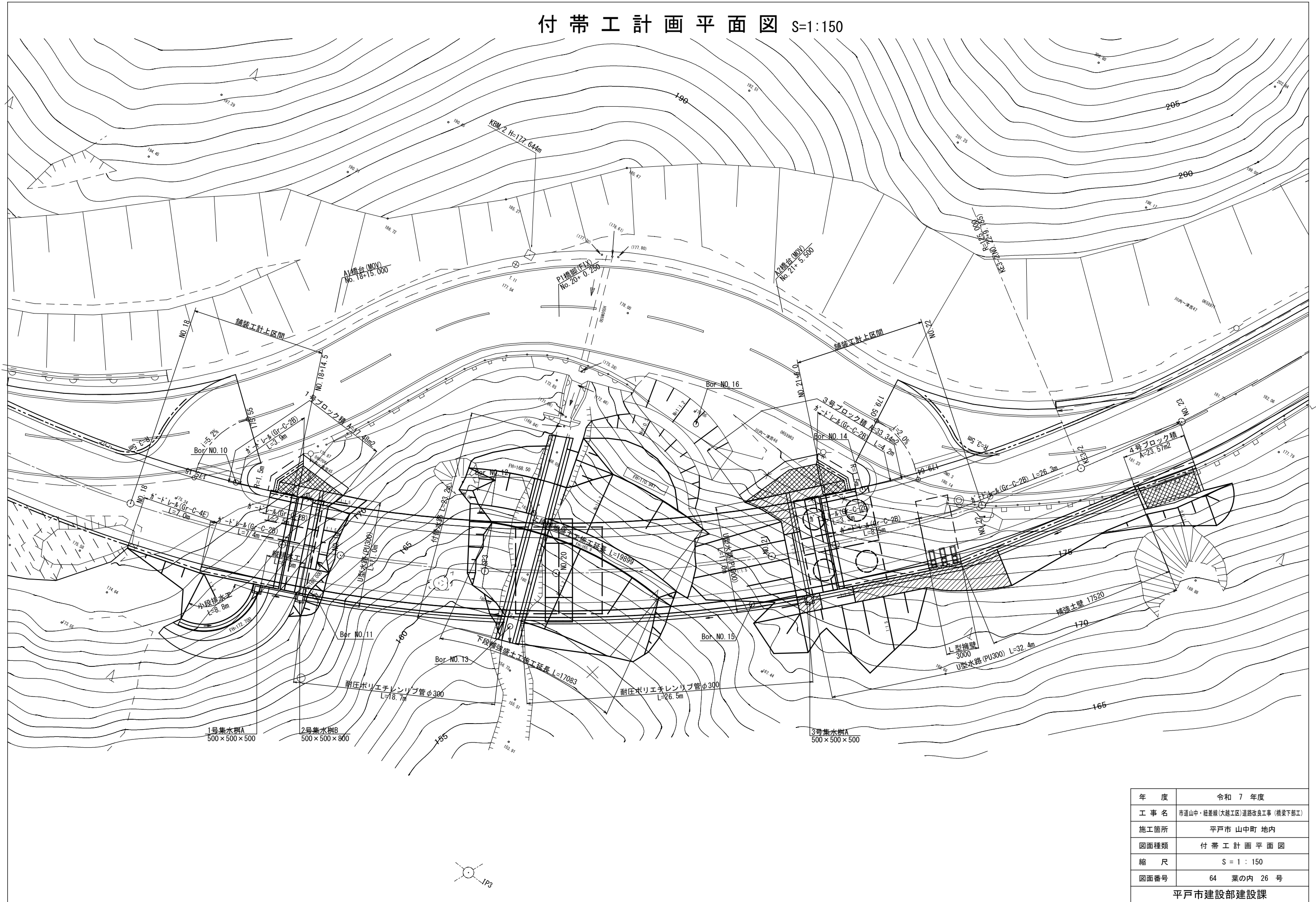
A 1 橋台土工数量 (6-6:右側)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	2.4
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-
埋戻し	W1 $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	1.9
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 1 橋台土工図 (その2)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 25 号
平戸市建設部建設課	

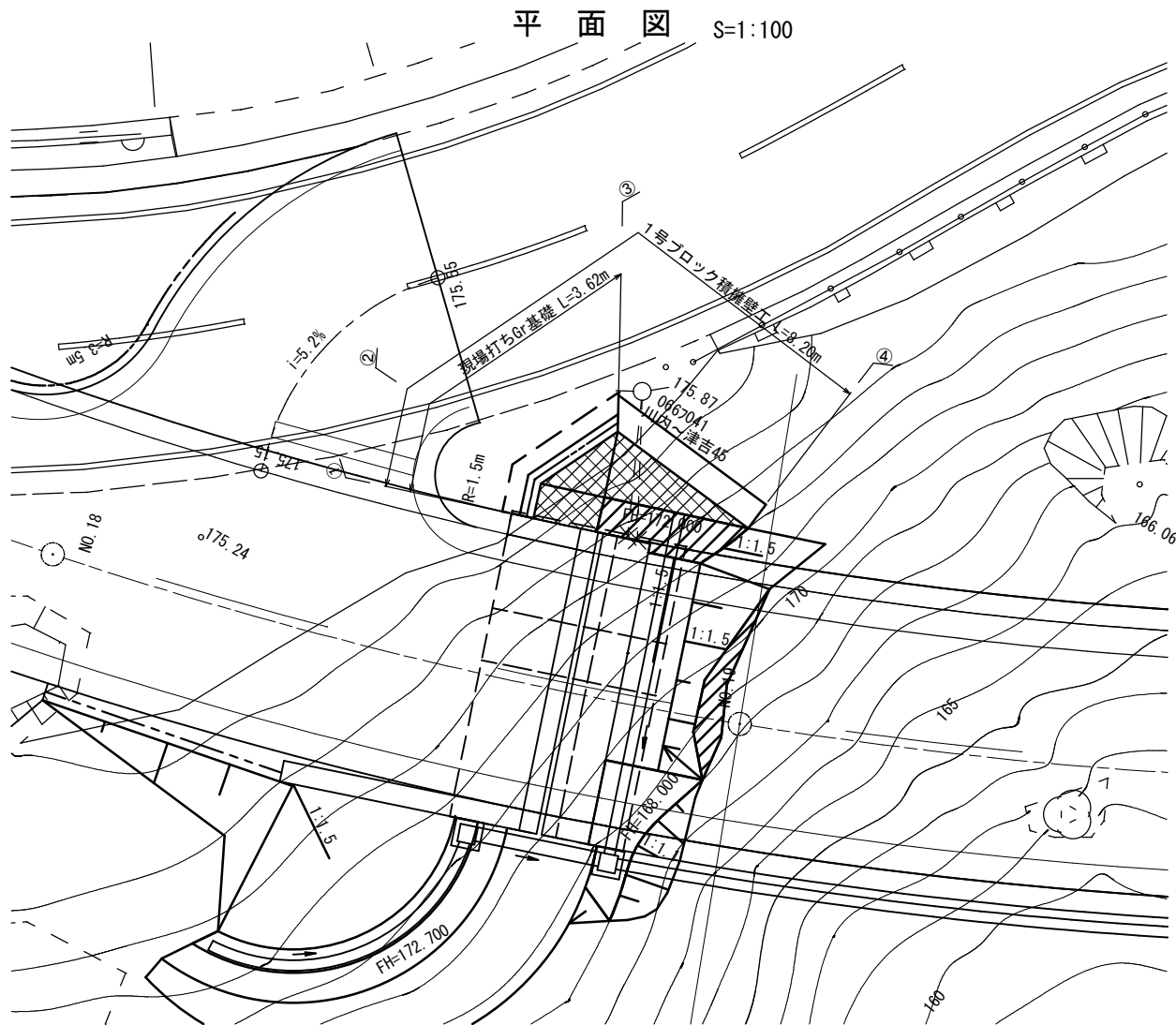
付帯工計画平面図 S=1:150





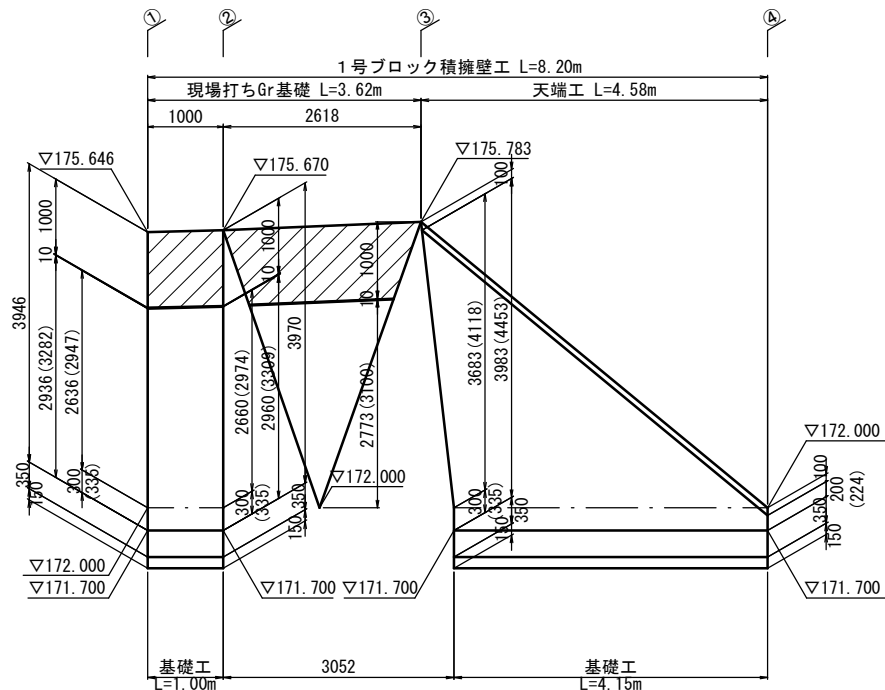
ブロック積構造図（その１）

A1橋台《道路左側》

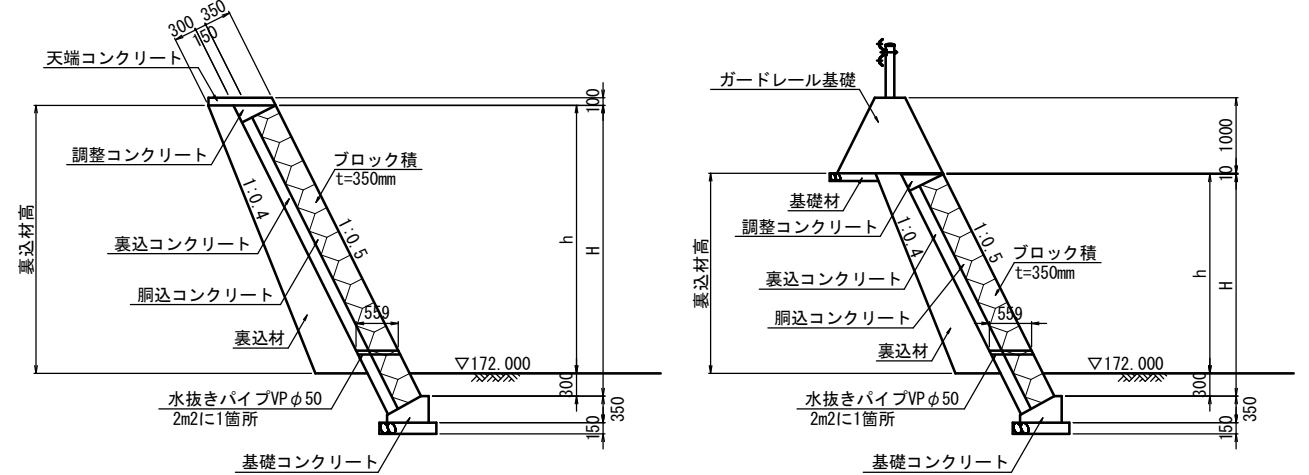


展開図 S=1:50

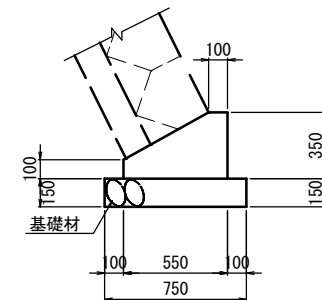
※（ ）内の寸法は斜長を示す



標準断面図 S=1:50

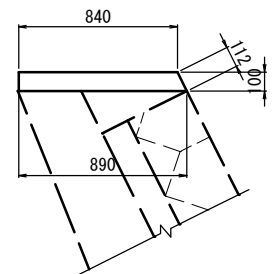


基礎コンクリート S=1:20



数量表		10m当たり	
種別	算式	単位	数量
コンクリート	$\{1/2 \times (0.100 + 0.350) \times 0.450 + 0.350 \times 0.100\} \times 10.00$	m <sup>3</sup>	1.36
型枠	$(0.100 + 0.350) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	4.50
基礎材	$0.750 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	7.50

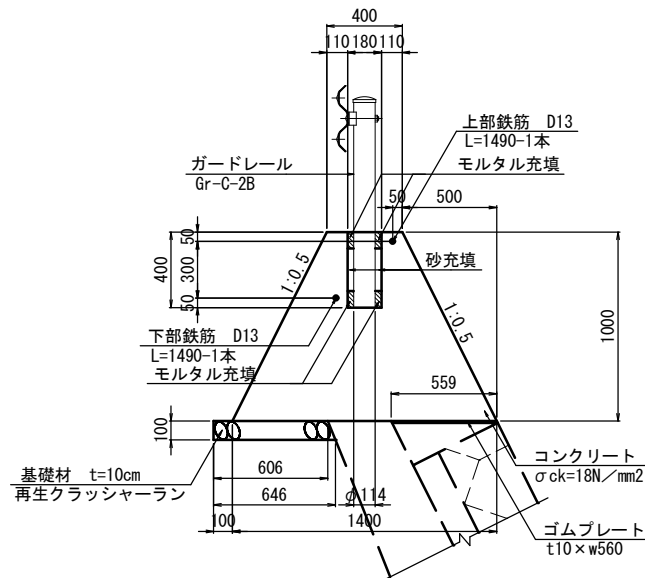
天端コンクリート S=1:20



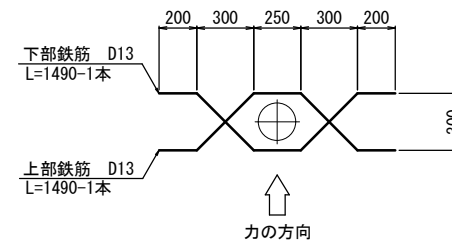
数量表		10m当たり	
種別	算式	単位	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.840 + 0.890) \times 0.100 \times 10.00$	m <sup>3</sup>	0.87
型枠	$(0.100 + 0.112) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	2.12

現場打ちガードレール基礎詳細図 S=1:20

※最小ブロック長は3.5mとする。



補強鉄筋図

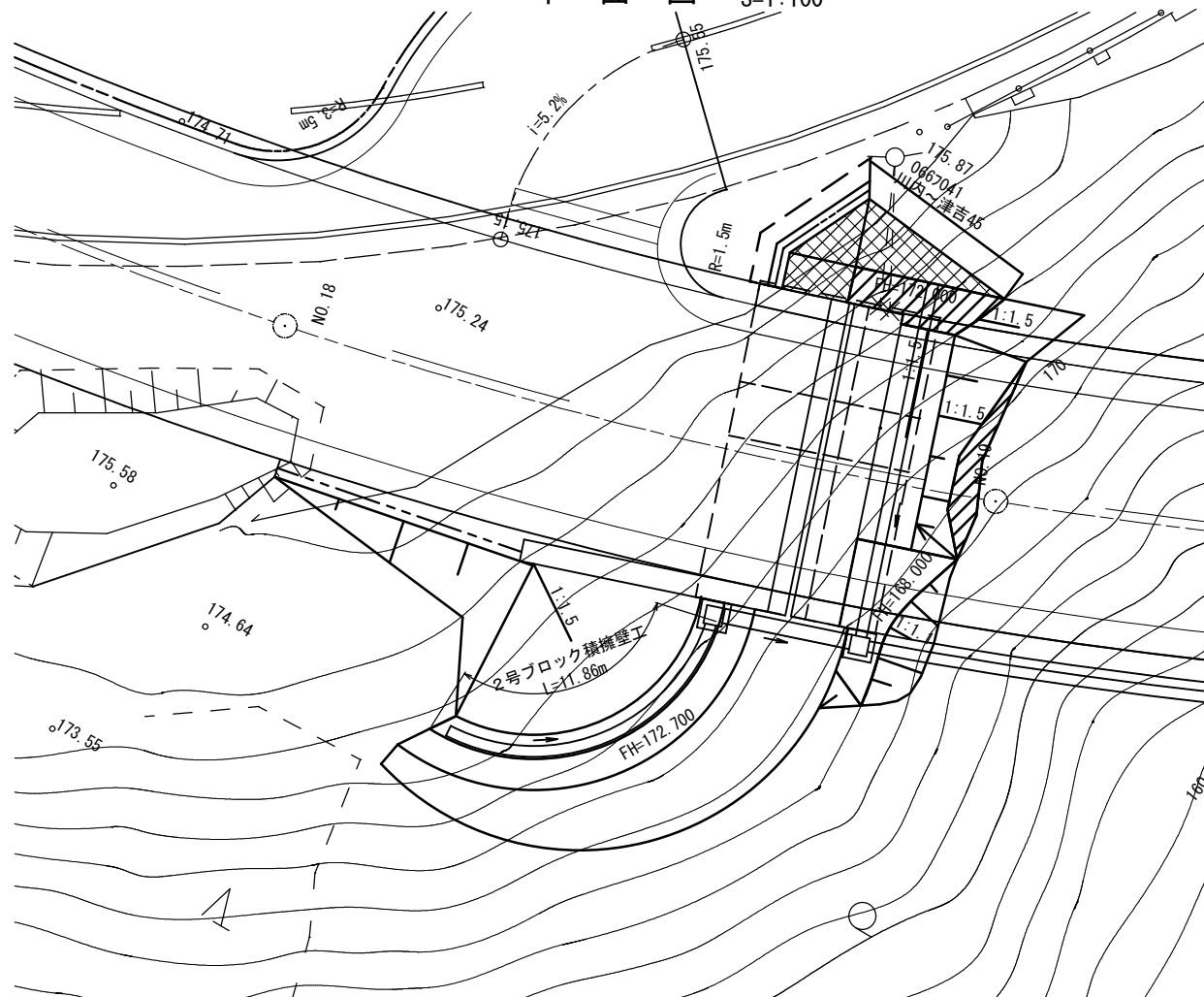


数量表		10m当たり	
種別	算式	単位	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.400 + 1.400) \times 1.000 \times 10.00$	m <sup>3</sup>	9.00
型枠	$1.000 \times 1.1180 \times 2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	22.36
目地材	$1/2 \times (0.400 + 1.400) \times 1.000$	m <sup>2</sup>	0.90
基礎材	$(t=100) 1/2 \times (0.606 + 0.646) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	6.26
補強鉄筋	$1.490 \times 2 \times 0.995 \times 5$ 箇所	kg	14.83
ゴムプレート	$0.56 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	5.60

年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・祖差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	ブロック積構造図 (その1)
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 27 号
平戸市建設部建設課	

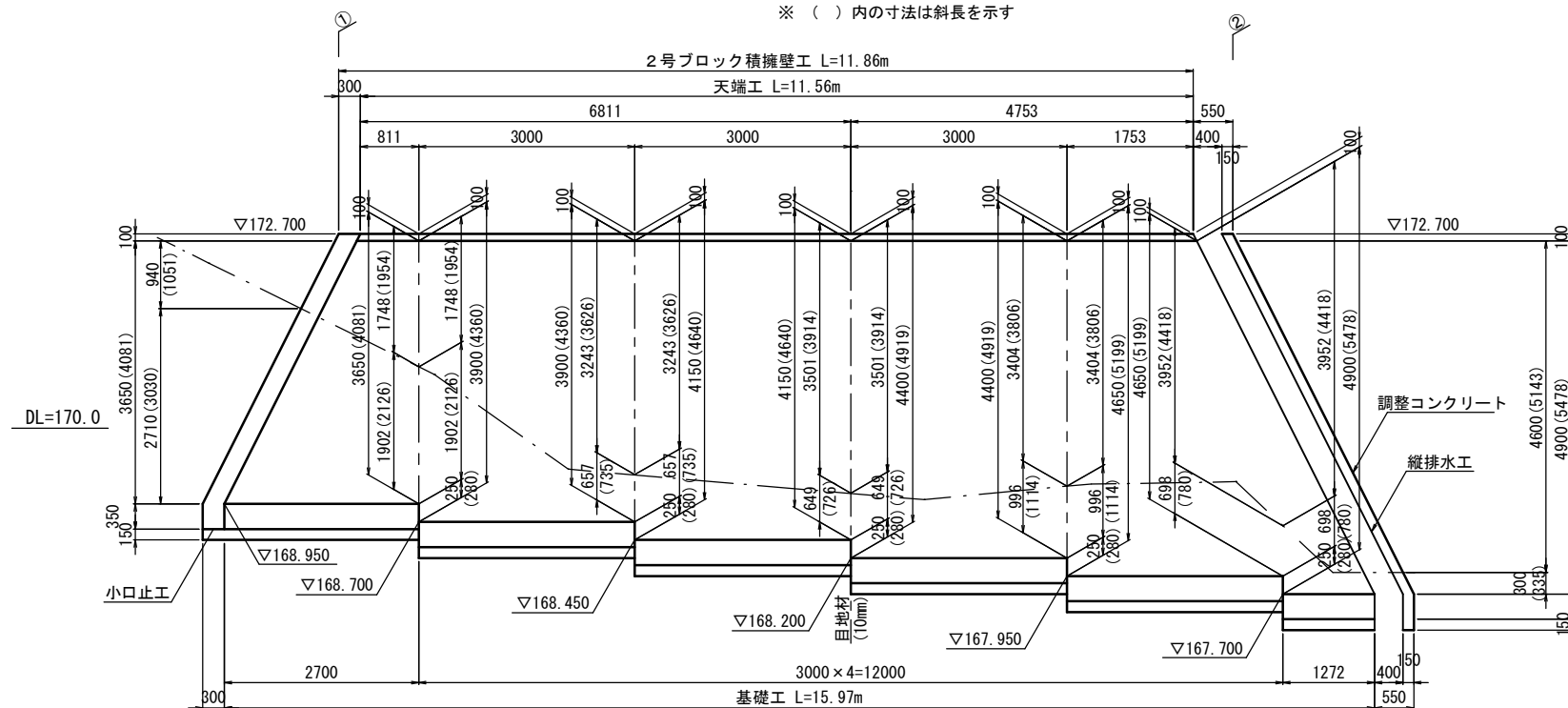
## A1橋台《道路右側》

S=1 : 100

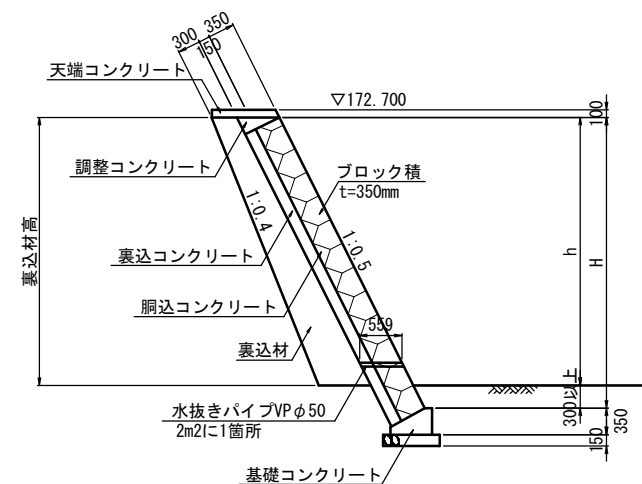


S=1:50

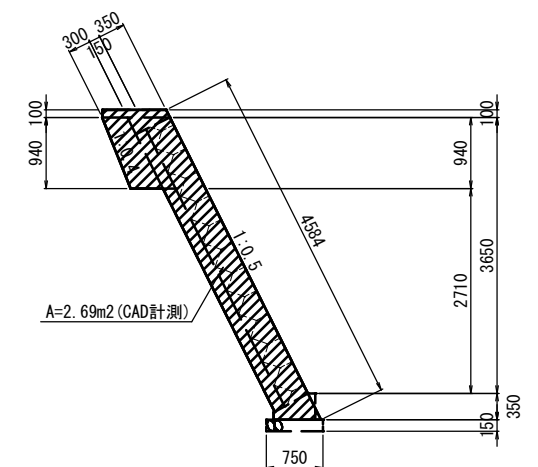
※ ( ) 内の寸法は斜長を示す



S=1:50



S=1:50

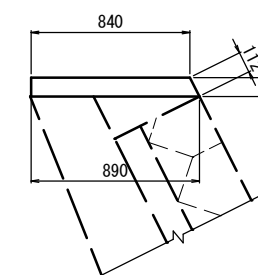


数量表

種 別	算 式	単位	数 量
コンクリート	$2.69 \times 0.300$	m <sup>3</sup>	0.81
型 枠	$2.69 \times 2 + 4.584 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	6.76
基礎材	$0.750 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.23

1箇所当たり

S=1 : 20

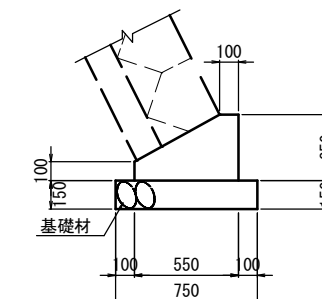


数量表

種 別	算 式	単位	数 量
コンクリート	$1/2 \times (0.840 + 0.890) \times 0.100 \times 10.00$	m <sup>3</sup>	0.87
型 枠	$(0.100 + 0.112) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	2.12

10m当たり

S=1:20



数量表

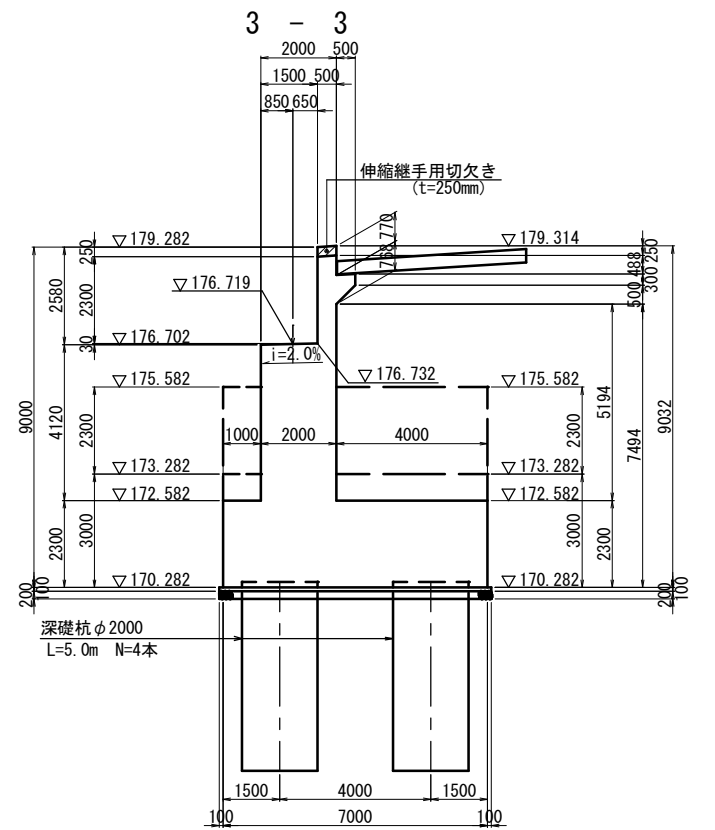
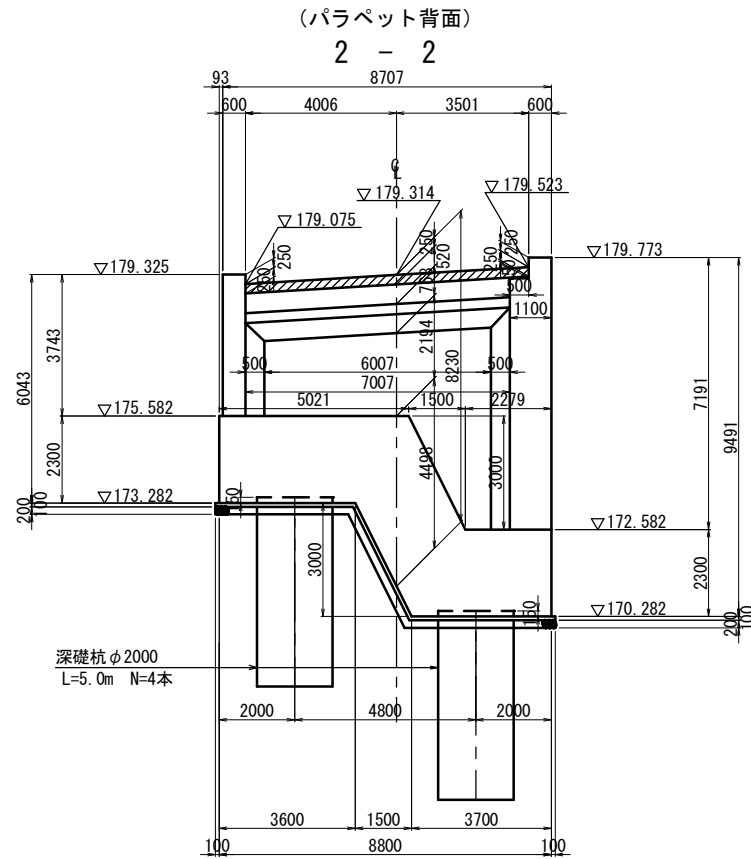
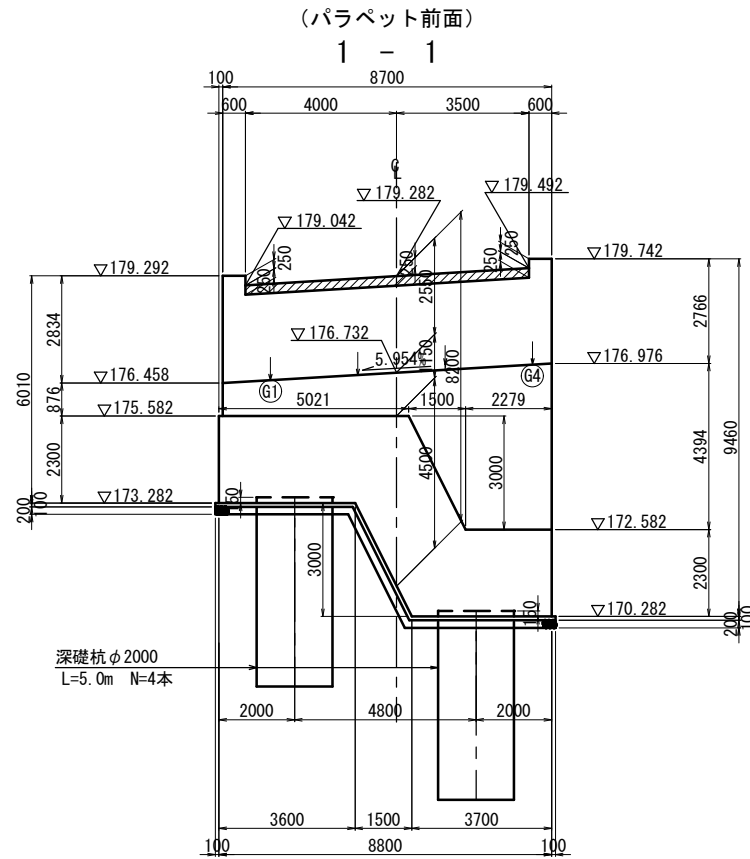
数 量 表	算 式	単位	数 量
コンクリート	$\{1/2 \times (0.100 + 0.350) \times 0.450 + 0.350 \times 0.100\} \times 10.00$	m <sup>3</sup>	1.36
型 枠	$(0.100 + 0.350) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	4.50
基礎材	$0.750 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	7.50

10m当たり

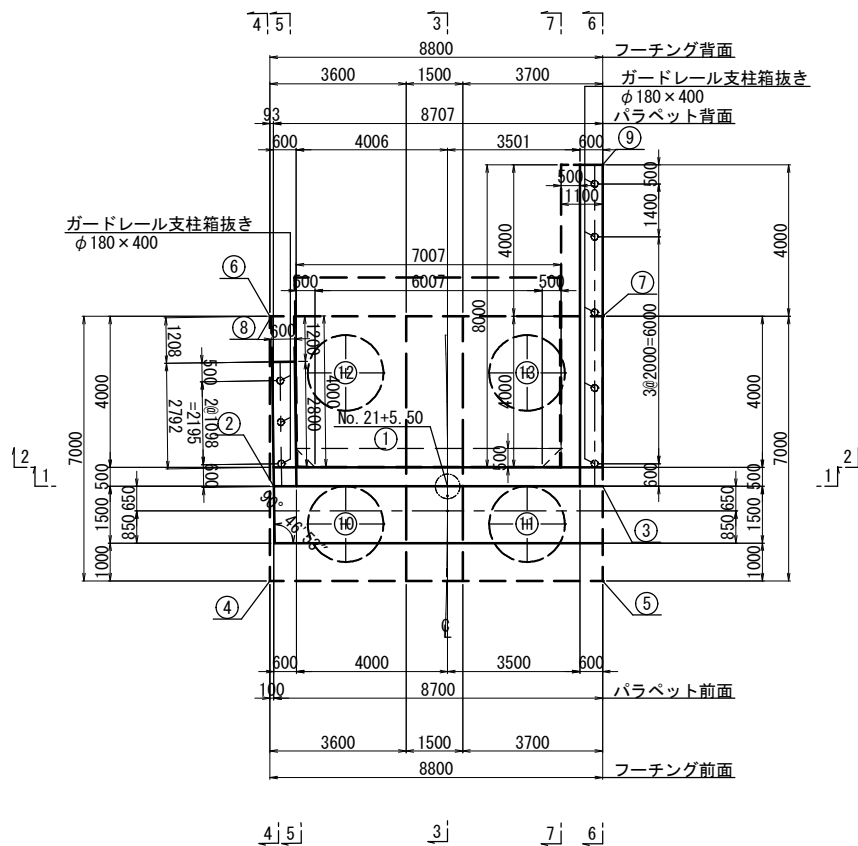
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	ブロック構造成造図 (その2)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 28 号
平戸市建設部建設課	

は、上部工施工を示す。

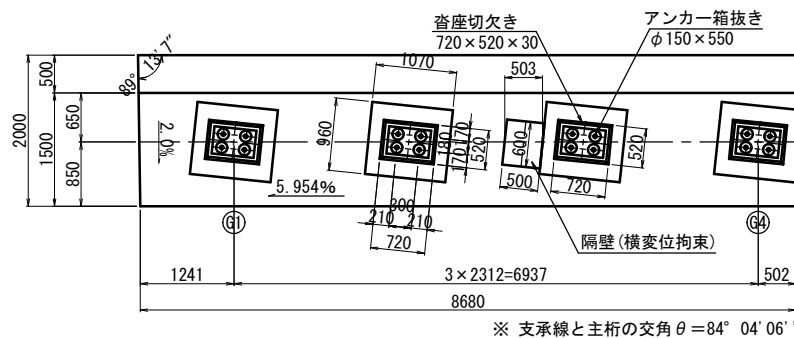
## A 2 橋台構造一般図（その 1） S=1:100



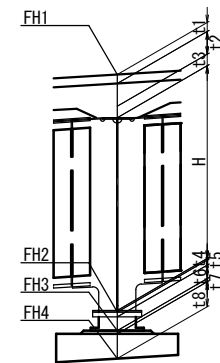
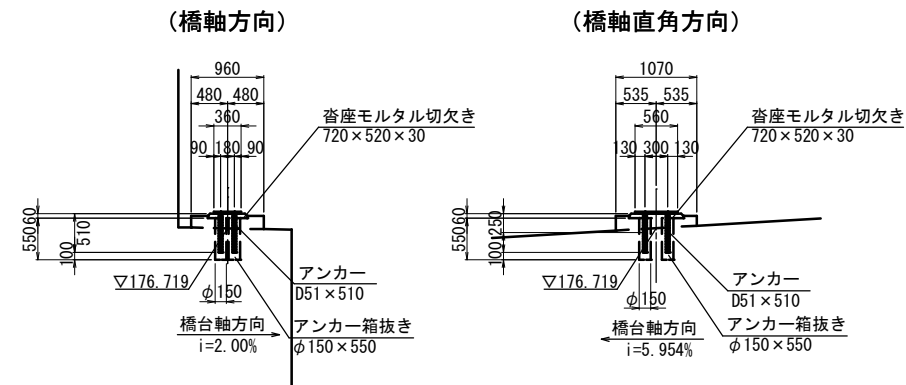
### 平面図



### 橋座詳細図 S=1:50



### 橋座箱抜き・切欠き詳細図 S=1:50



### 下部工構造高表

		A2橋台 (S2支承線)			
		G1	G2	G3	G4
路面計画高	FH1	179.040	179.179	179.319	179.702
舗装厚	t1	0.080	0.080	0.080	-
地覆厚	t1'	-	-	-	0.324
床版厚	t2	0.200	0.200	0.200	0.200
ハンチ高	t3	0.110	0.110	0.110	0.110
桁高 (上FLG上~WEB下)	H	1.700	1.700	1.700	1.700
下FLG厚	t4	0.020	0.013	0.014	0.025
桁下面高	FH2	176.930	177.076	177.215	177.343
SOLE. PL厚	t5	0.048	0.047	0.047	0.046
支承厚	t6	0.179	0.179	0.179	0.179
支承下面高	FH3	176.703	176.850	176.989	177.118
沓座モルタル厚	t7	0.030	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	t8	0.153	0.162	0.163	0.155
下部工天端高	FH4	176.520	176.658	176.796	176.933
沓座横断勾配		5.954%			

### 下部工座標 (A2橋台)

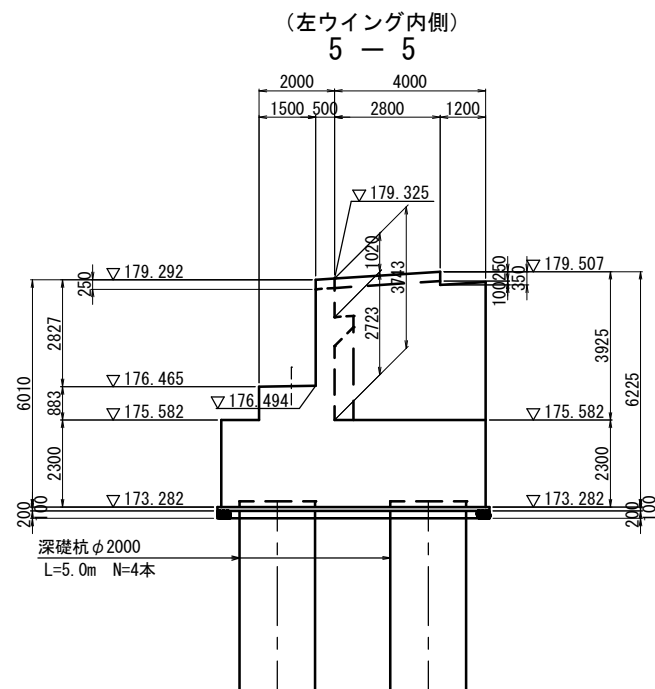
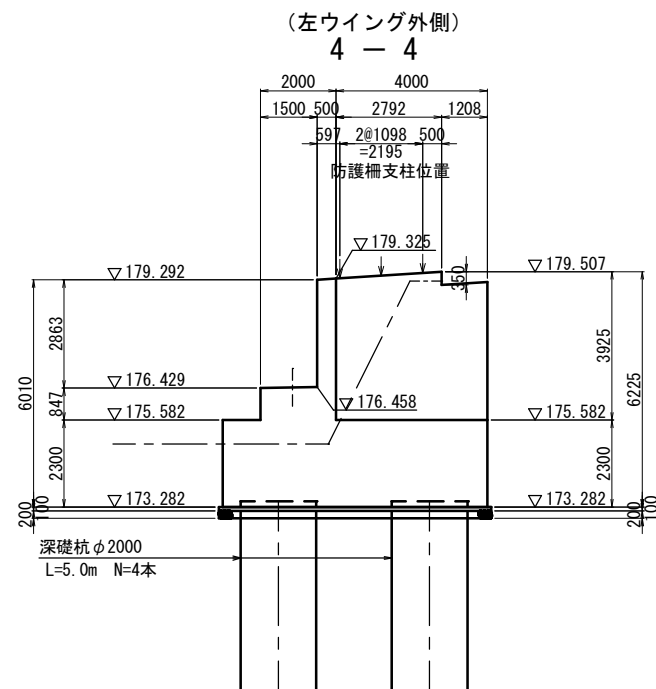
No.	X 座標	Y 座標
①	35875.9425	-1006.3701
②	35873.5555	-1002.4379
③	35878.0701	-1009.8749
④	35875.6407	-1001.0551
⑤	35880.2071	-1008.5776
⑥	35869.6569	-1004.6875
⑦	35874.2234	-1012.2100
⑧	35869.6769	-1004.7205
⑨	35870.8041	-1014.2857
⑩	35875.3963	-1003.5431
⑪	35877.8871	-1007.6463
⑫	35871.9770	-1005.6188
⑬	35874.4678	-1009.7220

### 使用材料

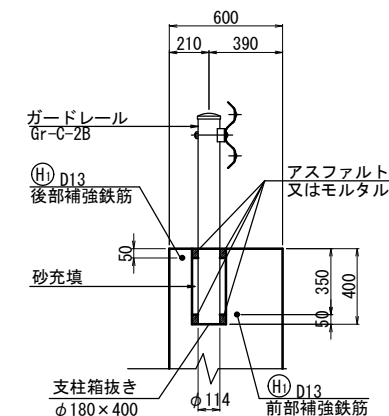
鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋材質	SD345

年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・経堂線 (大越工区) 道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	A 2 橋台構造一般図 (その 1)
縮尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 29 号
平戸市建設部建設課	

A 2 橋台構造一般図（その 2） S=1:100



車両用防護柵詳細図 S=1:20  
(コンクリート建込用)

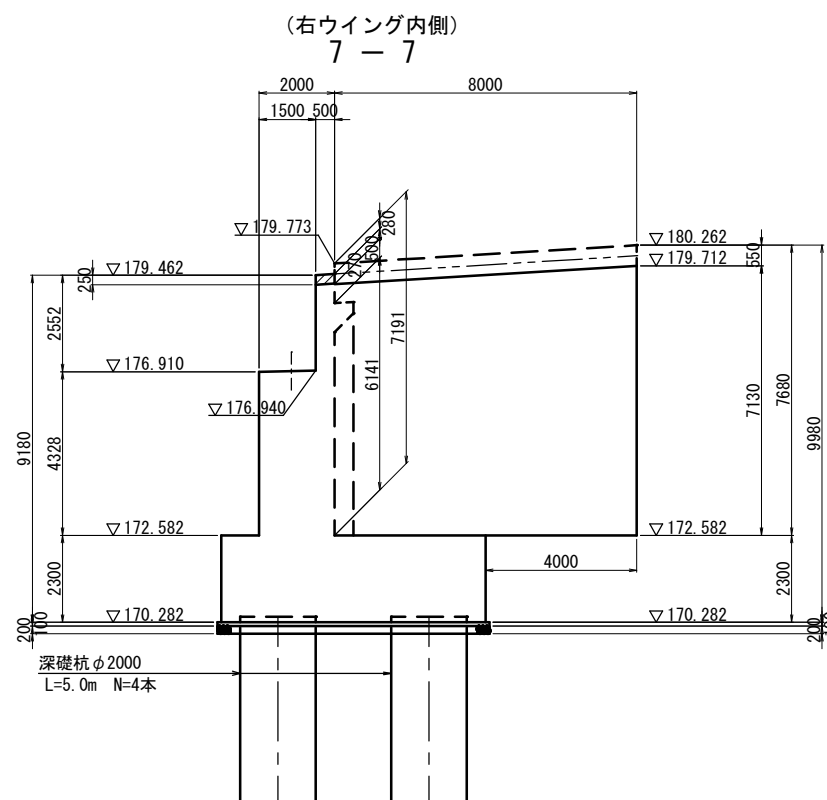
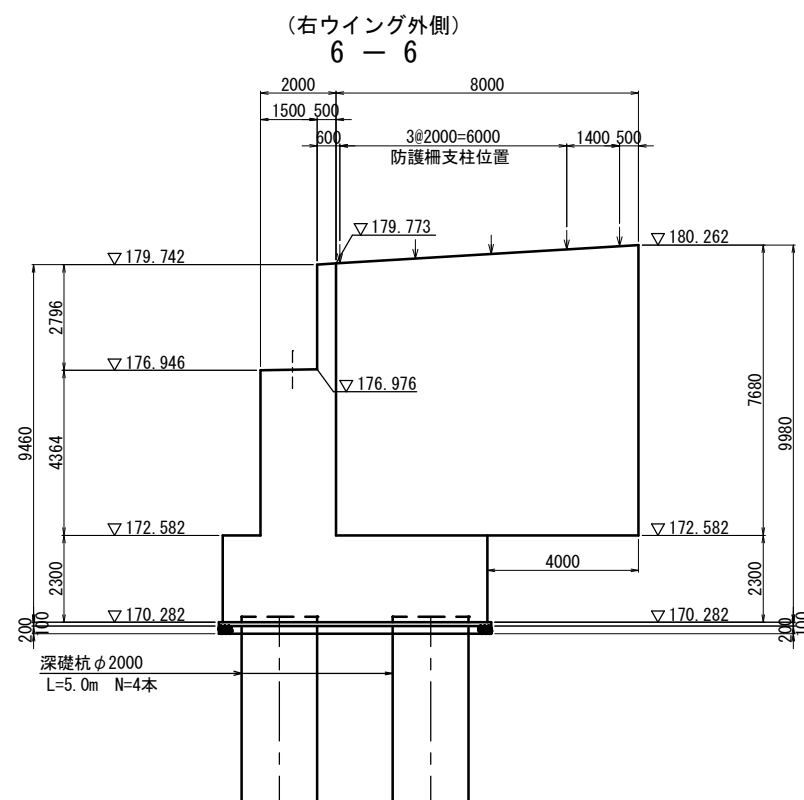
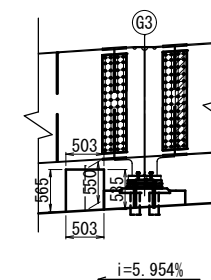
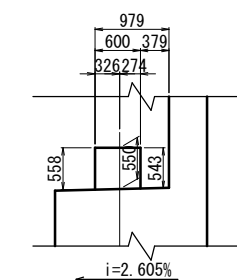


横変位拘束構造詳細図 S=1:50

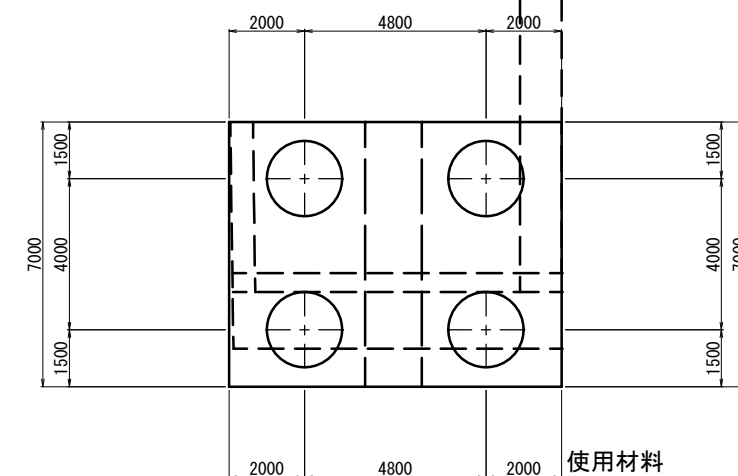
※横変位拘束構造は鉄筋の組立は下部施工時、  
コンクリートの打設は上部施工時に行う。

側面図

正面図



杭配置図



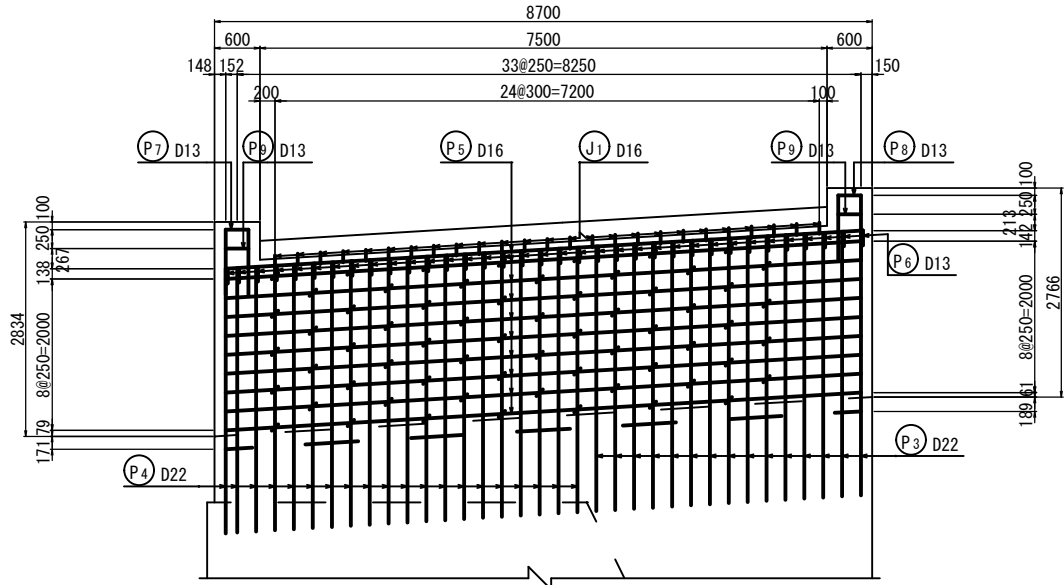
使用材料

鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋材質	SD345

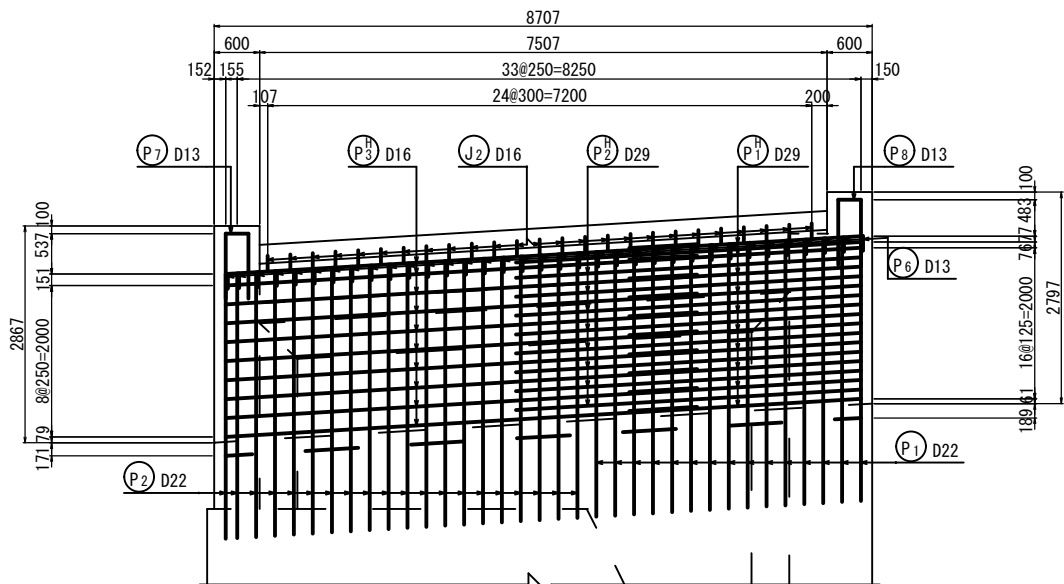
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 2 橋台構造一般図 (その 2)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 30 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋 台 配 筋 図 (その1) S=1:50

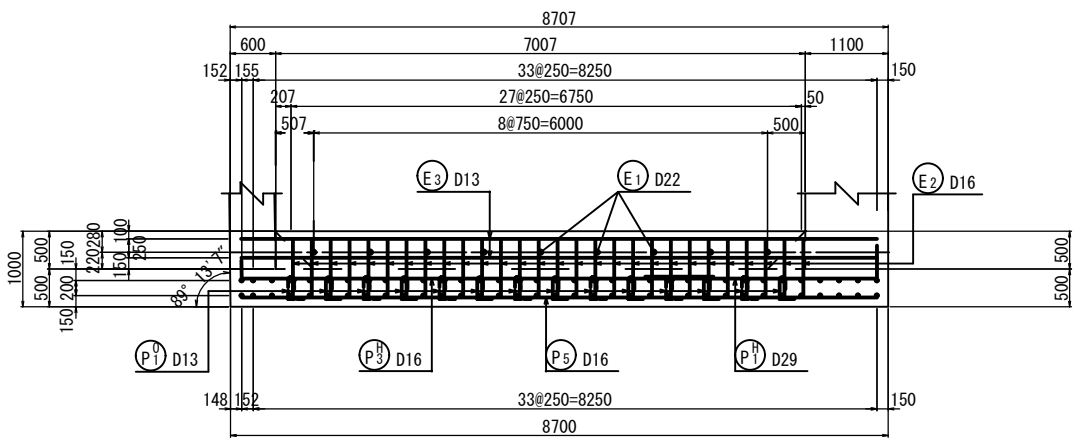
胸壁正面図 (1-1)



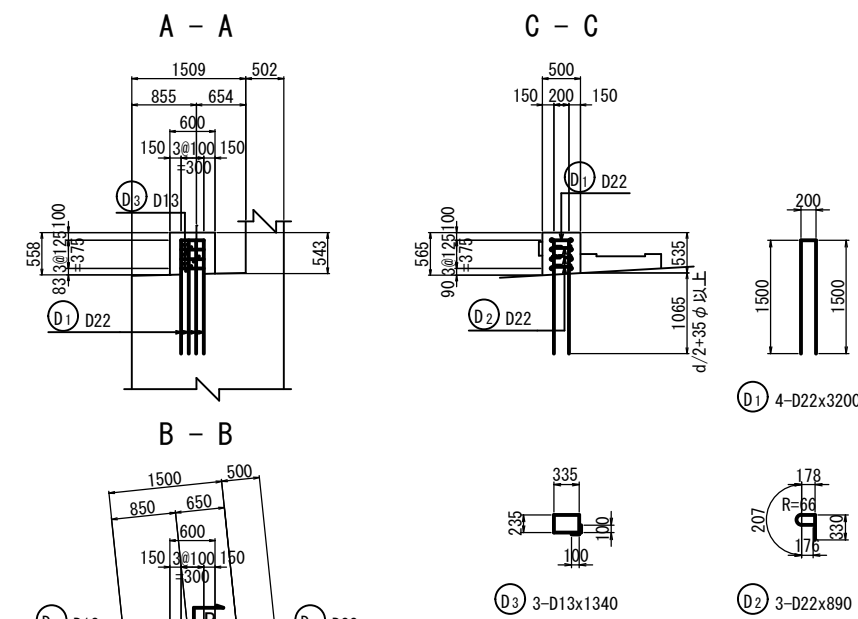
胸壁背面図 (2-2)



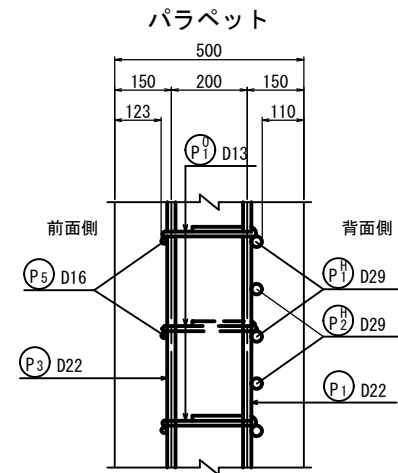
胸壁断面図 (3-3)



横変位拘束壁配筋図

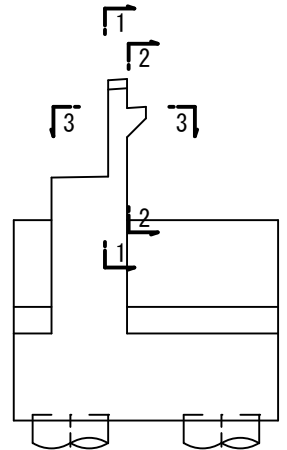


かぶり詳細図 S=1:10

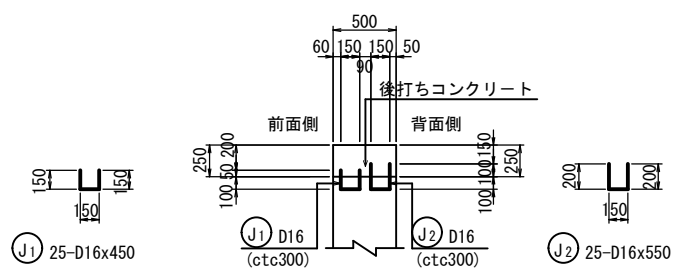


※ せん断補強鉄筋は、半円形フックを背面側に配置する。  
※ せん断補強鉄筋は、主鉄筋にフックをかけるものとする。

位置図



伸縮装置アンカー筋埋込図 S=1:30

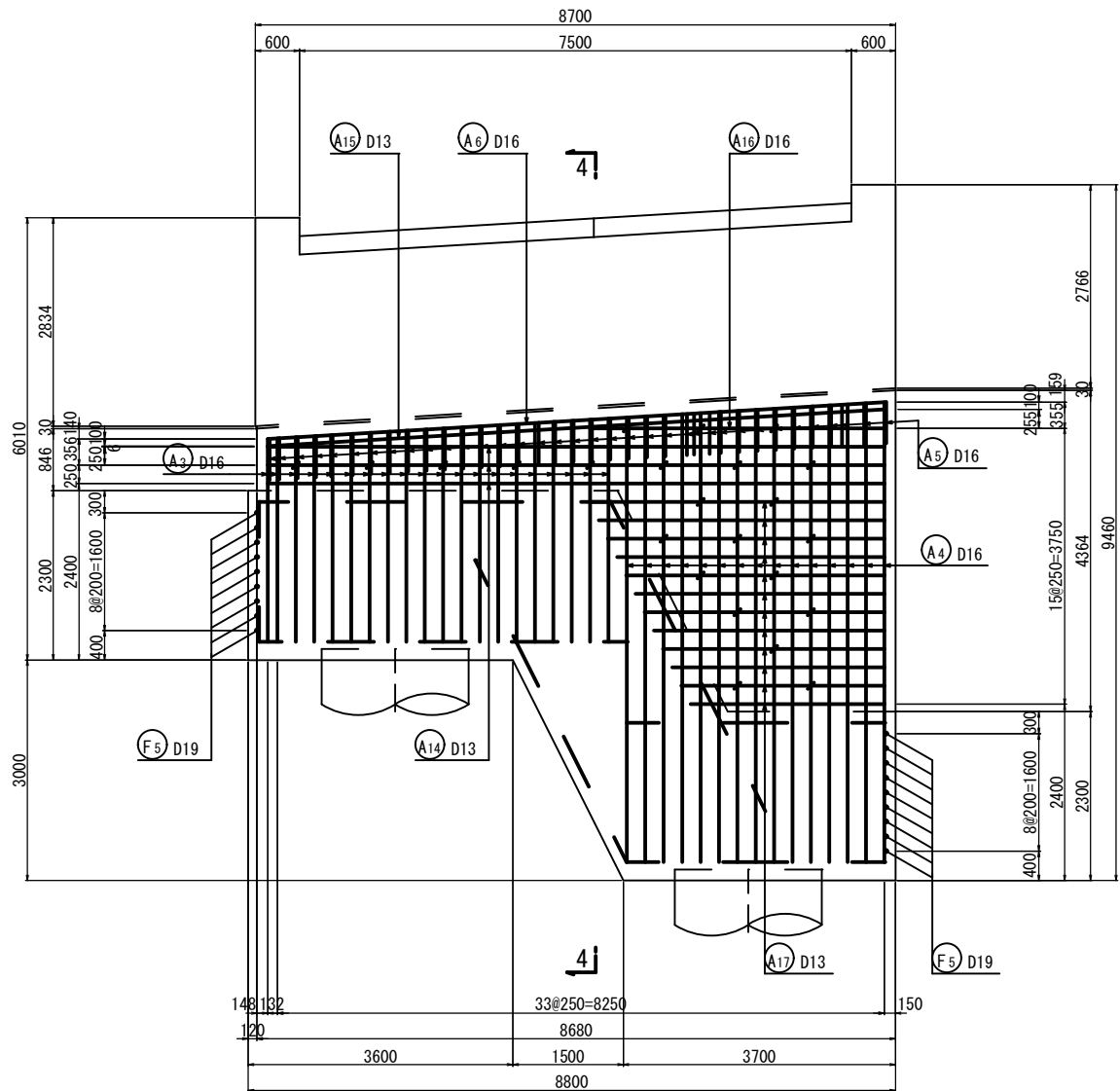


※ 伸縮装置詳細図を参照の事。

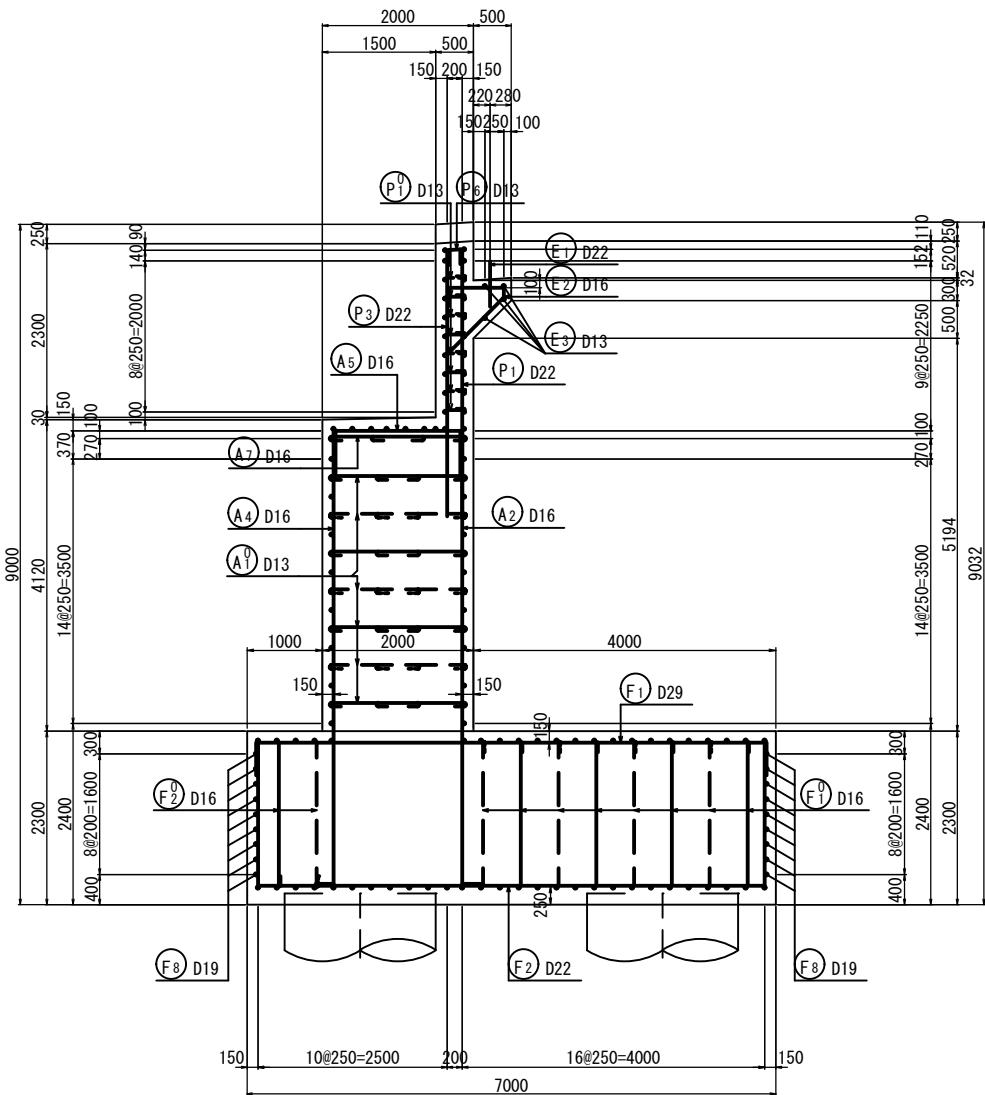
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯峨線 (大越工区) 道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図 (その1)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 31 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋 台 配 筋 図 (その2) S=1:50

たて壁正面図(1-1)

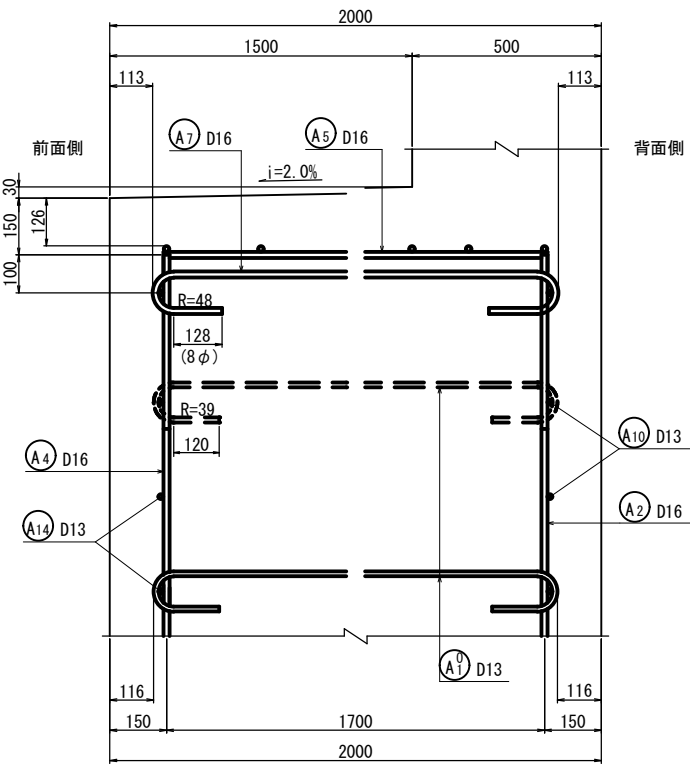


断面図(4-4)



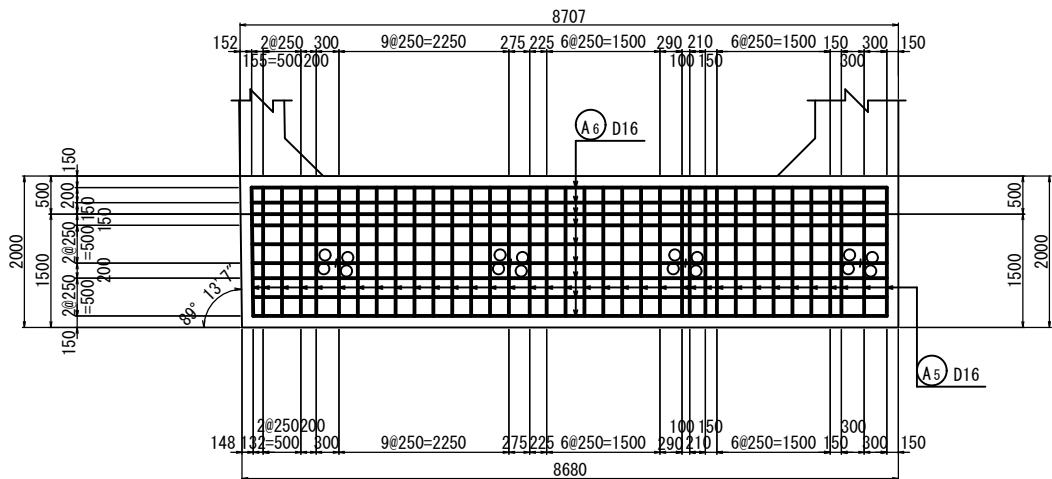
かぶり詳細図 S=1:10

堅 壁 部

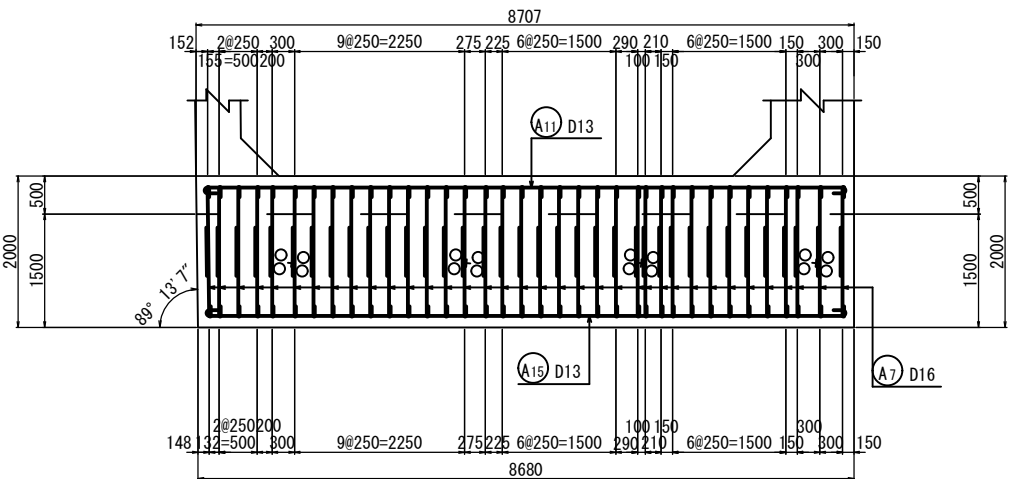


※ 中間帯鉄筋は、半円形フックを堅壁配力筋にフックを掛けるものとする。

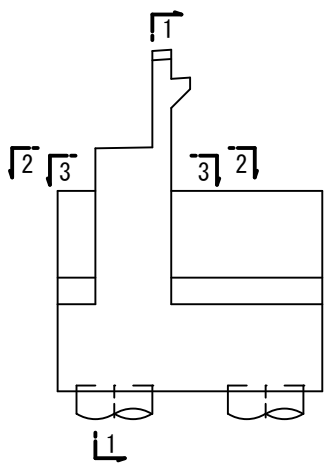
橋座面平面図(2-2)



水平補強筋平面図(3-3)



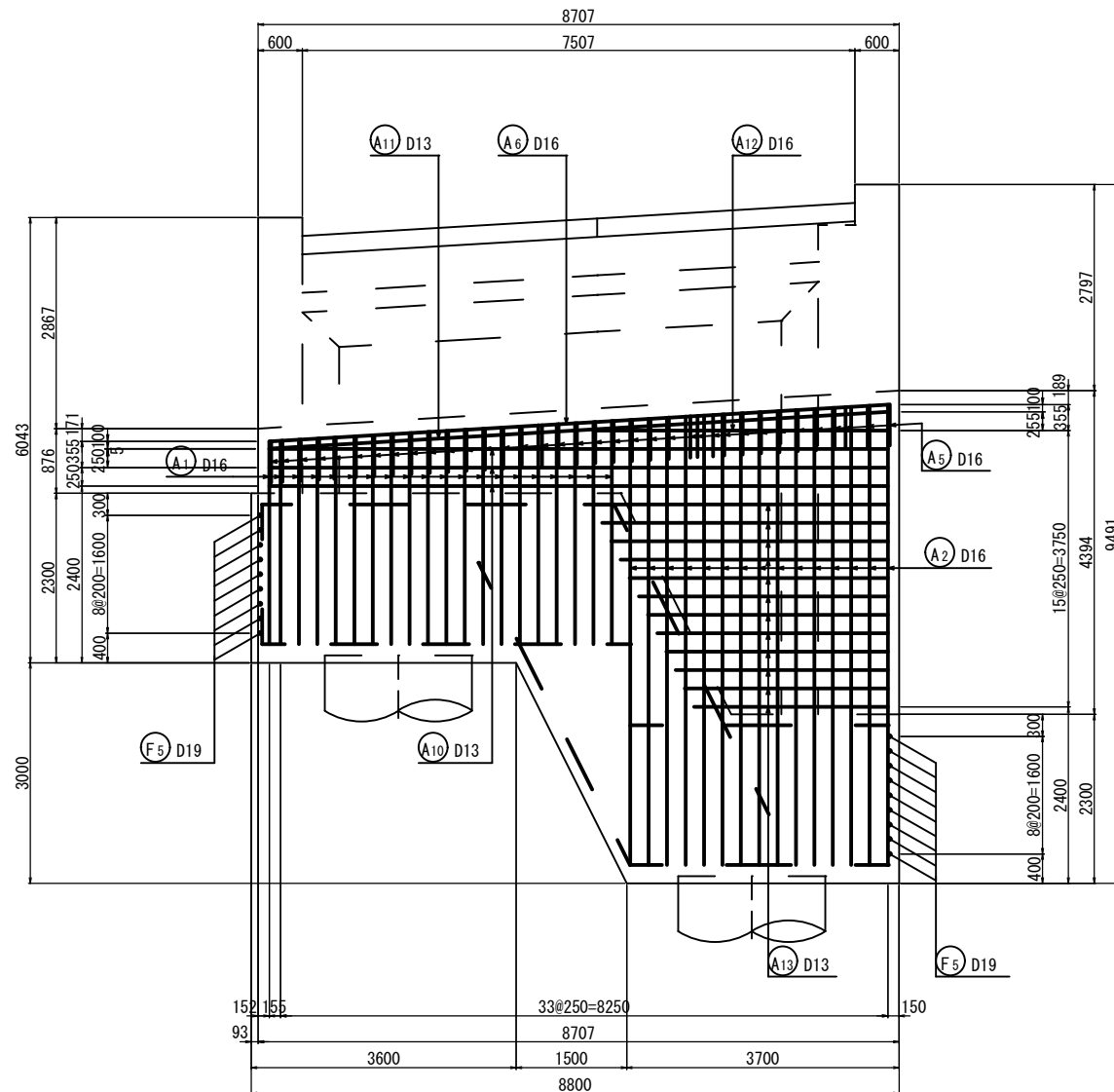
位 置 図



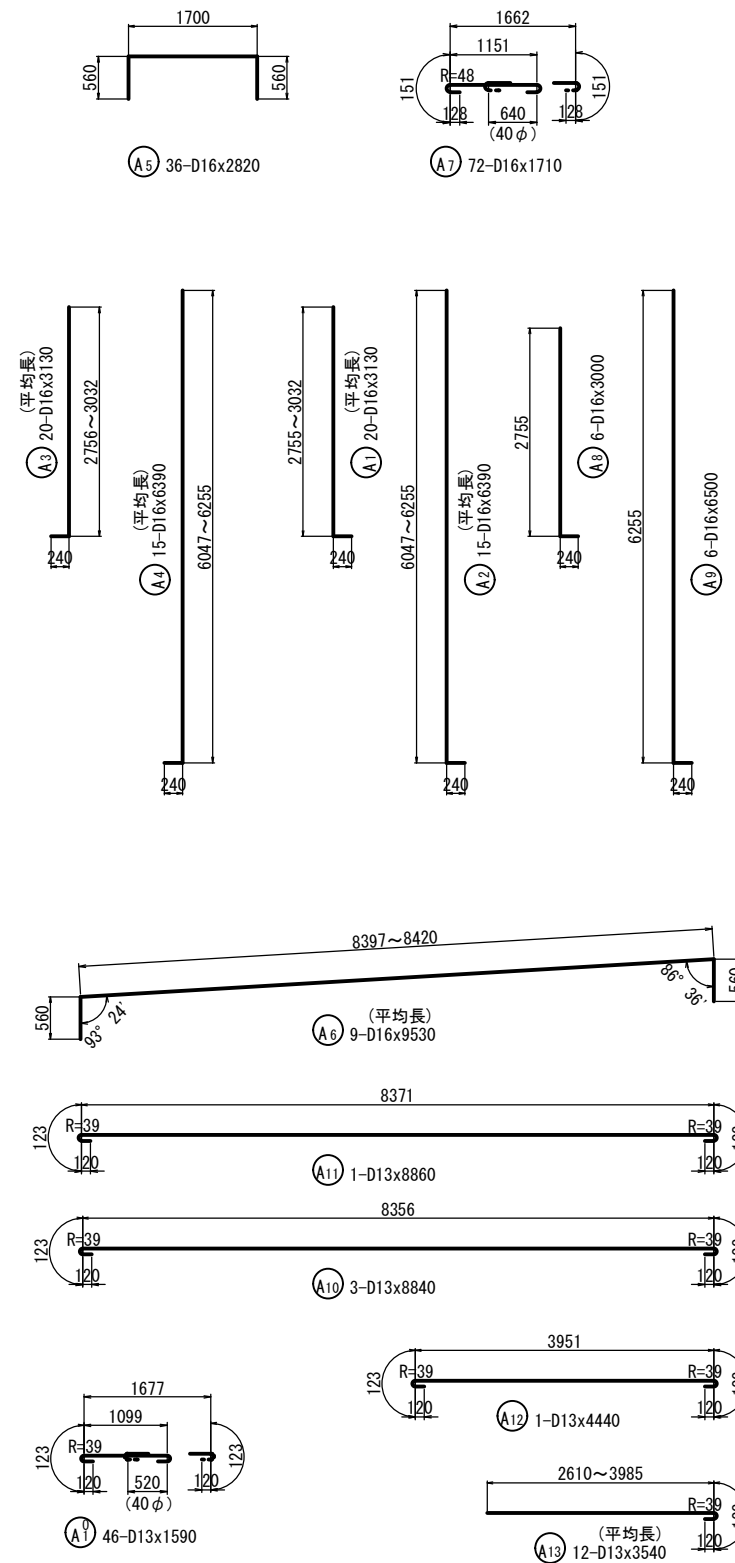
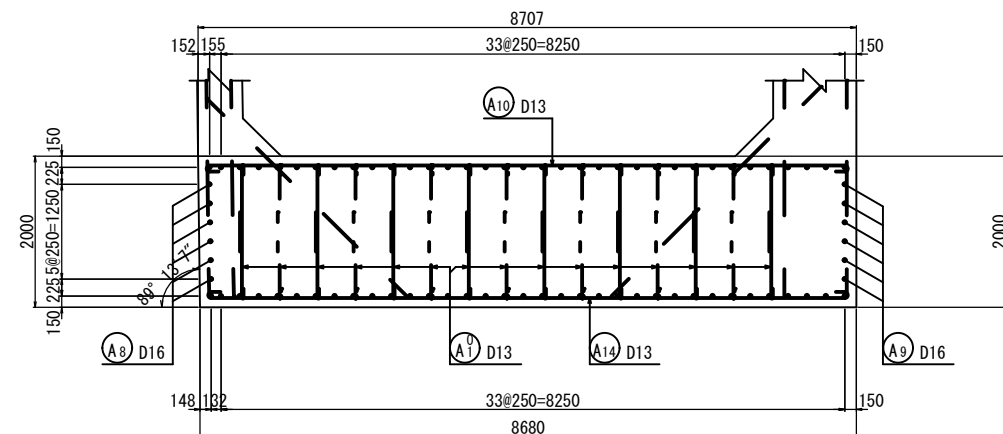
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯峨線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 32 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋 台 配 筋 図 (その3) S=1:50

たて壁背面図(1-1)

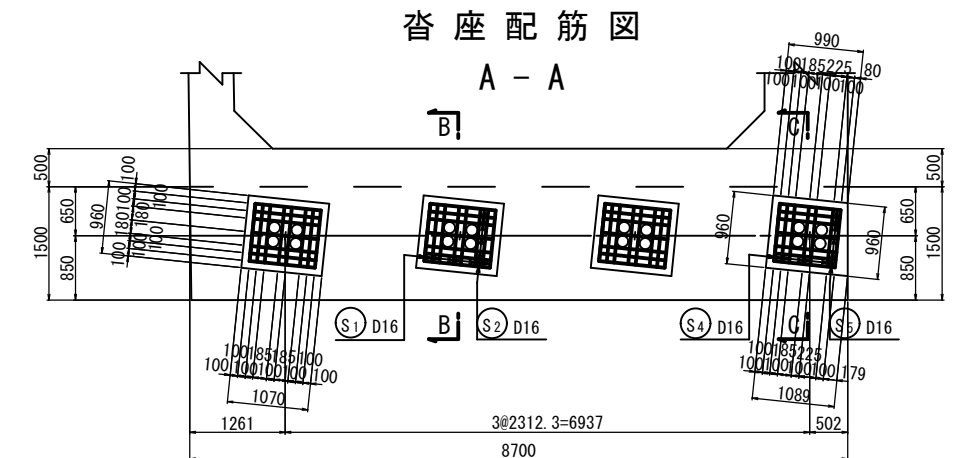


たて壁断面図(2-2)



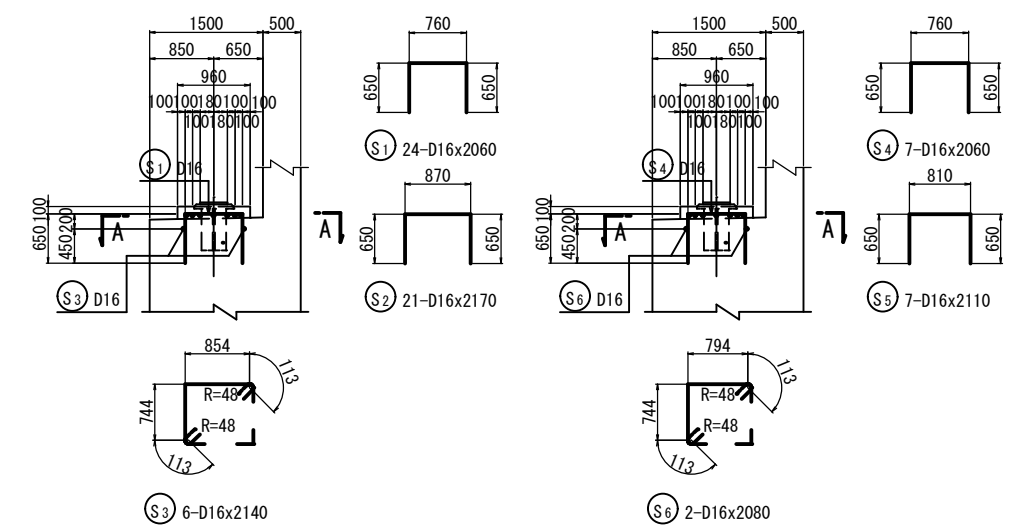
沓座配筋図

A - A

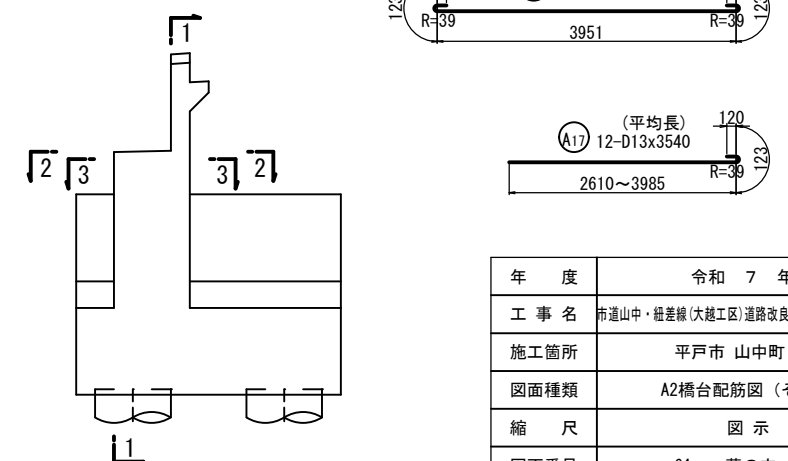


B - B

C - C



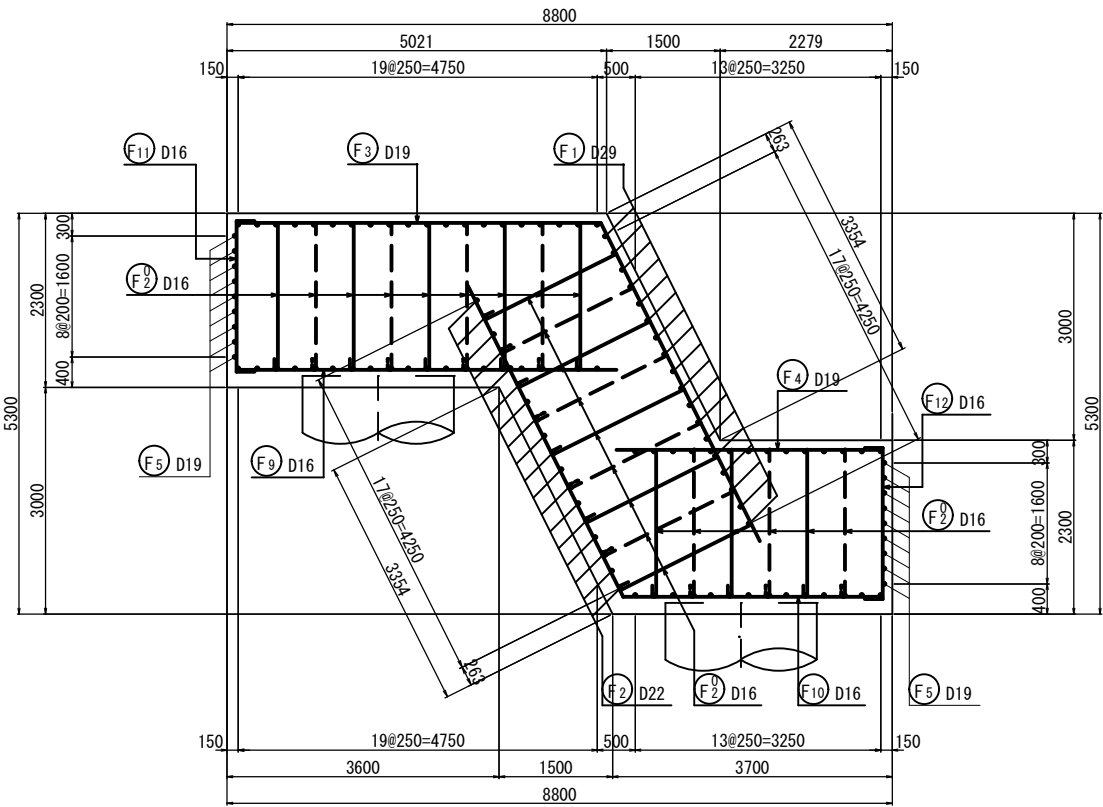
## 位置図



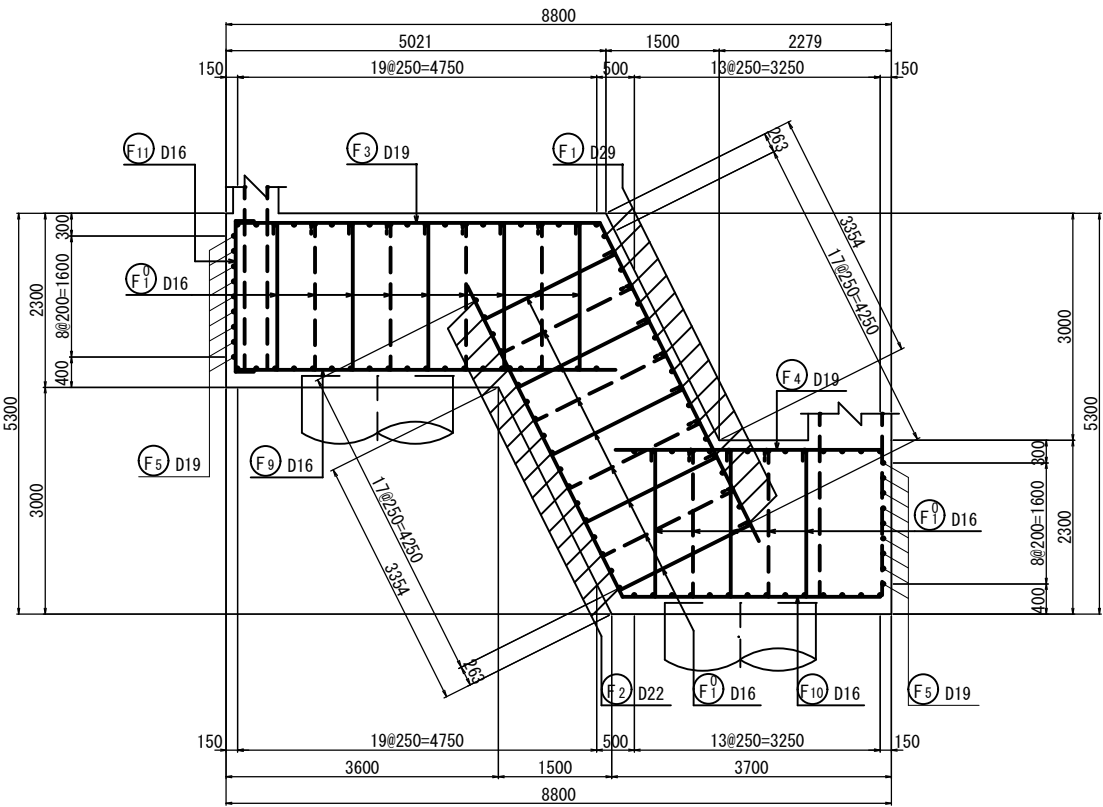
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・経差線（大施工区）道路改良工事（橋梁下部工）
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図（その3）
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 33 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋 台 配 筋 図 (その4) s=1:50

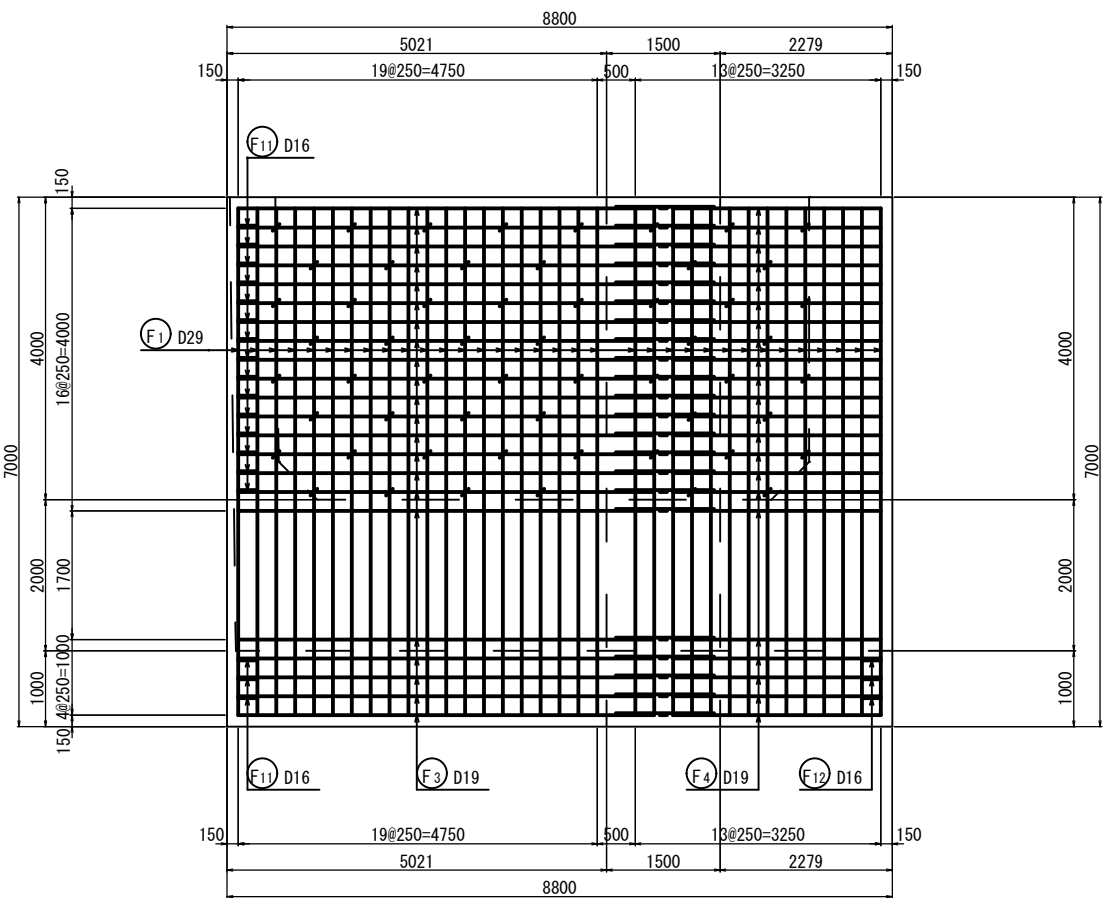
底板前趾断面図(1-1)



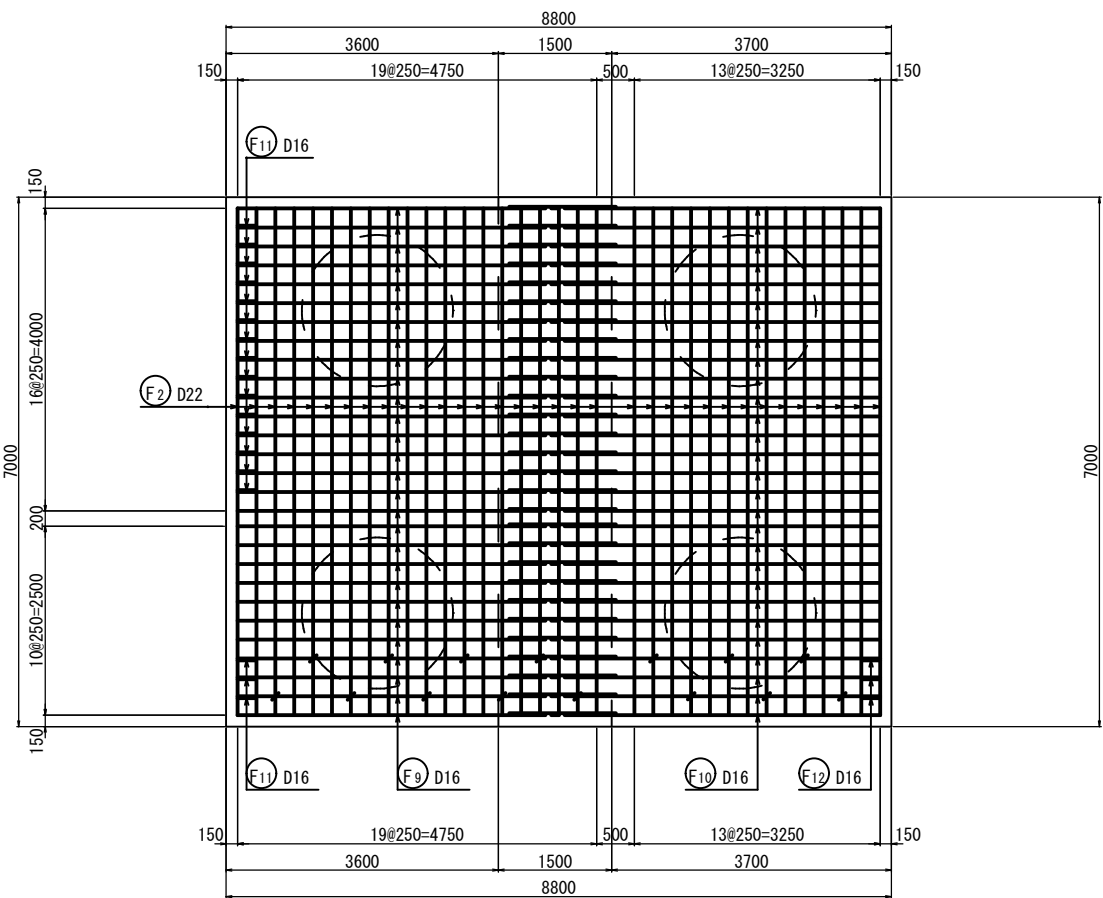
底板後趾断面図(2-2)



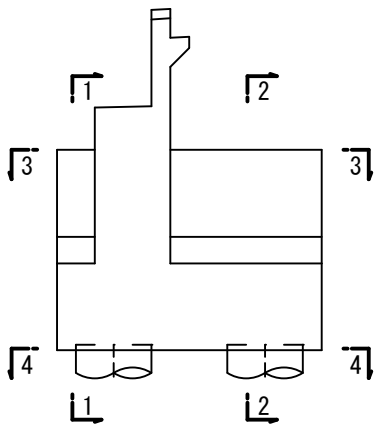
底板上面図(3-3)



底板下面図(4-4)



位置図

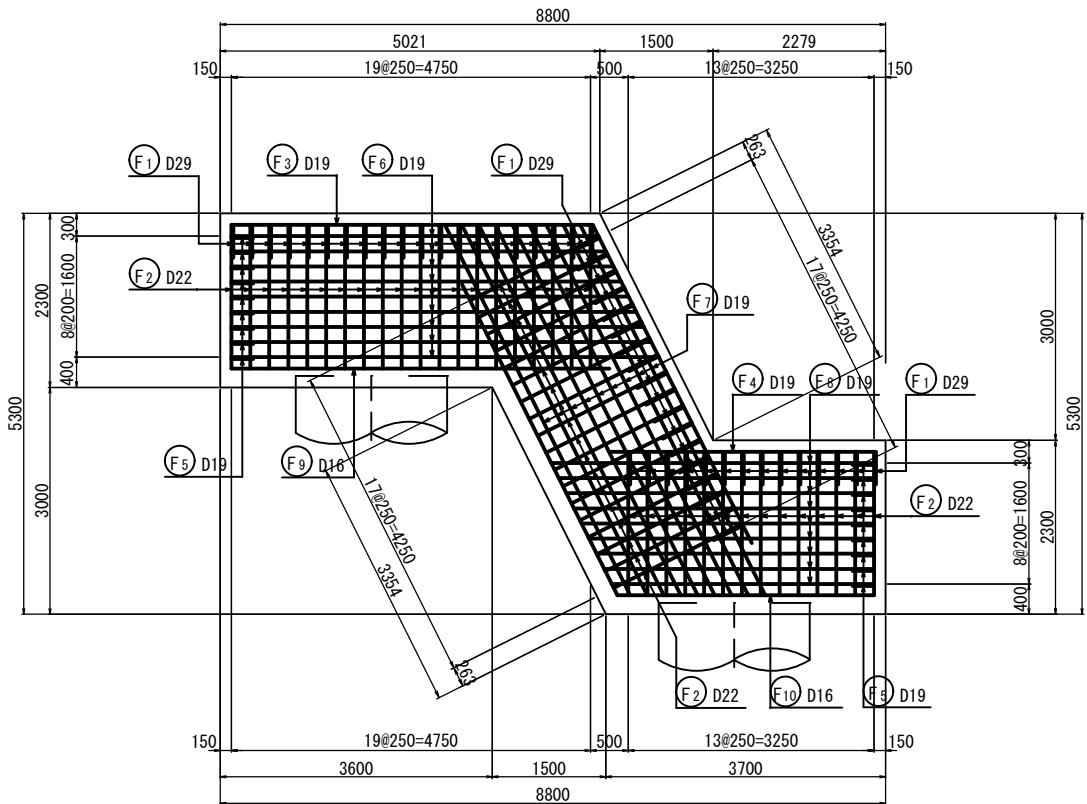


年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐建線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図(その4)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 34 号
平戸市建設部建設課	

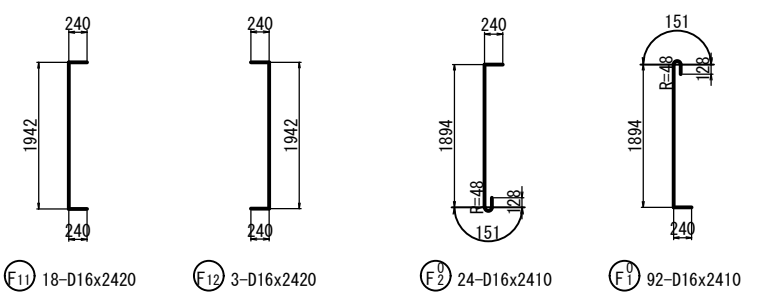
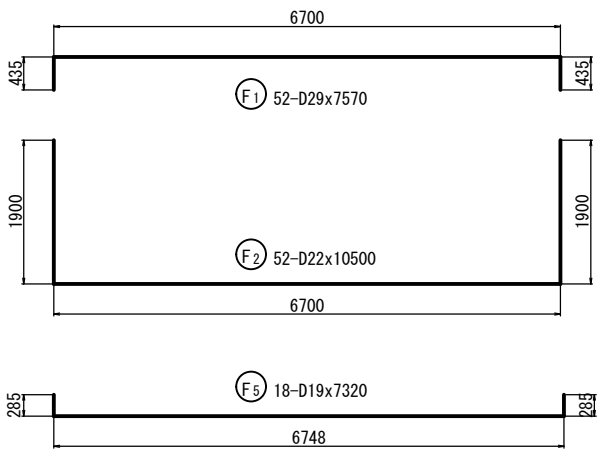
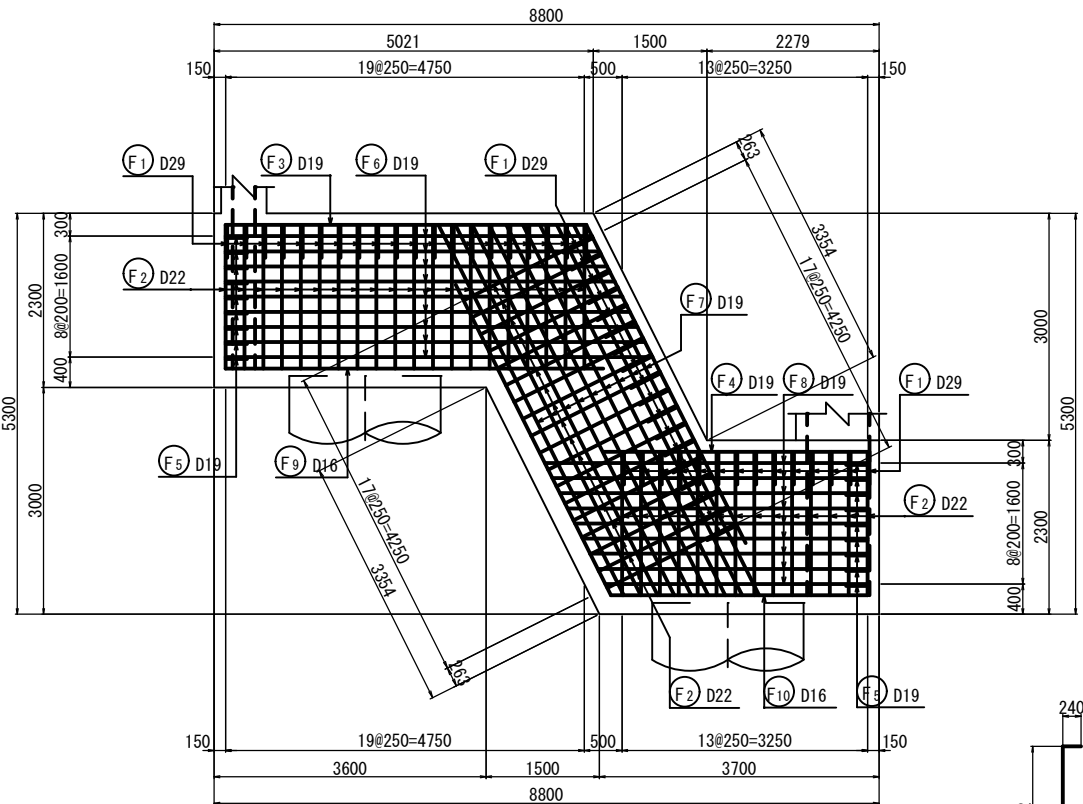


A2 橋 台 配 筋 図 (その5) S=1:50

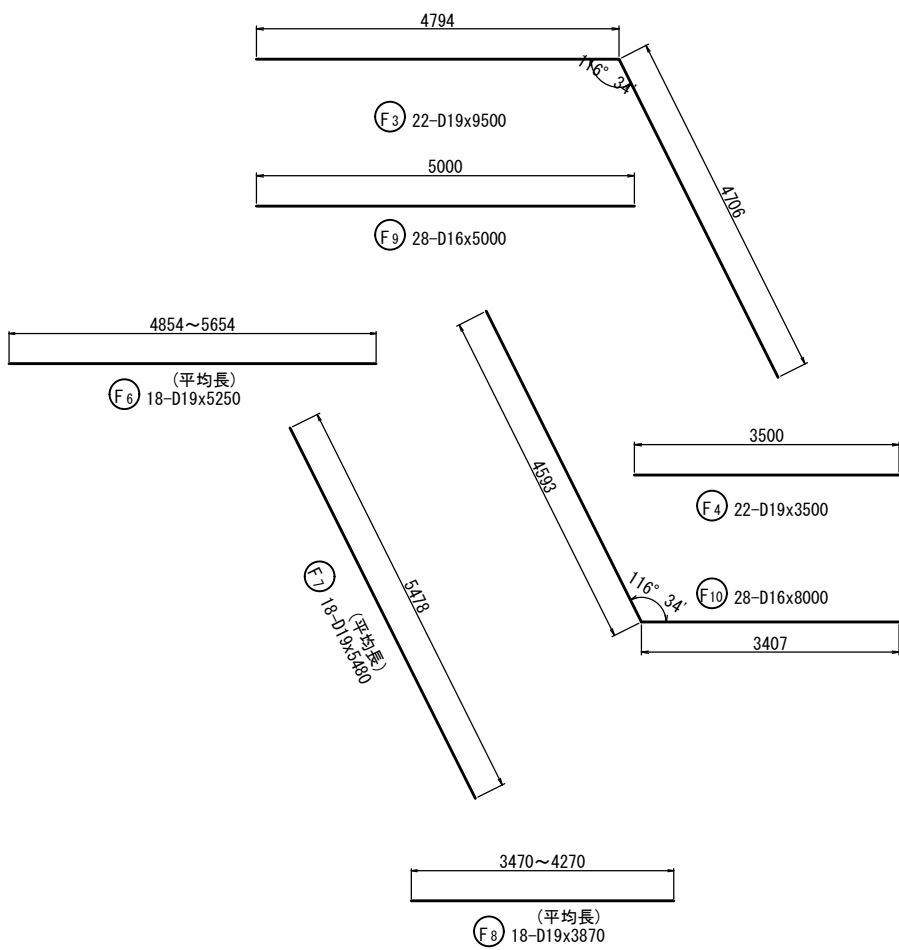
底版前趾側面図(1-1)



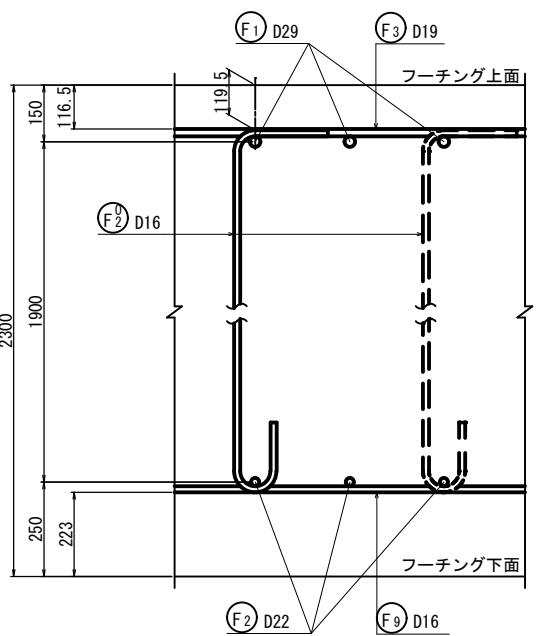
底版後趾側面図(2-2)



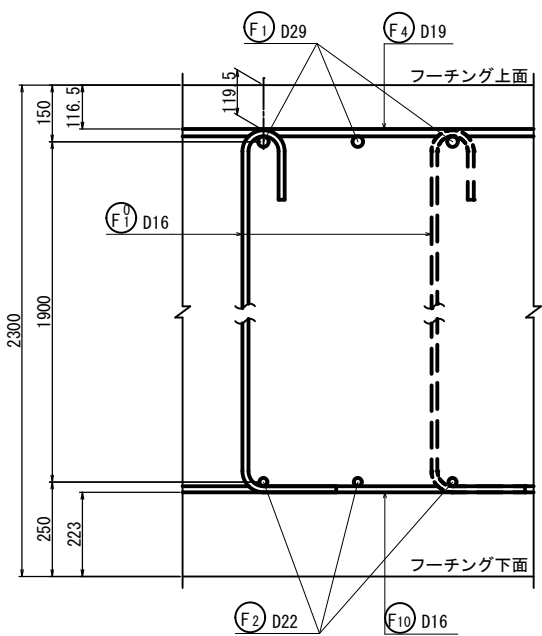
かぶり詳細図 S=1:10  
橋軸直角方向



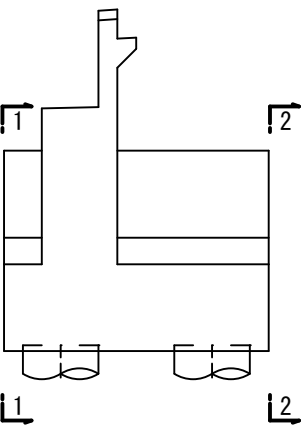
前フーチング



後フーチング



位置図



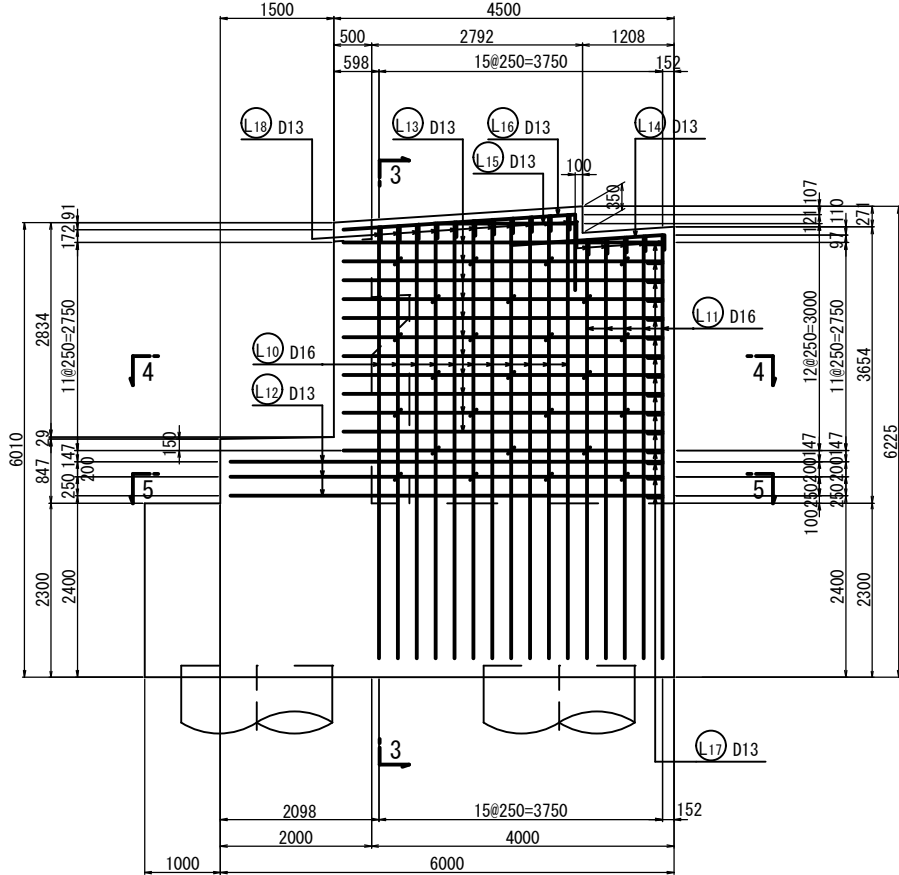
※ せん断補強筋 (F2) は、下面側主鉄筋に半円形フックをかけること。

※ せん断補強筋 (F1) は、上面側主鉄筋に半円形フックをかけること。

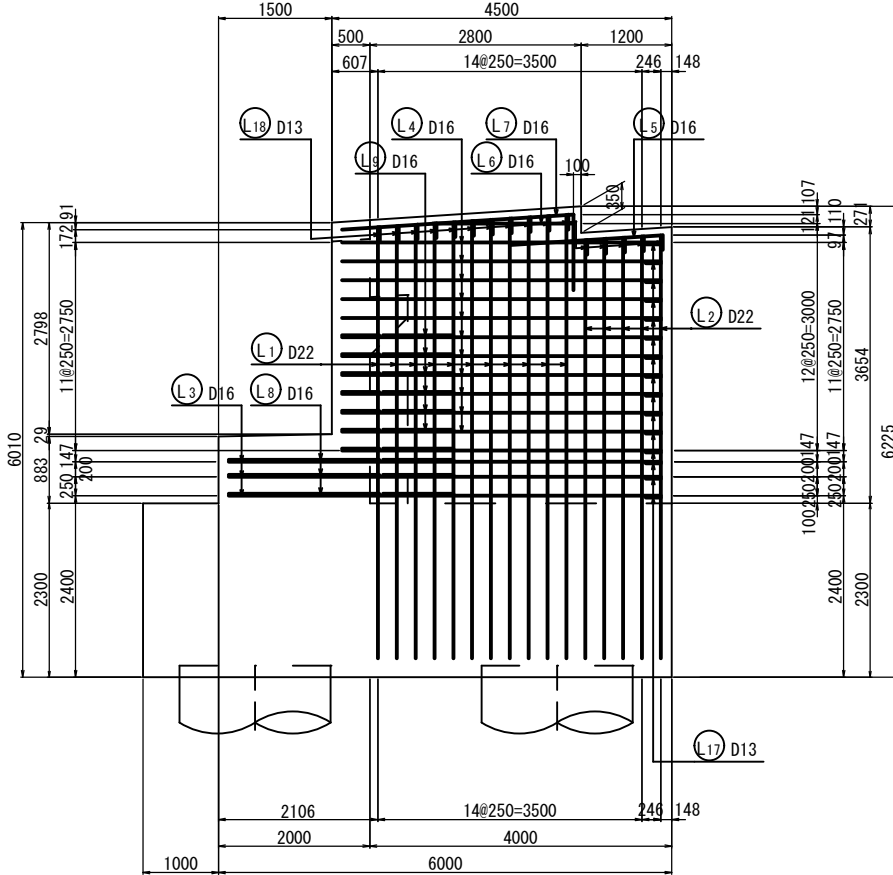
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図(その5)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 35 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋台配筋図 (その6) S=1:50

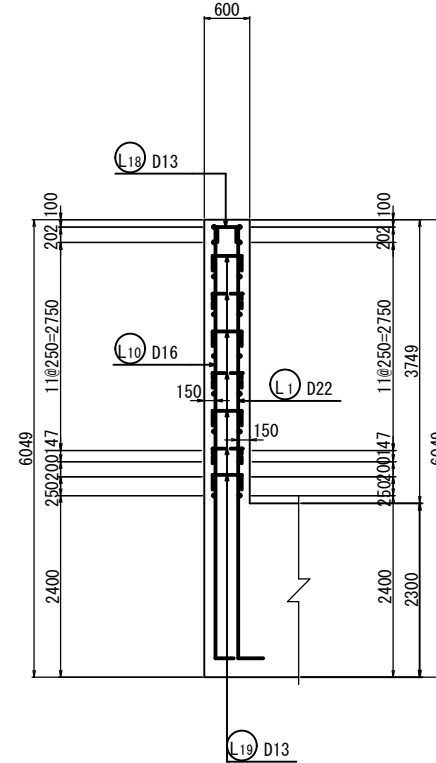
ウイング外面図(1-1)



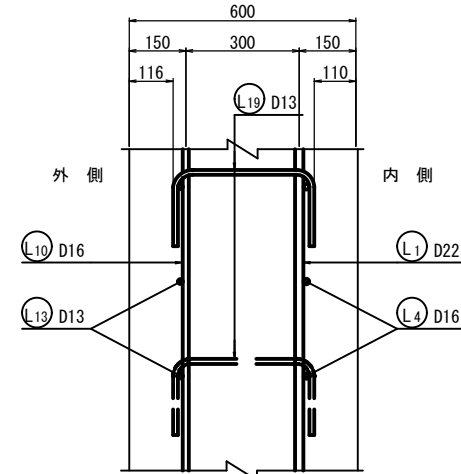
### ウイング内面図(2-2)



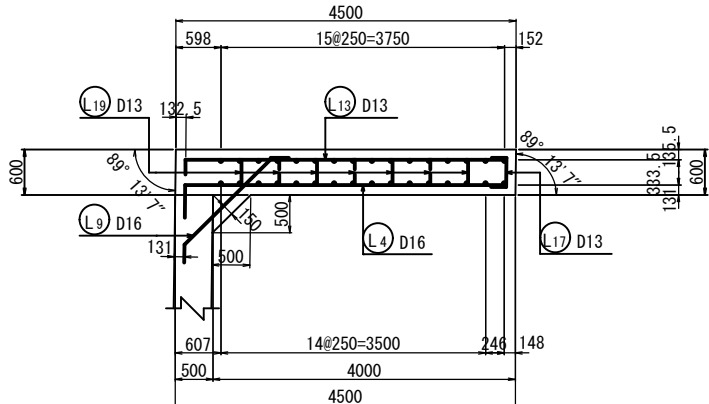
断面図(3-3)



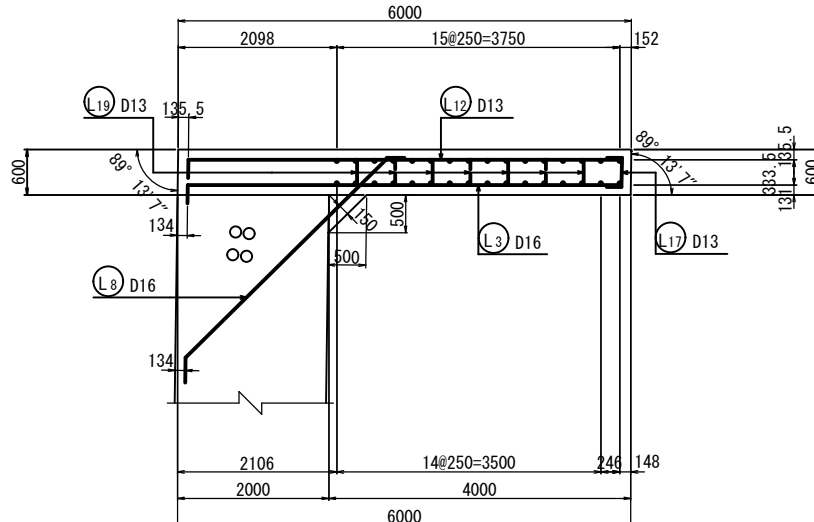
かぶり詳細図 S=1:10



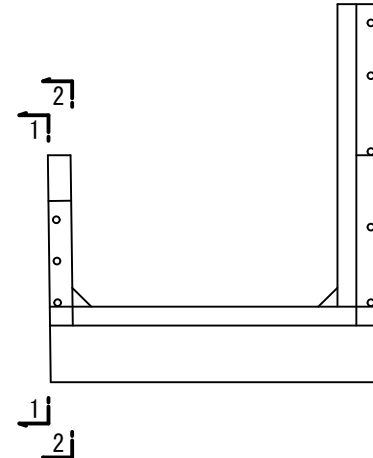
断面图(4-4)



断面图 (5-5)



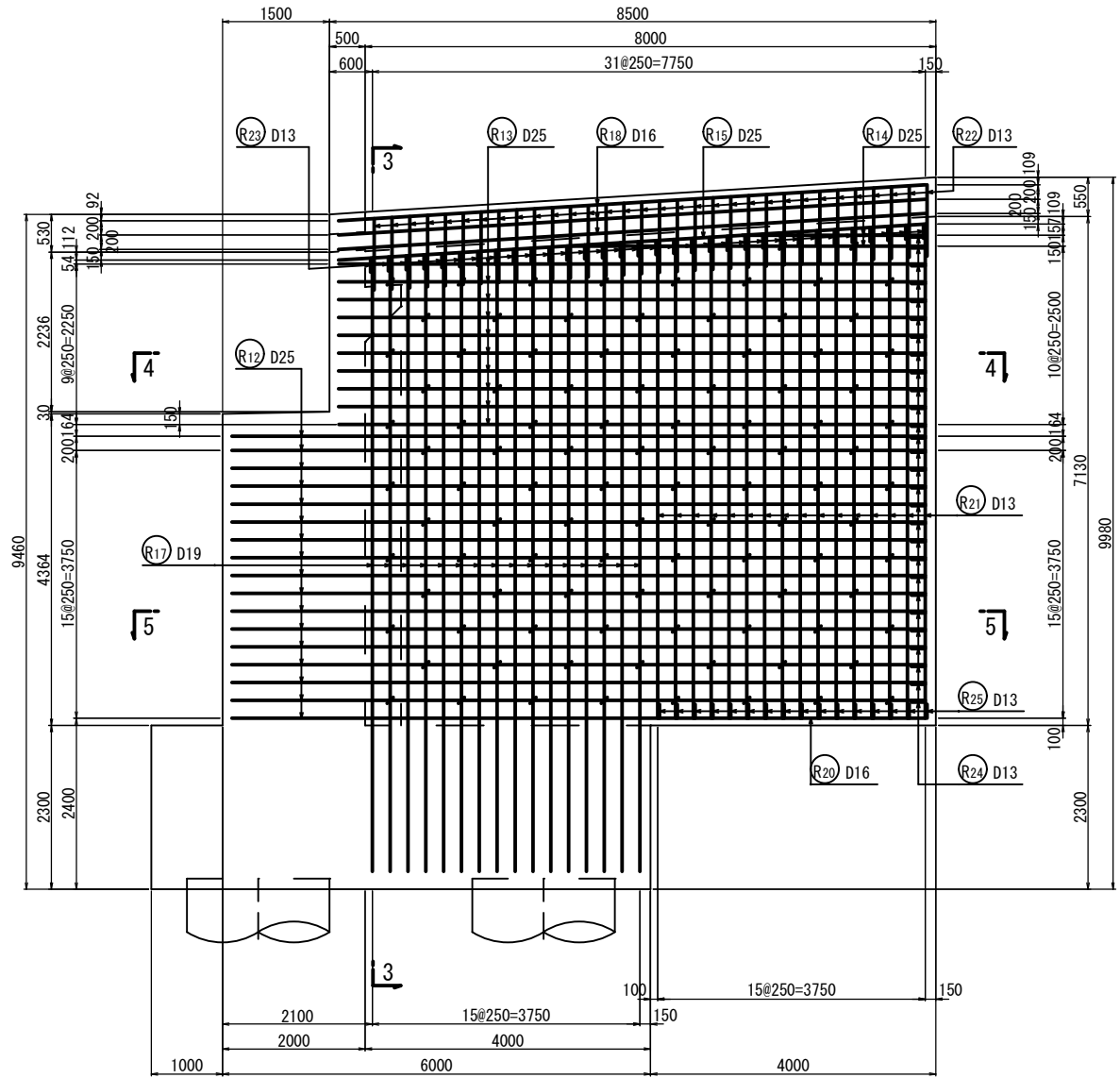
### 位置図



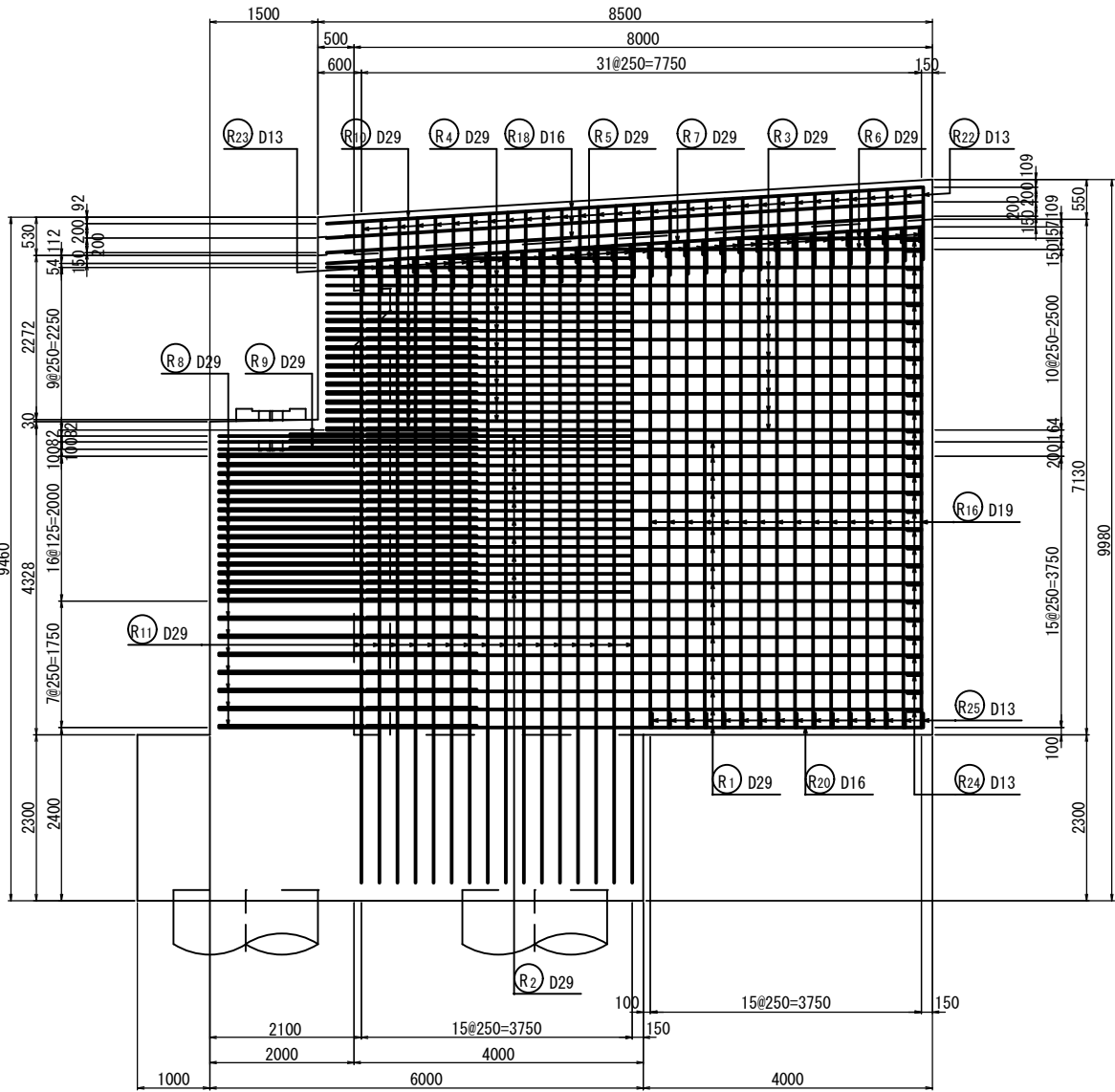
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・樫差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図 (その6)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 36 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋 台 配 筋 図 (その7) S=1:50

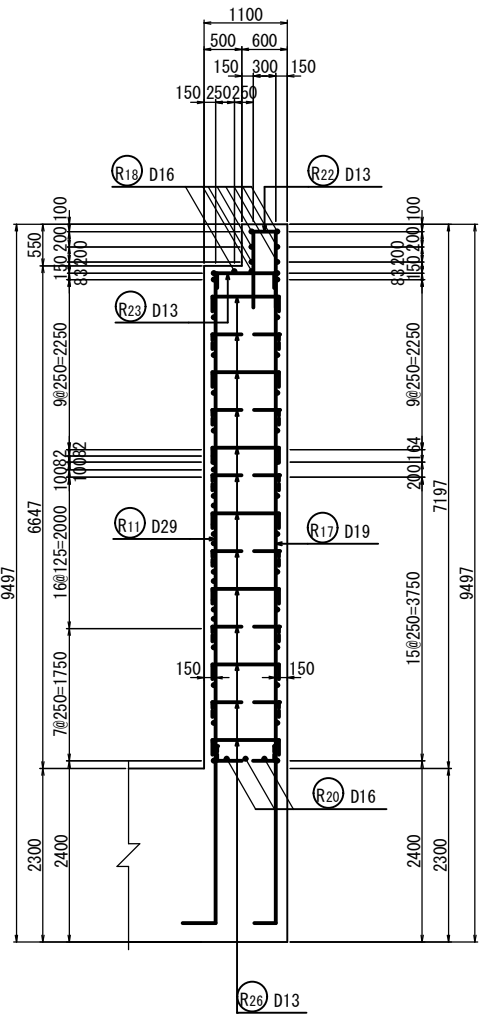
ウイング外面図(1-1)



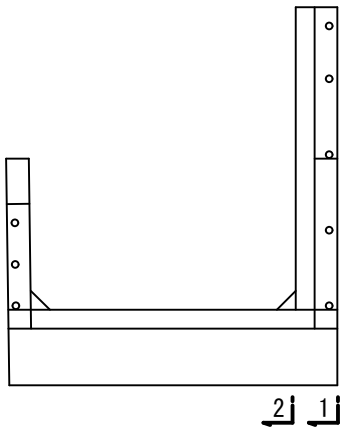
ウイング内面図(2-2)



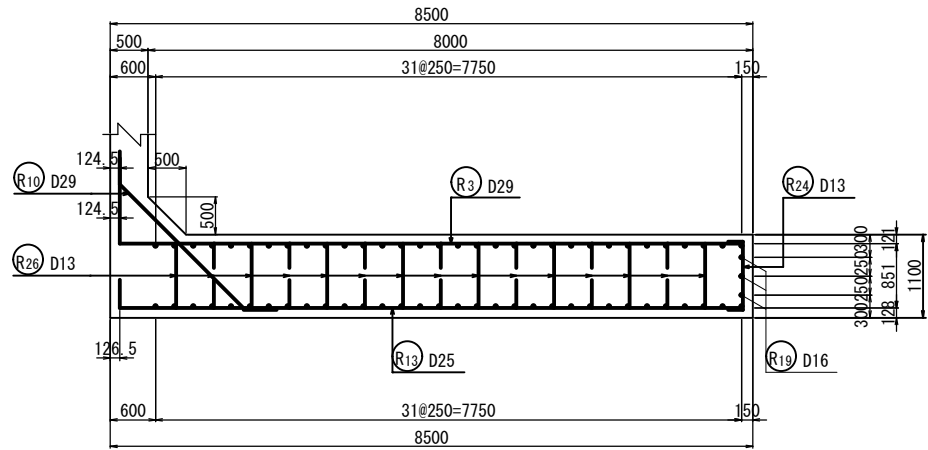
断面図(3-3)



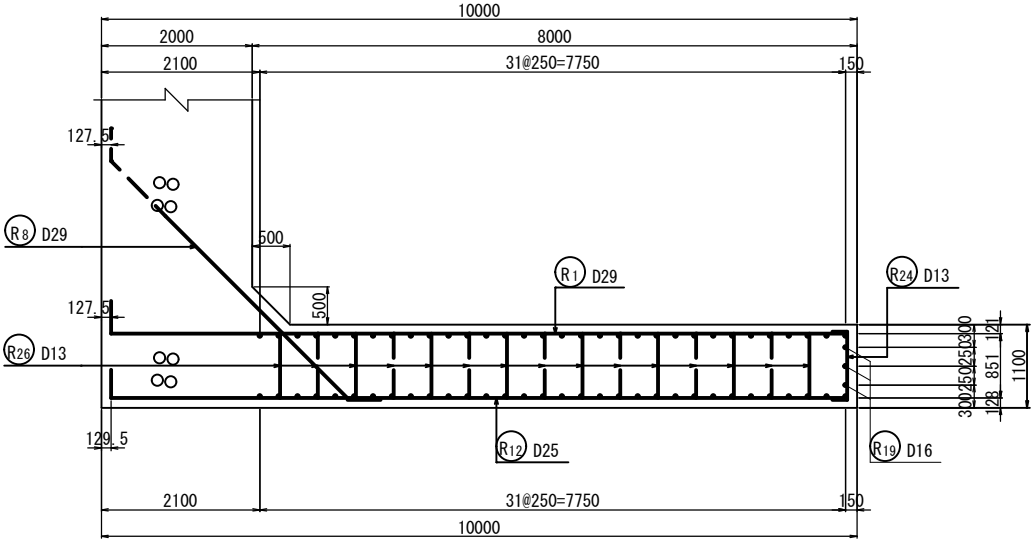
位置図 2-1



断面図(4-4)

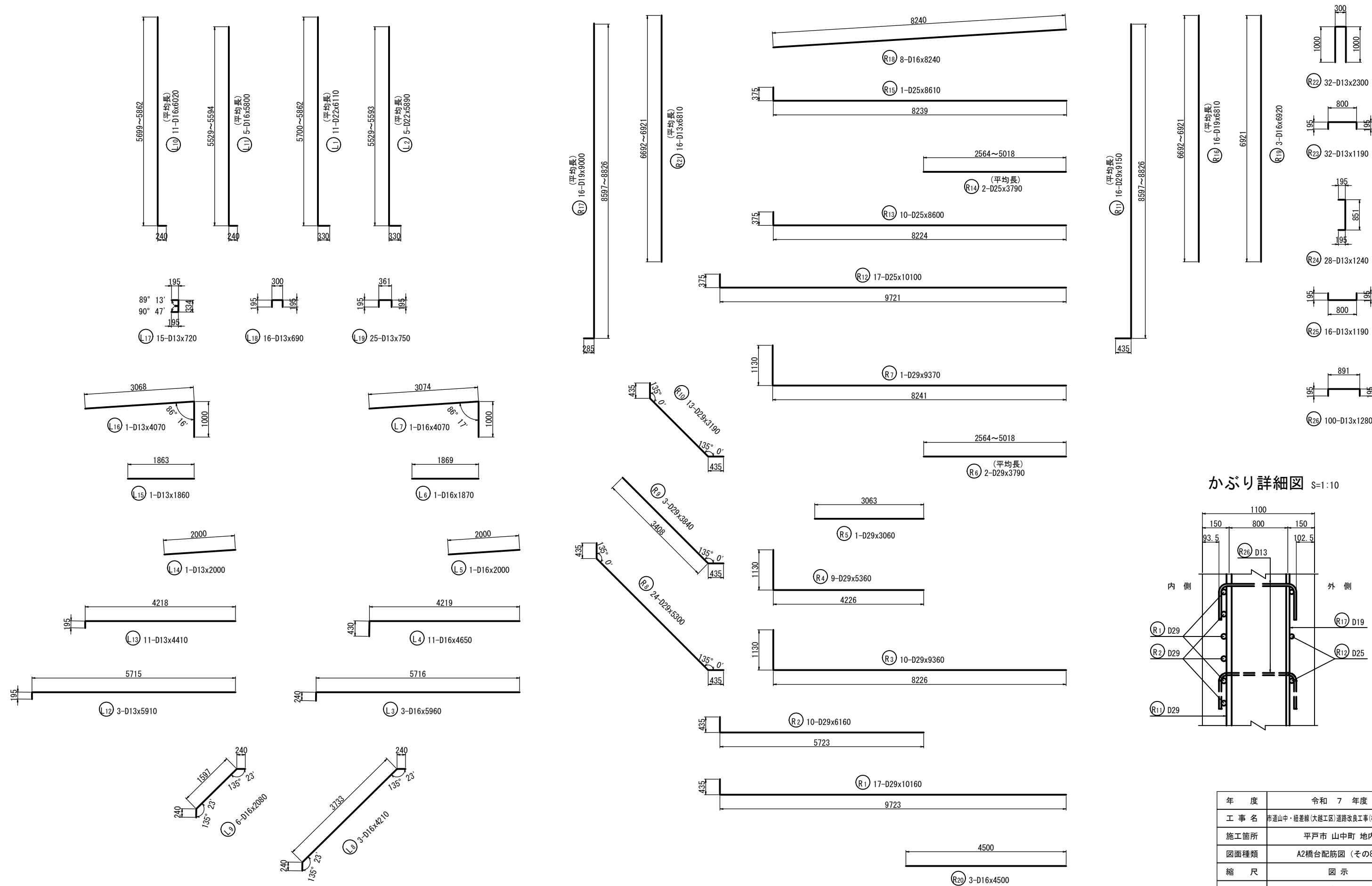


断面図(5-5)

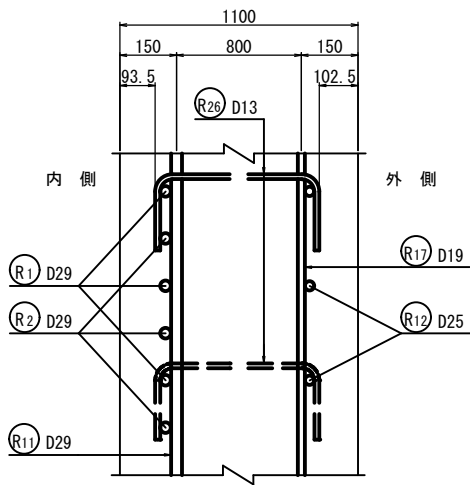


年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯峨線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図(その7)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 37 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋 台 配 筋 図 (その8) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:10



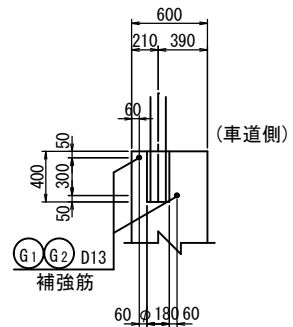
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図(その8)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 38 号
平戸市建設部建設課	

## A2 橋台配筋図(その9)

防護柵ポスト孔補強筋(参考図) S=1:30

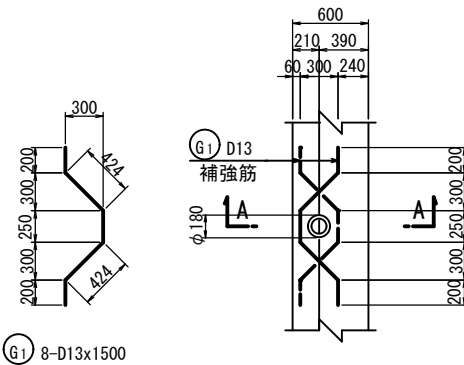
(車道部)

**A – A**



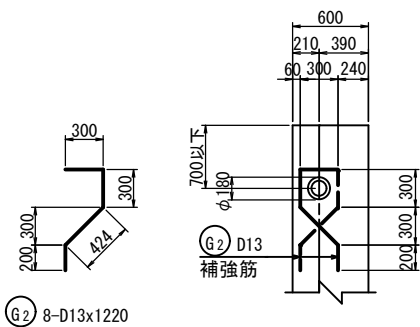
## 標準部

(4箇所)



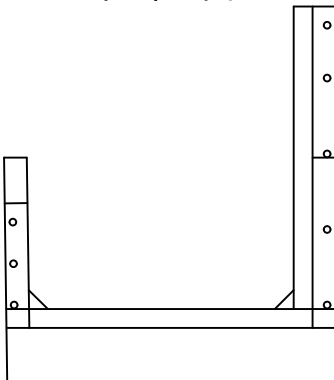
端 部

(4箇所)



※ ポスト孔補強筋の端部, 標準部箇所数は、構造図参照。

## 位置図



## 鉄筋表

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
A 15	D13	8830	1	0.995	8.79	9	↶
16	〃	4440	1	〃	4.42	4	↶
17	〃	3540	12	〃	3.52	42	↷平均長
1231							kg
A 〇	D13	1590	46	0.995	1.58	73	↷
73							kg
S 1	D16	2060	24	1.56	3.21	77	↶
2	〃	2170	21	〃	3.39	71	↶
3	〃	2140	6	〃	3.34	20	↶
4	〃	2060	7	〃	3.21	22	↶
5	〃	2110	7	〃	3.29	23	↶
6	〃	2080	2	〃	3.24	6	↶
219							kg
F 1	D29	7570	52	5.04	38.15	1984	↶
2	D22	10500	52	3.04	31.92	1660	↶
3	D19	9500	22	2.25	21.38	470	↶
4	〃	3500	22	〃	7.88	173	↶
5	〃	7320	18	〃	16.47	296	↶
6	〃	5250	18	〃	11.81	213	↶平均長
7	〃	5480	18	〃	12.33	222	↶平均長
8	〃	3870	18	〃	8.71	157	↶平均長
9	D16	5000	28	1.56	7.80	218	↶
10	〃	8000	28	〃	12.48	349	↶
11	〃	2420	18	〃	3.78	68	↶
12	〃	2420	3	〃	3.78	11	↶
5821							kg
F 〇	D16	2410	92	1.56	3.76	346	
2	〃	2410	24	〃	3.76	90	
436							kg
L 1	D22	6110	11	3.04	18.57	204	↶平均長
2	〃	5890	5	〃	17.91	90	↶平均長
3	D16	5960	3	1.56	9.30	28	↶
4	〃	4650	11	〃	7.25	80	↶
5	〃	2000	1	〃	3.12	3	↶
6	〃	1870	1	〃	2.92	3	↶
7	〃	4070	1	〃	6.35	6	↶
8	〃	4210	3	〃	6.57	20	↶
9	〃	2080	6	〃	3.24	19	↶
10	〃	6020	11	〃	9.39	103	↶平均長
11	〃	5800	5	〃	9.05	45	↶平均長
12	D13	5910	3	0.995	5.88	18	↶
13	〃	4410	11	〃	4.39	48	↶
14	〃	2000	1	〃	1.99	2	↶

[illegible]

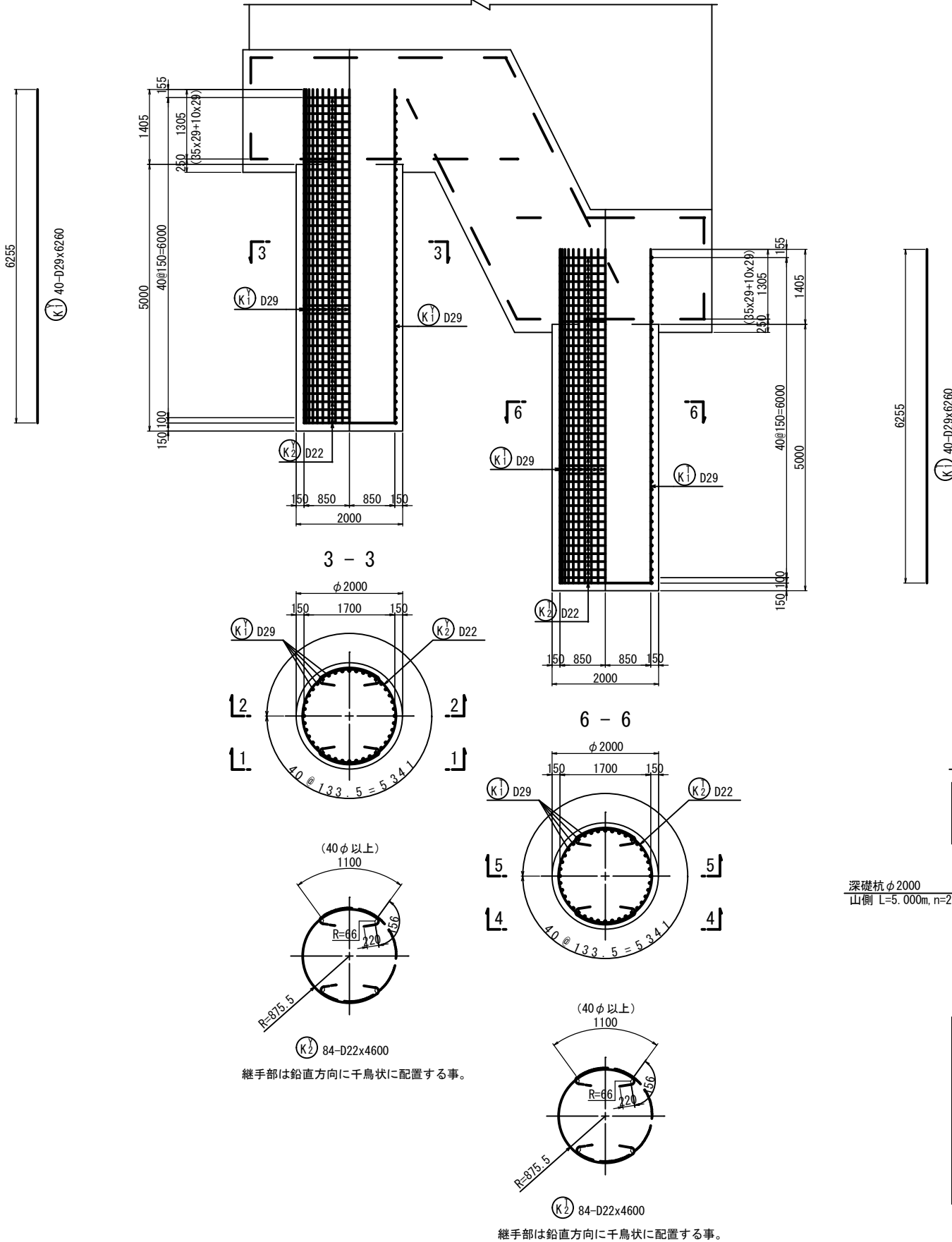
注) コンクリートの設計強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$   
鉄筋の材質は全てSD345である。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市連山中・紐差線(大越区工)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台配筋図 (その9)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 39 号
平戸市建設部建設課	

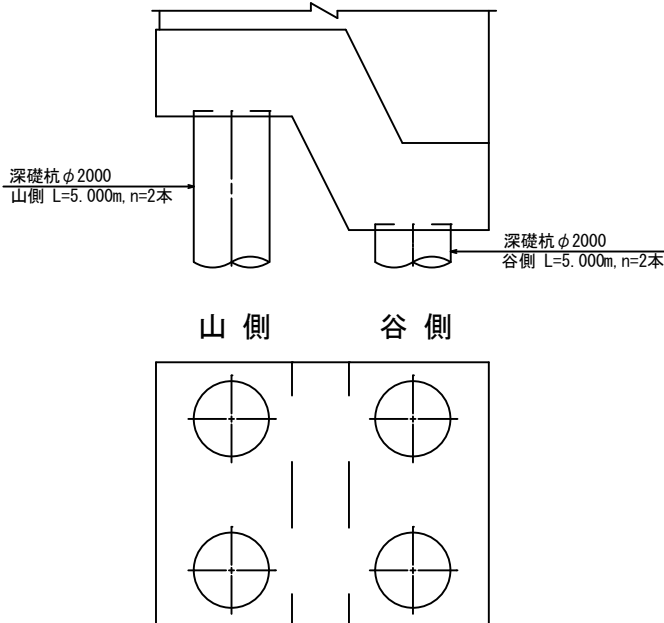
A2 橋台深礎杭配筋図 S=1:50

山側  
1 - 1    2 - 2

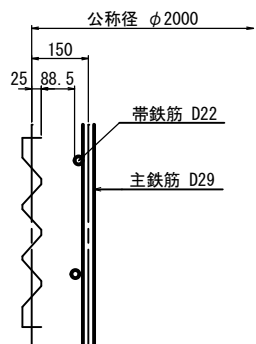
谷 側  
4 - 4 5 - 5



杭配置図



かぶり詳細図 S=1:10



山側 鉄筋表

(杭1本当り)

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
K <sup>y</sup>	D29	6260	40	5.04	31.55	1262	
2	D22	4600	84	3.04	13.98	1174	↺
						2436	kg
		D29	1262	kg			
		D22	1174	kg			
		合計	2436	kg			

注：コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ （呼び強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ ）  
鉄筋の材質は全てSD345とする。

谷 側                      鉄 筋 表

(杭 1 本当り)

種別	径 (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
K <sub>1</sub>	D29	40	5.04	31.55	1262	
2	D22	84	3.04	13.98	1174	↻
2436						kg
	D29	1262	kg			
	D22	1174	kg			
	合　計	2436	kg			

注：コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ （呼び強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ ）  
鉄筋の材質は全てSD345とする。

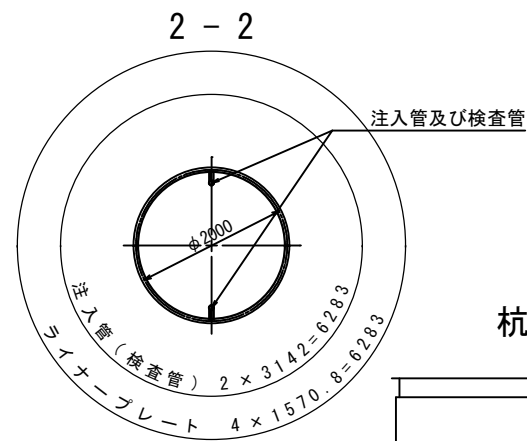
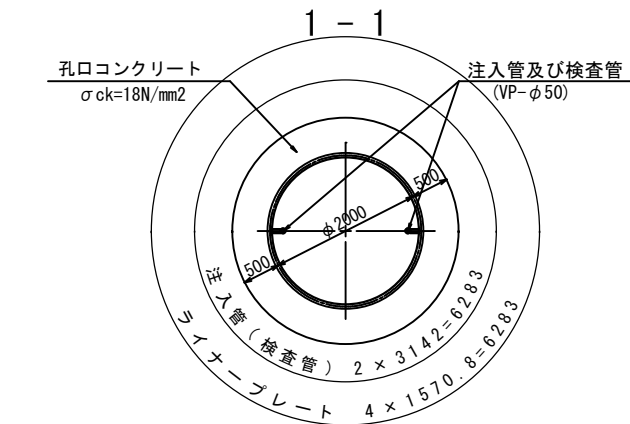
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台基礎杭配筋図
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 40 号

平戸市建設部建設課

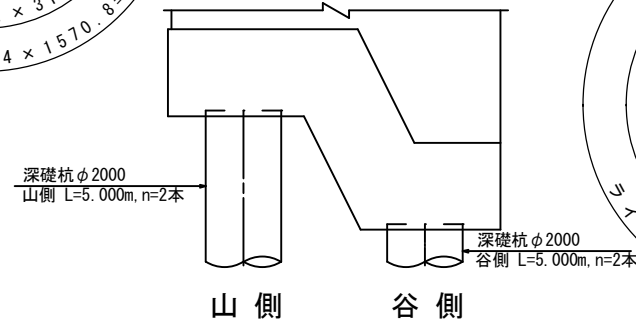
(参 考 図)

(参 考 図)

---



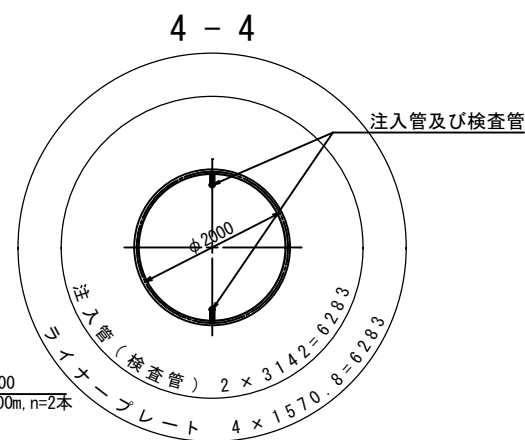
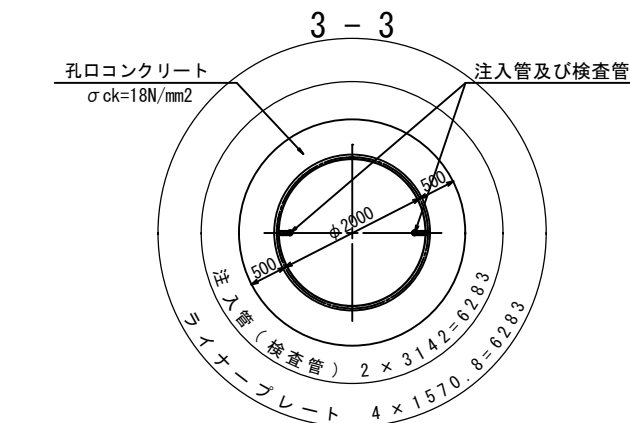
Year	Number of people (millions)
1990	60
1995	70
2000	65
2005	75
2010	80



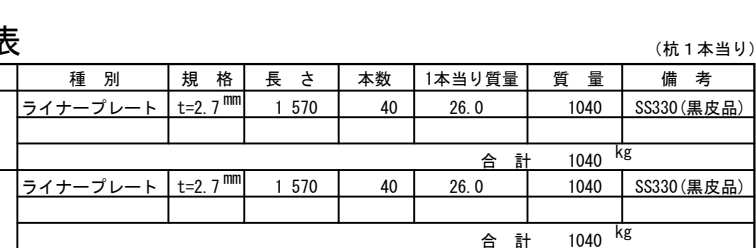
---

---

---


$$A - A$$

P-10



	杭 長	

備考
SS220 (甲中目)

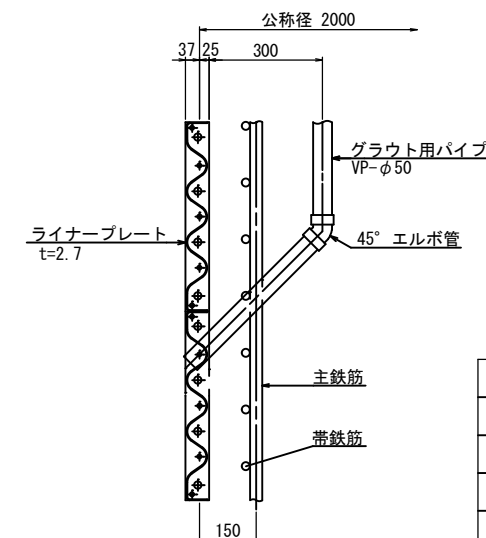
	杭 長	種 別	規 格	長 さ	本数	1本当り質量	質 量	備 考
谷 側	5.000 m	ライナープレート	t=2.7 <sup>mm</sup>	1 570	40	26.0	1040	SS330(黒皮品)
		合 計						1040 <sup>kg</sup>
山 側	5.000 m	ライナープレート	t=2.7 <sup>mm</sup>	1 570	40	26.0	1040	SS330(黒皮品)
		合 計						1040 <sup>kg</sup>

			(
--	--	--	---

数 量	
公 側	山 側

項 目	規 格	単位	数 量	
			谷 側	山 側
注入管及び検査管	VP-φ50	m	13.8	13.8
45°エルボ管	φ50 用	個	4	4
グラウト注入工		m3	3.3	3.3

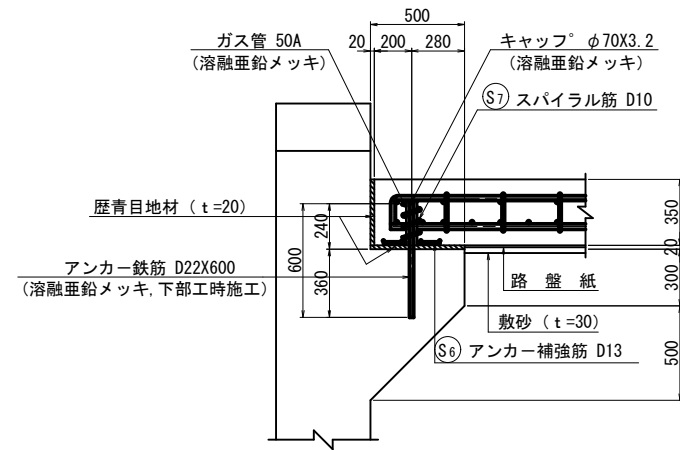
## 公称径 2000



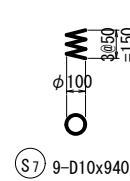
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯峨線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台深礎杭仮設工図
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 41 号
平戸市建設部建設課	

A2 橋台踏掛版配筋図 S=1:50

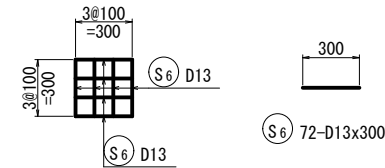
受 台 詳 細 図 S=1:20



スパイラル筋 S=1:20



アンカー補強筋 S=1:20

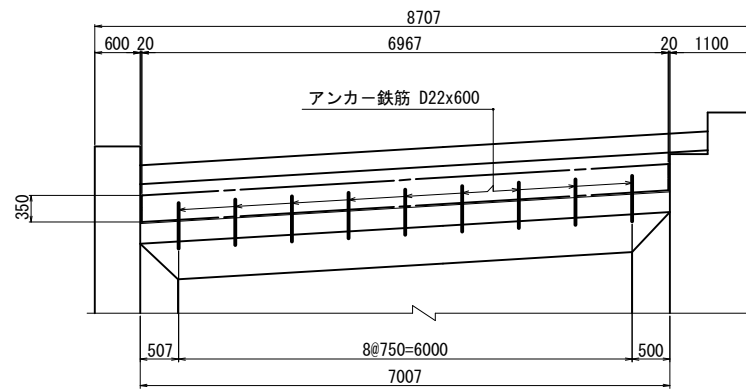


## 鉄筋表

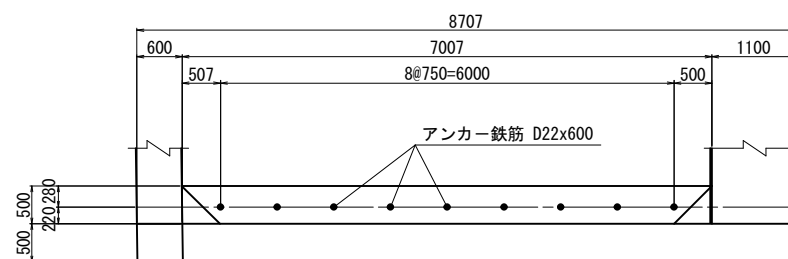
[illegible]

注) コンクリートの設計強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$   
鉄筋の材質は全てSD345である。

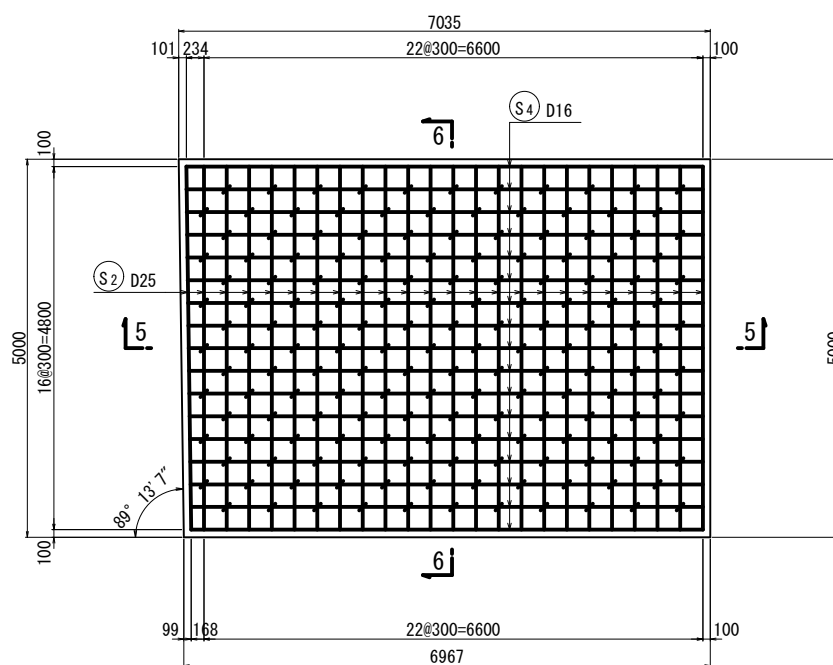
1 - 1



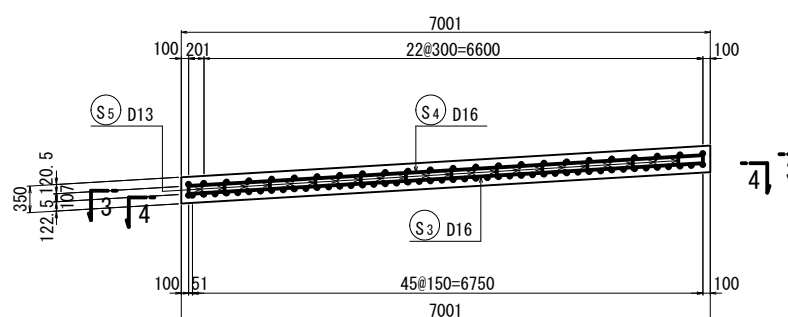
2 - 2



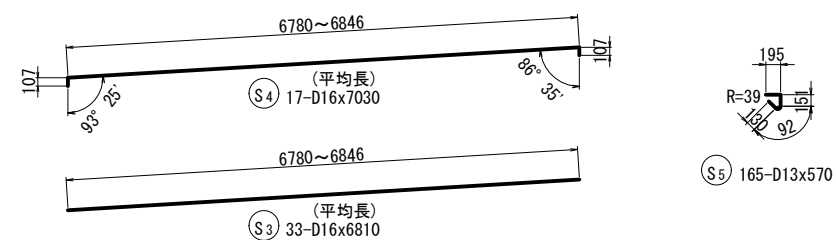
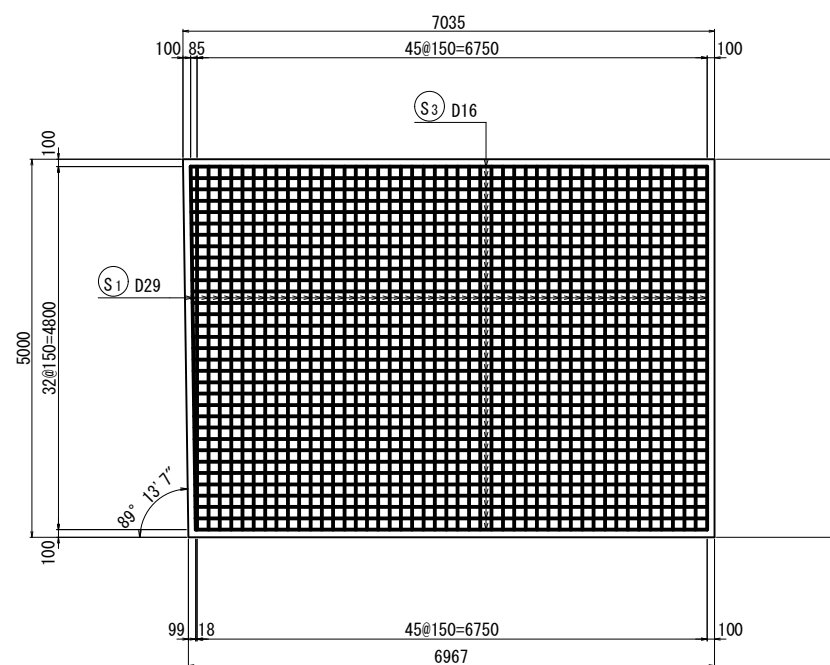
3 - 3



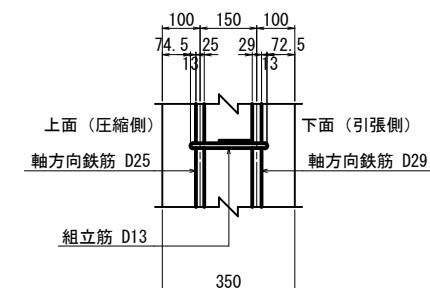
5 - 5



4 - 4



かぶり詳細図 S=1:10

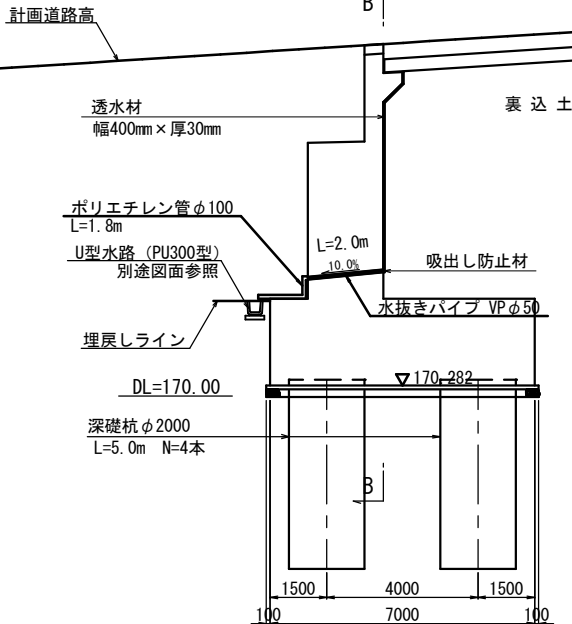


年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台路掛板配筋図
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 42 号
平戸市建設部建設課	

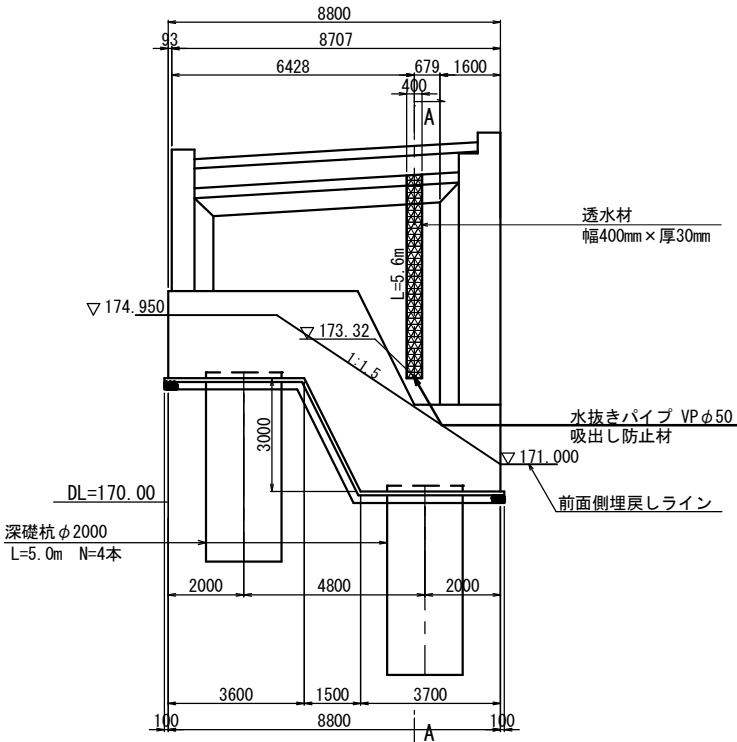


$S=1:100$

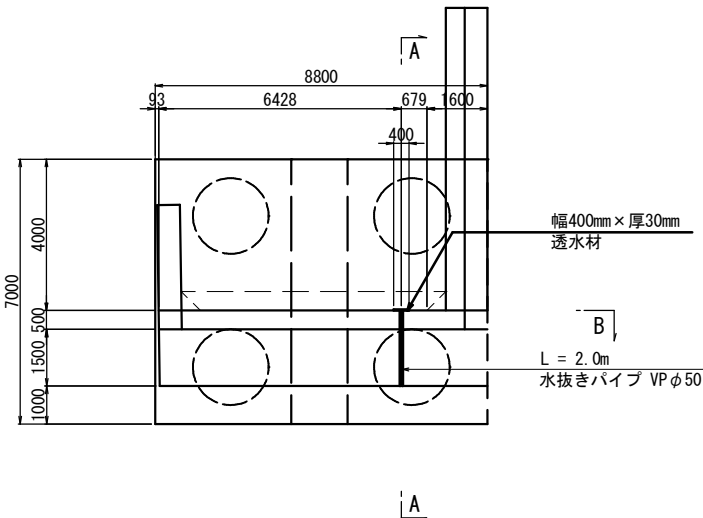
No. 21+5.50



B - B

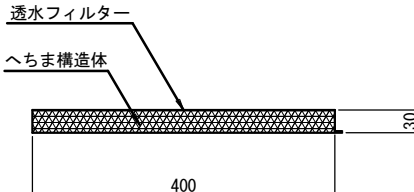


平面图



※ 水抜きパイプは橋台鉄筋に干渉しないように配置すること。

透水材 (t=30mm b=400mm) S=1:



## 材料系

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
透 水 材	幅400mm×厚30mm	5.6	m	5.6
水抜きパイプ	VP φ50	2.0	m	2.0
吸出し防止材	30cm×30cm×3cm		箇所	1
ポリエチレン管	φ100		m	1.8

参考) 裏込材の材料仕様

項 目	範 囲
最大粒径	100mm
4750 $\mu$ mふるいの通過百分率	25～100%
75 $\mu$ mふるいの通過百分率	0～25%
塑性指数I <sub>p</sub> (425 $\mu$ mふるいの通過分について)	10以下

参考) 裏込材の締固め管理値

項 目	範 囲
締固め度Dc ※1, 2	Dc>平均92%, 最小90%
仕上り厚	200mm以下

※1：土砂区分が砂質土の場合に適用。  
締固め度は、施工管理高ごとに測定し、その平均値及び最小値で照査する。  
測定点数は、施工面積に応じて設定する。

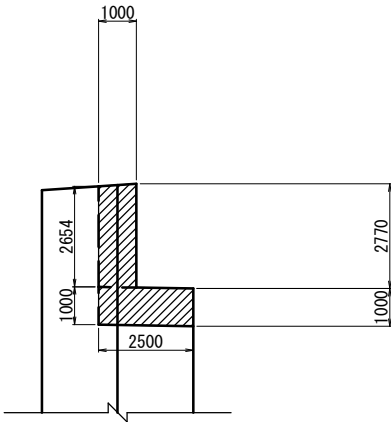
※2：突固め方法がC、D、E法の場合の管理基準値を示す。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・桂差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 2 橋台裏込め詳細図
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 43 号

平戸市建設部建設課

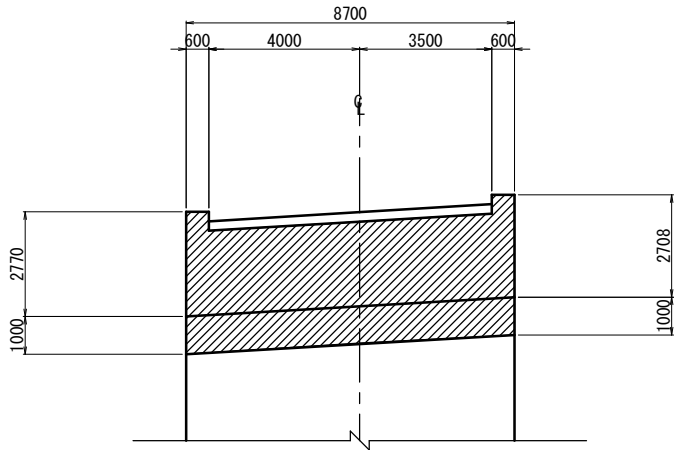
橋台コンクリート塗装工詳細図 S=1:100

左側側面図

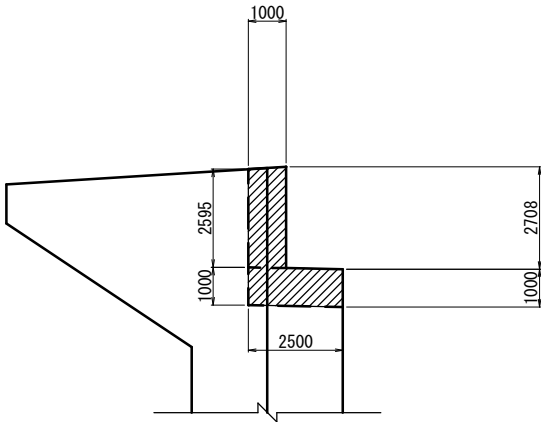


DL=170.00

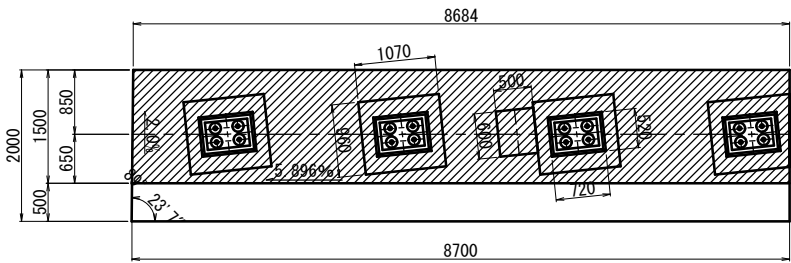
A1橋台  
正面図



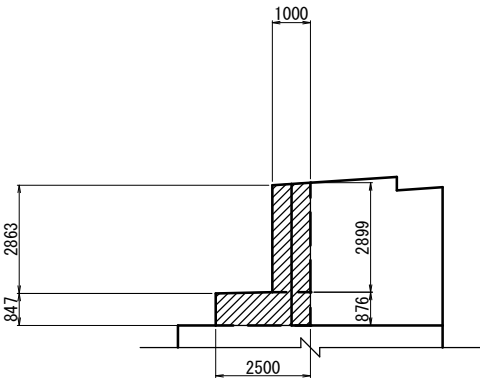
右側側面図



平面図 S=1:50

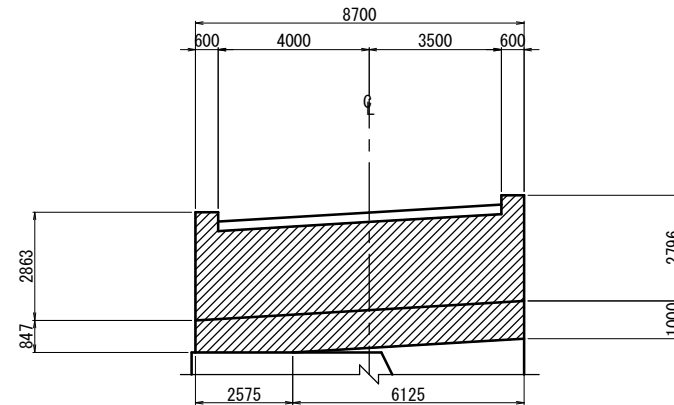


左側側面図

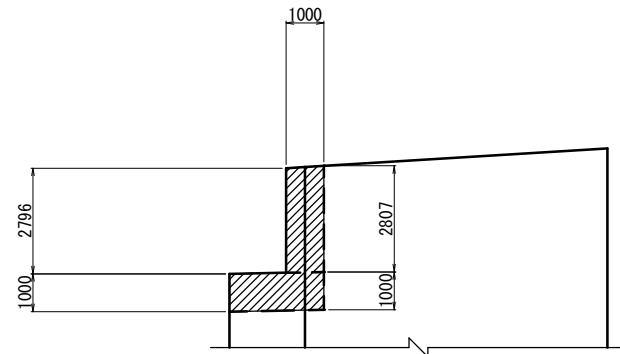


DL=175.00

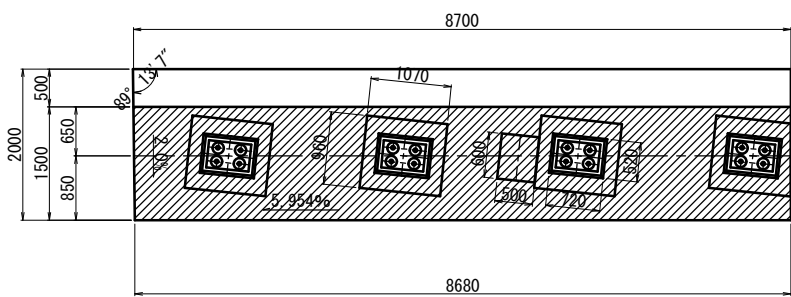
A2橋台  
正面図



右側側面図



平面図 S=1:50

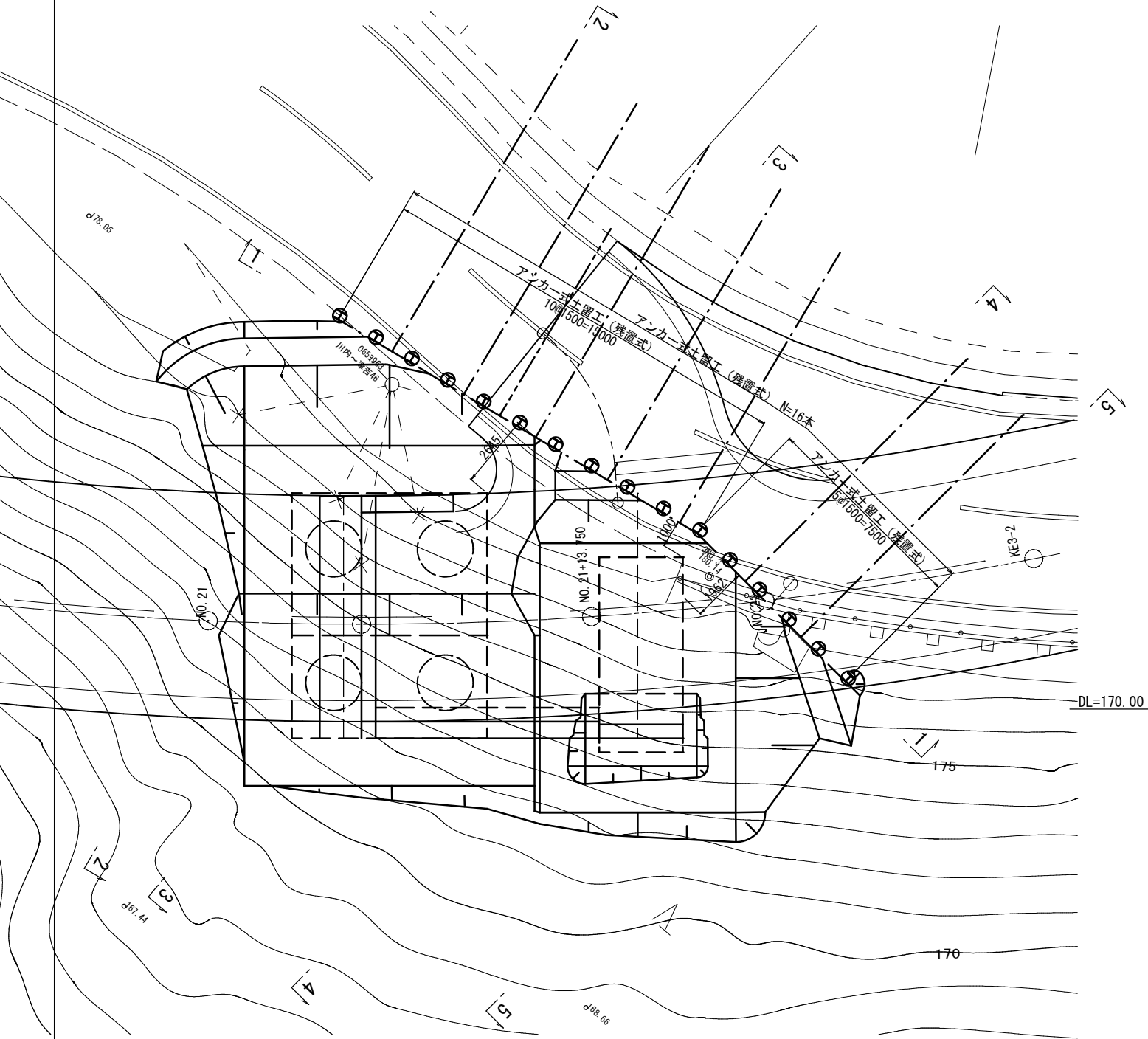


※ 塗装はCC-B系とする。

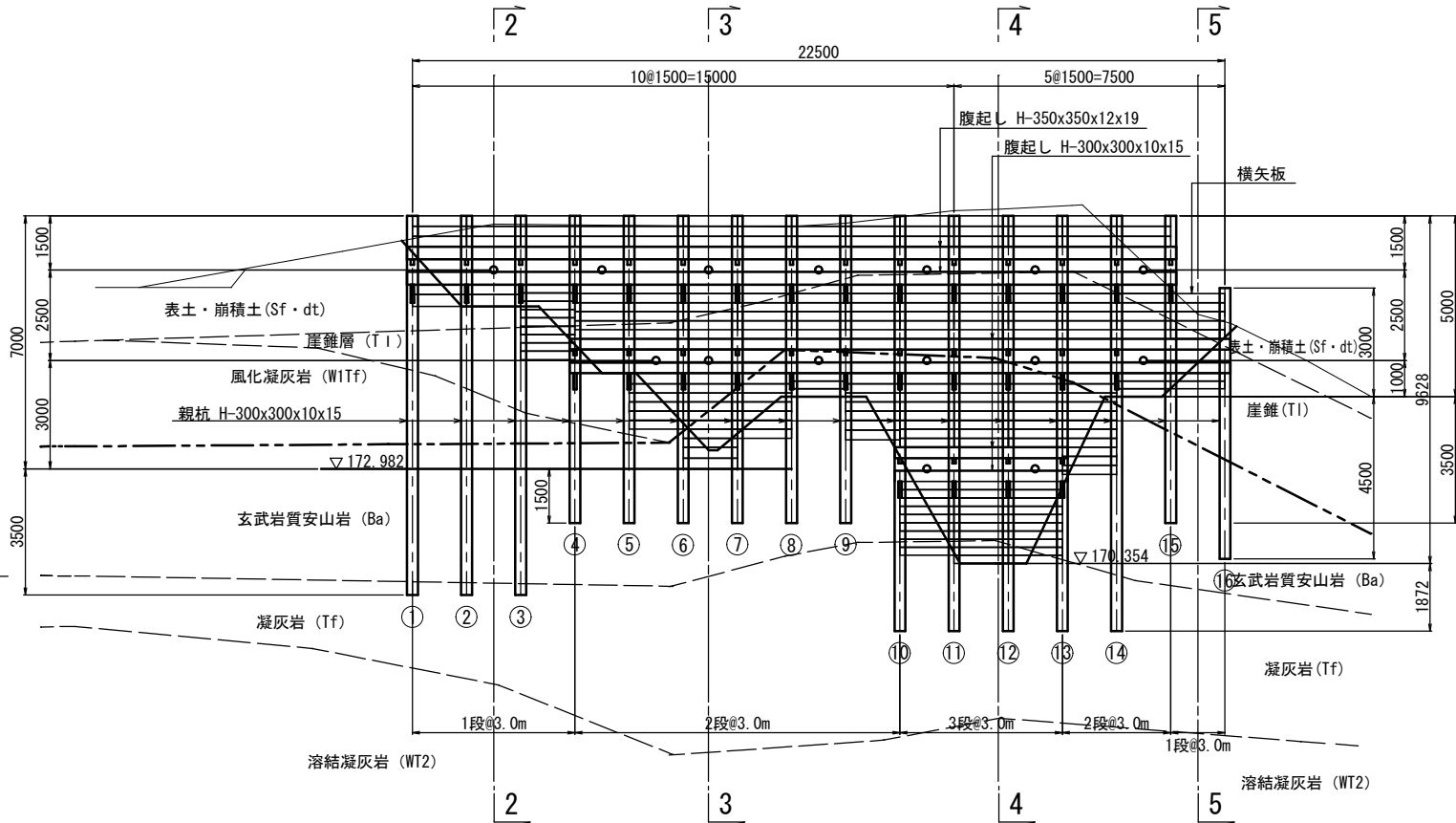
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐違線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	橋台コンクリート塗装工詳細図
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 44 号
平戸市建設部建設課	

A 2 橋台仮設土留工計画図（その 1） S=1:100

平 面 図



1 - 1

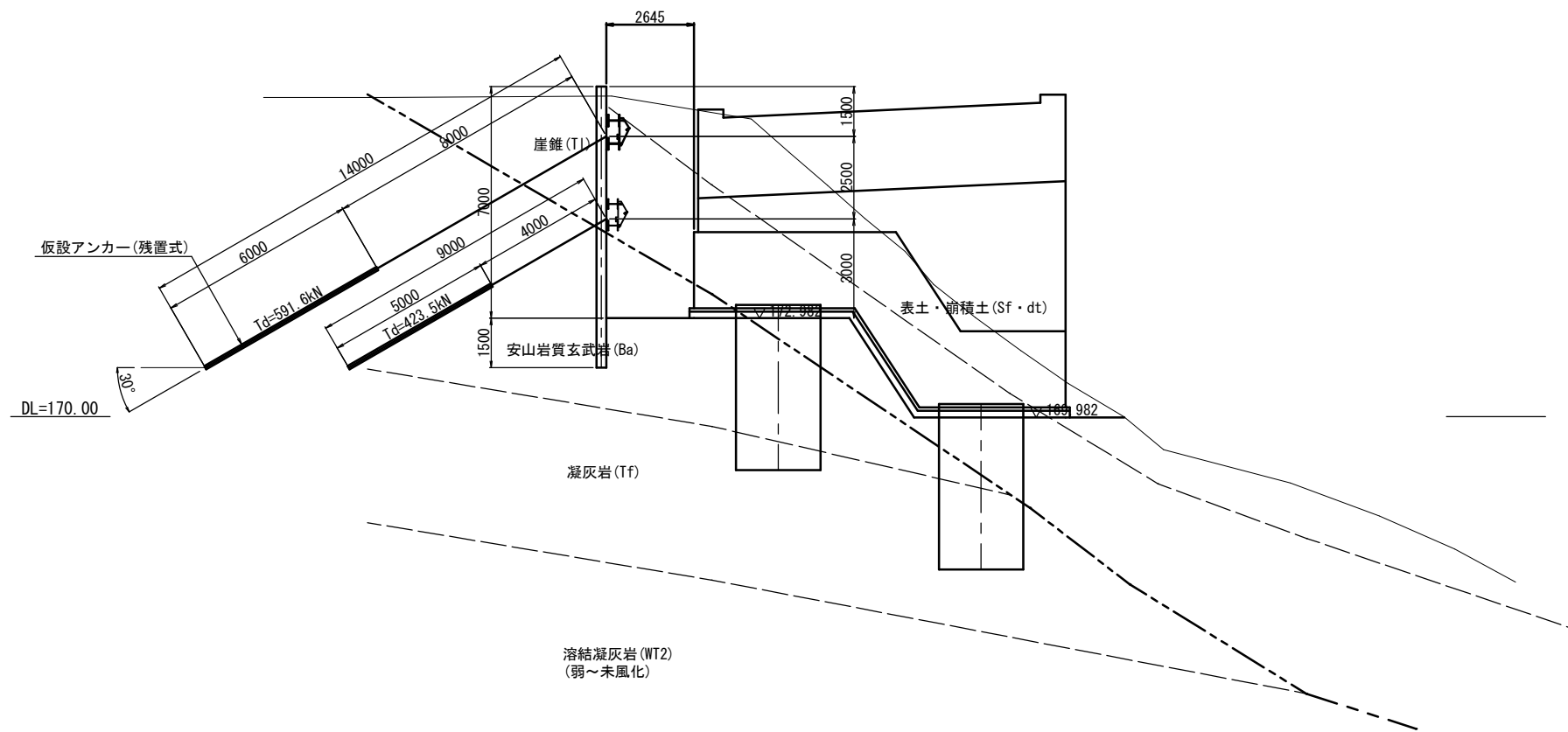
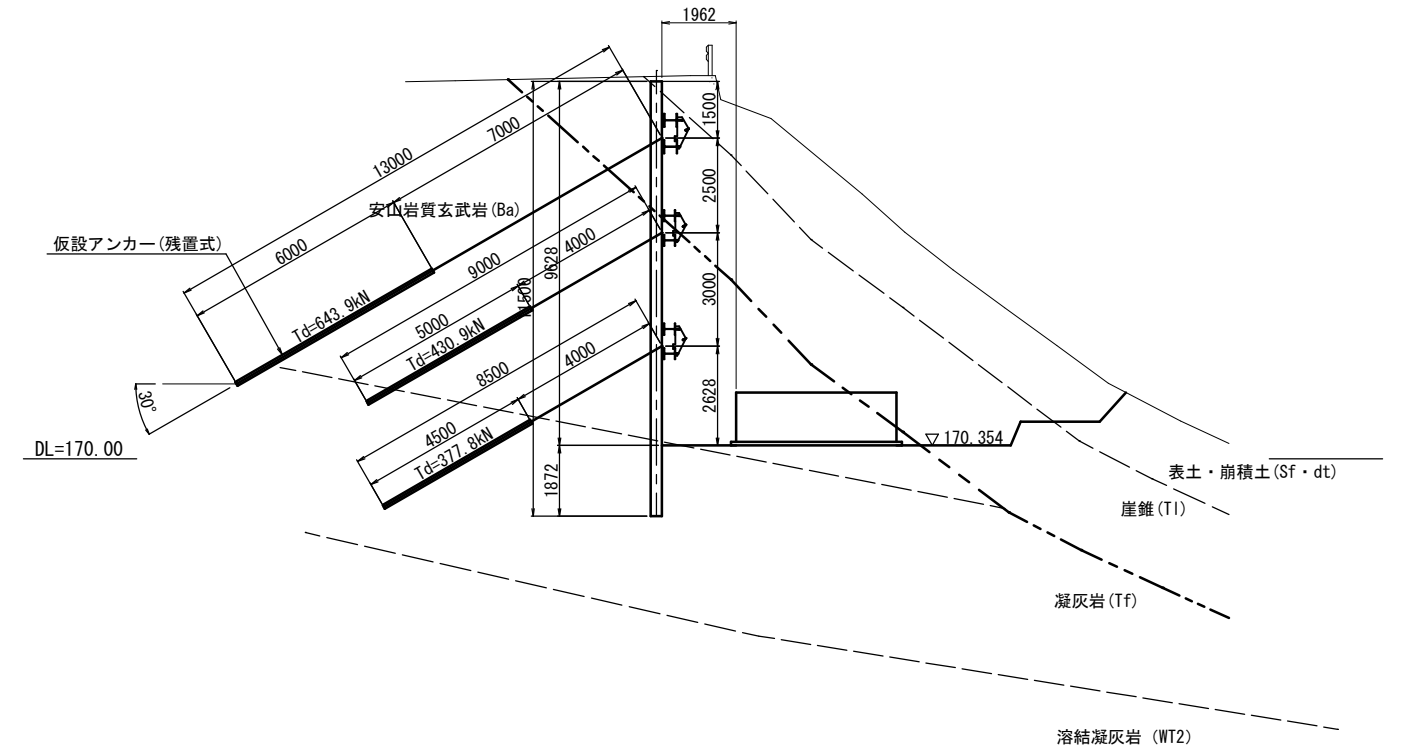


※ 地層線は柱状図を結んだ線とする

土質定数一覧表

地層・土質名称		記号	設計 N 値	単位重量 (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 (kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦力 (°)	変形係数 (kN/m <sup>2</sup> )
表土・崩積土	粘性土	Sf・dt	4	17	15	0	2,800
崖錐(風化凝灰岩)	礫混り砂	T1	14	19	0	35	1,000
安山岩質玄武岩	硬岩	Ba	200	22	148	37	102,000
凝灰岩	軟岩	Tf	95	19	255	21	61,000
溶結凝灰岩 (強風化?中風化)	礫混り粘性土	Wt1	14	18	25	20	16,000
溶結凝灰岩 (中風化?未風化)	軟岩	Wt2	113	20	284	21	69,000

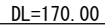
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 2 橋台仮設土留工計画図 (その 1)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 45 号
平戸市建設部建設課	



年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 2 橋台仮設土留工計画図 (その 2)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 46 号
平戸市建設部建設課	

S=1 : 100

5 - 5



S=1:20



名 称	番 号	規 格	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
親 杭	①	H-300×300×10×15	10.500	1	93.0	976.5	976.5	リース材
	②	〃	10.500	1	93.0	976.5	976.5	〃
	③	〃	10.500	1	93.0	976.5	976.5	〃
	④	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑤	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑥	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑦	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑧	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑨	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑩	〃	11.500	1	93.0	1069.5	1069.5	〃
	⑪	〃	11.500	1	93.0	1069.5	1069.5	〃
	⑫	〃	11.500	1	93.0	1069.5	1069.5	〃
	⑬	〃	11.500	1	93.0	1069.5	1069.5	〃
	⑭	〃	11.500	1	93.0	1069.5	1069.5	〃
	⑮	〃	8.500	1	93.0	790.5	790.5	〃
	⑯	〃	7.500	1	93.0	697.5	697.5	〃
						14508.0 kg		
腹起し	1段目	H-350×350×12×19	21.300	2	150.0	3195.0	6390.0	リース材
	2段目	H-300×300×10×15	18.300	2	100.0	1830.0	3660.0	〃
	3段目	〃	4.800	2	100.0	480.0	960.0	〃
							11010.0 kg	
親 杭質量							14508 kg	
支保工合計							11010 kg	
副部材 (A)					11010 × 0.22 =	2422 kg		
副部材 (B)					11010 × 0.04 =	440 kg		
合 計							28380 kg	
横矢板 (t=7.0cm)							130.67 (m <sup>2</sup> )	
削孔 φ500							150.20 (m )	
砂充填							27.69 (m <sup>3</sup> )	

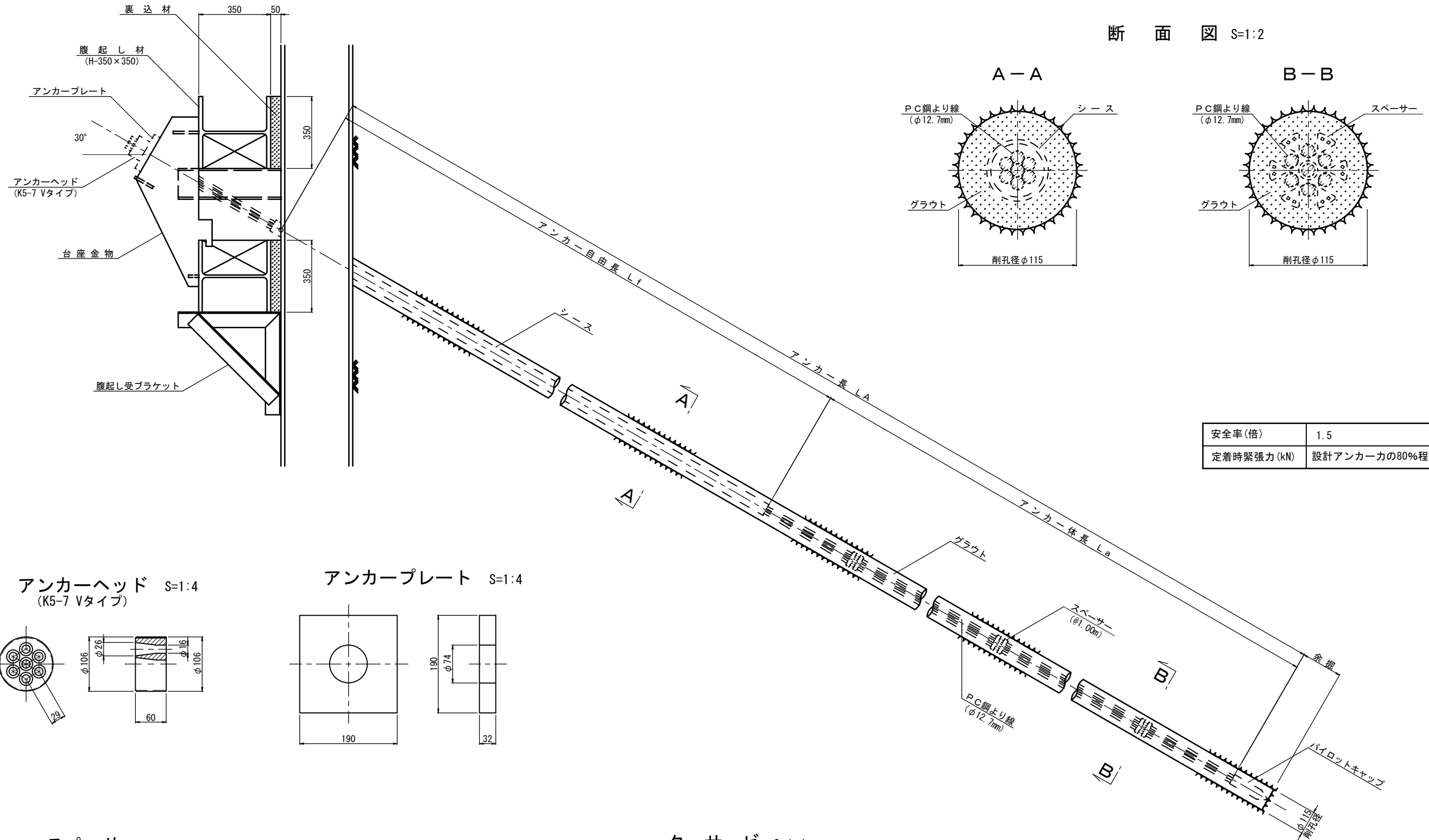
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・経差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A 2 橋台仮設土留工計画図(その 3)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 47 号

平戸市建設部建設課

# A2橋台残置式アンカー詳細図（その1） S=1:10

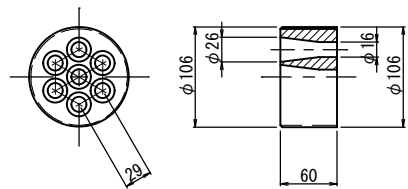
1段部 1段目（K5-7 打設角30° 腹起し材：H-350×350）

断面図 S=1:2

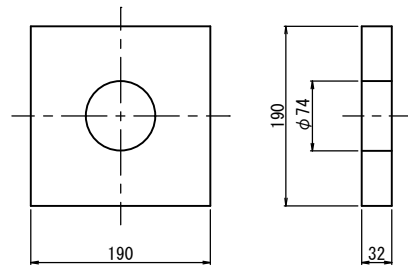


安全率(倍)	1.5
定着時緊張力(kN)	設計アンカー力の80%程度

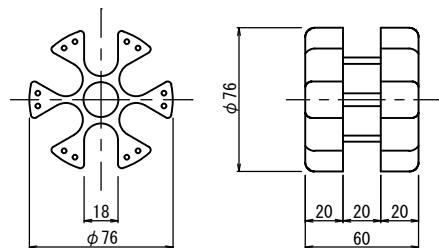
アンカーヘッド S=1:4  
(K5-7 Vタイプ)



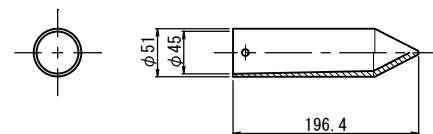
アンカープレート S=1:4



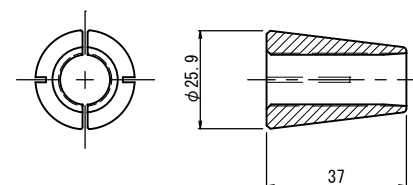
スペーサー S=1:2



パイロットキャップ S=1:4



クサビ S=1:1  
(12.7mm用)

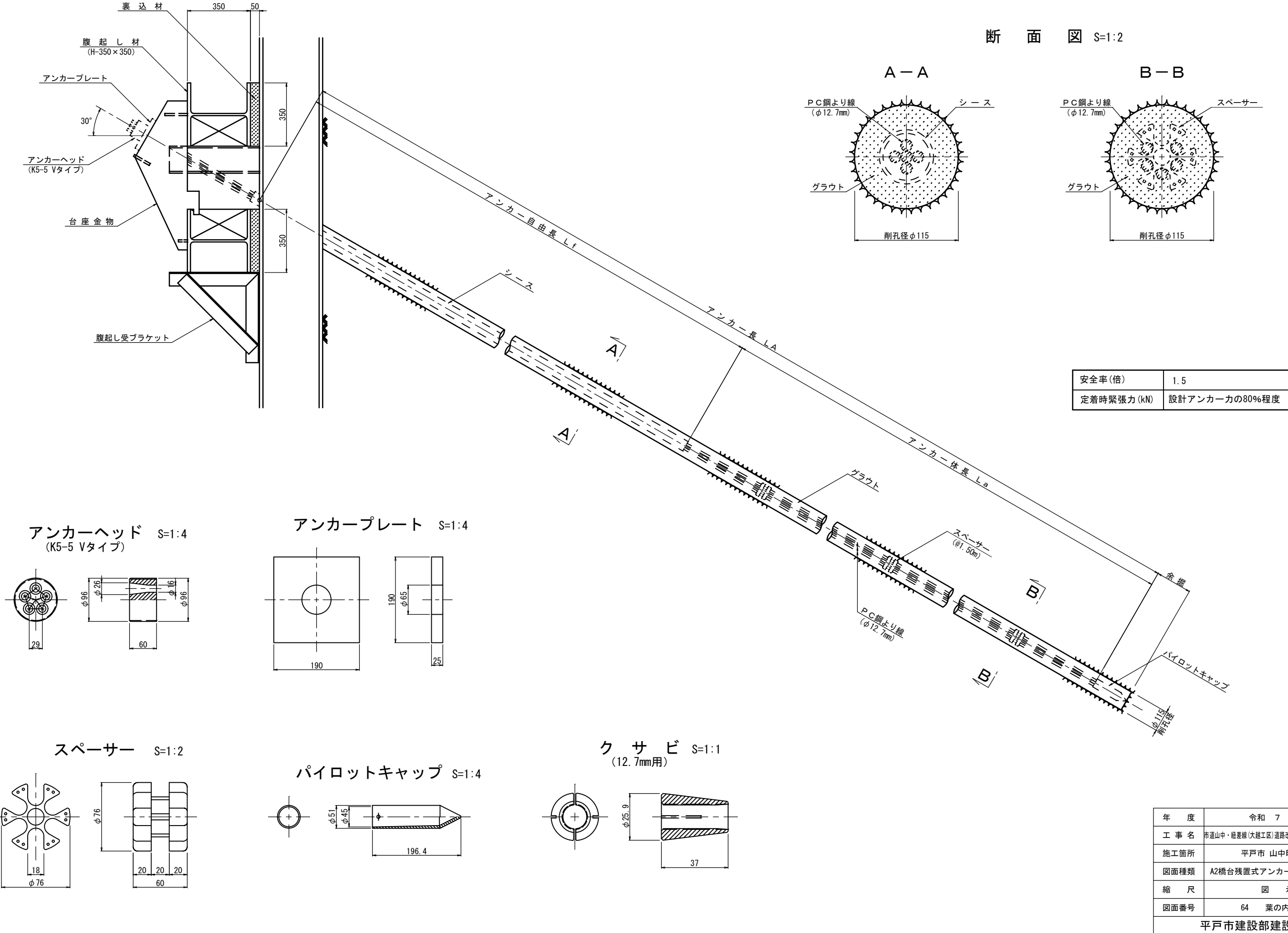


年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・堀越線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台残置式アンカー詳細図(その1)
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 48 号
平戸市建設部建設課	

A2橋台残置式アンカー詳細図（その2） S=1:10

2段部 1段目（K5-5 打設角30° 腹起し材：H-350×350）

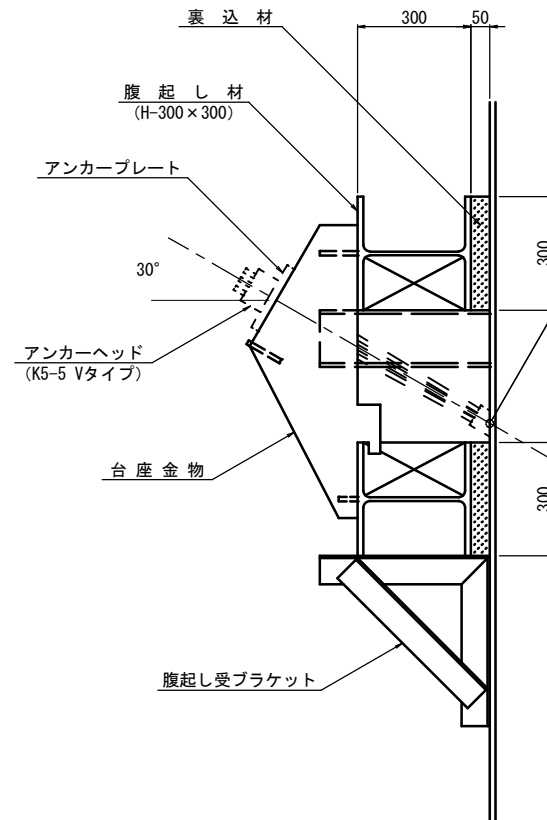
断面図 S=1:2



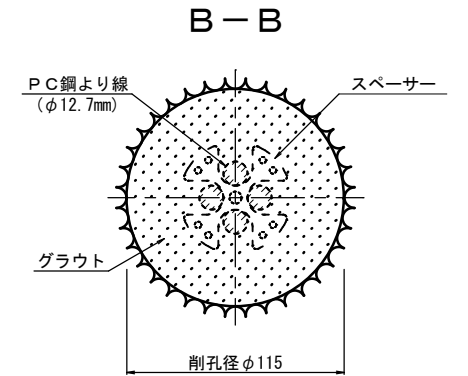
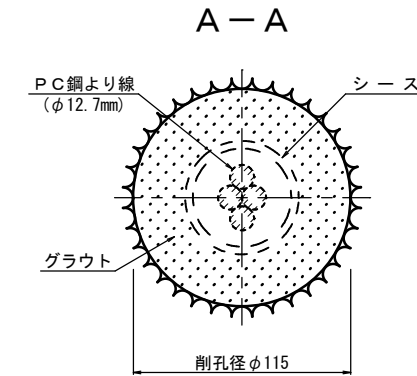
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐巻線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台残置式アンカー詳細図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 49 号
平戸市建設部建設課	

# A2橋台残置式アンカー詳細図（その3） S=1:10

2段部 2段目、3段部 2・3段目（K5-4 打設角30° 腹起し材：H-300×300）

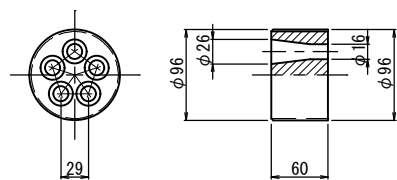


断面図 S=1:2

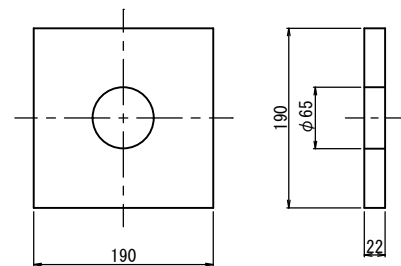


安全率(倍)	1.5
定着時緊張力(kN)	設計アンカー力の80%程度

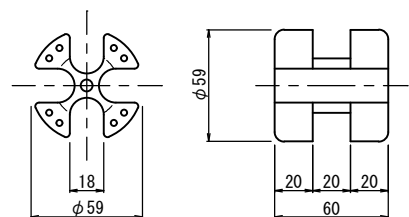
アンカーヘッド S=1:4  
(K5-5 Vタイプ)



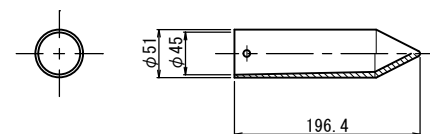
アンカープレート S=1:4



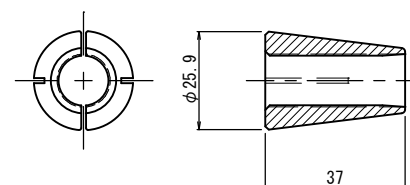
スペーサー S=1:2



パイロットキャップ S=1:4



クサビ S=1:1  
(12.7mm用)



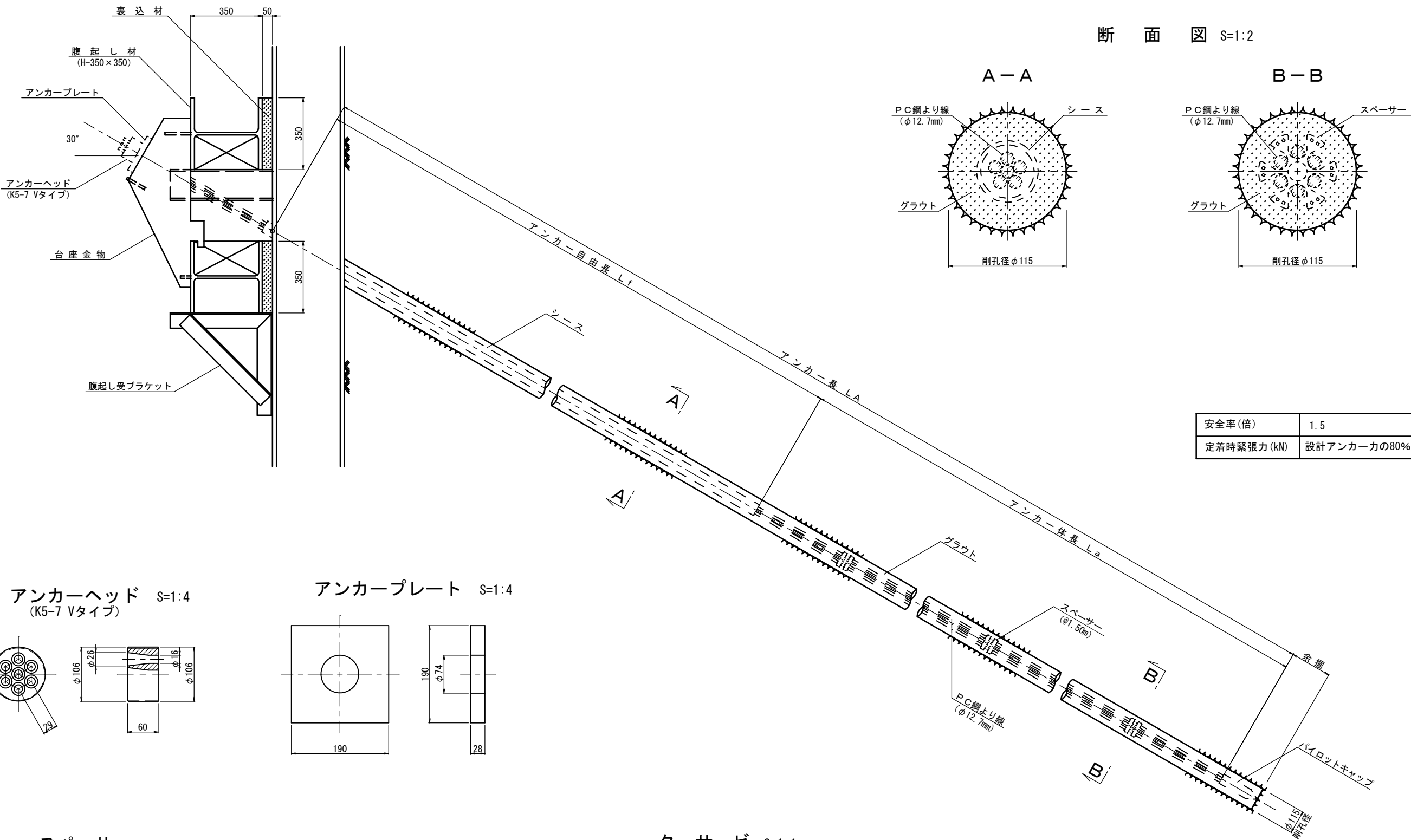
年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台残置式アンカー詳細図(その3)
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 50 号
平戸市建設部建設課	



A2橋台残置式アンカー詳細図（その4） S=1:10

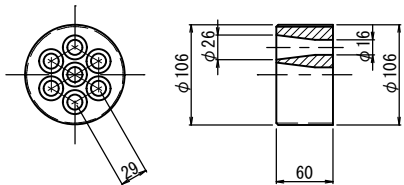
3段部 1段目（K5-6 打設角30° 腹起し材：H-350×350）

断面図 S=1:2

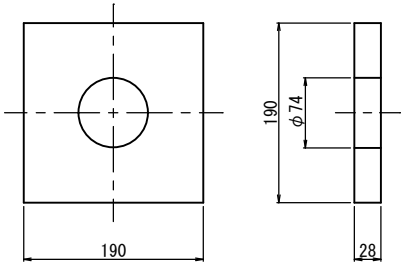


安全率(倍)	1.5
定着時緊張力(kN)	設計アンカー力の80%程度

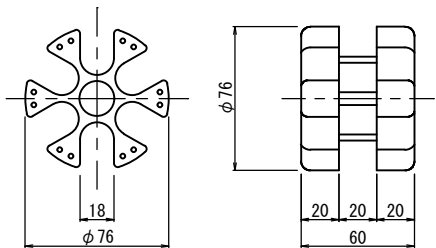
アンカーヘッド S=1:4  
(K5-7 Vタイプ)



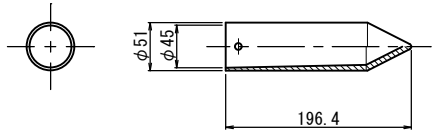
アンカープレート S=1:4



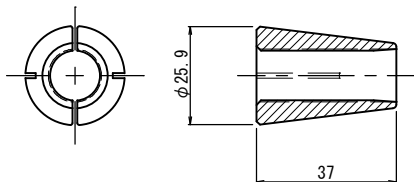
スペーサー S=1:2



パイロットキャップ S=1:4



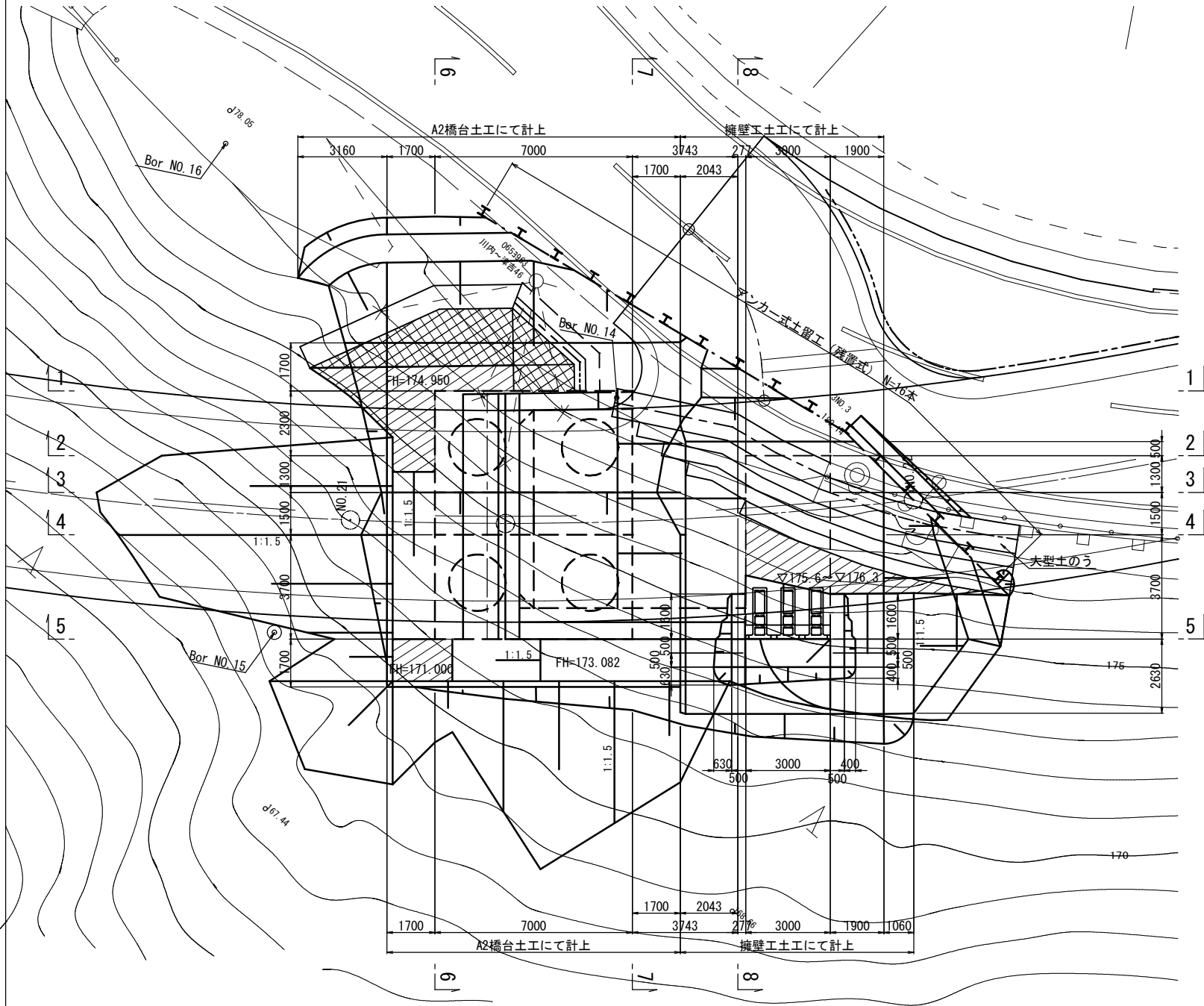
クサビ S=1:1  
(12.7mm用)



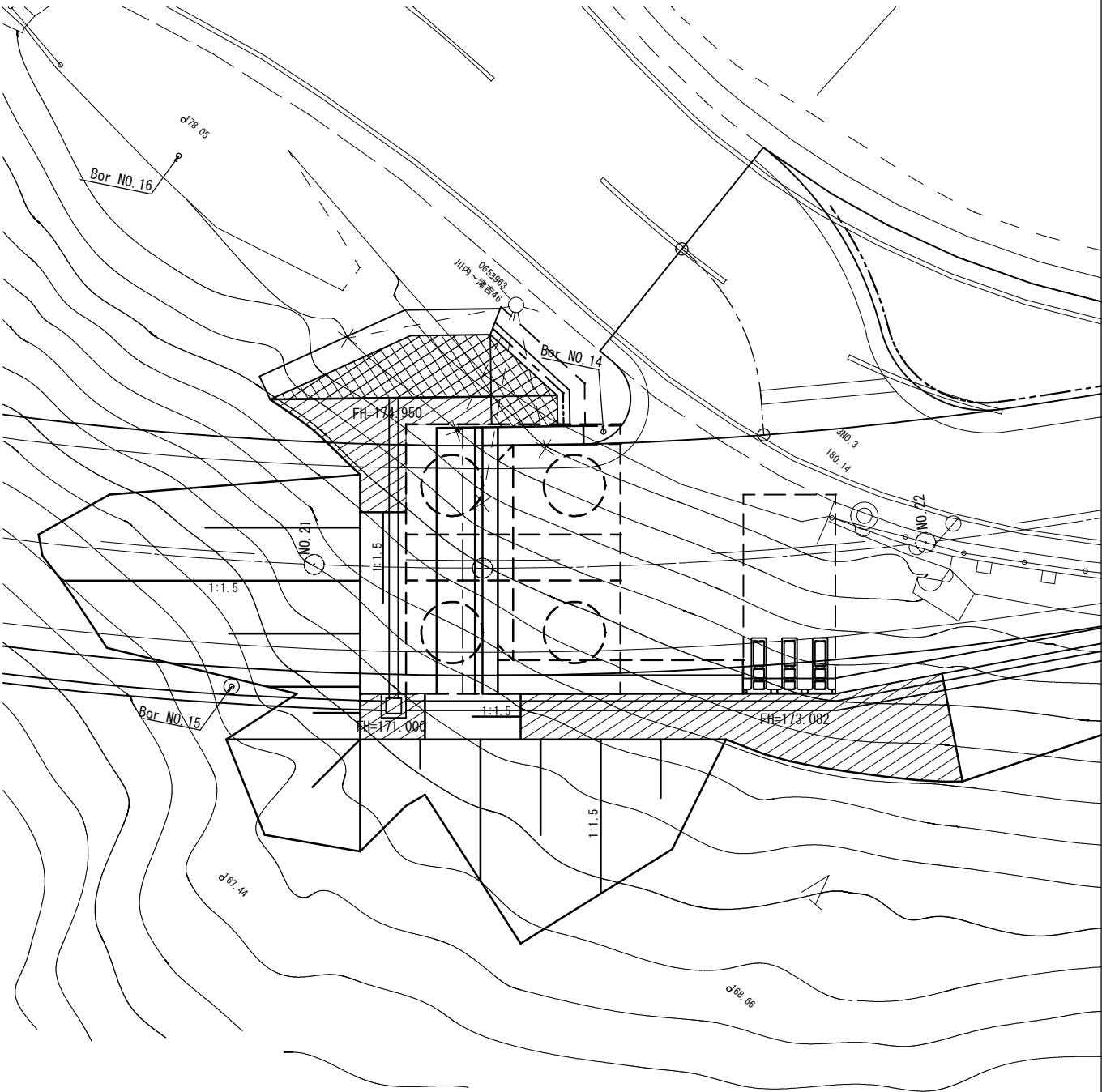
年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	A2橋台残置式アンカー詳細図(その4)
縮尺	図示
図面番号	64 葉の内 51 号
平戸市建設部建設課	

A 2 橋台土工図（その 1） S=1:100

平 面 図  
（床掘・一次埋戻し）



平 面 図  
（二次埋戻し）



※1 ———— : 補強土壁施工のための暫定形  
※2 ———— : 完成形

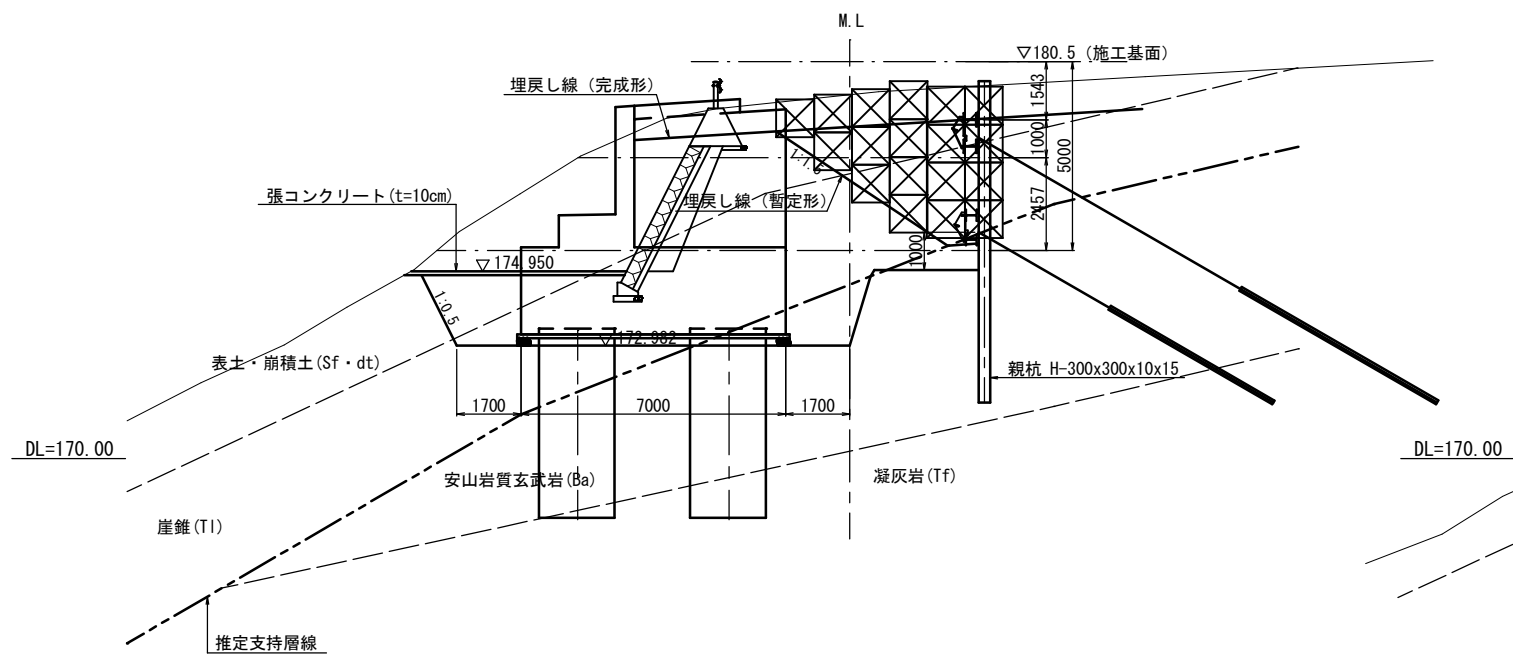
地層・土質名称		記号
表土・崩積土	粘性土	Sf・dt
崖錐(風化凝灰岩)	礫混り砂	Tl
安山岩質玄武岩	硬岩	Ba
凝灰岩	軟岩	Tf
溶結凝灰岩 (強風化?中風化)	礫混り粘性土	Wt1
溶結凝灰岩 (中風化?未風化)	軟岩	Wt2

※1 橋台施工後の埋戻しは補強土壁施工のための暫定形とし、道路端部に大型土のうを設置する。  
※2 橋台施工後の埋戻し（暫定形）を一次埋戻し、補強土壁施工後の埋戻しを二次埋戻しとして計上。擁壁工の二次埋戻しは補強土壁土工にて計上。  
※3 張コンクリートおよび排水構造物の施工は補強土壁工施工後に行う。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯峨線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	A 2 橋台土工図（その 1）
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 52 号
平戸市建設部建設課	

A 2 橋台土工図（その 2） S=1:100

1 - 1



A 2 橋台土工数量(1-1：床掘)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	8.0
		土 砂	m <sup>2</sup>	22.5
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	24.4
		軟 岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬 岩 I	m <sup>2</sup>	3.3

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

A 2 橋台土工数量(1-1：一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量	
埋 戻 し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	35.4	(側面部)
		土 砂	m <sup>2</sup>	24.5	(橋台部)
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部・橋台部)
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部・橋台部)
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部・橋台部)

A 2 橋台土工数量(1-1：二次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量	
路体盛土	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部)
		土 砂	m <sup>2</sup>	1.4	(橋台部)

終点側擁壁土工数量(1-1：床掘)

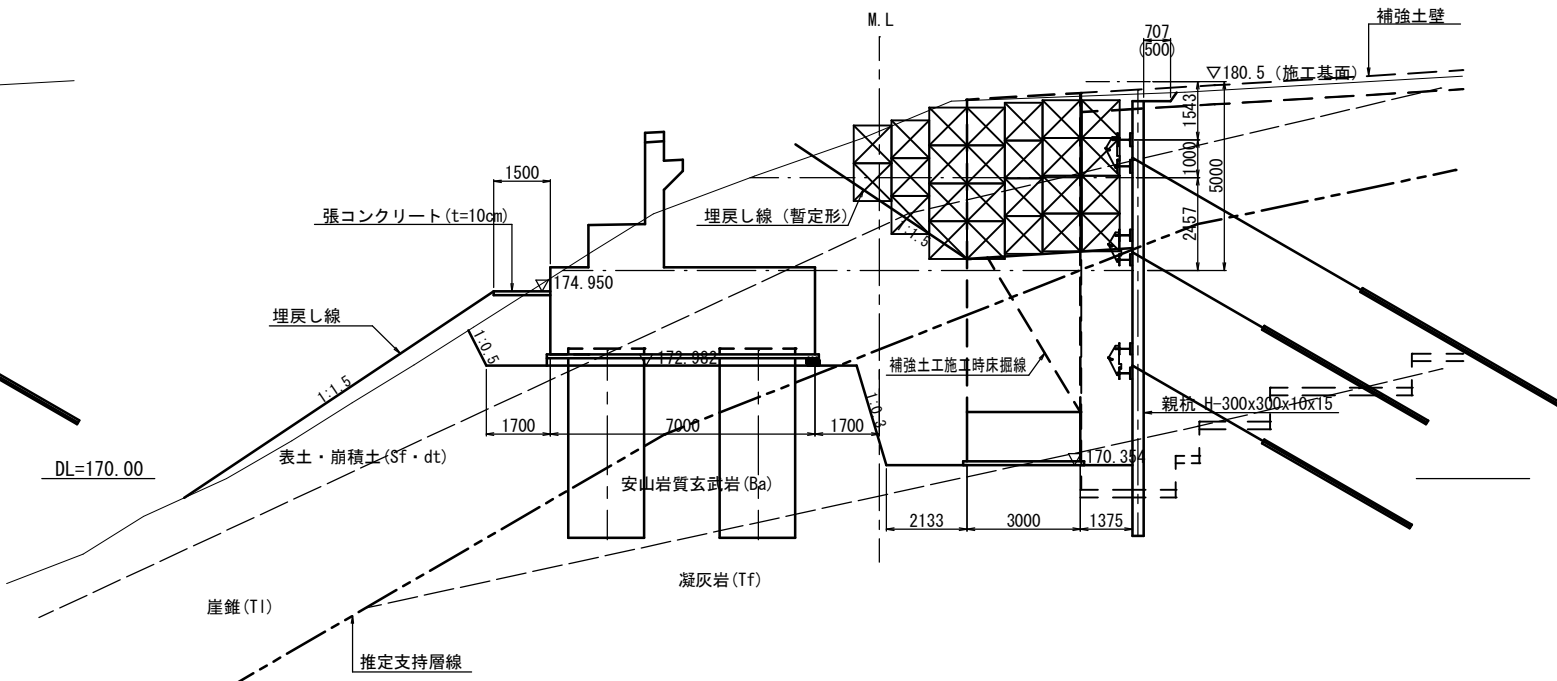
細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	6.1
		土 砂	m <sup>2</sup>	8.1
	H1<H≦5m (B)	軟 岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬 岩 I	m <sup>2</sup>	0.2
		土 砂	m <sup>2</sup>	1.0
	5m<H≦20m (C)	軟 岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬 岩 I	m <sup>2</sup>	1.4

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

終点側擁壁土工数量(1-1：一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
埋 戻 し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	13.9
		土 砂	m <sup>2</sup>	-
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

2 - 2



A 2 橋台土工数量(2-2：床掘)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	2.1
		土 砂	m <sup>2</sup>	15.3
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	25.0
		軟 岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬 岩 I	m <sup>2</sup>	0.8

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

A 2 橋台土工数量(2-2：一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
埋 戻 し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	24.4
		土 砂	m <sup>2</sup>	5.2
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	1.4
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	0.3

A 2 橋台土工数量(2-2：二次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
路体盛土	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	1.8

終点側擁壁土工数量(2-2：床掘)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	13.5
		土 砂	m <sup>2</sup>	16.1
	H1<H≦5m (B)	軟 岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬 岩 I	m <sup>2</sup>	0.3
		土 砂	m <sup>2</sup>	5.6
	5m<H≦20m (C)	軟 岩 I	m <sup>2</sup>	1.0
		硬 岩 I	m <sup>2</sup>	27.8

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

終点側擁壁土工数量(2-2：一次埋戻し)

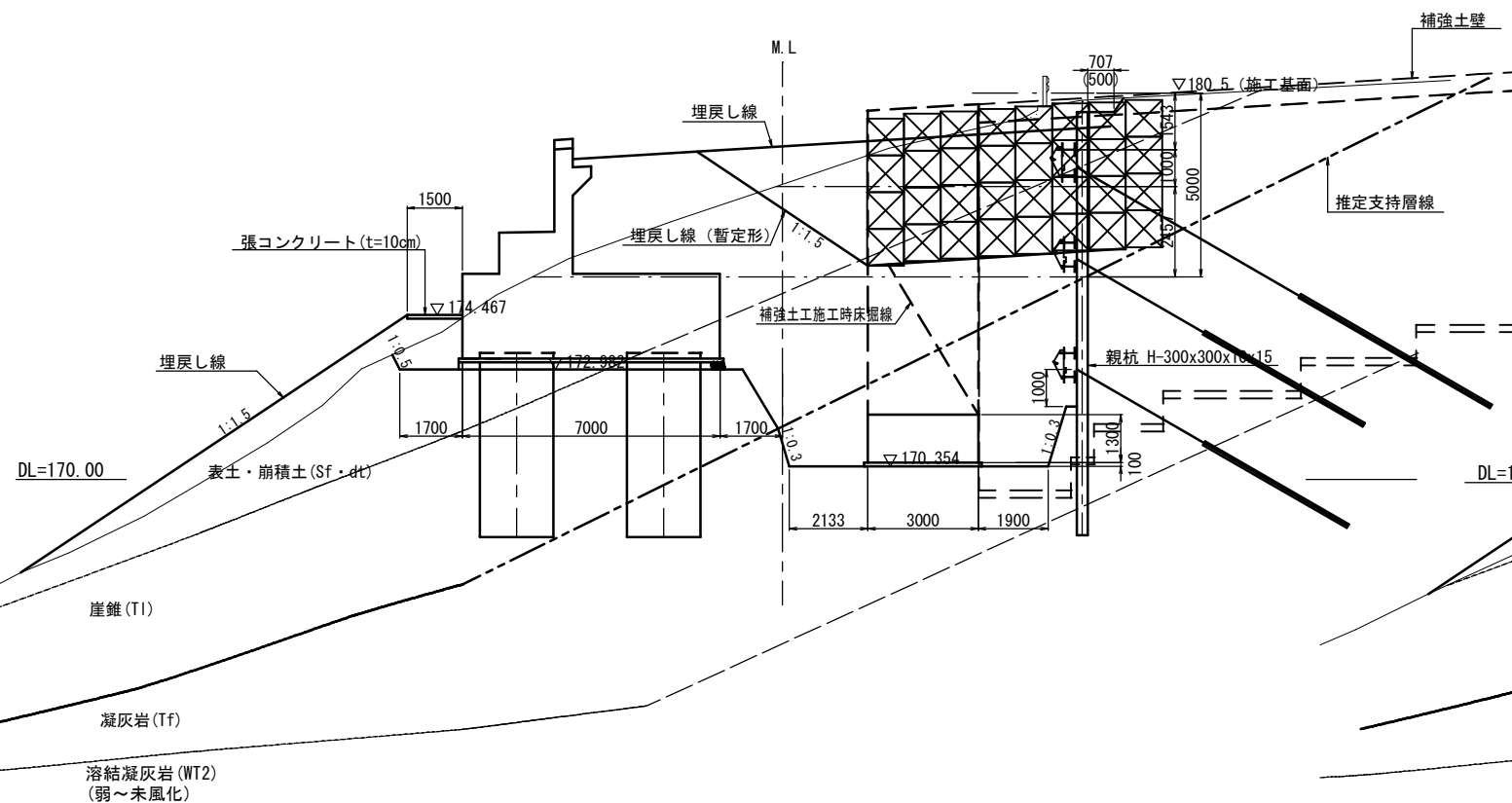
細 別	区 分		単位	数 量	
埋 戻 し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	38.9	(側面部)
		土 砂	m <sup>2</sup>	34.7	(擁壁部)
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部・擁壁部)
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部・擁壁部)
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-	(側面部・擁壁部)

- ※1 橋台施工後の埋戻しは補強土壁施工のための暫定形とし、道路端部に大型土のうを設置する。
- ※2 橋台施工後の埋戻し（暫定形）を一次埋戻し、補強土壁施工後の埋戻しを二次埋戻しとして計上。擁壁工の二次埋戻しは補強土壁土工にて計上。
- ※3 張コンクリートおよび排水構造物の施工は補強土壁工施工後に行う。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐巻線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	A 2 橋台土工図 (その 2)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 53 号
平戸市建設部建設課	

A 2橋台土工図 (その3) S=1:100

3 - 3



A 2 橋台土工数量 (3-3 : 床掘)				
細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H ≤ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1 < H ≤ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	9.1
	5m < H ≤ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	23.5
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

細 別	区 分	単位	数 量
埋戻し	W $\geq$ 4.0m	土 砂 m <sup>2</sup>	15.1
路体盛土	W<2.5m	土 砂 m <sup>2</sup>	9.1
	2.5m $\leq$ W<4.0m	土 砂 m <sup>2</sup>	1.7
	W $\geq$ 4.0m	土 砂 m <sup>2</sup>	5.6

細 別	区 分		単位	数 量
路体盛土	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.0

終点側擁壁土工数量(3-3：床掘)				
細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	10.4
		軟岩Ⅰ	m <sup>2</sup>	-
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	19.6
		硬岩Ⅰ	m <sup>2</sup>	-
	5m<H≦20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	16.7
		軟岩Ⅰ	m <sup>2</sup>	23.5
硬岩Ⅰ		m <sup>2</sup>	-	

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

細 別	区 分	単位	数 量
埋戻し	$W \geq 4.0m$	土 砂 $m^2$	41.3
路体盛土	$W < 2.5m$	土 砂 $m^2$	-
	$2.5m \leq W < 4.0m$	土 砂 $m^2$	-
	$W \geq 4.0m$	土 砂 $m^2$	-

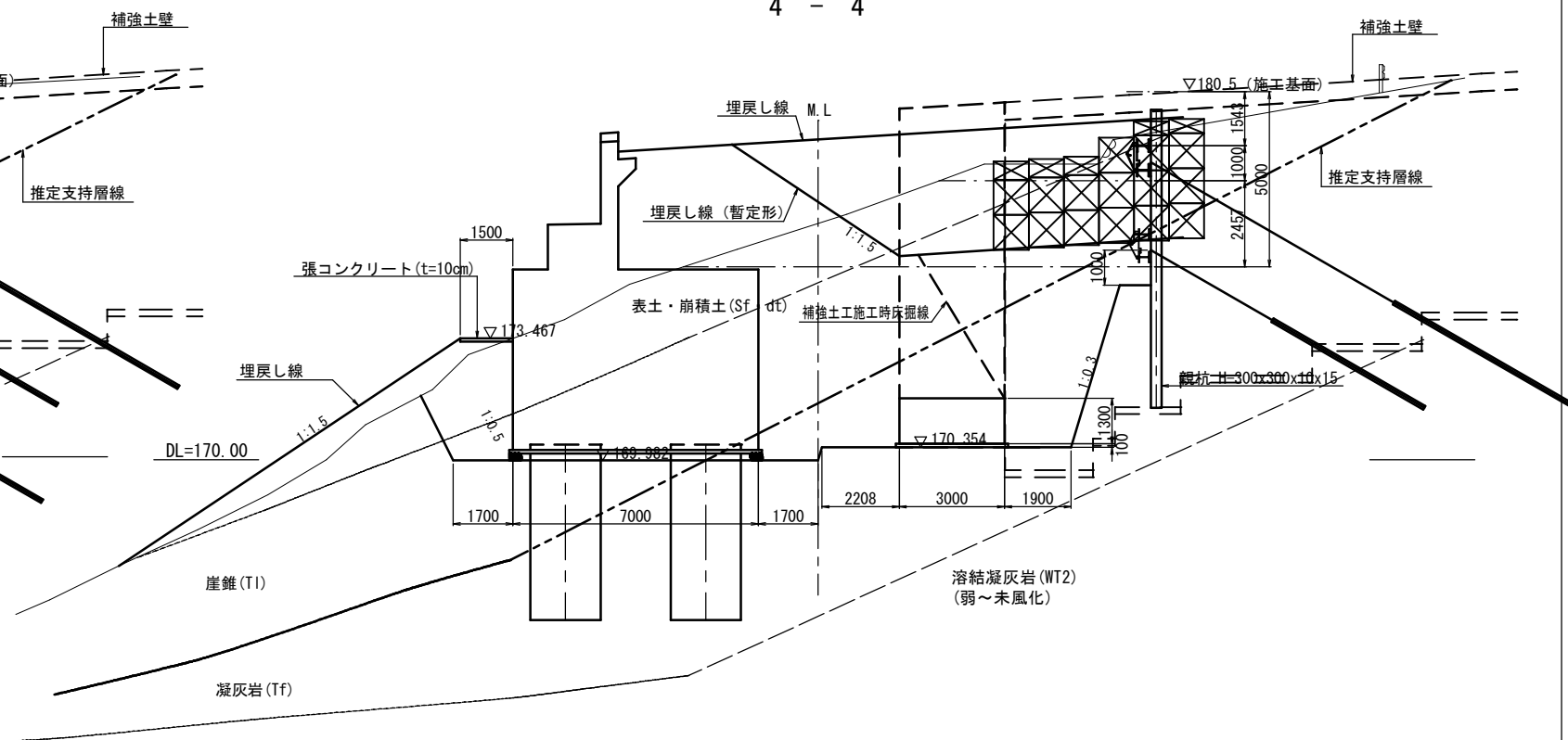
A 2 橋台土工数量(4-4 : 床掘)				
細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H $\leq$ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1<H $\leq$ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	2.4
	5m<H $\leq$ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	47.0
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	2.6
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

細 別	区 分		単位	数 量
埋戻し	$W \geq 4.0m$	土 砂	m <sup>2</sup>	18.4
路体盛土	$W < 2.5m$	土 砂	m <sup>2</sup>	7.3
	$2.5m \leq W < 4.0m$	土 砂	m <sup>2</sup>	4.0
	$W \geq 4.0m$	土 砂	m <sup>2</sup>	10.4

細 別	区 分		単位	数 量
路体盛土	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.2

4 - 4



細 別	区 分	単位	数量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup> 3.6
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup> 20.3
		軟岩Ⅰ	m <sup>2</sup> 0.9
		硬岩Ⅰ	m <sup>2</sup> -
	5m<H≦20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup> 14.8
		軟岩Ⅰ	m <sup>2</sup> 26.8
		硬岩Ⅰ	m <sup>2</sup> -

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

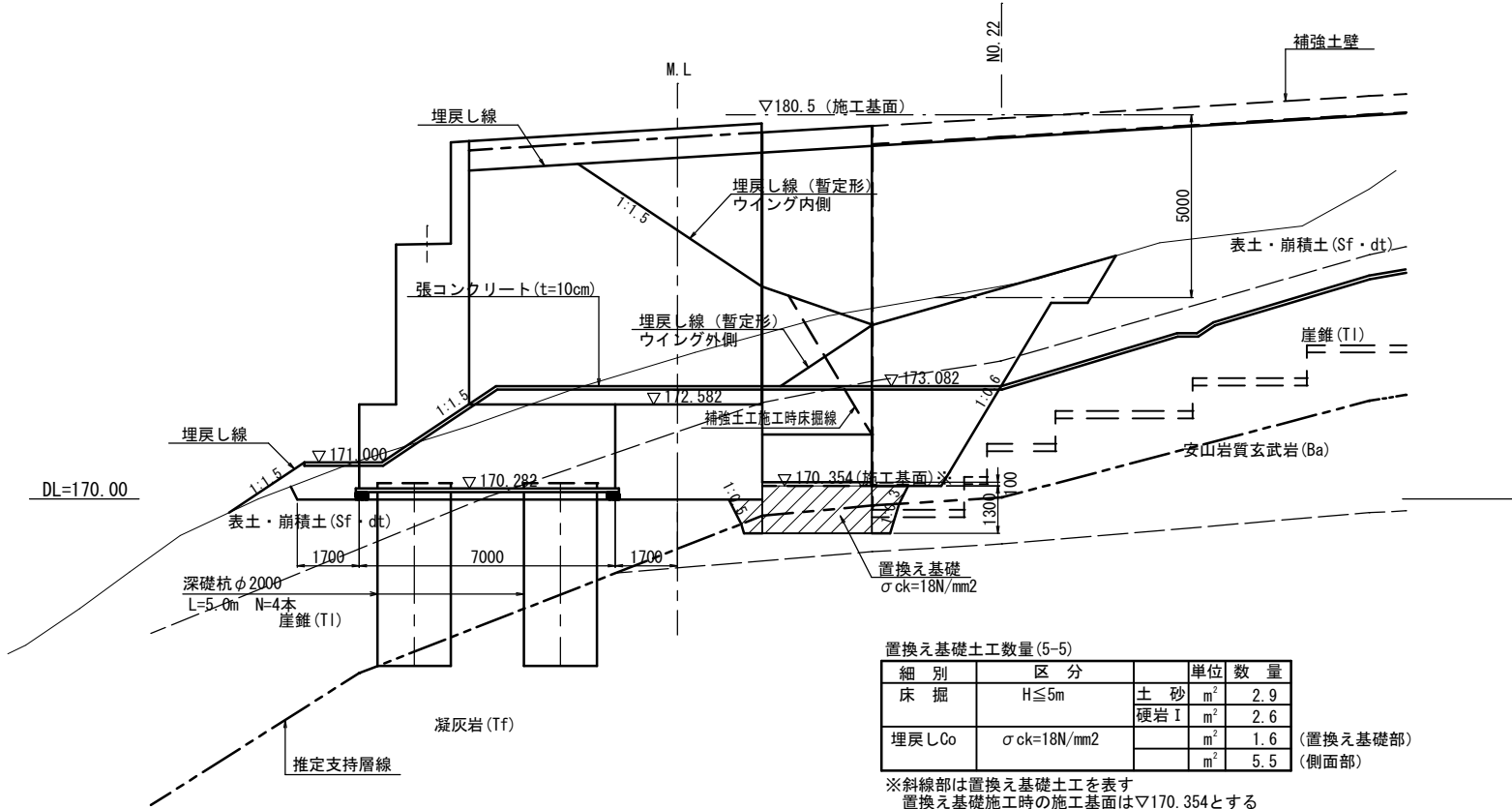
細 別	区 分		単位	数 量
埋戻し	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	43.6
路体盛土	W $<$ 2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m $\leq$ W $<$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	0.2

- ※1 橋台施工後の埋戻しは補強土壁施工のための暫定形とし、道路端部に大型土のうを設置する。
- ※2 橋台施工後の埋戻し（暫定形）を一次埋戻し、補強土壁施工後の埋戻しを二次埋戻しとして計上。擁壁工の二次埋戻しは補強土壁工にて計上。
- ※3 張コンクリートおよび排水構造物の施工は補強土壁施工工後に行う。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	A 2 橋台土工図 (その 3)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 54 号
平戸市建設部建設課	

A 2 橋台土工図（その 4） S=1:100

5 - 5



置換え基礎土工数量 (5-5)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
床 掘	H≦5m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.9
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	2.6
埋戻し Co	σck=18N/mm2	土 砂	m <sup>2</sup>	1.6
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	5.5

(置換え基礎部) (側面部)

※斜線部は置換え基礎土工を表す  
置換え基礎施工時の施工基面は▽170.354とする

A 2 橋台土工数量 (5-5 : 床掘)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	5m<H≦20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	22.8
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-

※H: 深さ、H1: 1 段目腹起し下 1m

A 2 橋台土工数量 (5-5 : 一次埋戻し) 橋台部

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
埋戻し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	8.3
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	1.4
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	3.6
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	27.9

A 2 橋台土工数量 (5-5 : 一次埋戻し) 側面部

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
埋戻し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	21.7
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.9
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

A 2 橋台土工数量 (5-5 : 二次埋戻し) 橋台部

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
路体盛土	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.7

A 2 橋台土工数量 (5-5 : 二次埋戻し) 側面部

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
路体盛土	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

終点側擁壁土工数量 (5-5 : 床掘)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	2.1
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-
	5m<H≦20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	40.9
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-

※H: 深さ、H1: 1 段目腹起し下 1m

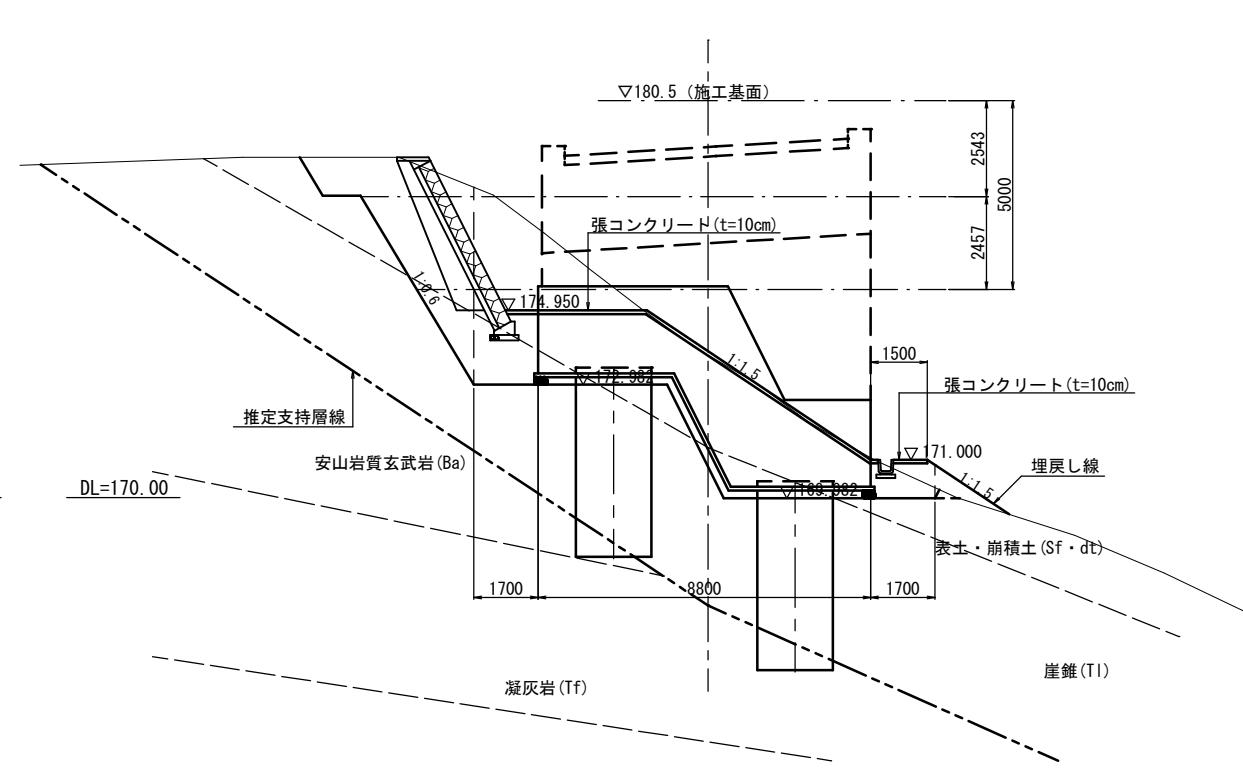
終点側擁壁土工数量 (5-5 : 一次埋戻し) 擁壁部

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
埋戻し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	37.8
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	6.9

終点側擁壁土工数量 (5-5 : 一次埋戻し) 側面部

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
埋戻し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	36.3
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

6 - 6



A 2 橋台土工数量 (6-6: 左側、床掘)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	3.7
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	5.5
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-
	5m<H≦20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	1.9
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-

※H: 深さ、H1: 1 段目腹起し下 1m

A 2 橋台土工数量 (6-6: 左側、一次埋戻し)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
埋戻し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	6.8
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

A 2 橋台土工数量 (6-6: 左側、二次埋戻し)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
路体盛土	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

A 2 橋台土工数量 (6-6: 右側、床掘)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
床 掘	H≦H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	H1<H≦5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	-
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-
	5m<H≦20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	0.1
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	-
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	-

※H: 深さ、H1: 1 段目腹起し下 1m

A 2 橋台土工数量 (6-6: 右側、一次埋戻し)

細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
埋戻し	W1≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	0.1
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	0.6
	2.5m≦W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

A 2 橋台土工数量 (6-6: 右側、二次埋戻し)

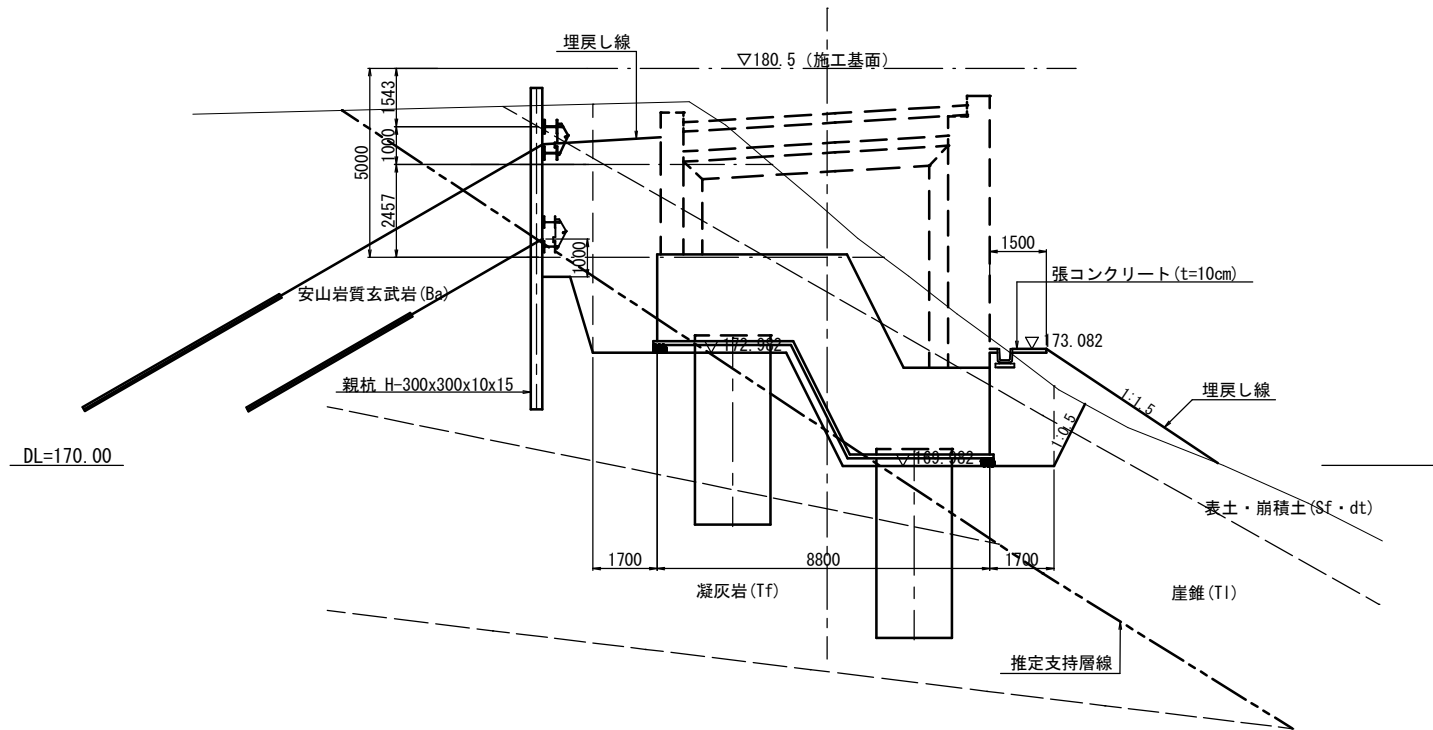
細 別	区 分	土 砂	単 位	数 量
路体盛土	W≧4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

- ※1 橋台施工後の埋戻しは補強土壁施工のための暫定形とし、道路端部に大型土のうを設置する。  
※2 橋台施工後の埋戻し (暫定形) を一次埋戻し、補強土壁施工後の埋戻しを二次埋戻しとして計上。擁壁工の二次埋戻しは補強土壁土工にて計上。  
※3 張コンクリートおよび排水構造物の施工は補強土壁工施工後に行う。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐巻線 (大越工区) 道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	A 2 橋台土工図 (その 4)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 55 号
平戸市建設部建設課	

A 2橋台土工図（その5） S=1:100

7 - 7



A 2 橋台土工数量(7-7:左側、床掘)

細 別	区 分	単位	数 量
床 掘	H≤H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup> 2.1
	H1<H≤5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup> 3.3
	5m<H≤20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup> 0.2
		軟岩 I	m <sup>2</sup> -
		硬岩 I	m <sup>2</sup> 1.1

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

A 2 橋台土工数量(7-7:左側、一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
埋戻し	$W1 \geq 4.0m$	土 砂	$m^2$	5.4
路体盛土	$W < 2.5m$	土 砂	$m^2$	-
	$2.5m \leq W < 4.0m$	土 砂	$m^2$	-
	$W \geq 4.0m$	土 砂	$m^2$	-

A 2 橋台土工数量(7-7:左側、二次埋戻し)

細 別	区 分	単位	数 量
路体盛土	W $\geq$ 4.0m	土 砂 m <sup>2</sup>	-

A 2 橋台土工数量(7-7:右側、床掘)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H ≤ H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	—
	H1 < H ≤ 5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	—
	5m < H ≤ 20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	0.9
		軟岩 I	m <sup>2</sup>	—
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	—

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

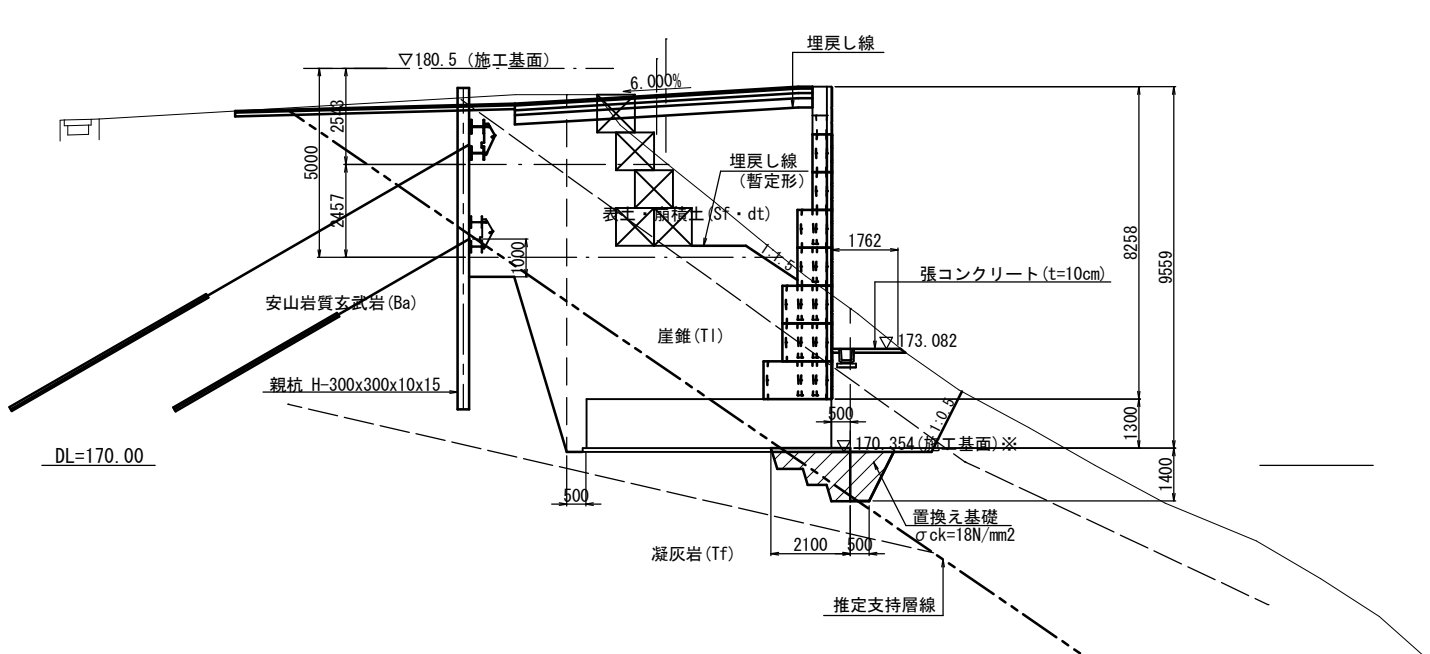
A 2橋台土工数量(7-7:右側、一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
埋戻し	$W \geq 4.0m$	土 砂	$m^2$	0.9
路体盛土	$W < 2.5m$	土 砂	$m^2$	2.3
	$2.5m \leq W < 4.0m$	土 砂	$m^2$	-
	$W \geq 4.0m$	土 砂	$m^2$	-

A 2 橋台土工数量(7-7:右側、二次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
路体盛土	W $\geq$ 4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

8 - 8



終点側擁壁土工数量(8-8:左側、床掘)

細 別	区 分		単位	数 量	
床 掘	H≤H <sub>1</sub> (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	4.7	
		H <sub>1</sub> <H≤5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	6.1
		軟岩Ⅰ	m	—	
		硬岩Ⅰ	m	0.3	
	5m<H≤20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	1.0	
		軟岩Ⅰ	m <sup>2</sup>	—	
		硬岩Ⅰ	m <sup>2</sup>	3.6	

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

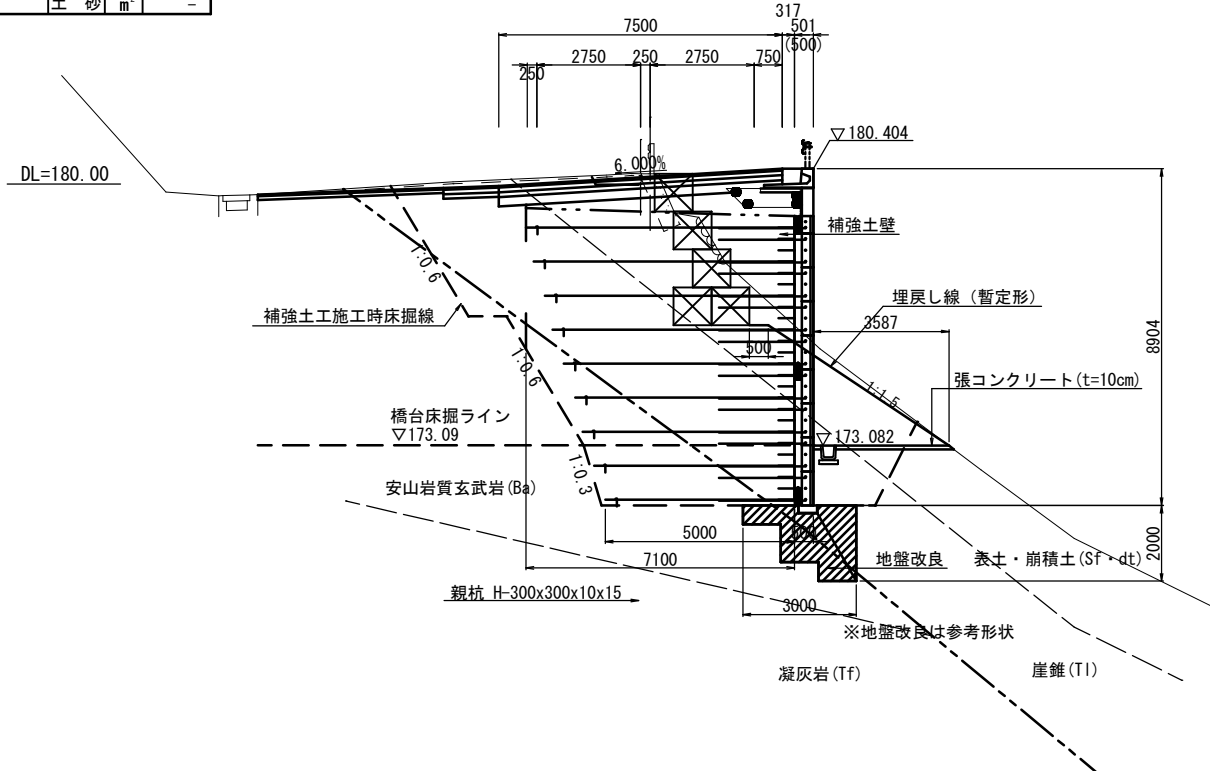
A 2 橋台土工数量(8-8:左側、一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
埋戻し	W1≥4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	14.2
路体盛土	W<2.5m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	2.5m≤W<4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-
	W≥4.0m	土 砂	m <sup>2</sup>	-

NO. 22 (参考)

GH=180.27

FH=180. 194



置換え基礎土工数量(8/8)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≤5m	土 砂	m <sup>2</sup>	2.0
		硬岩 I	m <sup>2</sup>	0.7
埋戻し Co	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	-
			m <sup>2</sup>	2.7

※斜線部は置換え基礎土工を表す  
置換え基礎施工時の施工基面は▽170.354とする

終点側擁壁土工数量(8-8:右側、床掘)

細 別	区 分		単位	数 量
床 掘	H≤H1 (A)	土 砂	m <sup>2</sup>	—
	H1<H≤5m (B)	土 砂	m <sup>2</sup>	—
		軟岩Ⅰ	m	—
		硬岩Ⅰ	m	—
	5m<H≤20m (C)	土 砂	m <sup>2</sup>	7.2
		軟岩Ⅰ	m <sup>3</sup>	—
		硬岩Ⅰ	m <sup>2</sup>	—

※H:深さ、H1:1段目腹起し下1m

A 2 橋台土工数量(8-8:右側、一次埋戻し)

細 別	区 分		単位	数 量
埋戻し	$W \geq 4.0m$	土 砂	$m^2$	6.5
路体盛土	$W < 2.5m$	土 砂	$m^2$	-
	$2.5m \leq W < 4.0m$	土 砂	$m^2$	-
	$W \geq 4.0m$	土 砂	$m^2$	-

- ※1 橋台施工後の埋戻しは補強土壁施工のための暫定形とし、道路端部に大型土のうを設置する。
- ※2 橋台施工後の埋戻し（暫定形）を一次埋戻し、補強土壁施工後の埋戻しを二次埋戻しとして計上。擁壁の二次埋戻しは補強土壁工にて計上。
- ※3 張コンクリートおよび排水構造物の施工は補強土壁施工後に行う。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越区工)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町
図面種類	A 2 橋台土工図 (その 5)
縮 尺	S = 1 : 100
図面番号	64 葉の内 56 号

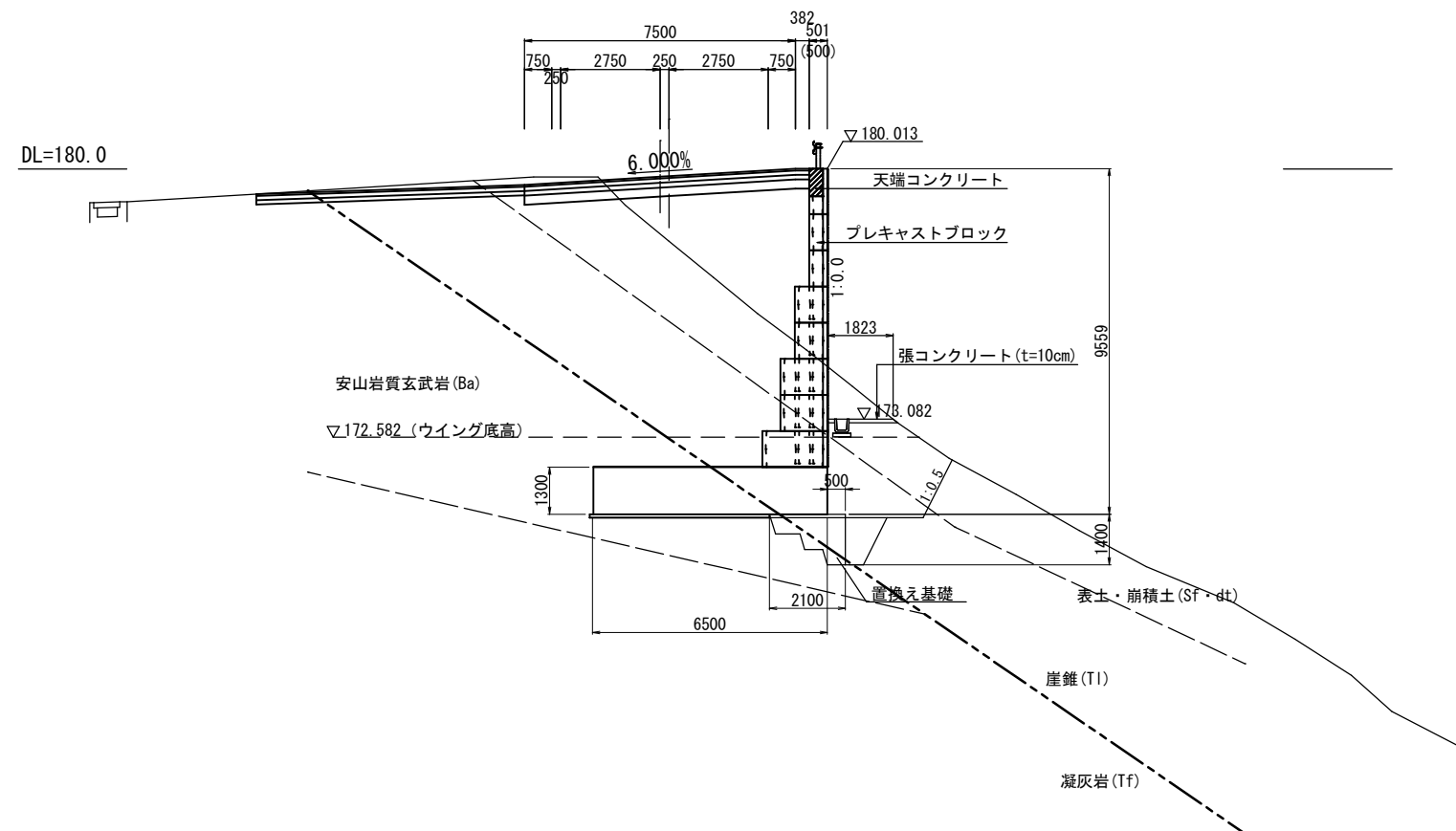
平戸市建設部建設課

終点側擁壁工横断図（その１） S=1:100

NO. 21+13. 769

GH=178.00  
FH=179.803

※ 現況横断図は平面図読取りにより作成。(ペーパーロケーション)



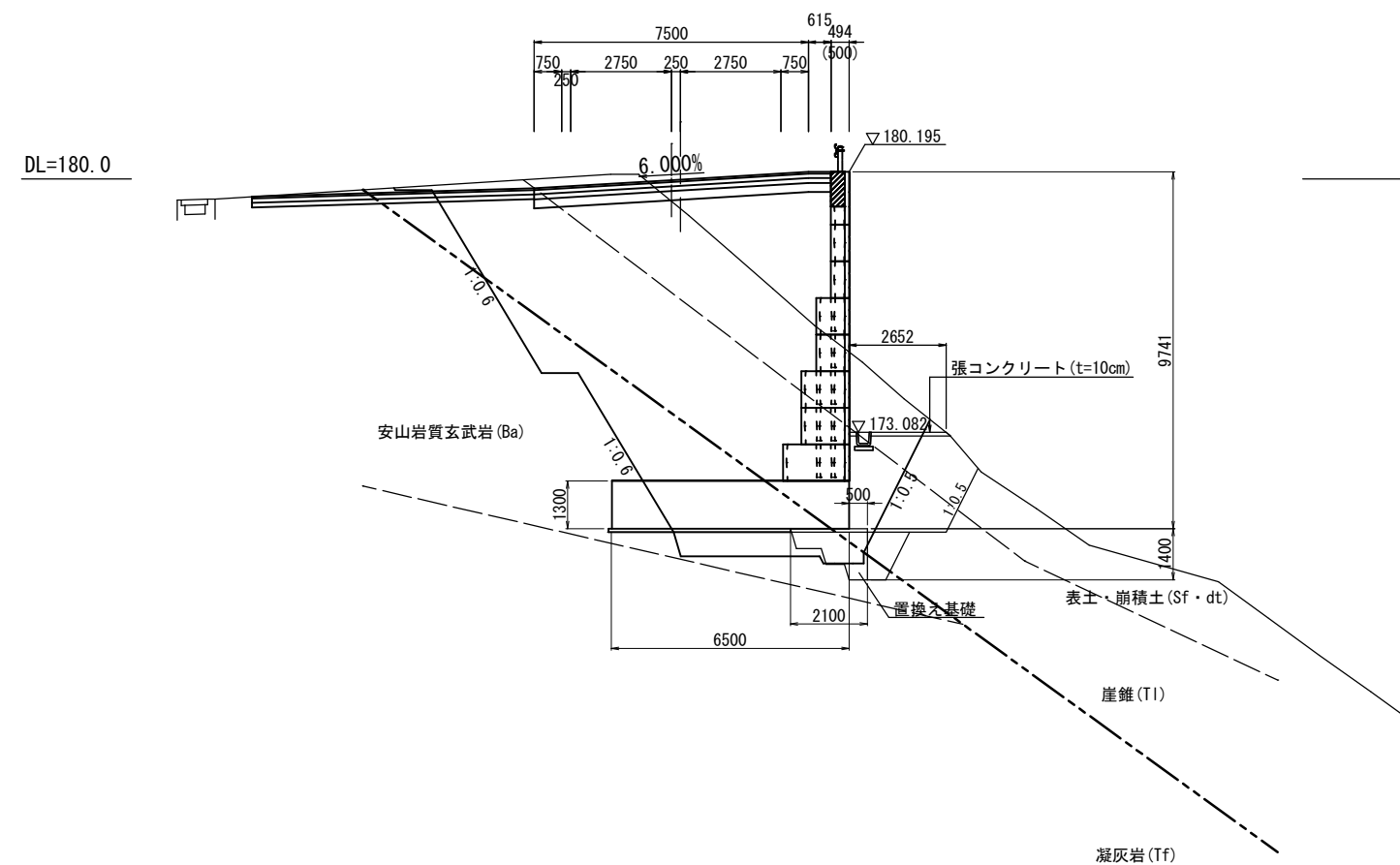
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・綾差線（大堀工区）道交改良工事（橋梁下部工）
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	終点側擁壁工横断面図（その１）
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 57 号
平戸市建設部建設課	

終点側擁壁工横断図（その2） S=1:100

NO. 21+16. 668

GH=179.19  
FH=179.985

※ 現況横断図は平面図読取りにより作成。(ペーパーロケーション)

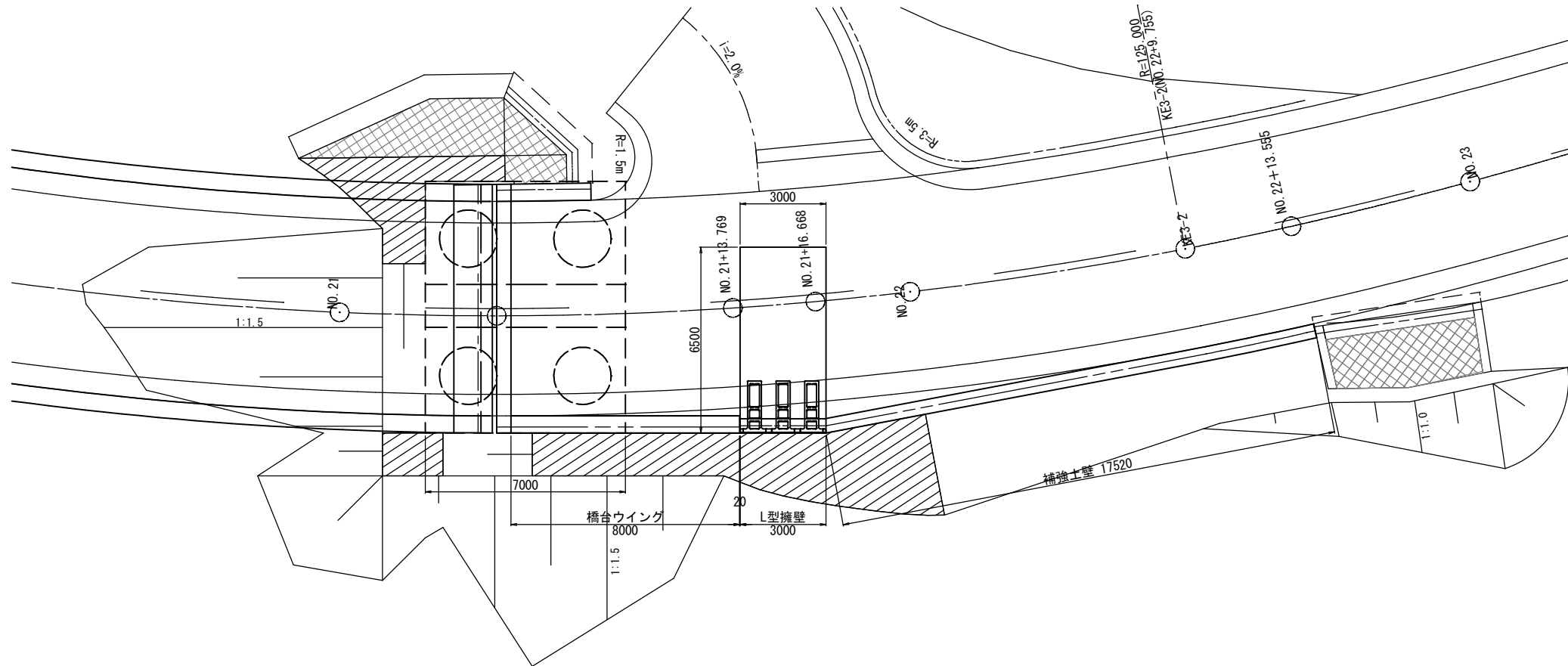


年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・嵯差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	終点側擁壁工横断面図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 58 号
平戸市建設部建設課	



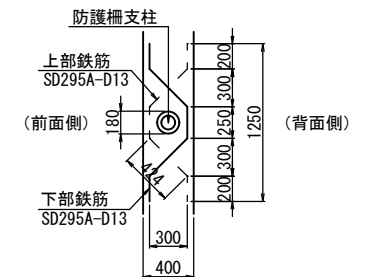
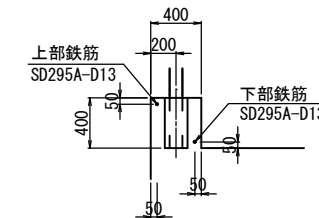
### L型擁壁構造図

平面图 S=1:100



補強筋配置図 S=1:30

補強筋 S=1:30

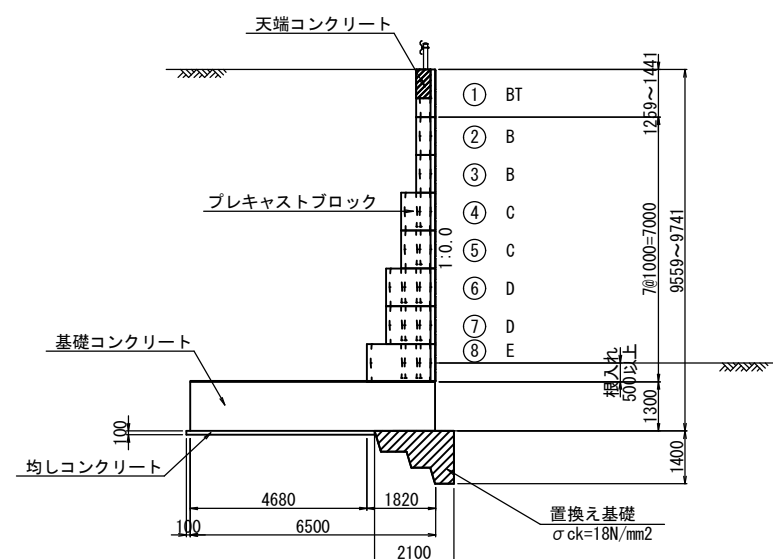


補強筋鉄筋表

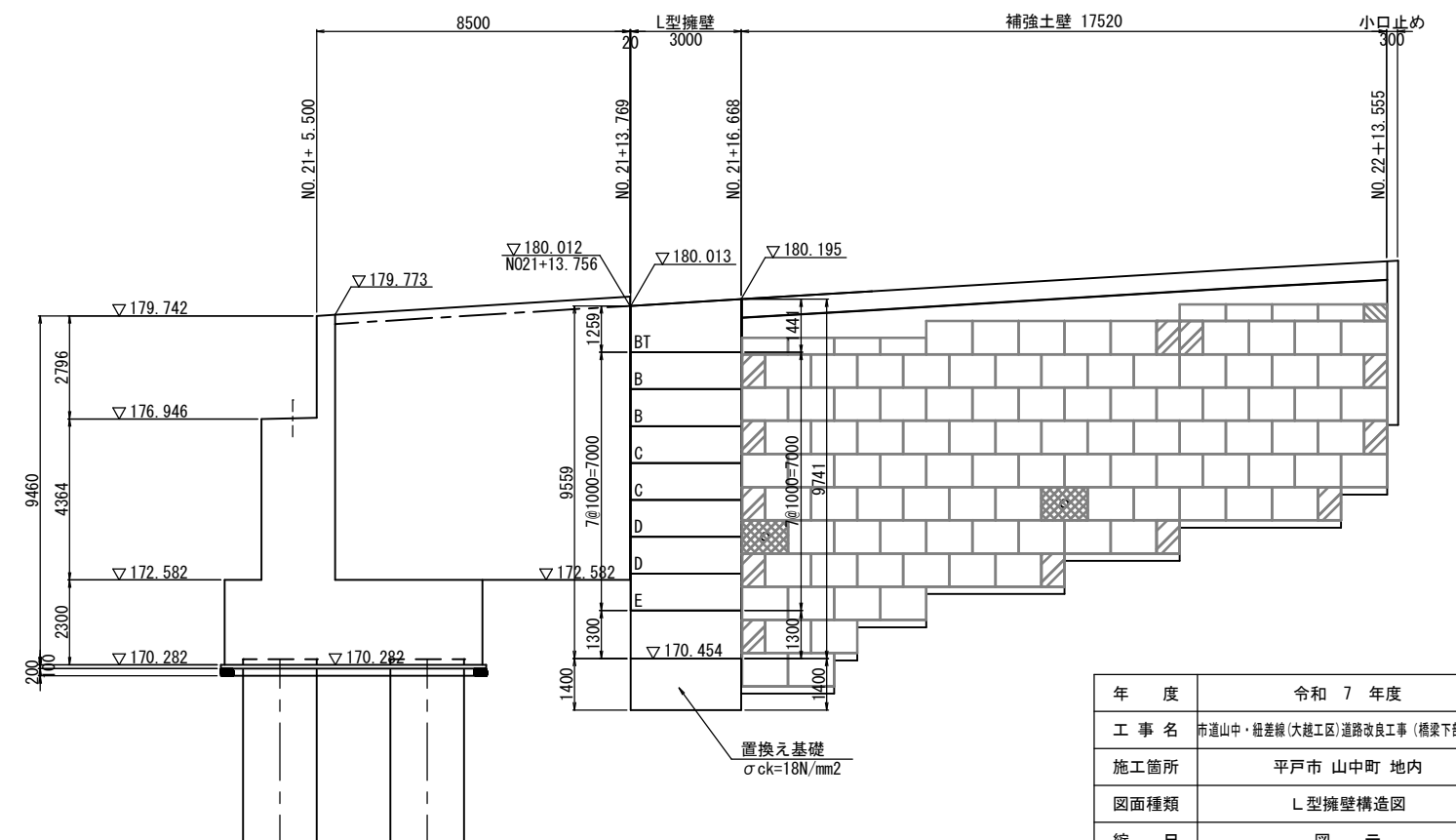
(1ヶ所当り)

径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
D13	1500	2	0.995	1.49	2.98	

標準断面図 S=1:100

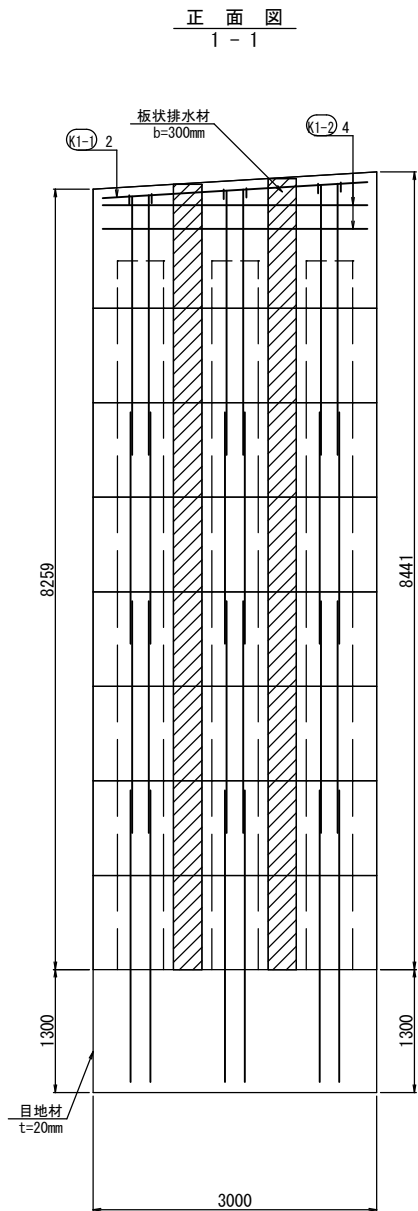
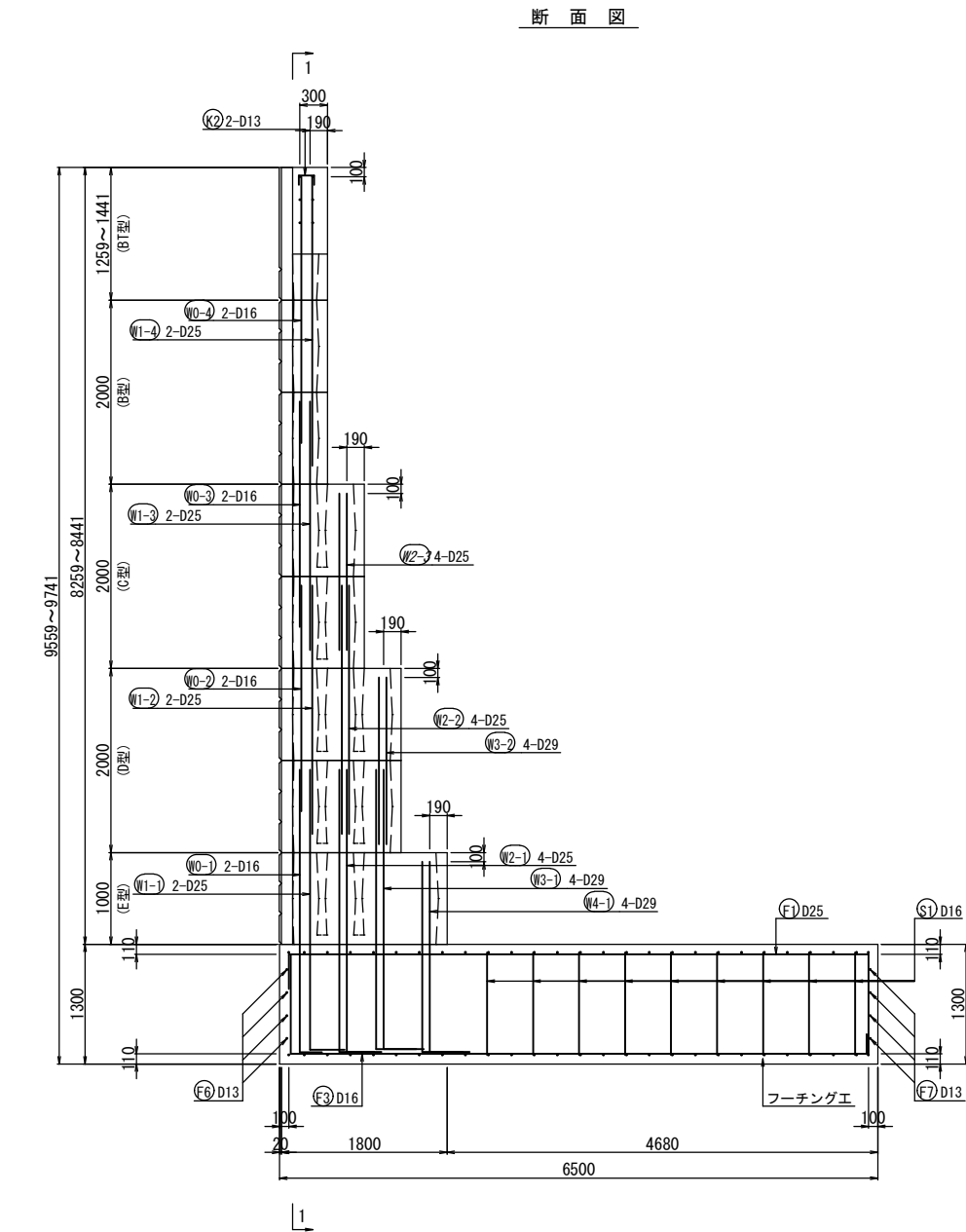


側面図 S=1:100



年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・経差峠(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	L 型擁壁構造図
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 59 号
平戸市建設部建設課	

L型擁壁配筋図（その１） S=1:40

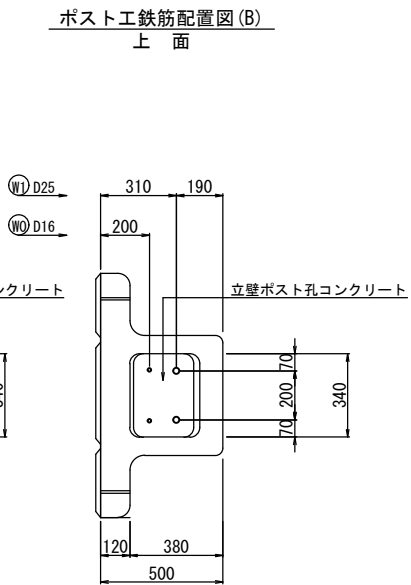
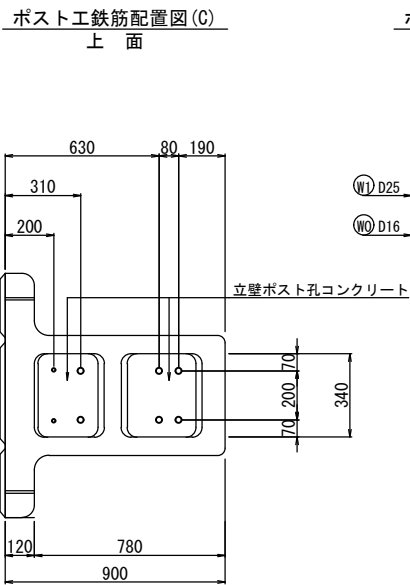
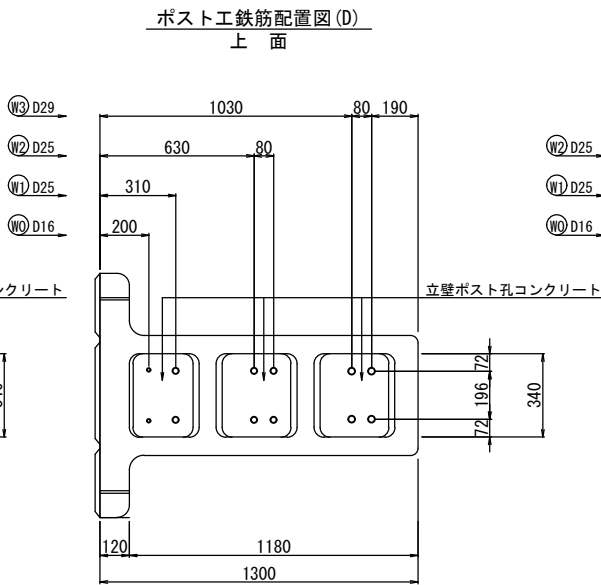
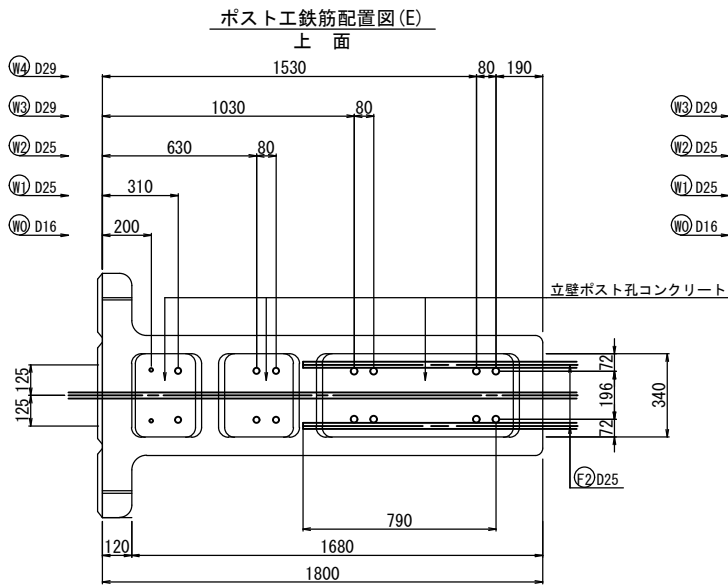


設計条件				
設計条件				
コンクリート	設計基準強度	N/mm <sup>2</sup>	35	24
	許容曲げ圧縮応力度		12.0	8.0
	許容せん断応力度		0.25	0.23
鉄筋	許容引張応力度	SD345	160	
単位重量	土	kN/m <sup>3</sup>	18.0	
	コンクリート		24.5	
地表面載荷重		kN/m <sup>2</sup>	10.0	
土の内部摩擦角		°	30.0	
粘着力		kN/m <sup>2</sup>	0.0	
設計水平震度			0.08	

地震時・衝突荷重時考慮時の許容応力度は上記の1.5倍とする。

製品の許容せん断応力度はポスト孔充填コンクリート（30）の値

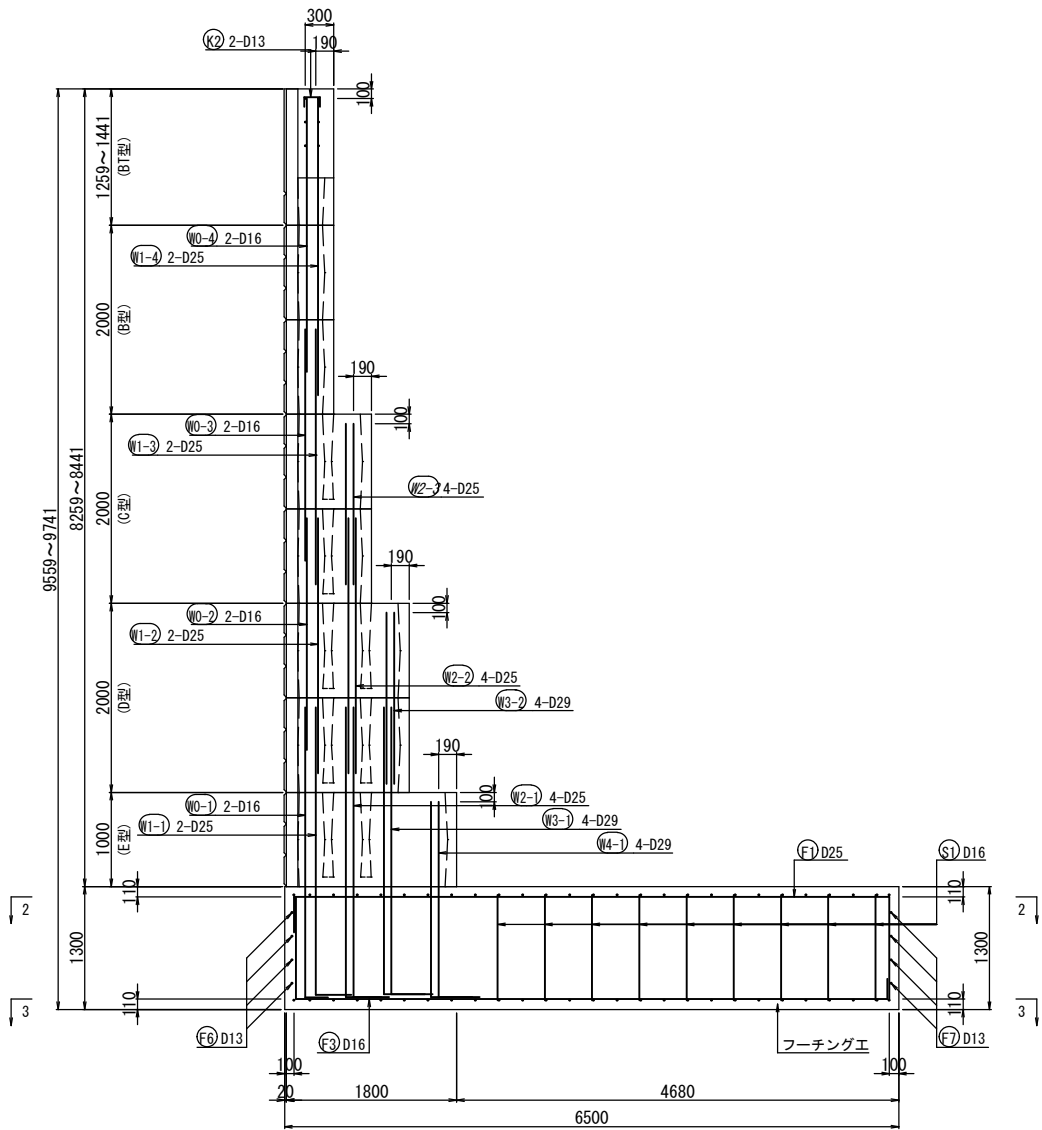
材料総括表				延長当り
名称	箇所	規格	単位	数量
壁面工	プレキャスト擁壁		m <sup>2</sup>	25.1
	立て壁ポスト孔	普通 30-8-25 N	m <sup>3</sup>	5.1
	天端コンクリート	普通 24-8-25 N	m <sup>3</sup>	1.0
	均しコンクリート	普通 18-8-40 N	m <sup>3</sup>	1.5
	フーチング工	普通 24-8-25 N	m <sup>3</sup>	25.4
型枠	計		m <sup>3</sup>	33.5
	天端コンクリート		m <sup>2</sup>	2.6
	均しコンクリート		m <sup>2</sup>	1.6
	フーチング工		m <sup>2</sup>	7.8
	計		m <sup>2</sup>	11.0
鉄筋 (立て壁工)		D13	kg	18.9
		D16	kg	103.2
		D19	kg	0.0
		D22	kg	0.0
		D25	kg	660.6
		D29	kg	476.0
		D32	kg	0.0
鉄筋 (フーチング工)	計		kg	1258.7
		D13	kg	97.4
		D16	kg	379.3
		D19	kg	0.0
		D22	kg	0.0
		D25	kg	718.6
		D29	kg	0.0
板状排水材		b=300	m <sup>2</sup>	5.0
	目地材	壁部	m <sup>2</sup>	1.0
		天端部	m <sup>2</sup>	0.3



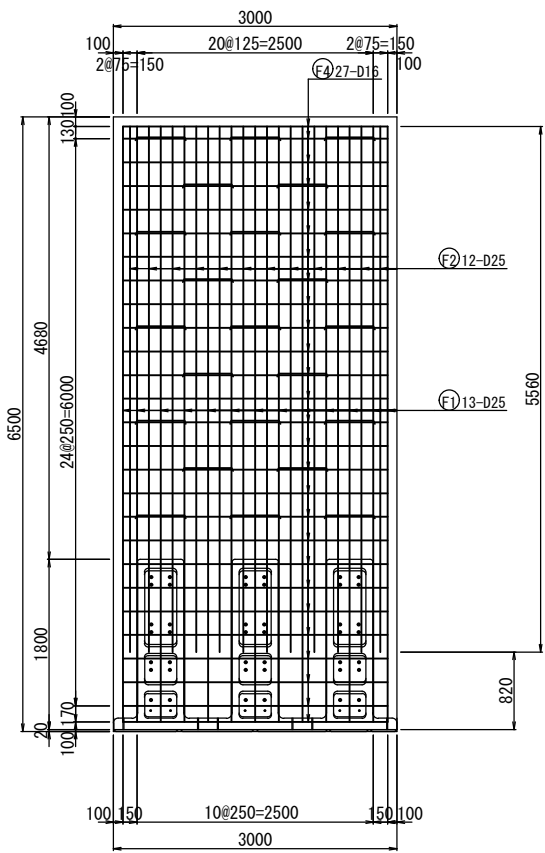
年度	令和 7 年度
工事名	市道山中・堀壁線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	L型擁壁配筋図（その１）
縮尺	S = 1 : 40
図面番号	64 葉の内 60 号
平戸市建設部建設課	

L型擁壁配筋図（その2） S=1:40

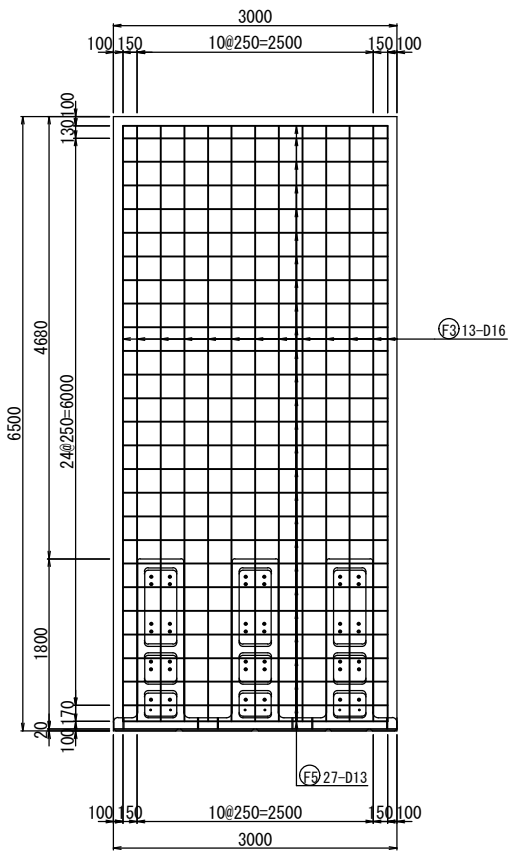
断面図



底版上面図

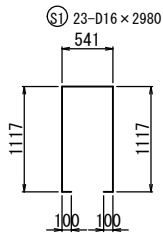
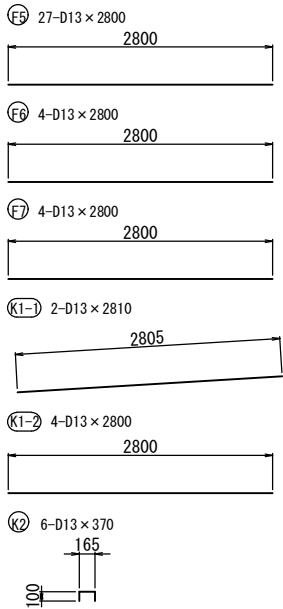
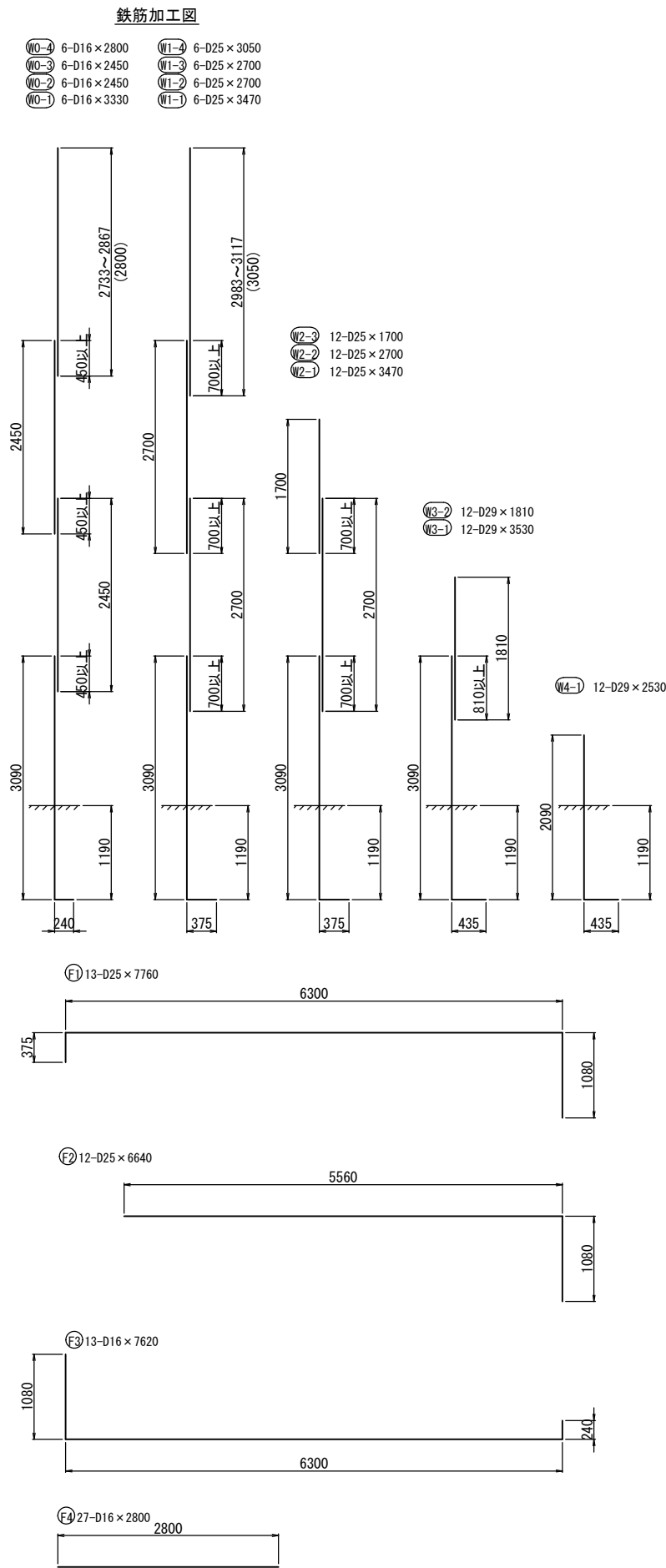


底版下面図



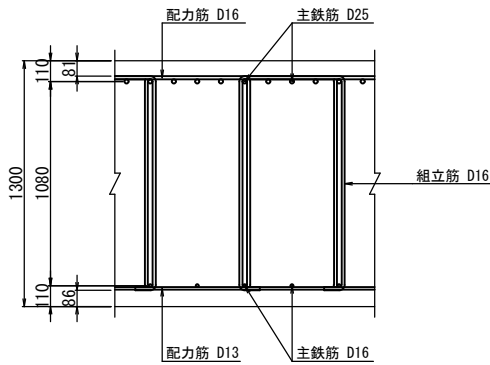
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐巻線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	L型擁壁配筋図（その2）
縮 尺	S = 1 : 40
図面番号	64 葉の内 61 号
平戸市建設部建設課	

L 型擁壁配筋図（その 3） S=1:40



かぶり詳細図

後 踵



鉄筋加工・継手寸法表

径	a (mm)	b (mm)	c (mm)	R (mm)	L (mm以上)	
					$\sigma_{sk}=24$ (N/mm <sup>2</sup> )	$\sigma_{sk}=30$ (N/mm <sup>2</sup> )
					410	370
D13	61	156	217	39	500	450
D16	75	192	267	48	600	530
D19	89	228	317	57	690	620
D22	104	264	368	66	790	700
D25	118	300	418	75	910	810
D29	137	348	485	87	1000	890
D32	151	384	535	96		

控壁工鉄筋表

種 別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	一本当たり質量 (kg)	質量 (kg)
W0-1	D16	3330	6	1.560	5.195	31.2
W0-2	D16	2450	6	1.560	3.822	22.9
W0-3	D16	2450	6	1.560	3.822	22.9
W0-4	D16	2800	6	1.560	4.368	26.2
W1-1	D25	3470	6	3.980	13.811	82.9
W1-2	D25	2700	6	3.980	10.746	64.5
W1-3	D25	2700	6	3.980	10.746	64.5
W1-4	D25	3050	6	3.980	12.139	72.8
W2-1	D25	3470	12	3.980	13.811	165.7
W2-2	D25	2700	12	3.980	10.746	129.0
W2-3	D25	1700	12	3.980	6.766	81.2
W3-1	D29	3530	12	5.040	17.791	213.5
W3-2	D29	1810	12	5.040	9.122	109.5
W4-1	D29	2530	12	5.040	12.751	153.0
K1-1	D13	2810	2	0.995	2.796	5.6
K1-2	D13	2800	4	0.995	2.786	11.1
K2	D13	370	6	0.995	0.368	2.2
D13以下		18.9 (kg)	D16~D25		763.8 (kg)	D29以上
						476.0 (kg)

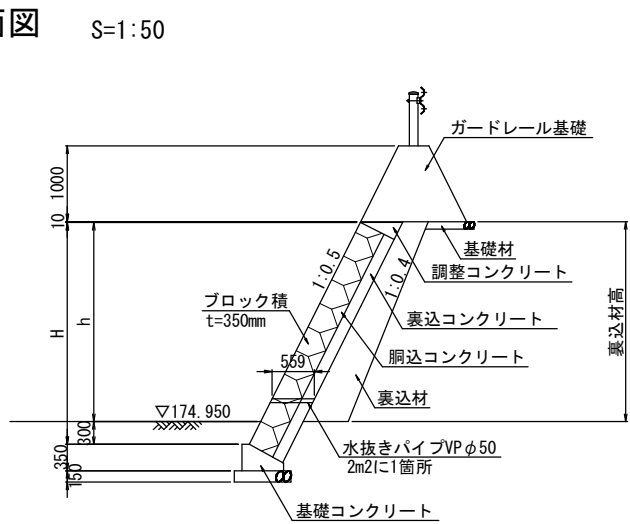
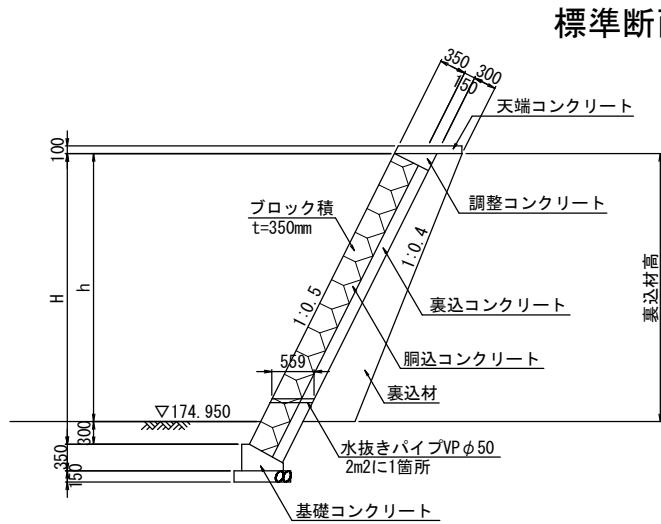
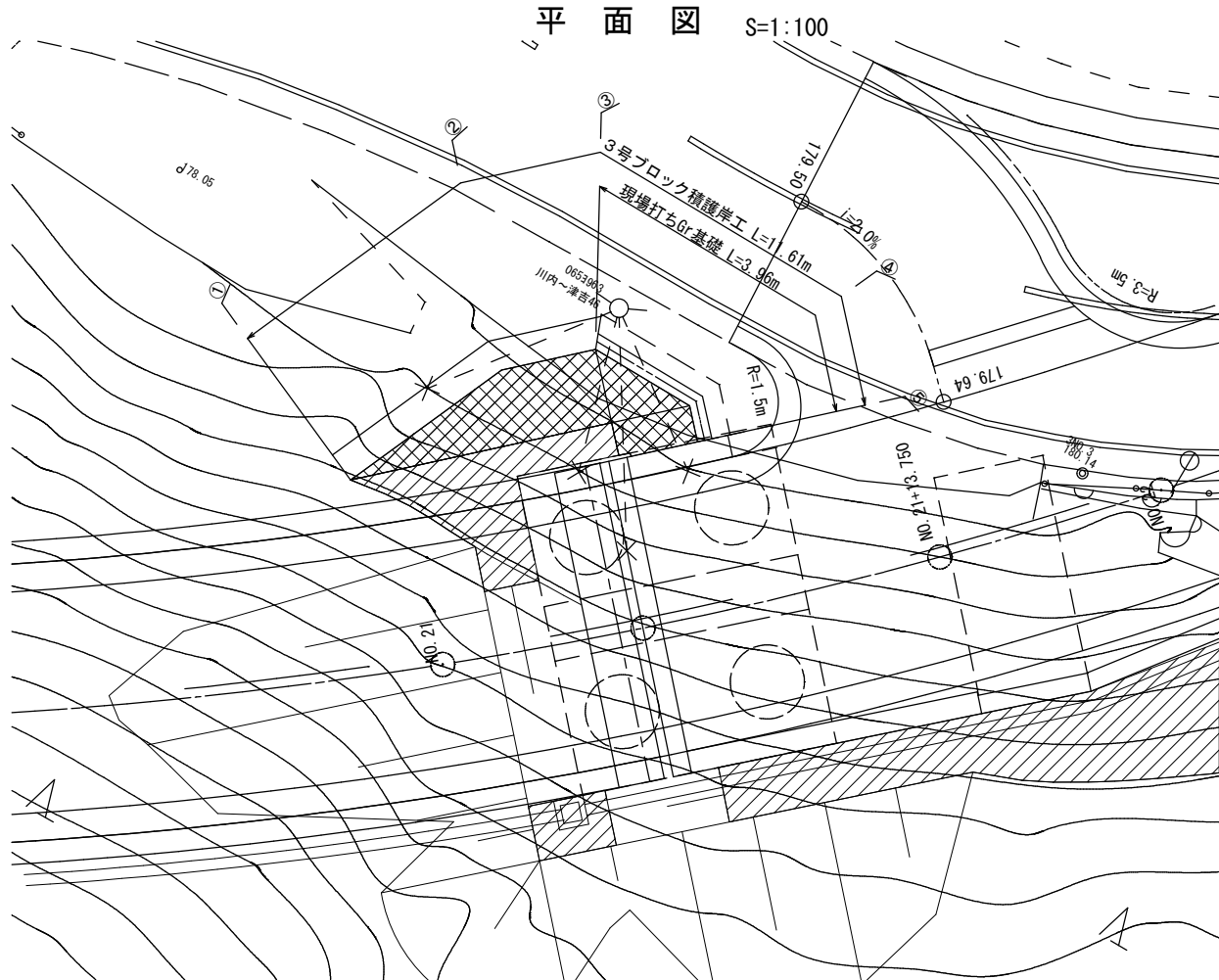
フーチング工鉄筋表

種 別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	一本当たり質量 (kg)	質量 (kg)
F1	D25	7760	13	3.980	30.885	401.5
F2	D25	6640	12	3.980	26.427	317.1
F3	D16	7620	13	1.560	11.887	154.5
F4	D16	2800	27	1.560	4.368	117.9
F5	D13	2800	27	0.995	2.786	75.2
F6	D13	2800	4	0.995	2.786	11.1
F7	D13	2800	4	0.995	2.786	11.1
S1	D16	2980	23	1.560	4.649	106.9
D13以下		97.4 (kg)	D16~D25		1097.9 (kg)	D29以上
						0.0 (kg)

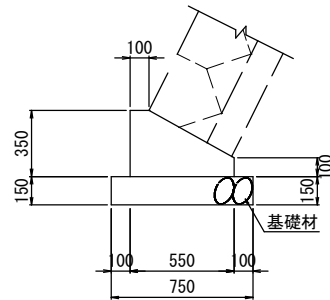
年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	L 型擁壁配筋図（その 3）
縮 尺	S = 1 : 40
図面番号	64 葉の内 62 号
平戸市建設部建設課	

ブロック積構造図（その3）

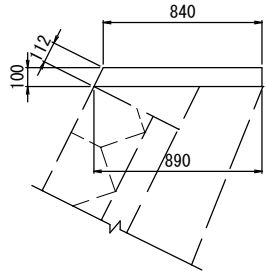
A2橋台《道路左側》



基礎コンクリート S=1:20

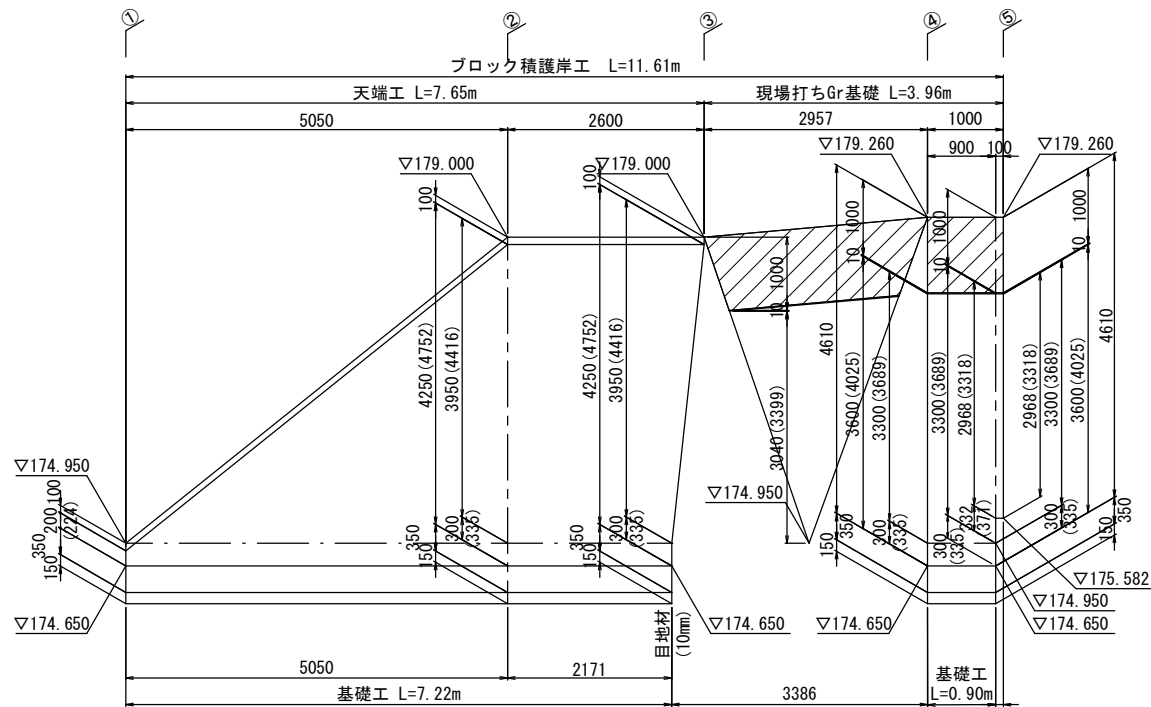


天端コンクリート S=1:20



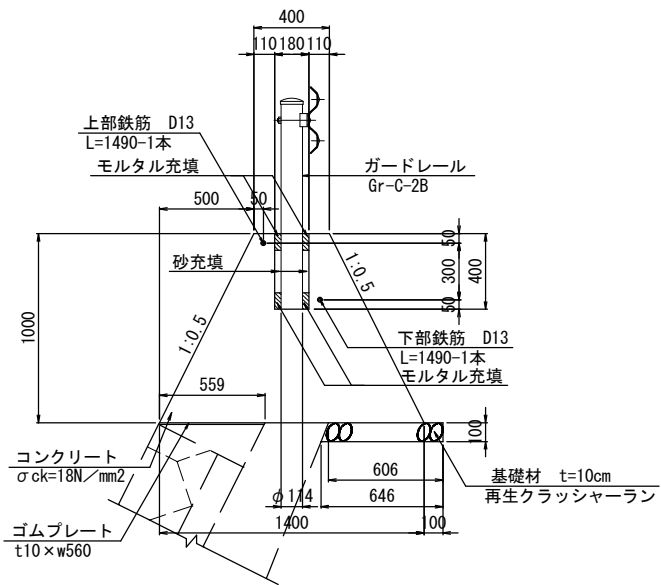
展開図 S=1:50

※（ ）内の寸法は斜長を示す



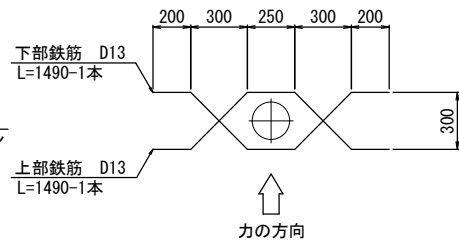
現場打ちガードレール基礎詳細図 S=1:20

※最小ブロック長は3.5mとする。



数 量 表		10m当たり	
種 別	算 式	単 位	数 量
コンクリート	$1/2 \times (0.400 + 1.400) \times 1.000 \times 10.00$	m <sup>3</sup>	9.00
型 枠	$1.000 \times 1.1180 \times 2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	22.36
目 地 材	$1/2 \times (0.400 + 1.400) \times 1.000$	m <sup>2</sup>	0.90
基 礎 材	$(t=100) \ 1/2 \times (0.606 + 0.646) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	6.26
補強鉄筋	$1.490 \times 2 \times 0.995 \times 5 \text{箇所}$	kg	14.83
ゴムプレート	$0.56 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	5.60

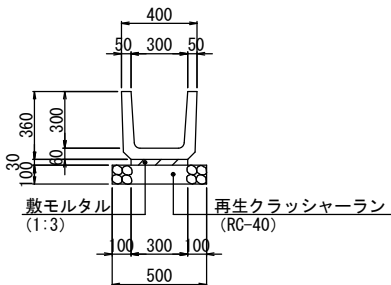
補強鉄筋図



年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事(橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	ブロック積構造図(その3)
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 63 号
平戸市建設部建設課	

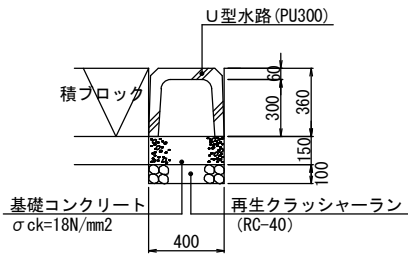
排水施設構造図

U型水路 (PU300型) S=1:20



数 量		(10m当り)	
種 別	算 式	単位	数 量
P U 水 路	$10.00 \div 0.60$ (本/m, 参考重量W=53kg)	個	16.5
敷モルタル	$0.300 \times 0.030 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	0.09
再生クラッシャーラン	(t=100) $0.500 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	5.00
基 面 整 正	$0.500 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	5.00

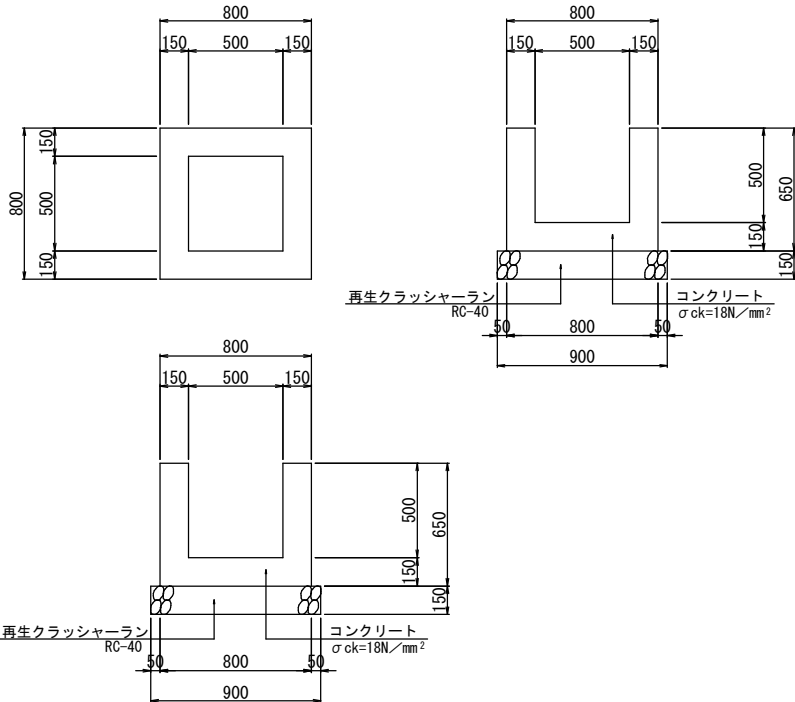
縦排水工 S=1:20



数 量		(10m当り)	
種 別	算 式	単位	数 量
P U 水 路	$10.00 \div 0.60$ (本/m, 参考重量W=53kg)	個	16.5
コンクリート	$0.400 \times 0.150 \times 10.00$	m <sup>3</sup>	0.60
再生クラッシャーラン	(t=100) $0.400 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	4.00
基 面 整 正	$0.400 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	4.00
型 枠	$0.400 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	4.00

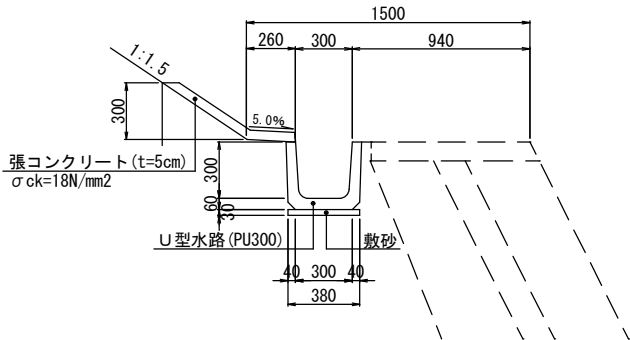
集水樹 A S=1:20

500 × 500 × 500  
(1号、3号)



小段排水工 S=1:20

(ブロック積部)

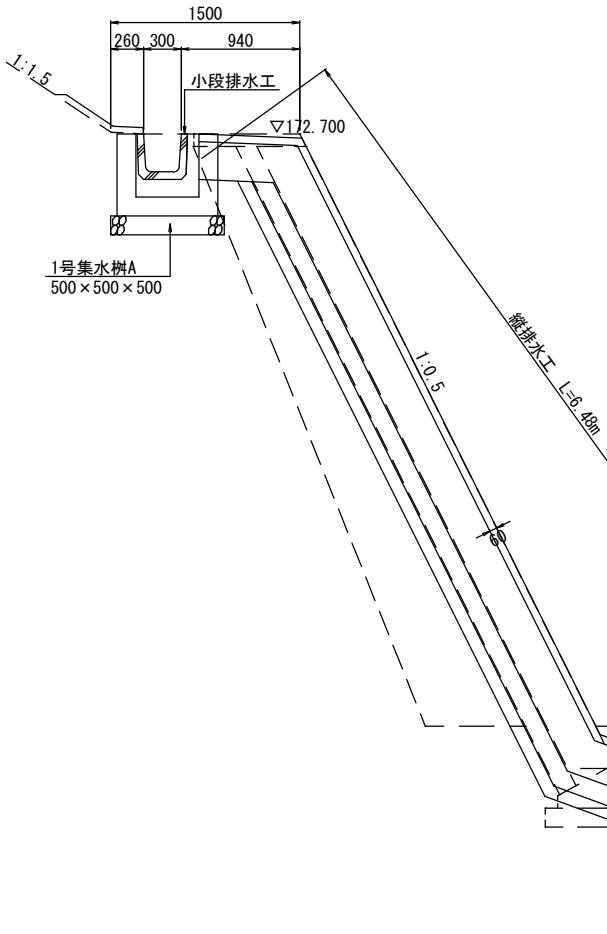


数 量		(10m当り)	
種 別	算 式	単位	数 量
P U 水 路	$10.00 \div 0.60$ (本/m, 参考重量W=53kg)	個	16.5
張コンクリート	(t=50) $(0.489 + 0.260) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	7.49
敷 砂	$0.380 \times 0.030 \times 10.00$	m <sup>3</sup>	0.11
基 面 整 正	$0.380 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	3.80

縦排水布設図

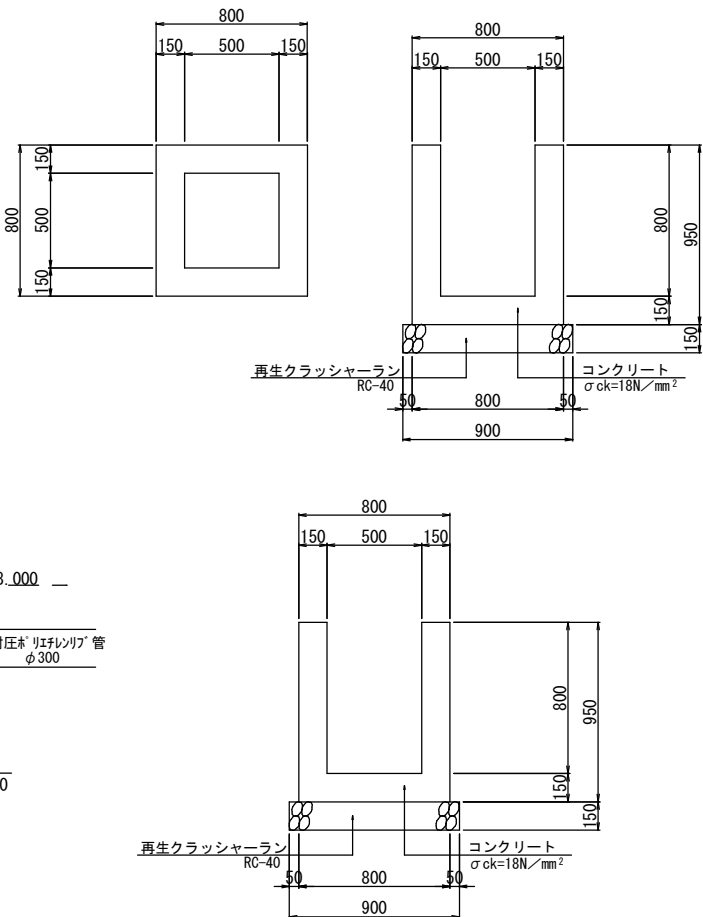
(ブロック積部)

S=1:30



集水樹 B S=1:20

500 × 500 × 800  
(2号)



控除数量一覧表 (箱抜き)

		控除数量 (1ヶ所当り)	
		壁厚t=15cm コンクリート (m <sup>3</sup> )	型 枠 (m <sup>2</sup> )
U型水路	300 × 300	-0.014	-0.045
小段排水工	300 × 300	-0.014	-0.045
縦排水工	300 × 300	-0.014	-0.045
耐圧ポリアスレンリブ管 φ300		-0.011	±0.000

基本数量

種 別	算 式	単位	1箇所当たり 数 量
コンクリート	$0.800^2 \times 0.650 - 0.500^2 \times 0.500$	m <sup>3</sup>	0.29
型 枠	$0.800 \times 0.650 \times 4 + 0.500 \times (0.500 + 0.150) \times 4$	m <sup>2</sup>	3.38
再生クラッシャーラン	$0.900 \times 0.900$	m <sup>2</sup>	0.81
基 面 整 正	$0.900 \times 0.900$	m <sup>2</sup>	0.81

位 置	1号 : No. 18+13.2 右側	3号 : No. 21+2.7 右側
形 状		
コンクリート (m <sup>3</sup> )	0.26	0.25
型 枠 (m <sup>2</sup> )	3.29	3.29

横断管渠 S=1:20

耐圧ポリエチレンリブ管 φ300



数 量		(10m当り)	
種 別	算 式	単位	数 量
耐圧ポリエチレンリブ管	(ハウエル管 φ300) $10.00 \div 5.00$	本	2.0

基本数量

種 別	算 式	単位	1箇所当たり 数 量
コンクリート	$0.800^2 \times 0.950 - 0.500^2 \times 0.800$	m <sup>3</sup>	0.41
型 枠	$0.800 \times 0.950 \times 4 + 0.500 \times (0.800 + 0.150) \times 4$	m <sup>2</sup>	4.94
再生クラッシャーラン	$0.900 \times 0.900$	m <sup>2</sup>	0.81
基 面 整 正	$0.900 \times 0.900$	m <sup>2</sup>	0.81

位 置	2号 : No. 18+17.1 右側
形 状	
コンクリート (m <sup>3</sup> )	0.37
型 枠 (m <sup>2</sup> )	4.85

年 度	令和 7 年度
工 事 名	市道山中・紐差線(大越工区)道路改良工事 (橋梁下部工)
施工箇所	平戸市 山中町 地内
図面種類	排水施設構造図
縮 尺	図 示
図面番号	64 葉の内 64 号
平戸市建設部建設課	